

Title	慶長刊論語集解の研究(承前)
Sub Title	Study of the Keicho imprint of Rongo-Shikkai (論語集解) (continued)
Author	高橋, 智(Takahashi, Satoshi)
Publisher	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫
Publication year	1996
Jtitle	斯道文庫論集 (Bulletin of the Shidô Bunko Institute). No.31 (1996. ) ,p.81- 247
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	平澤五郎教授退職記念論集
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00106199-00000031-0081">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00106199-00000031-0081</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 慶長刊論語集解の研究（承前）

高 橋 智

はしがき

第三十輯の、序編から第三編に至る論考に引続き、ここに第四編を報告する。第三編の第二章、慶長刊本の性格に就いては、古鈔本の研究と相俟った考察が必要と認められる為、将来の結論に委ねて今は暫く措くことにした。既に、二十八輯の「孟子」に於ける論究等に述べた如く、慶長古活字版の、とり分けて経書に関するテキストの性格分析は、意義付けが非常にむずかしいということがある。存在自体に意義を見て深入りしないのが寧ろ賢明と思われる程である。あるいは、本テキストは、その成立を顧みるよりも、学者の手に触れて後に如何様に読まれ用いられたかの痕跡を辿ることの方が、より巨視的な成果を期待できるものであるかも知れない。従って、このような前提をもってする訓読編の試みは単なる訓読の整理に粉骨碎身するのではなく、あくまでテキストの成立と相関する漢文受容の枠組という大きな視点を持してのものでなければならぬと考えている。即ち、論集第六輯に於ける古文孝経の研究（阿部隆一元文庫長）と軌を一にせんとするものと考えているのである。要するに、単発的な伝本調査・翻刻に終始するのではないと言う心構えを理解していただきたいと願うものである。第三編までの調査に種々の教示を賜った神鷹徳治氏をはじめとする諸先生方、何遍も同じ本を調査しなければならない面倒に相変らず親切に閲覧を許された諸文庫・諸館の御高配には、あらためて深く感謝の意を表したい。

目次

第三編 校勘編

第二章 翻刻—斯道文庫蔵本の訓読

第二章 慶長刊本の性格(暫闕)

凡例……………一〇一

第四編 訓読編

本文……………一〇二

第一章 総説

校注……………一三四

第一節 書入訓読の状況……………八三

附 補訂……………一四七

第二節 各伝本の訓読……………八九

第四編 訓読編

第一章 総説

凡そ書物に読者が手を加えるのにはいくつかの要因が考えられる。そして勿論そのことは、その書物が如何なる用途を以てしてその読者と関ったのかということ抜きにしては考えることができない。書物はただの物質ではなく、生きた文化の化身であるから、その紙面に向けられた生きた目を解明してゆかなければ何の意味もないであろう。

序編の第二章に既に述べたように、本編は、慶長刊論語集解

が、その当時出版されて受容されたその実状を知る事によって、訓読の歴史研究の一資を獲ることができるとともに、中世と近世との間を結ぶ學術史の一コマを綿密な形で把握することができらるであろうとの展望を持って、書入れ訓読に焦点をあてようというわけである。書入れの解明には種々な問題が生じる。その最も大きなものの一つが書入れられた時代の判定である。その次が書入れ者の数であって、それに伴ってその手数の次序が問題となってくる。そしてそれらを前提として如何なる訓法が為されているかの識別を行なうわけであるが、この順序がまた円環の如くぐるぐると回ってはじめて全体の像が浮びあがってくるのである。言うなれば、そういう作業の過程に於いて把握される感觸というもので、当時の読者の目を共有できるのである。従って、こうした研究の報告は、単に慣れた技術によって規格的な結果を導こうというのではなく、少しでも文化の実態に近づこうという積極的な努力であるということを先ず申し述べておく必要がある。

## 第一節 書入訓読の状況

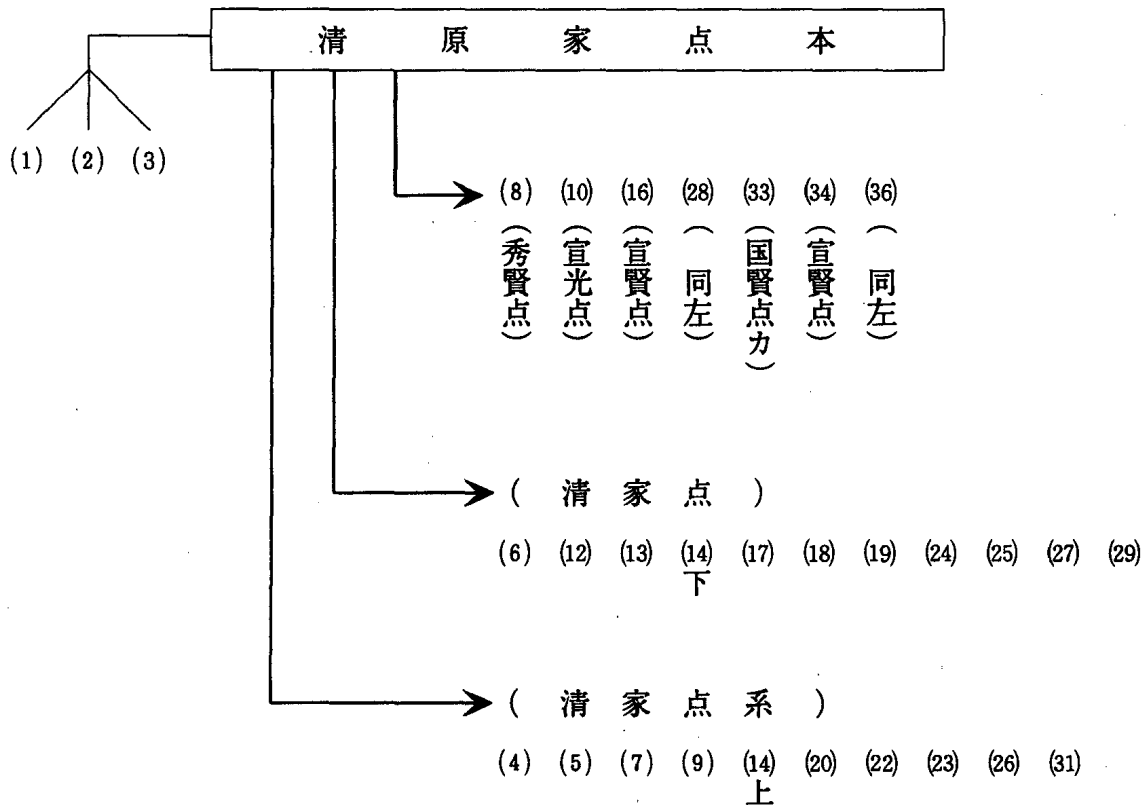
慶長刊本は、鈔本を中心とした経書講読の時代から、刊本を中心とした講読の時代へと移りかわる頃に、比較的大振りの字をもつて、白文で印行されたものであった為に、経書の講義形態や伝承形態に未だ中世風の氣質が色濃く温存している当時の講読の姿を、そこに書入れられた訓法をみることによって、ある程度容易に察知することができるようである。

ここに書物に対する学問者の美意識というものがある。由来の正しい訓点を、由来の正しい底本から忠実に移点する、それによって白文のテキストは、実に美しいものとして完結する。東京大学総合図書館蔵の南葵文庫旧蔵慶長一四年刊本はまさにこの典型であると言えよう。最早、読むための訓読というのは余りにも美し過ぎる感がある。また、頻繁に行われていたと想像される講義の際に、師が用いる課本として、受け継ぎきたった訓読を書入れるのに便があったことも、白文の特長と言えるであろう。京都大学附属図書館蔵慶長八年以前刊本には、中世博士家以来の伝統を持つ清原家の家訓を、講義の為にどめ置いたものを見ることが出来る。更にはこの刊本を用いて読習研鑽を積み、講義課本の目的もさることながら、その研鑽の跡をよく遺している書入れも見られる。東京大学総合図書館蔵〔下

村生蔵」刊本の下冊や斯道文庫蔵慶長一四年刊本の等は、こうした様子を窺い知るに十分なものである。

勿論、書入れ自体の性格は、簡単に決め得べきものでもないし、今挙げた三つの類例は何も慶長刊論語集解のみに限ったものではない。しかしながら、私がここで何故に慶長刊論語集解に殊更拘泥してその訓読に焦点をあてようと考えたかの理由は、先に述べた展望の繰返しになるけれども、その一定の特殊な時期に出没したこの特殊な刊本に、書入れられた各伝本の訓読の様相にいくつかの共通な性格を如実に感じ取ることができるからに他ならない。そしてその性格を吟味することによって、本章の冒頭に述べた所の、この刊本と読者との関りや、ひいては読者が書入れるに至ったその要因をまでも推し測ることができるのではないかと考えたからに他ならない。

さて、それではとりも敢えず、本稿に解題した慶長刊本の書入れの実態を、次表によって総覧していただきたい。



訓読書入れの状況(墨筆訓)

	(13)	(12)	(11)	(10)	(9)	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)			
書陵部	岩瀬文庫	(下村生蔵)刊本	都立中央図	京都大学附属図	東洋文庫	静嘉堂文庫	慶長八年以前刊本	龍門文庫	東京大学総合図	成篁堂文庫	成篁堂文庫	斯道文庫	大東急記念文庫	東洋文庫	慶長一四年刊本	伝本
	全巻	全巻	序―巻五	全巻	全巻	全巻		全巻	全巻	巻一―五	全巻	全巻	全巻	全巻		箇所
	経	経注	経注	経注	経・一部注	経注		経	経注	経	経	経注	経注	経注		経注
	江戸初	江戸初	江戸初	江戸中後	江戸初 別筆・江戸前	慶長八年		江戸初	江戸初	江戸初	江戸初	元和一〇年	江戸初	江戸初		時代
	なし	なし	なし	清原宣光	なし	慶長八年瀧川忠征		なし	なし	宝暦二(後筆)	なし	なし	なし	なし		跋
	清家点	清家点	清家点	宣光加点点本	(江戸初)清家系	清原秀賢点点本		清家系	清家点	清家系	清家系					系統
	朱引・朱句	朱引・朱句		朱引・朱句						宝暦の後筆あり	江戸末の朱筆あり	朱・欄外書入多	朱引			他

(27)	(26)	(25)	(24)	(23)	(22)	(21)	(20)	(19)	(18)	(17)	(16)	(15)	(14)	
国会図書館(37)	大東急記念文庫	静嘉堂文庫	静嘉堂文庫 (市野本)	同 (ト47)	同 (ト50)	斯道文庫(ト51)	整版乙種	天理図書館	筑波大学附属図	成篁堂文庫	内閣文庫 (275・100)	国会図書館	都立中央図	東京大学総合図
全巻	全巻	全巻	全巻	全巻	全巻	序巻一首		全巻	全巻	全巻	全巻	序(巻五)	巻五—一〇	全巻
経注	経・一部経	経	経	経	経	経注		経注	経注 (注後筆)	経注	経注	経注	経	上冊・経注 下冊・経注
江戸前期	江戸前	江戸初	江戸初	江戸初 前	江戸前期	江戸前期		江戸初	江戸前 (注)江戸中	江戸初	江戸初	江戸前	江戸前	上冊・江戸初 前 下冊・江戸初
なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし		なし	坊城俊将 (後筆)	なし	なし	清原宣賢元奥書	なし	下・天正八年元奥 書
清家点	清家系	清家点	清家点	清家系	清家系			清家系	清家点(経)	清家点	清家点	宣賢点	(前筆)清家点	上冊清家系 下冊清家点
朱引	朱点	朱点朱引	別に市野迷庵校 合あり		後筆別手あり			後筆別手あり	朱ヲコト	後筆別手あり	朱ヲコト	朱ヲコト・朱引	書入朱筆のみ	下・朱ヲコト

(38)	(37)	(36)	(35)	(34)	(33)	(32)	(31)	(30)	(29)	(28)
都立中央図	都立中央図	天理図書館	龍門文庫	慶応義塾図	尊経閣文庫	東京大学総合図 (5801)	秋田県立図	筑波大学附属図	東北大学附属図	同 (152)
全巻	序―巻二	全巻	序―巻五	全巻	全巻	全巻	全巻	全巻	全巻	序―巻三 巻五―一〇
経	経注	経注	経	経 (ヲコト点ノミ)	経注	経	経	経	経注 (巻四以降)	前半経注 後半経
江戸前	江戸初	江戸初	江戸初	寛政二	江戸初―前	江戸前―中	江戸初	江戸後	江戸初―前 (注)江戸前	江戸前期
なし	なし	永正一七清原宣賢 元奥書	なし	永正一七清原宣賢 元奥書	慶長六年清家元奥 書	なし	なし	なし	なし	永正九・一七清原 宣賢元奥書
	清家系	宣賢点本		宣賢点本	清原国賢点本カ		清家系		(経)清家点	宣賢点
		朱ヲコト点		返・送・附訓は なし	朱引・朱句		朱点別筆		注は別筆あり	朱ヲコト

最も困難な調査課題、書入れ期の時代に就いてまずみてみよう。

館蔵本の寛政二年の三点のみである。寛政二年の書入れは朱のヲコト点のみの移点であるから比較の対象にはなりにくい、

その時期を明確に特定できるのは、静嘉堂文庫蔵本の慶長八年と斯道文庫蔵本の元和一〇年、それに、降って慶応義塾図書

墨筆訓点の墨痕を時代的な観点から見る場合、前二者のそれが有力な比較の対象となるわけである。



無論その時代判定には何ら科学的な証拠があるわけではないが、この二本の書入れ訓点の墨痕をもつて他本のそれを観るならば、殆んどが同時代、すなわち江戸時代初期頃の書入れに係るものと判断されるのである。川瀬一馬博士の所謂「開版後間もない頃」という時期に相当するのである。論語の講読は、しだいに新注本が主役となる趨勢であったから、古注本である慶長刊本はそれ以前の、従つて江戸前期以前の講読が主たるものであつたことは当然と言えば当然かも知れないが、このことはあらためてその当時の読書人の姿勢を浮彫りにする事実であると思われる。

加えて、次なる課題たる訓読の内容を通覧するならば、その大部分が清原家の訓点を受け継いだものであることが知られて、尚一層当時の講習の様子が明確に把握されてくるのである。室町時代、学問が武士等の間でも強固な骨格を形成する時にあつて、博士家の家読はなお秘密主義の裏に全盛をむかえていた。そして、漸くその家学を信奉する一部の人々によつて家点が残のまま移録されることが多くなり、博士家の筐底から家点が開放されてゆこうとする時期をむかえる。既に、清家の奥書等、由緒ある御墨付もなま、その読みが読書人の間で比較的自

由に、また変化を以て受け入れられるようになるに至つたのである。慶長を中心とした時代は、まさにこうした風潮を反映して、白文で出版された慶長刊本が歓迎されたのであつた。

その後、江戸時代を通じて種々な学者が種々な流派で論語を讀み下してゆくのであるが、その淵源を辿りきたれば博士家の点、即ち清家点にゆきつくのであつて、清家点こそが論語訓読の起点であると言つても過言ではあるまい。一時代を画した出版物に施された訓点が、かくもほぼ共通する、清家点によつて為されている状況を見るにつけ、このような事実を物語るに充分な証拠であると思わないわけにはゆかないのである。

そして更に、清原宣光加点本や、寛政二年の移点本等を見ると、江戸幕府が中心となつた儒学界の中で、根強く依然として清原家による論語集解の講読が行われていたことを知ることができる。古注から新注へというとらえ方よりも、むしろ清家から林家へと移行してゆく儒学界の動向に注目して考えてみるならば、このような清家本の成立と流伝は、時代の趨勢の底流に脈々と通じる文化の糸を感じせしめるものであつて、それはまことに端倪すべからざる持続力を有したものであつたと言ひ得るだろう。

さて、清家点そのものについては今後の課題として、慶長刊本に書入れられた訓読を、分別してゆく拠所となったのが、静嘉堂文庫蔵本の清原秀賢本である。勿論清家点本と称する写本は数多存在するが、写本と、刊本への書入訓点は、一概に比較してしまふのは些か問題があるので、今は写本を比較の対象には置かない。そして、この訓点と全く合致するものを「清家点」と称し、殆んど一致するものを「清家系」と称してみた。かなり異なる箇所がみうけられるものは何も記さなかった。とはいえ、以下に翻刻する斯道文庫蔵本の訓読によって知られるように、異なるとは言うものの、大勢は清家本の訓に同じく、全く別系統の訓というものではない。従って、むしろこうした、ある程度変化して受容された訓を見ることによって、より当時の論語訓読のあり方が明確に理解されるであろうと考えられるわけ、翻刻の意義もこの状況を把握していただく資たらんとするところにあると言える。

## 第二節 各伝本の訓読

以下に各伝本の書入れ訓読の特色を記す。既に概況は第一編第二章第二節に於いて述べた所であるが、総合的に原本を見直してみると尚、訂正を要することがらや、意義深い源流が明らかになる場合が多く、くり返し解説するには、こうした通覧という作業によって得られる、事実判断の凝縮的效果ともいべき意味があることを申し添える。

### (1) 東洋文庫蔵本（慶長一四年刊本・三―A/a―二八）

訓読は、全体として清家点にはほぼ同じと断じてよいが、細部に亘って、特に注の訓読にあつて、静嘉堂文庫蔵慶長八年以前刊本等の訓にはやや少異が見うけられる。無論甚だしく訓義を異にするわけではない。書入れの時期は、江戸初期頃と見てよいかと思う。

室町時代に盛んであつた古写本に施された訓読の整理を経るならば、この様な慶長刊本への書入れ訓点の源流について、もう少し詳しく分析できるのではないかと考えているが、今は大

まかに、これも清家本加點の変化した伝録本であろうとしておく。

(2) 大東急記念文庫蔵本（慶長一四年刊本・22/39/51）

経注に施された全巻に亘る訓點は、江戸初期から前期にかけてのものと思われ、「ゾ式」による訓読を行っている。大勢は清原家點の訓読と同じであるが、なお細部に行き亘るまでよく清家本の読みを受けついでるものではない。

「人ノ己ヲ知ラサルコトヲ患ヘサレ 己カ人ヲ知ラサルコトヲ患ヘヨ」（学而篇）

「朝ニ道ヲ聞テ夕ヘニ死ナハ（ヌトモ）可ナリ」（里仁篇）

「位無キコトヲ患ヘサレ 立ン所以ヲ患ヘヨ……」（里仁篇）  
等を例に取れば、そのことが理解される。こうした訓點本の存在は、当時にあつて多様な訓法が行われたという証と考えるよりは、やはり一系にたどり得る祖本の訓點から、派生的に生じた結果のあらわれと見る方が、妥当な理解であると考ええる。

(3) 斯道文庫蔵本（慶長一四年刊本・092-7-53-2・元和一〇

年加點本）

書入れは、全巻を通じて一人のものであると思われる。いくつか薄墨や欄外補説で、やや手を異にする感がしないでもない箇所もあるが、それとて同一人の筆違いである可能性もあり、又別人の手であつても極めて近しい者によるであろうと考えられる。附訓にあつてはこのような筆蹟についての問題點は特に存在しないと云つてよい。

ヲコト点こそないが、附訓は詳細を極め、この訓読に従えば、江戸初期頃に於ける論語読習の様子が如実に感得できるものと確信した。故にこれを忠実に書き下し、由来の明確な清家本点と由来は明確でないが清家本の点らしいものの代表的なものとの大まかな異同を注記してみようと試みたのである。もつとも、本冊への書入れもほぼ清家點に則しているかの如く察知され、間々、欄外注も清家論語抄に見えるものであつたりもする。読みは、「之」を読むこと多く、「謂——」を「謂——」と上から読み下す様な例が多いように思われる。注の読み就いては、明らかに清家點とは異なる個所がいくつか確認される。

この書入れ者「徳運」なる人物が、如何なる人物であるのか明瞭でないが、清家由来の証ある書入れと、やや距離を置くかにも見える本冊の書入れを詳細にみる時、依然として同じ範疇の

訓読に位置している大勢を感じ取って、慶長期を中心とした江戸初期頃の論語が如何にして受容されていたのかという問いに充分答えを見出し得るのではなからうか。又、同じく徳運の所持に係る正文のみの論語片仮名旁訓本も存在している。この旁訓本は、江戸初期刊本で、本冊の書入れと同じ読みを示している。(汲古書院「和刻本経書集成」第四輯参照)

本冊の第一冊表紙見返に次の如く書入れられている。

一、自<sup>ニ</sup>人皇第一神武天皇元年辛酉<sup>一</sup>至<sup>マテ</sup>人皇百九代今上皇  
帝元和十年甲子<sup>ニ</sup>二千二百八十四年<sup>ニ</sup>成<sup>ル</sup>也

一、釈迦入滅ヨリ至<sup>ニ</sup>日本人皇百九代當今元和十年甲子<sup>一</sup>二千  
五百七十三年<sup>ニ</sup>成<sup>ル</sup>也

これによりて、元和一〇年の頃に加點書入れられたものであろうと推定することができるのである。

欄外補注も、他の慶長刊本の書入れが殆ど訓点のみであるのに対して、これはかなり多く施されている。大部分は字義の解説であるが、「天台釈云性謂掘内自分不改云々」(為政)「中庸ニ宣タル性ハ天命本分ノ性ソ真如法性ソ、爰ニ云タ性ハ前早ノ持タル氣質ノ性ソ随縁真如ノ性ソ」(陽貨)等、釈家による解釈が見られるのが興味深い。

(4) お茶の水図書館成實堂文庫蔵本(慶長一四年刊本)

墨筆の訓点を静嘉堂文庫蔵慶長八年以前刊本に比するに、ほぼ同じものであつて、清家本の系統を受け継ぐと言える。時代は江戸初期、とはいへ、同文庫所蔵同版零本一冊の書入れの筆跡に比すると、やや降るように思われる。

(5) お茶の水図書館成實堂文庫蔵本(慶長一四年刊本零本一冊)

書入れは、江戸の初期、寛永を降らぬものと思われる。静嘉堂文庫蔵慶長八年以前刊本の訓法と一致し、経文のみなるも、清家本からの移点であると考えられる。奥書に見える宝曆の改点は、音読が多く「之」「也」を読むこと多く、「八佾<sup>シテ</sup>舞<sup>ス</sup>於<sup>レ</sup>庭<sup>ニ</sup>」を「八佾舞於<sup>レ</sup>庭<sup>ニ</sup>」、「居<sup>レ</sup>簡<sup>ニ</sup>而行<sup>ハハ</sup>簡<sup>ヲ</sup>無<sup>ニ</sup>乃大簡<sup>乎</sup>」を「居<sup>一</sup>簡而行簡<sup>ナラハ</sup>無<sup>ニ</sup>乃大簡<sup>ナルコトヤ</sup>乎<sup>ハ</sup>」と改めるが如きである。

(6) 東京大学総合図書館蔵本(慶長一四年刊本・5780)

書入れは、南葵文庫旧蔵本らしく、全く清朗な奥ゆかしい訓点が全巻に丁寧に施されていて、静嘉堂文庫蔵慶長八年前刊本

の訓点に比するに、全く同一で、清家点本の忠実な移点に係ることがわかる。奥書その他証とするものは無いが、開版後間もない頃の書入れであることは、墨痕より推察されよう。

(7) 龍門文庫蔵本（慶長一四年刊本・六一七・490）

経文のみであるが、斯道文庫蔵元和一〇年書入れと比するにほぼ同じく、江戸初期頃の清家系の読みを伝えたものであろう。

(8) 静嘉堂文庫蔵本（慶長八年以前刊本・8180.2.101.20・清原秀賢点本）

舟橋秀賢の加點本を忠実に移録したもので、慶長八年の移録に係る。訓点は、注文にあつてはやや「テニヲハ」を省く事が多くみうけられるが、舟橋秀賢の加點を知る上に於いても、慶長期に於ける論語講読の姿を知る上でも、大きな指標となる書入れである。

(9) 東洋文庫蔵本（慶長八年以前刊本・三一A/a一二六）

本冊への書入れ訓点は、非常に難しい。殆どの箇所が経文のみへの書入れであるが、巻一の6丁まで、又巻三・四には注文

にも訓点が施されている。更には、巻六以降の本文への訓法は、左右に二通りの附訓を施しているのである。一見すると、これらは全て一筆の墨訓に見えるが、子細にその筆使いや墨色を凝視すると、二手によるもので、注文への附訓と巻六以降の左側に施された附訓とは、それ以外の、経文のみに施された筆とは別筆と判断され、或はやや時代を隔てているものなのかも知れない。先に、経文のみに施されたものは、江戸初期の開版後間もない頃のものと思ふべく、後に、注文と巻六以降左側に附された附訓は、江戸前期頃と考えたい。訓法も、江戸初期のものには清家点本のそれにほぼ同じと言つてよく、注意すべき所と言へば「之」字を読む所が少々散見するということであらう。それに対して江戸前期頃のそれは、清家本と比するにやや違いが目立ち、巻六以降の附訓も、「マミヘシム」右「ミセシム」左、「トモカヲトトモニスルニ」右「トニクミスルニ」左、「スタレタルコト」右「スツルコト」左、「マツリニハ」右「マツルニハ」左といった、要するに読みぐせの違いと言ふべき相違を示している。劈頭「学而時」、先筆で「時ニ」と訓じ、後筆で「ヨリく」と訂しているの等を見ても、後筆は、清家系というよりは、道春点系に近いものと考えられるのである。

こうした二重構造の訓点は、訓読史上有益な資料となるわけで、更に幅広く訓読を検討してゆく過程に於いて、新たな問題提起の因となり得るであろう。

(10) 京都大学附属図書館蔵本（慶長八年以前刊本・T・66・ロ・

二・貴・清原宣光加點本）

書入れは、冊一末の識語（三十輯一六六頁参照）から、伏原宣光が加えたものと考えて良いかと思う。そうするとその書入れ期は江戸の中期末から後期に至る頃と推測されることになる。静嘉堂文庫蔵慶長八年以前刊本の書入れ等に比するに、全く同一の訓読を附している。経文注文の細部まで、ゾ式の訓読を忠実に伝えている。宣光の自筆とするならば、この時期、既に世は朱子学全盛で、林綿峯（信敬）、述齋等が大学頭として儒学界を鼓吹し、又、諸派學術の流行せる時にあつて、博士家による中世風の古注訓読が相変わらず綿々と継続されていたという事実が知れて、とりわけ興味深く思われるのである。

(11) 都立中央図書館蔵本（慶長八年以前刊本・青491）

序から卷五まで、経文注文にある書入れ訓点は、ゾ式で清家

点、江戸時代初期頃に施されたものと思われる。

(12) 岩瀬文庫蔵本（下村生蔵）刊本・100-40）

訓読は、奥書等による証がないが、清原家本のものと同じである。その書入れ期も開版後間もない頃か、降っても江戸初期寛永頃であろうと推測する。こうした、忠実に清家本によって奥書もそのままに存する移録本以外にも、忠実と言つて過言ではない程に清家点を伝える書入れが行われていたということは、如何に当時清家点が絶対的地位を占めていたかを如実に物語るもので、当然と言えばそれまでであるが、秘説として他家による閲覧は祖神の罰を受けようという程のものが、こうしてゆるやかに又確実に浸透していた姿は、当然として片付けてしまふにはいささか物足りない。

(13) 宮内庁書陵部蔵本（下村生蔵）刊本）

書入れは経文のみであるが、時代は江戸時代初期のものである。同版本の岩瀬文庫蔵本の書入れと、字風がよく似ているのは注目すべきで、共に「吉家／氏蔵」印を捺していることとも関わる事実なのかも知れない。静嘉堂文庫蔵慶長八年以前刊

本の書入れと比するにはほぼ同じで、清家点と目されよう。

「是ヲ以テ孝ト為レヤ」(為政篇)

「季氏カ宰ト為」(子路篇)

「之ヲシテ之ニ聞カシム」(陽貨篇)

「猶<sup>アラカシメ</sup>人ニ與フルコトノ各ナルカコトシ」(堯曰篇)

等が静嘉堂本との目につく相違点があるが、いずれも岩瀬文庫本の訓に一致していることが、なお興味深く観察されるのである。

#### (14) 東京大学総合図書館(下村生蔵)刊本・5829)

第一冊は経文のみに施されるもので、読み方はだいたい清家本のそれと同じと言って良い。濃淡数筆が重なっているようである。後筆のものが前筆の訓を直しているが、その時期はいずれも江戸初―前期のものに思える。更にその墨筆数手よりも新しい朱が少々含まれていて訓を直す。「巧<sup>ニシ</sup>言令<sup>スルハ</sup>色<sup>ヲ</sup>」を「巧―言令―色」と直す等である。その朱は江戸も後期のものである。

第二冊は全く第一冊とは別筆で、江戸初期の墨訓と朱ヲコト点が詳細に加えられている。「克己約身」(顔淵篇注)「約

を「ツ、ムルソ」、「悪<sup>レ</sup>悪<sup>レ</sup>著」(子路篇注)「著」を「アラハレタリ」と読む等、静嘉堂文庫蔵慶長八年以前刊本の訓点との少異は認められるものの、ヲコト点も含め清家点よりの移点であろうと考えられる。天正八年の元奥書も清家系のものに違いない。

#### (15) 都立中央図書館蔵本(下村生蔵)刊本・青492)

卷六から卷一〇までで経文のみに朱筆が前後二手。前筆は清家点を伝え、後筆はそれを訂するものである。いずれも江戸前期のものとして推測される。

#### (16) 国会図書館蔵本(整版甲種・WA7-220・清原宣賢元奥書)

訓点書入れの時代は、江戸前期頃と推定する。墨痕からして、慶長刊本の開版後間もない頃と覚しき書入れ群と比するに、やや時を降るように思われる。書入れの箇所は、序―卷三第七丁、卷四―五、それに卷六第一丁と、全体の約半分に満たぬ程であるが、宣賢加本本の元奥書を備える貴重な資料である。

#### (17) 内閣文庫蔵本(整版甲種・275-100)

本冊の書入れは、奥書その他由来を証すべきものがないが、ヲコト点を含めて忠実な清家本の移点である。注文の隅々までに施された附訓ヲコト点は、誠に読む者をして明解に至らしむるに足るものである。その時代も、開版後間も無い頃と推測され、「柯」なる蔵印が何を示すのかは不明であるが、同じく同文庫蔵の古活字版趙注孟子（別四八・二）にも押捺されているもので、その孟子の書入れ訓点が、やはり同文庫同版本の孟子（別四八・七）に書入れられた釈梵舜の清家点に類似せること（拙著「古活字版趙注孟子校記」論集第二八輯所載）をあわせ考えるならば、本冊の書入れも、或は同時期に清家本に拠りて訓読したものかも知れない。

(18) お茶の水図書館成篁堂文庫蔵本（整版甲種）

朱によるヲコト点も墨筆の訓も、同時期のものと思われ、「開版後間もない頃」（川瀬博士）のものである。静嘉堂蔵慶長八年以前刊本等の書入れに比するに、読法は全く同一である。従ってやはり清家本からの移点である。

但し、墨筆の書入れに後出の別手が加わっている。墨痕から察して、江戸も中期以後のものと思われるのであるが、その手

が、先の訓法を改めているの等は、訓法史の貴重なる資料であると言ふべきであろう。例えば、「子罕言<sup>マレフ</sup>利<sup>ヲトモシ</sup>與<sup>トス</sup>命<sup>ユルシ</sup>與<sup>ユル</sup>仁<sup>ス</sup>」を「子罕言<sup>マレフ</sup>利<sup>ヲトモシ</sup>與<sup>トス</sup>命<sup>ユルシ</sup>與<sup>ユル</sup>仁<sup>ス</sup>」を「先進<sup>ス</sup>於<sup>ニ</sup>礼<sup>ニ</sup>樂<sup>ニ</sup>野<sup>ノ</sup>人<sup>ナリ</sup>也<sup>ト</sup>」を「先進<sup>ス</sup>於<sup>ニ</sup>礼<sup>ニ</sup>樂<sup>ニ</sup>野<sup>ノ</sup>人<sup>ナリ</sup>也<sup>ト</sup>」と改める等である。かなりの読みの違いを示しているが、注文には及ばず、経文のみにとどまっている。

(17) 筑波大学附属図書館蔵本（整版甲種・ロ-860-16）

この書入れも非常にやっかいである。先の第一編第二章第二節に述べたことがら、即ちこの書入れは全て同時一筆のものであろうとしたのは全くの誤りであった。子細にその書入れを点検すると、次のような状況であることがあらためて確認された。

まず、江戸前期頃に施されたと思われる経文のみへの訓点。これは清家点の読みと言つてよい。更に、巻一―四までの経・注にその同じ頃と考えられる朱のヲコト点が施されている。その点は経伝によるものである。そしてそれよりも時代が降つて江戸中期頃、坊城俊将と思しい手で、経文の前筆の訓を訂し、又注には附訓を墨・朱二様で加え、更に少々ヲコト点をも加えて、欄外には朱熹注等を書入れている。「老」に「オヒンタリ」とあるのを「ンタリ」を白抹して「ヌ」と訂したり、「婦」に



「オクレリ」とあるのを「リ」を白抹して「レ」を「ル」に訂したりする等の細かいものから「罕言利與命與仁」を訂して「罕言利與命與仁」と訓じたりする大きなものに至るまで、種々に訂してある。それは、現在一般に読まれる様な訓に、より近いものと感じられるのである。

(20) 天理図書館蔵本（整版甲種・123・31-1）

本文内への書入れ訓点は、江戸初期のものと同認められ、静嘉堂文庫蔵本（慶長八年前刊本）の訓と比するに、ほぼ同じ訓点を示している。従って、清家点本よりの移点と見做してよいと思われる。なかに、清家点本とは異なる訓もみられる。例えば、「不学則殆」（為政）の「殆」に「ヲコタル」、「牲生曰餼」（八佾注）に「牲生」、「植其杖而芸」（微子）に「植」其杖而芸、「簡在帝心」（堯曰）に「簡」在帝心」と附訓する等の例がみられる。又、「之」を「コレ」と読む所が繁見することも特徴的と言える。要は、清家点を基礎としながら、幾何かの変化を加味した江戸初期特有の訓法であると判断されるものである。

附言するならば、欄外書入れの別筆によって、この本文書入

れ訓に訂・加を施す箇所も見られ、例えば、「知者利仁」（里仁）を「仁ヲムサホル」と読むの等、かなりくだけたと言うべきであろうか、そうした訓を示している。

(21) 斯道文庫蔵本（整版乙種・B1-151-2）

僅か序と巻一首一葉のみに墨筆の附訓がなされているだけで、他に、巻二末まで朱の返点のみ。これだけでは何とも判断できないが、清家点との大きな差は見られない様だ。書入れ期も江戸前期頃と推測される。

(22) 斯道文庫蔵本（整版乙種・B1-150-2）

書入れ期は、附訓が江戸前期、それに江戸中期以降の朱墨による校合欄外批とに分別できよう。訓読は、「之」を積極的に読む箇所が多く見うけられるが、大勢は清家点系の附訓に一致する。やや粗雑な書入れに見えるが、由緒ある点本を忠実に移訓した跡が仮名使いや附訓のはしばしに窺える。

(23) 斯道文庫蔵本（整版乙種・B1-147-1）

訓読は、経文のみであるが、他の清家系書入れに比するに全

く同じであり、中に「唐本」等という校合も散見することから、清家本からの移点であることは明らかである。墨筆に濃淡二様あるが、同筆と思われる。その時期は江戸初期から前期ぐらいであろう。

(24) 静嘉堂文庫蔵本（整版乙種・8182\101\20）

経文のみに加えられた訓は、慶長八年の書入れ（同文庫古活字版のもの）と比するに、全く同じ訓で、細い筆で為されたこの書入れは開版後間もない江戸初期のものと思われる。先に、第一編第二章第二節でこれを市野迷庵のものであろうかと推測したのは、全くの誤りである。

(25) 静嘉堂文庫蔵本（整版乙種・8180\101\20）

これも経文のみの書入れであるが、慶長八年の書入れと全く同じ訓であり、清家本の忠実な移点であろうと考えられる。やや粗雑な筆使いに見えるが、墨痕から前掲本と同じ頃に為されたものと思われ、江戸初期のものと思われる。

(26) 大東急記念文庫蔵本（整版乙種・34\9\618）

主として経文のみ、部分的に注文にも書入れ訓点があり、巻一首・巻六以降（巻九・一〇は除く）がそれにあたる。他の清家本と比するに、やや粗なる移点であるが、清家証本をもとにしたものであろうと考えられる。書入れの時代はやや降って江戸前期ぐらいと判断される。

(27) 国会図書館蔵本（整版乙種・WA-7-37）

書入れの時代は江戸前期。全巻の経文注文に亘っている。奥書その他なけれども、その訓読は、静嘉堂文庫蔵慶長八年以前刊本の書入れに比するに、全く同一と云ってよく、やはり清家本からの移点であることは明らかである。

(28) 国会図書館蔵本（整版乙種・WA-7-152・清原宣賢元奥書）

この書入れも、本館蔵整版甲種（WA-7-220）のものと同じく、江戸前期のものと考えられる。序々巻三第二丁には、経文注文ともに加點されているが、巻五一一〇にあっては経文のみと云ってよく、注文への加點は少々見うけられる程度である。宣賢手写手定の論語は、経文のみの零本があるのみで、転写本によってその全貌を知ることができる（いずれも京都大学清家

文庫蔵)が、なお、こうした移点本の存在によって宣賢点の姿を確認することができるというのは洵に意義深いことと言えよう。

(29) 東北大学附属図書館蔵本 (整版乙種・阿15-129)

本冊の書入れは、経文と注文とで筆を異にする。そして、本文は全巻に亘っているが、注文のそれは巻四の11丁目以降に施され、更には、巻九の3丁目あたりからの訓点は、経文のそれと同筆とみられる、等やや複雑な成立過程が予想されそうである。

本文の訓は、「ソ式」であつてはほは清家点と目され、江戸時代の初期頃のものであろう。清家点と異なる訓を示している箇所は、後筆によって巧みに書きかえられたものである。

注文の、経文と別手にて加えられた訓は、清家点そのものの移点とは云いがたく、ある程度変化を経て後の形を残すものと云えよう。例えば、「天固ニ大聖之徳ヲ縦ホシイマニス」(子罕篇注)、経文は「縦ユルセル」と訓ず。「人ト成ラサルコトヲ恤メクシテナリ」(同)、清家点は「恤ウレフルナリ」と訓むのである。「意ヲ徙ホシイマニス」(顔淵篇注)、清家点は「意ヲ徙ウツシテ」、「色ノママニ斯ココニ拳ス」(憲問篇注)、清家

点は「色ノママニ斯ココニ拳ス」とするの等、その相違は目立って多い。総じて、この別手も経文の書入者とさ程時を経ぬ頃のものと思われるが、江戸前期頃と断じて大誤なからうかと思われる。

(30) 筑波大学附属図書館蔵本 (整版乙種・ロ-860-15)

経文のみに江戸後期頃に係る書入れが施され、例えば、「思無シ邪」(巻一)「射不ハ主皮ノミナラ」(巻二)「雍也ヤ可レ使ニ南面セ」(巻三)「子罕ニ言フ利ト與レ命ト與レ仁ト」(巻五)「未レ成ニ一一簣ヲ止ル吾レ止ル也」(巻五)と言つた具合で、これは清家点とは異なる、時代の降つた訓法である。

(31) 秋田県立秋田図書館蔵本 (整版乙種・86-51)

書入れは経文のみに施され、序と巻一首のみに朱の後筆(別筆)で、注にも書入れている。その経文のみの墨筆は、江戸初期のもので清家系の訓を示している。細部に亘つては、変化がみられるものの、全体として博士家の訓に依拠したものと総括されよう。

例えば、「志ヲ于リ学ニ」(為政)は清家本「志ヲ于リ学ニ」であつて、「処ハ約シ」(里仁)は清家本「セハシキニ」と訓むような例。

かかる少異は、訓読受容が比較的柔軟に行われたことによる変化を示すもので、大綱は清家点の移点本に比するに、同一線上に在ると判断することができるというわけである。

朱筆は墨筆の訓を訂しているものでそれよりは時代が降るようであるが、訓読は「ゾ式」を用いている。この朱筆を、第一編第二章第二節に於いて、旧蔵者根本通明博士の手であろうと記したが、誤りである。

また、墨筆で「唐本」との校合が書入れられているが、訓点とは別筆でやや時代が降るものとみられる。

(32) 東京大学総合図書館 (整版乙種・5801)

経文のみで、書入れ期は江戸時代前期—中期頃と考える。

「雍也」(雍也篇)を「雍ハ」「雍ヲハ」と読む清家系に対して、「雍ヤ」と読む「也」の訓読、「之」を積極的に読み下すこと、「子罕言<sub>レ</sub>利與<sub>レ</sub>命與<sub>レ</sub>仁<sub>ト</sub>」(子罕篇)の読法等、明らかに清家系の訓点とは一線を画するものとみられる。

(33) 前田育徳会尊経閣文庫蔵本 (整版乙種・清家慶長六年元

奥書)

本冊は、かなりの後印に属するので、その書入れの時代も江戸時代初期から前期にかけて、やや広範な時期を考える必要がある。訓読は全く静嘉堂文庫蔵本慶長八年以前刊本に同じと言って良いが、テニヲハ等のカナを省く所も多く見うけられる点、或は祖本にヲコト点が付されたかも知れぬと想像される。また、訓読以外に、他本との校合が加えられている所が、他の書入れ本との違いである。カナ使いも、サをヒと記す如く、古体を用いる箇所もみられるのは、内閣文庫蔵整版甲種(275-100)の書入れに類似の現象である。

(34) 慶応義塾図書館蔵本 (整版乙種・175-391)

ヲコト点による清原宣賢点の移録がこの書入れの主たるものであるが、この書入れ以前に墨筆による訓点が施されていた様で、それを白塗して後にヲコト点を加えたものである。永正九・一七両年の奥書を有する宣賢点本は、転写本が京都大学附属図書館清家文庫に所蔵され、それは伏原宣光の所持本であった。宣光の門人たる本ヲコト点の移録者佐野山陰は、こうしたテキストを借覧したものであらうと想像される。

(35) 龍門文庫藏本（整版乙種・五一六(381)）

これも経文のみの書入れで巻五までしか伝えない。時代は江戸初期であろうが、斯道文庫蔵元和一〇年書入れ本と比するに、異なる読みを示している。「曾」（為政）を「スナハチ」、「何為」（ク）を「イカンカタメカ」、「戚」（八佾）を「イヤシカリキ」と読んだり、音訓の異説、「之」を読む等細部に亘っては多くの違いが目立つ。勿論訓義が大きくかけ離れるような相違点ではない。

(36) 天理図書館藏本（整版乙種・123-1-1）

書入れ訓点は、清原宣賢永正一七年の奥書本の忠実な移点で、全巻一筆、江戸初期のものと考えられる。国会図書館藏本（M A-7-152）の移点と全く祖本を同じくするが、国会本は巻五で途切れているので、全貌を見る上でも本冊の価値は高い。宣賢点の詳細は、いずれ古鈔本との関連も踏まえて明らかにする予定。

(37) 都立中央図書館藏本（整版乙種・青471）

書入れの附訓はかなり詳密であって、ゾ式の訓である。

リンギョクカクジテイキツ  
論語学而第一

子ノノケマクマナシテキナラフ  
子曰 学而時習之 不亦説乎

という具合であって、慶長時代頃出版された正文のみの総附訓本と類似せる如くである。巻二までの一部分のみながら、訓は清家点に類し、恐らく、江戸時代初期頃に博士家点本を忠実に移点せんとしたものであろうと考えられる。異本の校合や解注等、そうした校定本を祖としたことを思わしめる書入れである。

(38) 都立中央図書館藏本（整版乙種・青481）

経文のみの訓は、江戸前期頃の書入れと思しく、点は既に清家点系とはかなり懸隔があるようである。  
子曰学而時習之 不亦説乎  
一 一言以蔽之 曰思無邪  
カウテワタクシニルラニス  
克己 復礼為仁  
といった具合である。

## 第二章 翻刻——斯道文庫本による訓読

### 凡 例

- 一、本訓読文は、楠本碩水・三井家旧蔵斯道文庫現蔵慶長一四  
年古活字印本に附された元和一〇年頃の書入れ訓点を、忠実  
に読みくだし、それに幾つかの、同時代頃と推測される、他  
の慶長刊本に附された訓点との校異を示したものである。
- 一、校異に使用した各本の略号は、静本（静嘉堂文庫蔵慶長八  
年以前刊古活字印本）岩本（岩瀬文庫蔵〔下村生蔵〕刊古活  
字印本）京本（京都大学附属図書館蔵慶長八年以前刊古活字  
印本）内本（内閣文庫蔵整版甲種）洋本（東洋文庫蔵慶長一  
四年刊古活字印本）のそれぞれに該当する。
- 一、何晏の集解は、経文より一格を低した。
- 一、字体は特殊な場合を除き、旧字体を用いない。
- 一、訓読は全て墨筆で加えられた書入れに依るが、句点は朱で  
為されたものである。又、朱の人名符等は全て省略に従う。

一、文中、「中一壘」は連合符、「号」は音読、「善」は訓読、  
「而」世は両字とも訓読。

一、附訓をルビにするか本文並にするかの判断は不統一を免れ  
ないが、原典に近く、しかも読みやすいようにと心掛けた。

一、片仮名の訓のうち、「フ」「ノ」「ク」「ナリ」「子」「片」に就  
いては、それぞれ「コト」「シテ」「ナリ」「トキ」「ネ」「ト  
モ」に置きかえた。

一、推定を以て補った場合は、全て「」を以てかこんだ。

一、虚字は、特に振仮名や連合符等のある場合を除き、不読に  
従う。ただ振仮名が無くとも訓読が必要と判断されるものは、  
へを以てかこんだ。また、否定字等は振仮名を施さない

ものが多いため、その場合（）を以てその字の訓を補した。

一、各巻内の章は、「校勘編」と対照できるように、原則とし  
て阮元十三経注疏本の章句に従った。各章の首に番号を加え、  
第何章であるかを示し、（）内に全巻通しの番号を示した。  
公治長第五以下については、上段は注疏本により、下段は主  
熹集注本（呉志忠校本）による分章番号である。

論語序

叙シテ曰ク。漢ノ中一壘校一尉劉向カ言ク。魯ノ論語ハ二十篇。皆孔子ノ弟子。善言ヲ記セリ。太子ノ太傅。夏侯勝。前將軍。肅望之。丞相。韋賢。及子玄成等伝タリ。齊ノ論語ハ二十二篇。其ノ二十篇ノ中ノ章句。頗ル魯一論ニ多。瑯琊ノ王卿。及膠一東ノ庸生。昌一邑ノ中一尉王吉。皆以テ教タリ。故ニ魯論有リ。齊論有リ。魯ノ共王ノ時ニ嘗孔子ノ宅ヲ以テ宮ニ為。欲シテ。壞トキニ古文論一語ヲ得タリ。齊論ニハ問王知道有リ。魯論ニ多ルコト二篇。古論ニハ亦此ノ二篇無シ。堯曰ノ下ノ章。子張問ト云ヲ分ツテ。以〔テ〕一一篇ト為。兩ノ子張有リ。凡テ二十一篇。篇ノ次テ齊魯論（ト）同カラ（ス）。安昌侯張禹。本ト魯論ヲ受テ兼テ齊說ヲ講ス。善ニハ從。号シテ張侯論ト曰フ。世ノ為ニ貴〔ヒ〕所。包氏周氏章句出セリ。古論ニハ唯博一士孔安國訓一說為。而世伝ヘス。

順帝ノ時ニ至テ。南一郡ノ太守馬融亦訓說為。漢ノ末ニ大司農鄭玄魯一論ノ篇章ニ就テ。齊古ニ考ヘテ。以テ註為。近故司一空陳一羣。太一常王一肅。博一士周一生一烈。皆義說為。前世ニハ伝テ師一說ヲ受タリ。異一同有〔ト〕雖〔トモ〕。訓解為〔ラ〕（ス）。中一問訓解為。今ニ至多シ。見〔タル〕所同〔カラ〕（ス）。互ニ得一失有リ。今諸一家ノ善說ヲ集テ其ノ姓名ヲ記ス。安カラ（サ）ルコト有ヲハ。頗ル為改メ易フ。名テ論一語集一解ト曰フ。光祿大夫関内侯臣孫邕。光一祿大夫臣鄭一冲散一騎常一侍中一領一軍。安一卿亭一侯臣曹羲。侍中臣荀顛。尚書駙馬都一尉関内侯臣何晏等上ル

論語学而第一

1 【学而時習之章】

子ノ曰。学シテ時ニ習フ。亦說〔コハシカラ〕ス乎。馬融曰。子ハ男一子ノ通一称。謂ク孔子。王肅曰。時

トハ学一者ノ時ヲ以〔テ〕誦一習〔ス〕ルソ 誦一習  
〔ス〕ルニ時ヲ以テ学テ業ヲ廢ルコト無シ 所<sup>3</sup>以ニ  
説一擇ト為<sup>エキ</sup>

朋遠方自來ルコト有リ。亦<sup>タノシカラ</sup>楽<sup>スヤ</sup>ス乎。

包氏曰。門ヲ同ヲ朋ト曰

人知<sup>シラ</sup>ス。而<sup>シカル</sup>ヲ慍<sup>イカラ</sup>（ス）。亦君一子ナラ（ス）乎。

慍ハ怒一也 凡<sup>レ</sup>人知〔ラ〕（サル）所有トモ君一子  
ハ慍<sup>イカラ</sup>ス。

## 2 【其為人也孝弟章】

有子カ曰。

孔安国曰ク。弟一子ノ有一若ナリ

其レ人ト為<sup>ナリ</sup> 孝一弟ニシテ。上<sup>カミラ</sup>犯サント好者ノハ鮮<sup>スクナシ</sup>。

鮮<sup>センハ</sup>少一也 上トハ凡ソ己<sup>オノレカ</sup> 上ニ在〔ル〕者ヲ謂フ

言ハ孝一弟ノ人ハ必〔ス〕恭一順ヲ好テ其ノ上ヲ犯サ

マク欲〔スル〕者ノハ少シ

上ヲ犯ント好<sup>コノマ</sup>スシテ。乱<sup>ヲコサントコノム</sup>ヲ作 好者ノハ未タ有シ。

君一子ハ本<sup>モトヲツト</sup>務ム。本<sup>タツテミチ</sup>立道<sup>ナル</sup>生

学而

本ハ基 基立〔テ〕後ニ大成〔ス〕可シ

孝一弟ハ其レ仁ノ本與<sup>モトカ</sup>

先<sup>ツ</sup>能〔ク〕父一兄ニ事テ然 後ニ乃仁成可シ<sup>ナル</sup>

## 3 【巧言令色章】

子ノ曰ク。言<sup>コトヲク</sup>巧ニシ色ヲ令<sup>ヨクスルハ</sup> 仁アルコト鮮<sup>スクナシ</sup>

包氏曰。言ヲ巧トハ其ノ言一語〔ヲ〕好<sup>ヨ</sup>ソ 色ヲ令ト

ハ其ノ顔一色ヲ善ソ 皆人ヲシテ説ハシメマク欲ハ<sup>7</sup>之

レ能<sup>ツ</sup> 其ノ仁少〔シ〕

## 4 【吾日三省吾身章】

曾子カ曰。

馬融曰。弟一子ノ曾參ナリ

吾日<sup>ワレヒ、ニヒカ</sup>三省<sup>ヲカヘリミルニ</sup> 人ノ為謀<sup>タメニハカリテ</sup> 而<sup>シテ</sup> 忠アラス乎。朋一友<sup>ユウ</sup>

ト交<sup>マシハリ</sup> テ信アラス乎、習ハ〔サ〕ルヲ伝<sup>ツタヘンヤ</sup> 乎。

言ハ凡ソ伝〔フル〕所ノ事素<sup>モトヨリ</sup> 講習〔セ〕（ス）ト云

コト無〔ク〕伝コトヲ得〔ン〕乎

## 5 【道千乘之国章】

子ノ曰。千一乘ノ国ヲ道<sup>ミチヒクコト</sup>



馬融曰。道クトハ政一教トヲ為ヲ謂。司馬法ニ。六一尺ヲ歩ト為。歩百ヲ畝ト為。畝百ヲ夫ト為。夫三ヲ屋ト為。屋三ヲ井ト為。井十ヲ通ト為。通十ヲ城ト為。

城ヨリ革一車一乗ヲ出〔ス〕。然則千一乗ノ賦ハ。

其ノ地千一成ナリ。居一地方三一百一十六里。有畸

ナリ。唯公一侯ノ封。乃能容。大ノ国之賦ト雖〔ト

モ〕亦是二過〔ス〕。包氏曰。道ハ治一也。千一乗ノ

国ハ。百一里之國。古ニハ井一田方一里ヲ井ト為。井

十ヲ乗ト為。百一里ノ国ハ。千乗二適。馬融ハ周礼

〔二〕依ル。包氏ハ王制カ孟子ニ依ル。疑故二兩ヲ

義ヲ存ス

事ヲ敬。而シテ信アリ

包氏曰。国ヲ為者ノハ事ヲ挙ルニ必敬慎アリ。民ト

必誠一信アリ

用ヲ節シテ人ヲ愛

包氏曰。用〔ヲ〕節トハ奢一侈アラ〔サ〕ルソ。国ハ

民ヲ以〔テ〕本ト為。故〔二〕愛一養ス

民ヲ使。時ヲ以ス

包氏曰。民ヲ作コシ使フニ必ス其ノ時ヲ以テシテ農ノ務メヲ妨一奪〔セ〕〔ス〕

6 【弟子入則孝章】

子曰。弟一子入テハ則チ孝アリ。出テハ則チ弟アリ。

謹。信アリ。汎衆ヲ愛シテ仁ヲ親。行余一力有ト

キハ。則以テ文ヲ学ブ

馬融曰。文ハ古ノ遺一文ソ

7 【賢賢易色章】

子夏カ曰ク。賢賢ラントナラハ色ヲ易

孔安国曰。子夏ハ弟子ナリ。ト商ソ。言ハ色ヲ好ム心

ヲ以テ賢ヲ好マハ則善

父一母ニ事。能ク其力ヲ竭。君ニ事。能ク其ノ身

ヲ致ス

孔安国曰。忠一節ヲ尽シテ其ノ身ヲ愛セ〔ス〕

朋一友ト交リ言。信有未タ学ヒスト曰〔ト〕。雖トモ吾レ

ハ必ス之ヲ学タリト謂。

8 【君子不重章】

君一子重フモカラ（サ）ルトキハ則チ威アラス 学モ則チ固17カタカラス

孔安国曰。固ハ蔽一也 一ニハ曰ク 言ハ人敢一重カラ（サル）トキハ既ニ威無シ 学モ又堅一固ニ其ノ義一理ヲ識コト能（ハ）（ス）

忠一信ヲ主トシテ已フノレニシカ 如サル者友トスルコト無レアヤマテハ 過 則チ改アラタムルニ 憚ルコト勿レ

鄭玄曰。主ハ親一也 憚ハ難一也

9 【慎終追遠章】

曾子カ曰。終リヲ慎ツ、シミトオキラ 遠ヲフトキハ 追 民ノ徳厚キニ帰18カヘル

孔安国曰。終ヲ慎ムトハ喪ニ其ノ哀ミヲ尽ス 遠（ヲ）

追トハ祭りニ其ノ敬ヲ尽ス 人一君此ニ一者ヲ行トキ

ハ民其ノ徳ニ化シテ皆厚アツキニ 帰（ル）

10 【夫子至於是邦也章】

子禽 子貢ニ問テ曰ク。夫一子是ノ邦至ルトキハ必ス

其ノ政 聞 求 與 抑 與 與

学而

鄭玄曰。子禽キンハ 弟一子陳カウ 亢カウソ。子貢ハ弟子。姓ハ端タン一木。名ハ賜。字ハ子貢。亢怪カウアヤシフラク 孔子ノ至（ル）所ノ邦ニ。必（ス）其ノ国ノ政ヲ與アツカリ 聞クコトハ。求テ之（ヲ）得（ル）邪ヤ。抑モ人一君ノ自ミ。願ネガヒ 與ヘテ治スルカヲ為邪

子貢カ曰。夫一子ハ温ウヤマフ 良ウヤマフ 恭ウヤマフ 檢ウヤマフ 讓ウヤマフ 以 得コレヲモテタリ。夫一子ノ求メハ其人ノ求メニ異ソレナリ

鄭玄曰。言ハ夫一子此ノ五一徳ヲ行ヒ之19（ヲ）得タリ 人ノ求ト異ナリ明ケシ 人一君ノ自（ヲ）願一與テ治ヲ為ト云コトソ

11 【父在觀其志章】

子ノ曰。父在マストキハ其ノ志ヲ觀ミル 父没ホツシヌルトキハ 其ノ行ヲ觀ル

孔安国曰。父在マスト（キ）ハ。子自（ヲ）專ホシ（イマ マニ）スルコトヲ得（ス）。故ニ其ノ志ヲ觀ルラク而

已ミ。父没シヌルトキハ乃其ノ行ヲ觀（ル）

三一年父ノ道ヲ改アラタムルコト 無キヲ孝ト謂可シ

孔安国曰。孝一子喪ニ在テ哀慕テ猶父ノ在トキノ若クシテ父ノ道ヲ改〔ムル〕所無シソ

12 【礼之用章】

有子カ曰。礼ノ用ハ和ヲ貴シト為先一王ノ道モコレヲヨシト斯美為小一大ニモ由モチユルニ行レ〔サ〕ル所口有リ。和ヲ知テ和スレトモ礼ヲ以テ節セ〔サ〕レハ亦行ハル可〔ラ〕〔ス〕

馬融曰。人礼ノ和ヲ貴コトヲ知テ而事毎ニ和ニ従ヘトモ礼ヲ以テ節為〔サ〕レハ亦行フ可〔ラ〕〔ス〕

13 【信近於義章】

有子カ曰。信ヲハ義ニ近フセヨコトフクスヘシ言復可復覆猶〔シ〕。義ニハ必シモ信アラ〔ス〕。信ニハ必モ義アラ〔ス〕。其ノ言ノ反一覆ス可ヲ以ノ故ニ義ニ近セヨト曰

恭礼ニ近ヨ 恥辱遠ケウヲハ カチハ トツサカル

包氏曰。恭ノ礼ニ合〔サ〕ルハ礼ニ非〔ス〕 其能恥辱ニ遠ルヲ以ノ。故ニ礼ニ近ヨ〔ト〕曰

因スルコト其ノ親ヲ失ハ〔サ〕ルヲハ亦宗可ソウスヘシ

孔安国曰。因ハ親也。言ハ親スル所其親ヲ失〔ハ〕〔サル〕ヲハ亦宗一敬〔ス〕可〔シ〕

14 【君子食無求飽章】

子曰。君一子ハ食ク飽アカント求ルコト無ナク居安キヨヤスカラント求ルコト無ナシ

鄭玄曰。学一者ノ志シ。暇〔アラ〕〔サ〕ル所口有リ。事敏言慎シム。有一道ニ就正ツイテクニスラ学好ムト謂可ク也イフ已

孔安国曰。敏ハ疾一也。有一道ハ道一徳有〔ル〕者ソ。正トハ事ノ是一非ヲ問ヲ謂

15 【貧而無詔章】

子貢カ曰。貧シテ詔ヘツラフコト無ク富テ驕ヲコルコト無ンハ何如ン。子曰。可ナリ

孔安国曰。未タ多シトスルニ足〔ラ〕〔ス〕

未タ若シ貧シテ道ヲ樂タノシム富テ礼ヲ好者ノニハ鄭玄曰。樂トハ道ニ志シテ貧賤ヲ以〔テ〕憂ヘ苦ト

為(サル)ヲ謂

子貢カ曰ク。詩ニ云クセツスルカ切キル如クサ磋ミカキスルカ如クタケ琢ミカクカ如クミカク磨バカ如シト云ハ其斯ソレコレライフ謂カ

孔安国曰。能貧シテ道ヲ樂ヒ富テ礼ヲ好ム者ノハ能ク自ミ〔ラ〕切ミ一ミ磋琢ミ一ミ磨スル者ノナリ

子曰、賜シ始メテ與トモニシ詩言可イフヘカクノ已ミ矣24コレ諸レ往ラ告ルニ而モ来ライラ知ル者ノナリ

孔安国曰。諸ハ之シ一也 子貢詩ヲ引ヲ知テ以テ孔子ノ義ヲ成ス。善ク類ヲ取ル故ニ然ス 之コレラ往ラ之ニ告スルニ貧シテ道ヲ樂フト云ヲ以レハ来一答ルニ切一磋琢一磨ヲ以スル者ノナリ

16 【不患人之不己知章】

子曰。患ヘ(サ)レ人ノ己レヲ知(ラ)(サ)ルコトヲ患ウレヘヨ己レカ人ヲ知(ラ)(サル)コトヲ

論語為政第二

1 (17) 【為政以德章】

学而 為政

子ノ曰。政コトヲ為スルニ徳ヲ以ス 譬ハ北一辰ノ其所ソノ二居ニテ衆一星ノ共ケウスルカ如シ

包氏曰。徳ハ無一為 譬ハ北一辰ノ移ラ(ス)シテ衆一星ノ共スルカ猶(シ)

2 (18) 【詩三百章】

子曰。詩三百

孔安国曰。篇ノ大一數

一一言以コレラモテアツ蔽

包氏曰。蔽ハ當ノ猶シ

曰ク邪ヨコシマ無ンコトヲ思ヘ

包氏曰。正(二)一帰セヨ

3 (19) 【道之以政章】

子曰。道ヒクニ政ヲ以シ

孔安国曰。政トハ法教ヲ謂

齊ト、ノフルニ刑ヲ以スルトキハ

馬融曰。齊一ト、ノヘト、ノフルニ整 刑一罰ヲ以ルソ

民マヌカレントシテハチミ免 恥無シ

為政

孔安国曰。苟モ罪ニ免ル、ソ

道クニ徳ヲ以シ

包氏曰。徳トハ道德ヲ謂

齊ルニ礼ヲ以ルトキハ恥有テ且格マクダク、シ

格ハ正一也

4 (20) 【十有五而志于学章】

子曰。吾レ十有五ニシテ学ニ志ス 三十ニシテ立タツ

成 立ル所有ソ

四十ニシテ惑マドハ(ス)

孔安国曰。疑 惑(ハ)(ス)

五十ニシテ天一命ヲ知(ル)

孔安国曰。天一命ノ終リ 始ヲ知(ル)

六十ニシテ耳 順

鄭玄曰。耳 順トハ其言ヲ聞テ其微一旨ヲ知ル

七十二シテ心ノ欲ホッスル 所ニ従ヘトモ矩躒ノリヲコヘ(ス)

馬融曰。矩ハ法一也 心ノ欲ル所ニ従モ非一法無シ

5 (21) 【孟懿子問孝章】

孟懿子孝(ヲ)問

孔安国曰。魯ノ大一夫仲一孫何一忌ソ。懿トハ諡シ。

子曰。違タカフコト 無レ 樊遲御タリ。子告曰。孟孫孝ヲ我ニ

問フ。我对 曰。違コト無レ

鄭玄曰。孟孫違コト無ノ意ヲ曉ラ(ス)シテ。将ニ樊

遲ニ問ントス故ニ。告ク。樊遲ハ弟一子ノ樊須ソ

樊遲カ曰。何 謂ナント。子曰。生 事マツルニ礼ヲ以ス。

死トキハ葬ハムルニ 礼ヲ以ス。祭ルトキハ礼ヲ以ス。

6 (22) 【孟武伯問孝章】

孟武伯孝問(フ)。子曰。父一母ニハ唯其疾 憂ソレヤマイノウレヘラノミセシム

馬融曰。武伯ハ懿子カ子仲孫儀 武ハ諡。言ハ孝一子

妄 非ヲ為(ス) 唯疾一病アルトキニシテ然 後ニ

父一母ヲ憂ヘ使ム耳

7 (23) 【子游問孝章】

子游孝問(フ)

孔安国曰。子游ハ弟子。姓ハ言。名ハ偃エン

子曰。今ノ孝ハ是レ能 養ヲ謂フ 犬一馬ニ至マテ皆

能養フコト有り 敬セ(ス)ンハ何 以カ別<sup>ン</sup>乎<sup>ヤ</sup>

包氏曰。犬ハ守一禦ヲ以シ。馬ハ勞<sup>イタクカハシキニ</sup> 代ルヲ以テ。

能人ヲ養フ者ナリ。一ニハ曰ク 人養(フ)所ノ能犬一

馬ニ至トモ敬セ(ス)〔シハ〕則以<sup>4</sup>別<sup>ワクコト</sup> 無〔シ〕孟

子曰 食シテ愛〔サ〕弗ルハ豕畜<sup>井カフナリ</sup> 愛シテ敬〔サ〕

弗ハ獸畜<sup>カフナリ</sup>

8 (24) 【子夏問孝章】

子夏孝(ヲ)問。子曰。色 難シ

色 難トハ父一母ノ顔一色ニ承 望ムヲ乃難ト為ヲ謂

事有トキハ弟一子其勞シキニ服<sup>ツク</sup> 酒一食有ルトキハ先一

生饌ス

馬融曰。先一生トハ父兄ヲ謂 饌ハ飲一食

曾<sup>7ムカシハ</sup> 是<sup>スルヤ</sup> 以孝ト為乎

馬融曰。孔子子夏ニ喩<sup>サトシ</sup> 曰。勞<sup>イ</sup>キニ服<sup>ツイテ</sup>先一食スルヲ汝

チ此ヲ謂テ孝ト為乎<sup>スルカ</sup> 未〔夕〕孝ト為〔ルニ〕足〔ラ〕

(ス) 父母ノ顔一色ニ承 順<sup>イ</sup>ヲ乃孝ト為<sup>スラク</sup>耳也

9 (25) 【吾與回言終日章】

為政

子曰。吾回ト言<sup>イフコトヒネ</sup>終<sup>モスニタカハ</sup>日違(ス) 愚ルカ如シ

孔安国曰。回ハ弟一子。姓ハ顔。名ハ回。字ハ子淵。

魯人。違(ハ) (ス)トハ孔子ノ言怪<sup>コトニアヤシミ</sup> 問所無〔シ〕。

默<sup>9モクシテ</sup> 之ヲ識ル愚ナルカ如シ

退テ其ノ私ヲ省<sup>ワ</sup> 亦以發スルニ足<sup>クレリ</sup>。回 愚〔ナラ〕

(ス)

孔安国曰。其退 還テ二一三一子ト道一義ヲ説<sup>トキ</sup>一釈<sup>トクラ</sup>

察スレハ大一体ヲ發一明ス 其ノ愚〔ナラ〕 (サル)

ヲ知〔ル〕

10 (26) 【視其所以章】

子曰。其ノ以<sup>モチユル</sup> 所ヲ視<sup>ミル</sup>

以ハ用一也。言ハ其ノ行 用〔イル〕所ヲ視〔ル〕

其ノ由<sup>フル</sup>所ヲ觀ル

由ハ經一也。言ハ其ノ經 從〔フ〕所ヲ觀〔ル〕

其ノ安<sup>ヤスンスル</sup> 所ヲ察<sup>ミテントキハ</sup> 人<sup>イスタンカクサンヤ</sup> 焉<sup>イ</sup> 廋<sup>イ</sup> 哉<sup>イ</sup> 人<sup>イ</sup> 焉<sup>イ</sup> 廋<sup>イ</sup> サン

哉<sup>ヤ</sup> 孔安国曰。廋<sup>シウハチヨク</sup> 匿<sup>イ</sup>一也。言ハ人ノ終<sup>リ</sup> 始<sup>ミテントキハ</sup>ヲ觀。安ソ

為政

其ノ情ヲ匿カクス 所有ラン

11 (27) 【温故而知新章】

子曰。故キヲ温タツネテ 新キヲ知ヲハ以テ師ト為可シ

温ハ尋一也。故キ 者ヲ尋 繹ツイテ 又新キヲ知ヲハ以〔テ〕

師ト為可〔シ〕

12 (28) 【君子不器章】

子曰。君子ハ器ナラス

包氏曰。器ハ各其ノ用ニ周12アマネシ 君一子ニ至テ施コサ13〔サ〕

ル所口無〔シ〕

13 (29) 【子貢問君子章】

子貢君子ヲ問。子曰。先其ノ言コトヲ 行テ後ニ従フ

孔安国曰。小一人ノ多一言ニシテ行ノ周ラコトヲ〔サル〕コ

トヲ疾ニクム

14 (30) 【君子周而不比章】

子曰。君子ハ周シテ比セス

孔安国曰。忠一信ヲ周ト為。阿一党ヲモネルヲタムロトス ヲ比ト為。

小一人ハ比シテ周セス。

15 (31) 【学而不思章】

子曰。学テ思ハハウナリ〔サ〕ルトキハ則罔クライイメシイ

包氏曰。学テ其ノ義一理ヲ尋 思ハ〔サル〕トキハ則

罔一然トシテ得〔ル〕所無シ

思テ学ヒ〔サル〕トキハ則殆アヤウシ

学〔ヒ〕〔ス〕〔シテ〕思トキハ終14ツイニ 卒得〔ス〕人ノ

精一神ヲシテ疲レ殆カラ使ム

16 (32) 【攻乎異端章】

子曰。異一端ヲ攻ヲサムルハ 斯レ害ナラク也15ノミナリ已。

攻コウハ 治一也。善一道統有〔リ〕。故ニ塗ヲ殊ニシテ帰ヲモムキ

同シ。異一端ハ帰ヲモムキ 同カラ〔ス〕

17 (33) 【由誨女知之乎章】

子曰。由女オシチニシレランコトヲラシヘンヤ 知 誨 乎

孔安国曰。由ハ弟一子。姓ハ仲。名ハ由。字ハ子路

知シランヲハシレリトセヨ 知 為 知ラサランヲハ知〔ラ〕〔ス〕ト為セヨ 是

レ知16シレルナリ

18 (34) 【子張学干禄章】

子張<sup>モトメンコトヲ</sup>禄干<sup>モトメンコトヲ</sup> 学〔フ〕

鄭玄曰。子張ハ弟一子。姓ハ顓孫。名ハ師。字ハ子

張。干<sup>カンハ</sup>求一也。禄ハ禄一也。

子曰。多<sup>ク</sup>聞テ疑キヲ闕<sup>カクテ</sup>慎テ其ノ余リヲ言<sup>イフトキハ</sup>則尤<sup>アヤマチ</sup>

寡<sup>スクナシ</sup>

包氏曰。尤<sup>イウハ</sup>過一也。疑<sup>キヲハ</sup>則之ヲ闕<sup>カクテ</sup>其ノ余リノ。疑

シカラ<sup>(サ)</sup>ルヲモ猶<sup>モ</sup>慎テ言フトキハ。過<sup>スナシ</sup>チ少

多<sup>ク</sup>見テ殆<sup>クハ</sup>ウキヲ闕テ慎テ其ノ余ヲ行トキハ則<sup>クハ</sup>悔寡シ

包氏曰。殆<sup>クハ</sup>危一也。見ル所ノ危<sup>ア</sup>ウキ者ヲハ闕テ。行

〔ハ〕<sup>(サ)</sup>ルトキハ悔<sup>クハ</sup>少シ

言<sup>コト</sup>尤<sup>コト</sup>チ寡<sup>コト</sup>ク行<sup>コト</sup>悔寡キトキハ禄其ノ中カニ在リ

鄭玄曰。言一<sup>コト</sup>行此ノ如ンハ。禄ヲ得<sup>(ス)</sup>〔ト〕雖

〔モ〕。禄ヲ得ル道ナリ

19 (35) 【何為則民服章】

哀公問テ曰。何<sup>イハク</sup>為<sup>イカン</sup>民服<sup>セハ</sup>セン

包氏曰。哀公ハ魯ノ君ノ諡<sup>シ</sup>

孔子<sup>コ</sup>對<sup>コ</sup>曰。直<sup>ナラキヲ</sup>拳<sup>マ</sup>テ枉<sup>マ</sup>ヲ錯<sup>ワカトキハ</sup>民服<sup>ス</sup>ス

為政

包氏曰。錯ハ置一也。正一<sup>コト</sup>直ノ人ヲ拳<sup>マ</sup>用テ邪一<sup>ワカ</sup>枉

人ヲ廢<sup>ス</sup>置トキハ民其ノ上ニ服<sup>ス</sup>

枉<sup>マ</sup>ヲ拳<sup>マ</sup>テ直ヲ錯トキハ民服<sup>セ</sup>〔ス〕。

20 (36) 【季康子問使民敬忠以勤章】

季康子問<sup>トハク</sup>。民ヲシテ敬一<sup>コト</sup>忠ア〔リ〕テ以<sup>ス</sup>勸使<sup>ス、マシメンコトイ</sup>如<sup>コト</sup>

之<sup>カ</sup>何

孔安国曰。魯ノ卿。季孫肥ソ。康ハ諡<sup>也</sup>

子曰。臨<sup>ノ</sup>ニ莊<sup>イックシミヲ</sup>以<sup>ス</sup>ルトキハ則<sup>クハ</sup>敬<sup>アリ</sup>

包氏曰。莊<sup>イックシキヲ</sup>ハ嚴一也。君一<sup>コト</sup>民ニ臨ムニ嚴<sup>コト</sup>以<sup>ス</sup>トキハ

民其ノ上ヲ敬<sup>ス</sup>

孝慈<sup>イックシミアルトキハ</sup>則<sup>クハ</sup>忠<sup>アリ</sup>

包氏曰。君能<sup>シ</sup>。上ミ親ニ孝<sup>アリ</sup>。下<sup>シモ</sup>民ニ慈<sup>アルト</sup>

キハ民ミ忠<sup>アリ</sup>。

善<sup>ヲ</sup>拳<sup>テ</sup>不<sup>レ</sup>能<sup>ク</sup>ヲ教<sup>フシユルトキハ</sup>則<sup>クハ</sup>民<sup>ス、ム</sup>勸<sup>ム</sup>

包氏曰。善一<sup>コト</sup>人ヲ拳<sup>マ</sup>用ヒテ不<sup>レ</sup>能<sup>ク</sup>者ヲ教〔ユル〕

則<sup>クハ</sup>民<sup>ス</sup>勸<sup>ム</sup>

21 (37) 【或謂孔子曰章】



為政

或ヒト孔子ニ謂テ曰<sup>カ</sup>。子奚<sup>マフサタ</sup>政コトヲ為サル<sup>セ</sup>

包氏曰。或<sup>17</sup>人位ニ居<sup>ヲル</sup>乃<sup>ラ</sup>是政ヲ為ト以<sup>テ</sup>為ヘラク

子ノ曰。書ニ云<sup>イヘラクコレ</sup>。惟孝ニ孝アリ<sup>スルナリ</sup>。兄弟ニ友アリ<sup>スルナリ</sup>。政有<sup>マアルニ</sup>施

ス<sup>スルナリ</sup>。是亦政ヲ為<sup>ナシ</sup>。奚<sup>スルシモ</sup>其レ為<sup>スルナラン</sup>政ヲ為<sup>スルナラン</sup>

包氏曰。孝<sup>ウ</sup>于<sup>ニ</sup>惟<sup>ニ</sup>孝ハ。美<sup>ヨキ</sup>孝之辭ナリ。友<sup>ニ</sup>于<sup>ニ</sup>兄<sup>ニ</sup>

弟ハ。兄<sup>ニ</sup>弟ニ善ク。施<sup>ニ</sup>ハ行<sup>フ</sup>也。行<sup>フ</sup>所政<sup>ニ</sup>道有<sup>レ</sup>

ハ。即<sup>チ</sup>是政コトヲ為ト同シ

22 (38) 【人而無信章】

子曰。人トシテ信無トキハ其ノ可ナルコトヲ知<sup>ラ</sup>ス

孔安国曰。言ハ人トシテ信無トキハ其ノ余ハ終ニ可ナ

ルコト無シ

大車<sup>ギョクイ</sup>輓<sup>シヤゴツ</sup>無ク小<sup>ク</sup>車<sup>ゴツ</sup>輓<sup>シヤゴツ</sup>無トキハ其レ何<sup>ニ</sup>以<sup>テ</sup>カ行<sup>ユ</sup>哉<sup>ヤ</sup>

包氏曰。大<sup>キ</sup>車<sup>ハ</sup>牛<sup>クサヒ</sup>車<sup>ハ</sup>。輓<sup>ゲイハナガヘノハシニ</sup>輓<sup>クサヒ</sup>端<sup>ヨコタヘテ</sup>木<sup>ヤリ</sup>ヲ横<sup>クサヒ</sup>以<sup>テ</sup>輓<sup>ヤリ</sup>

縛<sup>ユイツケタル</sup>者<sup>ノ</sup>ナリ。小<sup>キ</sup>車<sup>ハ</sup>駟<sup>シヤハ</sup>馬<sup>ノ</sup>車<sup>ハ</sup>。輓<sup>ゴツハナカヘノハシニ</sup>輓<sup>クサヒ</sup>端<sup>ヨコタヘテ</sup>上<sup>ヤリ</sup>

二曲<sup>マカツテ18カウラカヘタル</sup>衡<sup>クサヒ</sup>拘<sup>クサヒ</sup>者<sup>ノ</sup>ナリ

23 (39) 【子張問十世章】

子張問ハク<sup>シシヌ</sup>十世知<sup>シシヌ</sup>可ヤ

孔安国曰。文<sup>ニ</sup>質<sup>ノ</sup>禮<sup>ニ</sup>變<sup>フ</sup>ソ

子曰。殷ハ夏ノ礼ニ因<sup>ヨル</sup>。損<sup>ニ</sup>益<sup>スル</sup>スル所知<sup>ル</sup>〔ンヌ〕可<sup>シ</sup>

周ハ殷ノ礼ニ因<sup>ル</sup>。損<sup>ニ</sup>益<sup>スル</sup>スル所知<sup>ル</sup>〔ンヌ〕可<sup>シ</sup>

馬融曰。因<sup>ル</sup>〔ル〕所トハ三<sup>ニ</sup>綱<sup>ニ</sup>五<sup>ニ</sup>常<sup>ヲ</sup>謂<sup>フ</sup>。損益スル

所トハ文<sup>ニ</sup>質<sup>ニ</sup>三<sup>ニ</sup>統<sup>ヲ</sup>謂<sup>フ</sup>。

其レ周ニ繼<sup>ツク</sup>者<sup>ノ</sup>或<sup>アラハ</sup>百世ト雖トモ亦知ヌ可<sup>シ</sup>

馬融曰。物<sup>ノ</sup>類<sup>ノ</sup>相<sup>ニ</sup>召<sup>ス</sup>キ。勢<sup>ノ</sup>數<sup>ノ</sup>相<sup>ニ</sup>生<sup>ナル</sup>。其ノ變常有

〔リ〕。故<sup>アラカシメ</sup>二預<sup>アラカシメ</sup>知<sup>ル</sup>〔ル〕可<sup>シ</sup>。

24 (40) 【非其鬼而祭之章】

子曰。其ノ鬼<sup>ヘツテ</sup>ニ非<sup>シテ</sup>祭<sup>ハ</sup>祭<sup>ヘラヘルナリ</sup>ハ

鄭玄曰。人<sup>ノ</sup>神<sup>ヲ</sup>鬼ト曰<sup>フ</sup>。其ノ祖<sup>ニ</sup>考<sup>ニ</sup>非<sup>シテ</sup>祭<sup>ハ</sup>。

是レ諂<sup>ヘツテ</sup>以<sup>テ</sup>福<sup>ヲ</sup>求<sup>ル</sup>ナリ

義ヲ見<sup>セ</sup>テ為<sup>ス</sup>〔ス〕ハ勇<sup>イサミナキナリ</sup>無<sup>シ</sup>

孔安国曰。義<sup>ハ</sup>宜<sup>ナス</sup>シク為<sup>ベキ</sup>所<sup>ナリ</sup>。而<sup>シテ</sup>為<sup>スルコト</sup>能<sup>ハ</sup>

〔サル〕ハ。是レ勇<sup>ナキ</sup>無<sup>シ</sup>〔也〕

論語八佾第三

家ノ堂ニ取トラン

1 (41) 【孔子謂季氏章】

孔子季氏ヲ謂クハ一佾シテ庭ニ舞マハス是ヲモ忍可シノフヘケンハ一クレヲカ孰ハカフ可ヘカ(サラ)ン

馬融曰。孰シツハ誰一也。佾ハ列一也。天一子ハ八一佾。

諸一侯ハ六。卿一大夫ハ四。士ハ二。八一人ヲ列ト

為スレハ八一八。六一十四一人ナリ。魯ハ周公ノ故ユヘラ以テ。

王一者ノ礼樂ヲ受テ。八一佾ノ舞有リ。今季桓子ハ。

其ノ家ノ廟ニ僭シテ之ヲ舞ス。故ニ孔子之ヲ譏ソシル

2 (42) 【三家者以雍徹章】

三家ハ雍ヨウラ以テ徹ス

馬融曰。三一家トハ。仲一孫。叔一孫。季一孫ヲ謂。

雍ハ周一頌ノ臣一工コウノ篇ノ名。天一子宗一廟ヲ祭トキ

ハ。之ヲ歌テ以テ祭コトヲ徹ス。今三一家亦此ノ樂カクラ

作フコス者ナリ。

子曰。相タスクルコレ維ヘキ辟コウアリ一公。天一子穆ボク一穆タリ。奚カクソ三

八佾

包氏曰。辟一公トハ。諸一侯及二一王ノ後ノチラ謂フ。穆一

穆ハ天一子ノ容カタチ雍一此ヲ歌フハ。諸一侯及二一

王ノ後ノチニ有テ。来テ祭ヲ助ルカ故也。今三一家

ハ但家一臣ナラク而ノ已ナリ。何ソ此ノ義ヲ取テ之ヲ

堂ニ作フコス邪

3 (43) 【人而不仁章】

子曰。人トシテ仁アラ(ス)ハ礼イカンヲ如何。人トシテ仁ア

ラ(ス)ハ樂イカンヲ如何

包氏曰。言ハ人トシテ仁(アラ)(サル)トキハ必礼一

樂ヲ行コト能(ハ)(ス)

4 (44) 【林放問禮之本章】

林放礼ノ本ヲ問フ

鄭玄曰。林放ハ魯人ソ

子曰。大ナルカナ哉。問コト。礼ハ其ノ奢ワコレルヨリハ與イヤシカレ寧イヤシカレ口儉セヨ。

喪ハ其ノ易ヨリハカラン與イタメ寧イタメ口戚イタメ

包氏曰。易ハ和一易。言ハ礼ノ本一意ハ奢レレルニ失ス

ルハ儉ニハ如〔カ〕（ス）。喪ハ和―易ニ失スルハ哀―  
戚ニハ如〔カ〕（ス）。

5 (45) 【夷狄之有君章】

子曰。夷狄ノ君有ルハ諸―夏ノ亡如（ス）

包氏曰。諸―夏ハ中―国ソ。亡ハ無―也

6 (46) 【季氏旅於泰山章】

季氏泰山ニ旅ス。子冉有ニ謂曰ク。女救能〔ハ〕

（サ）ルカ

馬融曰。旅ハ祭ノ名―也。礼ニ諸―侯ハ山―川ノ其ノ

封―内ニ在〔ル〕者ヲ祭ル。今陪―臣泰山ヲ祭コトハ

礼ニ非ル。冉有ハ弟―子。冉求ソ。時ニ季氏ニ仕フ。

救ハ止ノ猶シ

对テ曰。能ハシ。子曰。嗚呼。曾泰山ヲ林放ニ如ジ

ト謂乎

包氏曰。神ハ非―礼ヲ享〔ケ〕（ス）。林放尚ヲ礼ヲ知

レリ。泰山ノ神ハ。反テ林放ニ如〔カ〕（サ）ル邪。

誣之ヲ祭ラマク欲ス

7 (47) 【君子无所争章】

子曰。君子ハ争所無シ。必ス射乎

孔安国曰。言ハ射トキニ而後二争コト有〔リ〕

揖―讓。升リ。下飲

王肅曰。堂ニ射トキハ升リ及下。皆揖―讓シテ相飲

シム

其ノ争ヒ君―子ナリ

馬融曰。筭多キ人筭少ナキニ飲ムルニ君―子ノ争所ナ

リ

8 (48) 【巧笑倩兮章】

子夏問テ曰。巧ニ笑フコト倩美―目盼素以テ綯

為何謂ソ

馬融曰。倩ハ笑貌。盼目ヲ動ス貌。綯交貌。此

ノ上ノ二―句ハ衛―風碩―人ノ二ノ章ニ在〔リ〕。其

ノ下ノ一―句ハ逸セ〔シ〕ナリ。

子曰。繪ノ事素後ニス

鄭玄曰。繪ハ画―文。凡ソ繪ヲ画先ツ衆―色ヲ布

然<sup>シロキヤ</sup> 後二素<sup>シロキヤ</sup> 以テ其ノ間タヲ分テ以〔テ〕其ノ文成<sup>アヤラナス</sup>

諭<sup>12</sup>フ美一<sup>マテ</sup>女二<sup>マテ</sup>倩一<sup>モテヒテ</sup>盼ノ美一<sup>ナル</sup>質有〔ルト〕雖〔トモ〕

亦礼ヲ須<sup>マテ</sup>以<sup>モテヒテ</sup>成<sup>ナル</sup>

曰<sup>マクサク</sup>。礼後ニスト云カ。

孔安国曰。孔子ノ言<sup>13ノ玉フ</sup> 繪ノ事ハ素ヲ後ト云ヲ。子夏聞

テ解<sup>14リ</sup> 知ス 素キヲ以テ礼ニ諭ト云。故ニ礼ヲ後ニス

ト云カト曰フ。

子曰。予起<sup>ワレヲラコス</sup>者ノハ商ナリ。始テ與<sup>トモニ</sup>詩言可ラク已矣

包氏曰。予ハ我一也 孔子ノ言子夏能〔ク〕我<sup>ノミ</sup> 意ヲ

發一明ス 與<sup>トモニ</sup> 共ニ詩言ク可カラク已

9 (49) 【夏礼吾能言之章】

子曰。夏ノ礼ヲ吾<sup>トカントストレトモ</sup> 能ク言<sup>ナスニ</sup> 杞<sup>ナスニ</sup> 徵 足ラス 殷ノ礼

ヲ吾<sup>トカントストレトモ</sup> 能ク言<sup>ナスニ</sup> 宋<sup>ナスニ</sup> 徵 足〔ラ〕ス

包氏曰。徵ハ成一也。杞宋ハ二一<sup>トカントストモ</sup> 国ノ名。夏殷ノ後ナ

リ。夏一殷ノ礼ヲ。吾<sup>トカントストモ</sup> 能<sup>トカントストモ</sup> 説<sup>トカントストモ</sup>。杞宋ノ君。以テ

成<sup>ナスニ</sup> 足〔ラ〕(サ)ル

文一<sup>ブン</sup> 献<sup>ケン</sup> 足<sup>ク</sup>ラ(サル)カ故也 足<sup>ク</sup> 則<sup>レ</sup>吾<sup>レ</sup> 能<sup>ナスニ</sup> 徵<sup>シテ</sup>

八倍

鄭玄曰。献ハ賢ノ猶〔シ〕 我カ礼ヲ以成サ(ス)ハ

此ノ二一<sup>トカントストモ</sup> 国之君ノ文一章賢一才足〔ラ〕(サル)ヲ以

ノ故也

10 (50) 【禘自既灌而往章】

子曰。禘<sup>テイ</sup> 既<sup>クワン</sup> 二灌<sup>クワン</sup> シテ自<sup>ノチ</sup> 往<sup>ミマクホツセ</sup> 吾<sup>レ</sup> 觀<sup>ク</sup> 欲〔ス〕

孔安国曰。禘一<sup>カウ</sup> 裕ノ礼ハ。昭一<sup>ツイテンカ</sup> 穆ヲ序<sup>ツイテンカ</sup> 為ナリ。故

二<sup>クサ</sup> 毀一<sup>クサ</sup> 廟ノ主。及羣一<sup>クサ</sup> 廟之主。皆太一<sup>クサ</sup> 祖二<sup>クサ</sup> ハ合一<sup>クサ</sup> 食ス。

灌<sup>ウツ</sup> トハ鬱<sup>ウツ</sup> 一<sup>ウツ</sup> 酌<sup>クシテ</sup>。太一<sup>ウツ</sup> 祖二<sup>ウツ</sup> 灌<sup>クシテ</sup> テ。以〔テ〕 神ヲ

降<sup>15</sup> ス。既二<sup>ウツ</sup> 灌<sup>ウツ</sup> シテ後二<sup>ウツ</sup> ハ。尊一<sup>ウツ</sup> 卑ヲ別〔チ〕。昭一<sup>ウツ</sup> 穆

ヲ序<sup>ツイテス</sup>。而ヲ魯逆一<sup>シンテ</sup> 祀<sup>シンテ</sup>。僖公ヲ躋<sup>アケテ</sup>。昭穆ヲ乱ル。故二

之ヲ觀〔マク〕欲〔セ〕(ス)

11 (51) 【或問禘之説章】

或<sup>アルヒト</sup> 禘之説<sup>トク</sup>ヲ問<sup>トク</sup>。子曰。知〔ラ〕ス

孔安国曰。答ルニ知〔ラ〕(サル)〔ラ〕以スルコト魯

ノ君ノ為ニ諱<sup>インテンナリ</sup>

其ノ説ヲ知コトノ天一<sup>フケルコトヲ</sup> 下二<sup>フケルコトヲ</sup> 於<sup>フケルコトヲ</sup> 其レ斯示<sup>コレヲシメス</sup> 如キ乎<sup>カト云テ</sup> 其

ノ掌<sup>17</sup>ヲ指<sup>サス</sup>

包氏曰。孔子或一人ニ謂テ言ハ禘一礼ノ説〔ヲ〕知ル  
ノ者天下ノ事ニ於テ指一示ニ掌ノ中ノ物ヲ以スルカ如  
〔シ〕言ハ其了り易シ

12 (52) 【祭如在章】

祭ルコト在マスカ如ニス

孔安国曰。言ハ死ニ事コト生ルニ事ルカ如クセヨ

神ヲ祭ルコト神在カ如ニス

孔安国曰。百神ヲ祭ヲ謂

子曰。吾レ祭リニ與サレハ祭ラサルカ如シ

包氏曰。孔子或ハ出或ハ病テ而モ自親祭〔ラ〕

(ス) 撰一者ヲシテ之〔ヲ〕為使ムルトモ敬ヲ心ニ致

サ(サ)レハ祭〔ラ〕(サ)ルト同シ

13 (53) 【與其媚於奥章】

王孫賈問テ曰。其ノ奥媚與寧口竈媚何謂ソ

孔安国曰。王孫賈ハ衛ノ大夫ナリ。奥ハ内。以テ近一

臣ニ喩フ。竈以テ執一政ニ喩。賈ハ政ヲ執者ナリ。

孔子ヲシテ求昵使メント欲ル故ニ徴世一

俗ノ言ヲ以テ之ヲ感動ス

子曰。然アラス罪ヲ天ニ獲禱所口無〔シ〕

孔安国曰。天ヲハ以テ君ニ喩フ孔子之〔ヲ〕拒曰

ク如罪ヲ天ニ獲トキハ衆一神〔ニ〕禱ル所無〔シ〕

14 (54) 【衆監於二代章】

子曰。周ヲ二一代ニ監郁一郁一乎文ナルカナ。吾

ハ周二從

孔安国曰。監視一也言ハ周ノ文一章二一代ヨリ備

レリ當周二從〔フ〕(ベ)キ〔也〕

15 (55) 【子入太廟章】

子太一廟ニ入テ

包氏曰。太一廟ハ周一公ノ廟ナリ孔子ハ魯ニ仕フ

魯ニ周公ヲ祭ルトキニシテ祭ヲ助クル

事毎ニ問フ。或曰ク。孰カ郷人ノ子礼知謂乎。太一

廟ニ入事毎ニ問フ

孔安国曰。郷孔子ノ父叔梁紇カ治タル所ノ邑ナリ

時ノ人多孔子ヲ礼知レリト言フ或人礼〔ヲ〕知ラ

ハ當ニ復問〔フ〕〔ベ〕〔カラ〕〔ス〕ト以ヲモヘリ為ヘラク

子聞テ曰。是レ礼ナリ

孔安国曰。知リト雖〔モ〕當ニ復問〔ベ〕キハ慎シムノ至レルナリ

16 (56) 【射不主皮章】

子曰。射ユミイルコトカハラシモ皮主トセス

馬融曰。射ニ五一善有〔リ〕一ニハ曰〔ク〕和一志体一和ナルソ。ニニハ曰〔ク〕和一容儀有ソ。三ニハ曰ク主一皮能〔ク〕質ニ中ルソ。四ニハ曰〔ク〕和一頌雅一頌ニ合カナフソ。五ニハ曰〔ク〕興一武ト舞マイスルト同シ。

天子ニハ三一侯有〔リ〕熊虎豹ノ皮ヲ以テ之〔ヲ〕為レリ。言ハ射コト但皮ニ中アツルヲ以シモ善シト為〔ス〕亦兼テ和一容ヲ取ル

カヲ為スルコトシテ科同27ヲ〔サ〕ルハ古ノ道也

馬融曰。力〔ヲ〕為スルトハ力一役ノ事ヲ為スルソ亦上中下有テ三ノ科ヲ設マフケタリ故ニ科同〔ラ〕〔ス〕ト曰〔ク〕

17 (57) 【子貢欲去告朔之餼羊章】

八倍

子貢告一朔ノ餼一羊ヲ去ステマクホツス欲

鄭玄曰。牲ノ生38 イケルヲキト餼曰〔フ〕礼二人一君月毎ニ朔ヲ

廟ニ告マフス祭コト有ル之ヲ朝一享ト謂フ。魯ノ文公自

〔リ〕始テ朔ヲ視〔ス〕子貢其ノ礼ヲ見ル〔ニ〕廢レ

タリ故ニ其ノ羊ヲ去ステマク欲ス

子曰。賜シ爾ナシチハ其ノ羊ヲ愛我ハ其ノ礼ヲ愛ス

包氏曰。羊在アルハ猶其ノ礼ヲ識〔ル〕所一以ナリ 羊亡ナクハ

礼遂ニ廢ム

18 (58) 【事君尽礼章】

子曰。君ニ事ツカフマツルニ礼ヲ尽セハ。人ヘツラヘリトス以テ諂ヘリトス為。

孔安国曰。時30君ニ事ル者ノ多ハ礼無キカ故ニ礼有ル者ヲ以テ諂リト為

19 (59) 【定公問君使臣章】

定公問ク君臣ヲ使イ臣君ニ事ツカフマツルコトイカン如之何

孔安国曰。定公ハ魯ノ君ノ諡シ。時ノ臣礼ヲ失ヘリ。定公之〔ヲ〕患フ。故ニ之〔ヲ〕問フ

孔子对テ曰。君臣ヲ使フニ礼ヲ以ス 臣君ニ事ツカフマツルニ忠

ヲ以ス。

20 (60) 【閔睢樂而不淫章】

子曰。閔一睢ハ樂タラシシテ 淫セス 哀カナシシテ 傷ス

孔安国曰。樂テ淫ルニ至〔ラ〕(ス) 哀テ傷ルニ至

〔ラ〕(ス) 言ハ其レ和ヤハラケリ

21 (61) 【哀公問社於宰我章】

哀公シヤ社ヲ宰我ニ問フ。宰我对テ曰マフサク。夏后氏ハ松ヲ以ス

殷人ハ栢ヲ以ス 周人ハ栗リツラ以ス 曰イハク民ヲシテ戰一栗ナ

ラシメントナリ

孔安国曰。凡ソ邦ヲ建社ヲ立ル。各ノ其ノ土ノ宜キ所

ノ木キヲ以ス。宰我其ノ意ヲ本ツケ(ス)シテ。妄32ノミ之〔カ〕

為ニ説トク。周栗ヲ用ニ因リテ。便チ云ク 民ヲシテ

戰一栗ナラシメントナリ

子聞テ曰ナリシ。成 事ヲハ説ス

包氏曰。事 已ニ成ナリシセハ 復解一説33〔ス〕可〔ラ〕(ス)

遂トケンシ 事ヲハ諫イサメス

包氏曰。事 已ニ遂ヲハ復諫 止ム可〔ラ〕(ス)

既ニ往インシラハ 咎トカメス

包氏曰。事 已ニ往フ・インシラハ 復 追テ非ソシリ 咎可トカム〔ラ〕

(ス)。孔子宰我ヲ非ソシル故ニ此〔ノ〕三ノ者ヲ歴 言其イテ

ノ後ヲ慎シマ使メント欲〔ス〕

22 (62) 【管仲之器小哉章】

子曰。管仲カ器モノ小スコシキナルカナ 哉ナルコト

言ハ其ノ器一量小キ也

或ヒトマフサク曰34。管仲儉ケナリヤ 乎

包氏曰。或 人孔子ノ小ナリトスルヲ見テ謂ク之ヲ太

ハタ儉スト以一為ヘリ。

曰ノ玉フマク。管子ニ三一帰有リ 官ノ事撰コトセツセス 焉イツクシソ 儉ヲ得ン

乎ヤ

包氏曰。三一帰ハ三一姓ノ女ヲ聚メトル 婦一人嫁ヲ謂テ帰

ト為ス 撰ハ兼ノ猶〔シ〕 礼ニ国一君ハ事大ナリ。官

ニ各ノ人有〔リ〕。大一夫ハ并セ 兼ス。今管仲カ家臣36。

職ニ備ソナハテ 儉ヲ為スルニ 非ス。

曰1 然ラハ則管仲礼ヲ知シレリヤ 乎

包氏曰。或人儉ヲ以テ問フ故ニ答ルニ安ソ儉〔ヲ〕  
得ント云ヲ以ス。或人儉ナラ〔ス〕ト云ヲ聞テ更ニ  
謂礼ヲ得タリト為。

曰。邦一君一樹シテ門ニ塞。管一氏亦樹シテ門ニ塞ク。  
邦一君兩一君ノ好。為反一玷有リ。管子亦反一玷有リ

鄭玄曰。反一玷。反一爵ノ玷。兩一楹。間ニ在リ。人

君内一外ヲ門ニ別。有トキニ。樹一屏シテ以〔テ〕

蔽。若鄰一國ノ君〔與〕好一會ヲ為。其ノ獻一酢

礼。更。酌。酌。畢テ則。各爵ヲ玷ノ上反。今管仲

皆僭。之ヲ為。是〔ノ〕如シ。是レ礼ヲ知〔ラ〕

〔ス〕。

管一氏而モ礼ヲ知。孰礼ヲ知ラ〔サラ〕ン。

23 (63) 【子語魯大師樂章】

子魯ノ大一師ニ樂語。曰。樂其レ知可ラク已也。始

テ作。翁一如。

大一師ハ樂一官ノ名。五一音始テ奏ルトキニ。翁一如

トシテ盛ナリ。

八佾

從。純一如タリ

從カ読ヲハ縱ト曰。言ハ五一音既ニ發一放縱。尽スト

キニ。其ノ声純一純一如トシテ。和。セリ。

噉一如タリ

言ハ其音一節明一也

繹一如タリ以成

縱ストキニ純一如噉一如繹一如ヲ以ス。言ハ樂翁一如

ニ始メテ三ニ成ル

24 (64) 【儀封人見請章】

儀封一人見。請

鄭玄曰。儀ハ蓋シ衛ノ邑。封一人ハ官ノ名

曰。君一子ノ斯至ルヲハ吾レ未タ嘗見。得〔ス〕ン

ハアラスニ從一者二見

包氏曰。從一者ハ弟一子ノ孔子ニ隨テ行者ナリ。通

シテ見。ヲ得使ム

出曰。二一三一子何喪。患乎。天一下ノ道無キ

コト久シ



八佾 里仁

孔安国曰。諸一弟一子ニ語テ。言<sup>イハク</sup>。何ソ夫一子聖一徳  
ノ将ニ喪一亡セント<sup>42</sup>(ス)ルコトヲ患ル邪<sup>ヤ</sup> 天一下道  
無コト已<sup>レ</sup>久シ。極<sup>メ</sup>哀ヘテハ必<sup>ズ</sup>(ス)盛<sup>ン</sup>ナル有レ  
ハソ

天将ニ夫一子ヲ以テ木一鐸<sup>タクトセント</sup>為<sup>ス</sup>

孔安国曰。木一鐸ハ。政一教ヲ施<sup>ス</sup>時ニ振<sup>フル</sup>所<sup>ナリ</sup>ナリ。  
言ハ天将ニ孔子ニ命シテ。法一度ヲ制シ。以<sup>テ</sup>天一  
下<sup>ニ</sup>号一令セントス。

25 (65) 【子謂韶章】

子韶<sup>ゼウヲノ</sup>謂 美<sup>シ</sup>尽<sup>セリ</sup> 又善<sup>シ</sup>尽<sup>セリ</sup>  
韶ハ舜ノ樂<sup>カクナリ</sup> 聖一徳ヲ以<sup>テ</sup>禪<sup>ユツリ</sup> 受タルヲ謂 故ニ曰<sup>ク</sup>  
善<sup>シ</sup>尽<sup>セリ</sup>

武ヲ謂 美<sup>シ</sup>尽<sup>セリ</sup> 未<sup>ダ</sup>善<sup>シ</sup>尽<sup>サス</sup>

孔安国曰。武ハ武王ノ樂。征一伐<sup>ヲ</sup>以<sup>テ</sup>天下  
(ヲ)取<sup>ル</sup> 故<sup>ニ</sup>未<sup>ダ</sup>善<sup>シ</sup>尽<sup>セリ</sup>(サ)(ス)

26 (66) 【居上不寛章】

子曰。上<sup>カミニ</sup>居<sup>イテユク</sup>寛<sup>カナナラ</sup> ス 礼ヲ為<sup>スルコトヲイセ</sup>敬<sup>ス</sup>。喪ニ臨<sup>カナシマ</sup>ンテ哀

ス 吾レ何<sup>コレヲ</sup> 以<sup>テ</sup>カ之<sup>ミシヤ</sup> 觀<sup>ミ</sup>哉

論語里仁第四

1 (67) 【里仁為美章】

子曰。里<sup>リ</sup>ハ仁<sup>ニ</sup>ヲ美<sup>トス</sup> 為<sup>ス</sup>

鄭玄曰。里ハ民居<sup>ヲル</sup>所。仁一者ノ里ニ居ル 是ヲ美ト為  
扱<sup>エラシメ</sup> 仁ニ処<sup>ス</sup>スハ焉<sup>イツクソノ</sup> 知<sup>ヲ</sup>得<sup>ル</sup>

鄭玄曰。善居ヲ求テモ仁一者ノ里ニ処<sup>ス</sup>(サ)ルハ。知  
有<sup>ト</sup>為<sup>スルコトヲ</sup> 得<sup>ル</sup>(ス)。

2 (68) 【不仁者不可以久処約章】

子曰。不<sup>レ</sup>仁一者ハ以<sup>テ</sup>久ク約<sup>セハシキニナル</sup> 処<sup>ケ</sup>可<sup>ラ</sup>ス

孔安国曰。久一困ナルヲ則<sup>チ</sup>非<sup>ズ</sup>(ト) 為<sup>ス</sup>

以<sup>テ</sup>長<sup>ナカク</sup>樂<sup>クノシキニナル</sup> 処<sup>ケ</sup>可<sup>ラ</sup>ス

孔安国曰。必<sup>ズ</sup>驕<sup>ケウ</sup>一佚<sup>イツス</sup>  
仁者ハ仁<sup>ニ</sup>ヲ安<sup>ス</sup>ス

包氏曰。唯<sup>ニ</sup>性<sup>ニ</sup>仁一者ナルハ自<sup>ラ</sup>然<sup>ラ</sup>ニ之ヲ体<sup>ス</sup>故<sup>ニ</sup>仁ヲ  
安<sup>ス</sup>ト謂<sup>フ</sup>

知一者ハ仁ヲ利トス

王肅曰。仁ノ美タルヲ為知ル故ニ利トシテ之〔ヲ〕行フ

3 (69) 【唯仁者能好人章】

子曰。唯仁一者ハ能ク人ヲ好ヨミシ能ク人ヲ惡ニクミンス

孔安国曰。唯仁一者ノミ能〔ク〕人ノ好一惡ヲ審ラカ

ニス

4 (70) 【荀志於仁矣章】

子曰。荀マコトニ仁ニ志トキハ惡アシキコト無シ

孔安国曰。荀ハ誠一也 言ハ誠ニ能〔ク〕仁ニ志ト

キハ則一其ノ余ハ終ニ惡コト無〔シ〕

5 (71) 【富與貴章】

子曰。富貴トミトキトハ是レ人ノ欲ホツスル所口 其ノ道ヲ以テ得

スハ処ス

孔安国曰。其ノ道ヲ以テ富一貴ヲ得〔ス〕ンハ処〔ス〕

貧ト賤マキトハ是レ人ノ惡ニスル所口ナリ 其ノ道ヲ以テ得

〔ス〕ンハ去ス

時ニ否泰有〔リ〕 故ニ君一子ハ道ヲ履テ反カヘテ貧ク賤シ

里仁

此 則其道ヲ以〔テ〕之ヲ得〔サル〕者ナリ 是レ人

ノ惡スル所ナリト雖〔トモ〕違タカヘテサル去可〔ラ〕〔ス〕

君一子ハ仁ヲ去テ惡イスクシソナラナサン 名成

孔安国曰。惡ンカ名ヲ成トハ名ヲ成シテ君一子為タルコト得

〔サル〕ソ

君子ハ食終間 仁ニ違タカフコトナシ 無 造一コ、ニ次ニモ必ス是於イソカハシク

顛 沛 二モ必ス是於テス

馬融曰。造一アヲノキニタラレウツフシニタラレ次ハ急一キヨ遽ソ。 顛一沛ハ偃エン

仆ソ。 急一遽偃一仆雖〔トモ〕仁ニ違〔ハ〕〔ス〕

6 (72) 【我未見好仁者章】

子曰。我レ未タ仁ヲ好ル者ヲ見ス 不仁者ニクミンスル者ヲ

サヘ仁ヲ好ル者ニハ以テ尚クワフルコトナク 無

孔安国曰。復一スルナリ加ルコト難〔シ〕

不仁者ヲ惡スルハ其レ仁ヲ為 不仁者ヲシテ其

身ニ加ヘシメス

孔安国曰。言ハ不仁者ヲ惡 能ク不仁者

ヲシテ非一議ヲ己レニ加〔ヘ〕〔サ〕ラ使ム 仁〔ヲ〕

里仁

好スル者ノ以<sup>マサレリトスルニハ</sup>加ヘ尚フルコト無キノ優<sup>ハ</sup>為<sup>ス</sup>如<sup>ク</sup>

〔カ〕シ

能ク一<sup>ト</sup>日モ其<sup>カ</sup>力ヲ仁ニ用コト有レ矣乎<sup>ヤ</sup> 我レ未タ力  
ヲ足<sup>ク</sup>〔サ〕ル者ヲ見ス

孔安国曰。言ハ人能〔ク〕一<sup>ト</sup>日モ其力ヲ用テ仁〔ヲ〕  
修ル者無ラマク耳<sup>ノミ</sup> 我レ未タ仁ヲ為<sup>ナサント</sup> 欲シテ力足〔ラ〕

〔ス〕ト云者ヲ見〔ス〕

蓋シ有<sup>アラシ</sup>之矣我レ未タ見ス

孔安国曰。謙シテ尽ク時一<sup>シヒ・アザムキ・アヤマリ</sup>人ヲ誣<sup>スルコト</sup> 仁ヲ為<sup>スルコト</sup>

能〔ハ〕〔ス〕ト言<sup>イハンコトヲ</sup> 欲〔セ〕〔ス〕 故云為能〔ク〕<sup>ニスルニ</sup>

有<sup>アラマクノミ</sup>爾 其レ我未タ見〔ス〕

7 (73) 【人之過章】

子曰。人ノ過<sup>タミ</sup> 各ノ其ノ党ニ於テス<sup>アヤマチヲミテハ</sup> 過<sup>アヤマチヲミテハ</sup> 觀<sup>スルコト</sup> 斯<sup>ニ</sup> 仁

ヲ知ル

孔安国曰。党ハ党一<sup>ト</sup>類 小一<sup>ト</sup>人ノ君一<sup>ト</sup>子ノ行ヲ為<sup>スルコト</sup> 能

〔ハ〕〔ス〕ハ小一<sup>ト</sup>人ノ過ニ非ト云テ 當〔ニ〕恕ハカ

テ之ヲ責<sup>セムルコト</sup> 勿ルヘシ 其ノ過ヲ觀賢一<sup>ミテ</sup>愚ヲシテ各ノ

其ノ所ニ當<sup>アツク</sup>使ムルヲ仁〔ト〕為

8 (74) 【朝聞道章】

子曰。朝ニ道ヲ聞テ夕ニ死トモ可ナリ

言ハ將ニ死ニ至〔ラント〕〔ス〕レトモ世ノ道有コト

ヲ聞〔カ〕〔ス〕

9 (75) 【士志於道章】

子曰。士道ニ志サシテ惡一<sup>イ</sup>衣惡一<sup>ハツルハ</sup>食ニ恥 未<sup>トモニハカルニ</sup>タ與<sup>ト</sup>議

足〔ラ〕ス。

10 (76) 【君子之於天下也章】

子曰。君一<sup>ヲケルコト</sup>子ノ天一<sup>アツクスルコト</sup>下ニ於<sup>テハ</sup> 適<sup>モナクウスルスルコトモ</sup> 無<sup>ナク</sup>莫<sup>ク</sup> 無<sup>シ</sup>シ

義ト與<sup>トモニヒス</sup>比

言ハ君一<sup>ヲケルコト</sup>子ノ天一<sup>アツクスルコト</sup>下ニ於ルコト適<sup>ア</sup>コトモ無ク莫<sup>ク</sup>コトモ

無トハ貪<sup>ネカフ</sup>ホリ慕<sup>フ</sup> 所無ク唯義ノ在<sup>ル</sup>所<sup>ニ</sup>

11 (77) 【君子懷德章】

子曰。君子ハ德ヲ懷<sup>ヤスンス</sup>

孔安国曰。懷ハ安

小一<sup>ト</sup>人ハ土ヲ懷<sup>ヤスンス</sup>

孔安国曰。遷ウツルコトヲ 重13ヲモンス

君子ハ刑ヲ懷ヤスンス

孔安国曰。法ヲ安ス

小一人ハ恵ケイラヤスンス 懷

包氏曰。恵ハ恩一恵

12 (78) 【放於利而行章】

子曰。利ニ放ヨリテ行トキハ

孔安国曰。放ハ依一也 事毎ニ利ニ依テ行

怨多ウラミラ、シ

孔安国曰。怨ヲ取ル道

13 (79) 【能以礼讓為国乎章】

子曰。能ク礼讓レイシヤウヲ 以テ国ヲ為ヲサメハナンカアラン 何有

何 有トハ言ハ難カ (カラ) (サル) ソ

礼一讓ヲ以テ国ヲ為ヲ コト能アタハ (ス) ンハ礼ヲ如何イカン

包氏曰。礼ヲ如何トハ言ハ礼ヲ用 (コト) 能 (ハ)

(サル) ソ

14 (80) 【不患無位章】

里仁

子曰。患へ (サ) レ位タ、ンユ 比無コトヲ 患へヨ立ヘンラ 所 以

患へ (サ) レ己ヲ 知コト莫ナキコトヲ 求テモ知シンス 可コトヲ為セヨ

包氏曰。善道ヲ求テ学ヒ 行フトキハ人己ヲソレラ 知ル

15 (81) 【参乎章】

子曰。参14シ 吾カ 道ハ一以コレヲモテ 貫セリ 曾子曰。唯井

孔安国曰。直15タ、ニサトテ 晁問 (ハ) (ス) 故 (ニ) 答テ唯 (ト)

曰

子シ 出ヌ。門一人問 曰ク。何16ナン 謂ソ。曾子曰。夫一子

ノ道ハ忠一恕而已矣。ゾノミナリ

16 (82) 【君子喻於義章】

子曰。君一子ハ義ニ喻サトル 小一人ハ利ニ喻サトル

孔安国曰。喻ハ晁ノ猶シ

17 (83) 【見賢思齊焉章】

子曰。賢ヒトシカラ 見テハ齊コトヲ 思ヲモフ

包氏曰。賢一者ト等ヒ ンコトヲ思フ

不ミテハ 一賢ヲ見ミカヘリミル 内ニ自省。

18 (84) 【事父母幾諫章】

里仁

子曰。父一母ニ事ルコト幾ヤウヤクイサム 諫

包氏曰。幾ハ微スゴシ 當ニ微ヤフヤクニ 諫テ善一言ヲ父一母ニ納イル

(ベシ)

志ヲ見テ從シタカフ マシキトキハ又敬ケイシテタカハ 違ス勞 怨ス

包氏曰。志ヲ見トハ父一母ノ志ヲ見ニ 己カ諫メニ從

(フ) マシキ色有トキハ又當ニ恭一敬シテ敢テ父一母ノ意ニ違(ハ)(ス) シテ己カ諫ヲ遂トクヘシ

19 (85) 【父母在章】

子曰。父母在マストキハ遠ク遊ハス 遊コト必ス方有リツネ

鄭玄曰。方ハ常ノ猶(シ)

20 (86) 【三年無改於父之道章】

子曰。三一年父ノ道ヲ改コト無キヲ孝ト謂可シ

鄭玄曰。孝一子喪(ニ) 在トキハ哀一戚思一慕シテ其ノ父ノ道ヲ改コト無(シ) 心ノ忍テ為所ニ非(ス)

21 (87) 【父母之年章】

子曰。父一母ノ年ヲハ知ラ(ス)ンハ(アル)可ラス

一ヒハ則以テ喜ビ一ヒハ則以テ懼タソル

孔安国曰。其ノ寿考ナルヲ見テハ則 喜ヒ其ノ衰一老

ナルヲ見テハ則 懼ル

22 (88) 【古者言之不出章】

子曰。古ノ者。言出(サ)ルコトハ躬逮(サラン)コ

トヲ恥ハヂテ(也)

包氏曰。古ノ人ノ言 妄ニ口ニ出サ(サル)コトハ身ノ行ノ將ニ及(ハ)(サ)ラ(ン)コトヲ恥カ為ナリ

23 (89) 【以約失之者章】

子曰。約以テ失スルハ鮮スクナシ

孔安国曰。俱ニ中ヲ得ス 奢リハ驕一佚ニシテ禍ヲ招

ク 儉一約ナルトキハ憂一患無(シ)

24 (90) 【君子欲訥於言章】

子曰。君一子ハ言訥 行敏 欲

包氏曰。訥 遲鈍 言遲一鈍ナランコトヲ欲(シ)行

ハ疾トカラシ 欲ス

25 (91) 【德不孤章】

子曰。德孤 必ス鄰有リ

方類ヲ以テ聚マル 同志相 求ム故ニ必鄰有〔リ〕  
是 以孤 (ス)

26 (92) 【事君数章】

子游曰。君二事 数 斯レ辱 朋一友二数

ルトキハ斯疏

数 速数 数ヲ謂

論語公治長第五

1 (93) 1 (93) 【子謂公治長章】

子 公治長ヲ謂ク妻 可シ 縲綈ノ中 在ト雖モ其ノ罪

ニ非スト云テ其ノ子以テ妻

孔安国曰。公治長ハ弟子 魯人。姓ハ公一治。名ハ

長。縲ハ黒 索 縲ハ攀 罪一入ヲ拘 所一以

2 (94) \* 【子謂南容章】

子 南一容 謂ク 邦道有トキハ廢ス 邦道無トキハ刑一

戮免 其ノ兄 子以テ妻

王肅曰。南一容ハ弟子ノ南宮縉。魯人也。字ハ子容。

里仁 公治長

廢 (ス) トハ言ハ任一用セ見ル、ソ

3 (95) 2 (94) 【子謂子賤章】

子 子賤 謂ク

孔安国曰。子賤ハ魯人。弟子 宓不齊

君一子ナル哉 若人 魯二君一子無 斯レ焉ソ斯ヲ

取

包氏曰。若一 人 此ノ若キ人 如。魯二君子無ンハ

子賤安ソ此ノ行ヲ得テ学ヒ之ヲ行ハマシ

4 (96) 3 (95) 【賜也何如章】

子貢問テ曰 賜ハ何 如。子曰 女 器ノナリ

孔安国曰。言ハ女 是レ器一用ノ人ナリ

曰 何器ソ。曰 瑚璉

包氏曰。瑚一璉ハ。黍一稷ノ器モノヲ。夏ニハ瑚ト

曰。殷ニハ璉ト曰。周二ハ簠一簋ト曰。宗一廟ノ器ノ

貴キ者ナリ

5 (97) 4 (96) 【雍也仁而不佞章】

或 曰。雍 仁アテ佞 ス

馬融曰。雍ハ弟一子 仲弓カ名 姓ハ冉

子曰。焉ソ佞用 人禦 給以ス 屢 人憎 其ノ仁

ヲ知〔ラ〕ス 焉ソ佞ヲ用ン

孔安国曰。屢 数一也 佞一人ハ口 辞捷一給ニシテ

数 民ノ為ニ憎ル

6 (98) 5 (97) 【子使漆雕開仕章】

子 漆雕開 シテ仕シム。对テ曰 吾レ斯 未タ信

コト能〔ハ〕ス

孔安国曰。開ハ弟一子。漆一雕姓。開ハ名。仕進

ム道未タ信セラル、コト能〔ハ〕シト云ハ未タ究 習

コト能〔ハ〕(ス)

子説フ

鄭玄曰。其ノ道ニ志サスコト深ヲ喜フ

7 (99) 6 (98) 【道不行章】

子曰。道行 ス 桴 乗テ海ニ浮ハン 我レニ從 者

ノハ其レ由カ

馬融曰。桴ハ竹一木ヲ編 大ナル者ノヲ楫曰〔フ〕小

ナル者ノヲ桴曰〔フ〕

子路聞テ喜フ

孔安国曰。己ト俱ニ行 喜フ

子曰。由 勇好 我ニ過 材取ル所口無シ

鄭玄曰。子路夫一子ノ行 欲スルコトヲ信ス 故ニ勇

ヲ好コト我ニ過タリト言フ。材取〔ル〕所無トハ。言

ハ桴 材取〔ル〕所無ク。子路力微一言解〔サル〕ヲ

以ノ故〔ニ〕。戲ラク耳。一二曰 子路孔子ノ海ニ浮

ント欲ルヲ聞テ。便 喜テ復顧一望セ(ス)。故ニ孔

子其ノ勇ヲ欺テ我ニ過タリト曰。復〔タ〕哉〔ヲ〕取

〔ル〕所無トハ 言ハ唯己〔ニ〕取ル 古材ト哉ト同

シ

8 (100) 7 (99) 【孟武伯問子路仁乎章】

孟武伯問 子路仁アリ乎。子曰。知〔ラ〕ス

孔安国曰。仁ノ道至テ大ナリ 全ク名ク可〔ラ〕(ス)

又 問フ 子曰。由ヲハ千乗ノ国其ノ賦治使可シ

孔安国曰。賦ハ兵一賦

其ノ仁ヲ知〔ラ〕ス。求何如。子曰。求ヲハ千一室ノ  
邑百一乗ノ家ニ宰為使可シ

孔安国曰。千一室ノ邑ハ卿一夫之邑。卿一夫  
ヲ家ト称ス。諸一侯ハ。千一乗ナリ。卿一夫ナル。

故二百一乗ト曰〔フ〕。宰ハ家一臣ソ

其ノ仁ヲ知〔ラ〕ス。赤何如。子曰。赤東一帯シテ

朝ニ立テ、賓一客ト言使可シ

馬融曰。赤ハ弟一子。公西華容一儀有リ。行人為

(シメツ)可(シ)

其ノ仁ヲ知〔ラ〕ス。

9 (101) 8 (100) 【女與回孰愈章】

子 子貢〔ニ〕謂テ曰。女回ト孰力愈

孔安国曰。愈ハ勝ノ猶〔シ〕

対テ曰。賜ハ何敢テ回ヲ望。回ハ一ヲ聞テ以テ十ヲ

知ル。賜ハ一ヲ聞テ以テ二ヲ知ル。子曰。如弗吾ト女

ト如弗

包氏曰。既ニ子貢カ如弗ト云ヲ然ス。復云。吾ト汝

公冶長

ト俱ニ如(ス)トハ。蓋シ以テ子貢カ心ヲ慰欲シ  
テナリ。

10 (102) 9 (101) 【宰予昼寝章】

宰予 昼寝

包氏曰。宰予ハ弟子宰我ソ

子曰 朽タル木ヲハ彫可ラス

包氏曰。朽腐彫一琢刻一画セルソ

糞一土ノ牆 朽 可ラス

王肅曰。朽ハ鏝一也 二一者ヲハ功ヲ施ト雖モ猶成ラ

〔サル〕ニ喩フ

予於テ何誅

孔安国曰。誅ハ責一也 今我レ當ニ何ソ女ヲ責ヘケ

ン乎 深ク責ル辞ナリ

子曰。始 吾レ人ニ於テ其ノ言聽 其ノ行ヲ信シキ 今

吾レ人ニ於テ其ノ言聽 其ノ行ヲ觀 予於テ是改ム

孔安国曰。是ヲ改トハ。始メ言ヲ聽テ行ヲ信シキ。今

更〔ニ〕言ヲ察シテ行ヲ觀テ。宰我カ昼寝ヲ發



11 (103) 10 (102) 【吾未見剛者章】

子曰。吾レ〔未夕〕剛一者ヲ見ス 或<sup>アルヒト</sup> 对テ曰<sup>マフサクシシタウタリ</sup> 申根

包氏曰。申根ハ魯人

子曰。根<sup>タウ</sup> 慾<sup>ヨクアリ</sup> 焉ソ剛<sup>カウラ</sup> 得<sup>ト</sup> ン

孔安国曰。慾ハ情一慾多ソ

12 (104) 11 (103) 【我不欲人之加諸我也章】

子貢曰。我レ人ノ我ヲ加<sup>シノカンコトヲホツセ</sup> 欲<sup>ス</sup> ス 吾亦人ニ加<sup>シノクコト</sup> 無<sup>シ</sup>

ランコトヲ欲<sup>ホツス</sup>

馬融曰加ハ陵

子曰。賜<sup>ソノ</sup> 爾及ハン所ロニ非ス

孔安国曰。言ハ人ヲ止<sup>トメ</sup> 非一義ヲ己レニ加〔ヘ〕〔サラ〕

使コト能〔ハ〕〔ス〕

13 (105) 12 (104) 【夫子之文章章】

子貢曰。夫一子ノ文一章ヲハ得テ聞<sup>キイツ</sup> 可シ

章ハ明一也。文一彩<sup>サイ</sup>。形一質<sup>ケイ</sup>。著<sup>ハレ</sup> 見〔エ〕得テ耳一

目ヲ以〔テ〕脩<sup>ヲサム</sup> 可シ

夫一子ノ言性<sup>コトセイト</sup> 天一道トヲ得テ聞<sup>キク</sup> 可<sup>シ</sup> ラサラク也<sup>ノミ</sup> 已

性ハ人ノ受テ以テ生<sup>ウマレタル</sup> 所ナリ 天一道ハ元一享<sup>カウジツ</sup> 日一

新ノ道ナリ 深一微ナリ故ニ得テ聞〔ク〕可〔ラ〕

〔ス〕

14 (106) 13 (105) 【子路有聞章】

子路聞コト有テ未夕行コト能ハス 唯<sup>タ</sup> 恐ハ聞コト有<sup>シ</sup> コ

トヲ

孔安国曰。前<sup>サキニ</sup> 聞ケル所未夕得<sup>テ</sup> 行コト及〔ハ〕〔ス〕

故ニ後ニ聞コト有テ並<sup>シ</sup> 行コトヲ得〔サラ〕ンコトヲ

恐ル

15 (107) 14 (106) 【孔文子何以謂之文也章】

子貢問テ曰 孔文子ヲハ何<sup>ニ</sup> 以カ之ヲ文ト謂<sup>イフ</sup>

孔安国曰。孔文子ハ衛ノ大<sup>キ</sup> 夫孔叔圉<sup>キヨ</sup> 文ハ諡<sup>ヲクリテ</sup>

子曰。敏<sup>ヒシニメ</sup> 学ヲ好ム 下<sup>ニ</sup> 問ニ恥<sup>ハチ</sup> ス 是<sup>ニ</sup> 以テ之ヲ文ト

謂<sup>イフ</sup>

孔安国曰。敏ハ識<sup>シルコト</sup> ノ疾<sup>トキコト</sup> 下<sup>ニ</sup> 問トハ凡ソ己カ下ニ在

ル者ニ問ソ

16 (108) 15 (107) 【子謂子產章】

子 子産シサン謂 君一子ノ道ヨツ四有リ

孔安国曰。子産ハ鄭ノ大夫。公孫僑ケウ

其レ己フシ行ニ恭ケウ。其レ上事カミニツカフマツルニケイ敬。其レ民ヲ養ニ惠ケイ。

其レ民ヲ使ニ義アリ。

17 (109) 16 (108) 【晏平仲章】

子曰。晏平仲善ク人ト交マシ。久シテ人敬ケイ。

周生烈曰。齊ノ大―夫ソ 晏ハ姓。平ハ諡。名ハ嬰ソ

18 (110) 17 (109) 【臧文仲居蔡章】

子曰。臧文仲蔡居

包氏曰。臧文仲ハ魯ノ大―夫臧孫辰 文ハ諡也。蔡

ハ国―君ノ守マホリ。龜。蔡ノ地ヨリ出タリ。因テ以テ名ト

為 長サ尺―有ニ―寸ソ 蔡ヲ居ルコト僭セリ

節ヲ山ニシセツニ 稅エカケリ 藻マスカタ

包氏曰。節ハ栢―也 刻―鏤シテ山ニ為ツクル。稅 梁―上

ノ楹ツカハシラ。画 藻―文ヲ為エカイテサウ。言ハ其奢 侈レリ

何 如其レ知アラン

孔安国曰。時ノ人ノ謂テ以〔テ〕知アリト為コトヲ非ソシ

公冶長

19 (111) 18 (110) 【令尹子文章】

子張問テ曰。令尹子文

孔安国曰。令―尹子文ハ楚ノ大―夫。姓ハ闞。名ハ穀

於菟

三 仕 令尹為 喜フ色モ無ク 三 已 慍 色モ

無シ 旧 令―尹ノ政コト必ス以テ新キ令尹ニ告 何如。

子曰 忠アリ。曰 仁アリ乎。曰 未タ知〔ラ〕ス 焉

ソ仁ヲ得ン

孔安国曰。但其ノ忠―事ヲ聞ク 未タ其ノ仁ヲ知〔ラ〕

(ス)

20 (112) \* 【崔子弑齐君章】

崔子 齊ノ君ヲ弑 陳文字馬十乘有リ 棄違。

孔安国曰。皆齊ノ大―夫ソ。崔杼乱ヲ作。陳文字。

之ヲ惡 四十匹ノ馬ヲ捐 違 去

他―邦ニ至テ則曰 猶吾カ大―夫崔子カコトシト云テ違。

一―邦ニ至テ則 又曰 猶吾カ大―夫崔子カコトシト云

テ違。何如。子曰 清。曰 仁アリ乎。曰 未タ知〔ラ〕

ス 焉<sup>イ</sup>ソ仁ヲ得ン

孔安国曰。文子悪<sup>シ</sup>逆無<sup>シ</sup>道ヲ辟<sup>シ</sup> 有<sup>シ</sup>道ヲ求ム

春<sup>ニ</sup>秋ノ時ニ當テ臣ノ其ノ君ヲ陵<sup>シ</sup> 皆崔子カ如ニシ

テ可ナルコト有<sup>ル</sup>コト無キ者<sup>ノ</sup>

21 (113) 19 (111) 【季文子三思而後行章】

季文子三<sup>ヒ</sup>思テ後<sup>ノ</sup>行<sup>ハ</sup>。子之<sup>ノ</sup>〔ヲ〕聞<sup>キ</sup>曰<sup>ク</sup>再<sup>ヒ</sup>思<sup>フ</sup>斯<sup>レ</sup>

レ可ナリ

鄭玄曰。季文子ハ魯ノ大<sup>一</sup>夫季孫行父ナリ 文ハ諡<sup>フ</sup>

文子忠アリテ而モ賢<sup>一</sup>行有リ 其レ事ヲ拳スルニ過寡<sup>ア</sup>

シ 必シ〔モ〕三タヒ思ニ及〔ハ〕<sup>20</sup>〔ス〕

22 (114) 20 (112) 【甯武子章】

子曰。甯武子<sup>ネイブシ</sup>

馬融曰。衛ノ大<sup>一</sup>夫甯俞<sup>ユ</sup> 武ハ諡<sup>フ</sup>一也

邦道有ルトキハ則知アリ 邦道無トキハ愚<sup>ク</sup>其ノ知ニハ<sup>21</sup>

及<sup>ク</sup>可シ 其ノ愚ニハ及<sup>ク</sup>可〔ラ〕ス

孔安国曰。佯<sup>イッハリ</sup>愚ニシテ実ニ似タリ 故〔ニ〕及〔フ〕

可〔ラ〕〔ス〕ト曰

23 (115) 21 (113) 【子在陳章】

子陳<sup>チン</sup>在マシテ曰<sup>ク</sup>。婦與<sup>カエンナン</sup>婦<sup>ノ</sup> 與<sup>ニ</sup> 吾カ党ノ小<sup>一</sup>子狂<sup>キヤウ</sup>

簡斐<sup>カンヒ</sup>一然トシテ章ヲ成<sup>ナシテサイセンユヘンラ</sup>裁<sup>シ</sup> 所<sup>ノ</sup>以知ス

孔安国曰。簡ハ大<sup>一</sup>也 孔子陳ニ在テ婦<sup>ノ</sup>コトヲ思フ

去ナント欲シテ曰<sup>ク</sup>。吾カ党ノ小<sup>一</sup>子狂<sup>一</sup>者。進テ大<sup>一</sup>

道ヲ取テ。妄リニ穿<sup>一</sup>鑿シテ以文<sup>一</sup>章ヲ成シテ。裁<sup>一</sup>

制セン所<sup>一</sup>以ヲ知〔ラ〕サラン。我レ當ニ婦<sup>ノ</sup>テ以テ之<sup>レ</sup>

ヲ裁<sup>一</sup>制ス〔ベ〕キ耳<sup>ノミト云テ</sup> 遂<sup>23</sup>ニ婦<sup>カヘンス</sup>

24 (116) 22 (114) 【伯夷叔齊章】

子曰。伯夷叔齊ハ旧<sup>一</sup>惡ヲ念ス 怨<sup>ウラミ</sup>是<sup>レ</sup> 用<sup>マレナリ</sup>テ希<sup>ク</sup>

孔安国曰。伯夷叔齊ハ孤竹ノ君ノ二<sup>一</sup>子孤竹ハ国ノ名

25 (117) 23 (115) 【孰謂微生高直章】

子曰。孰<sup>タレカヒ</sup>微生高<sup>セイ</sup>ヲ直<sup>チヨクナリト</sup> 謂<sup>フ</sup>

孔安国曰。微生ハ姓。名ハ高 魯人

或<sup>アルヒト</sup>醜<sup>スラコフ</sup>乞<sup>トナリニコツテ</sup> 其ノ鄰<sup>ノ</sup> 乞<sup>之</sup>〔ヲ〕與<sup>アタフ</sup>

孔安国曰。四<sup>一</sup>鄰ニ乞テ以〔テ〕求<sup>ル</sup> 者ニ応〔ス〕

意ヲ用コト委<sup>一</sup>曲ナリ 直<sup>一</sup>人ト為<sup>スルニ</sup>非〔ス〕

26 (118) 24 (116) 【巧言令色足恭章】

子曰。言巧コトヲタクミニシ 色ヨクシテスウケウスルヲハ 令トモトスルハ 足ハツ 一ハツ 恭ヘキ

孔安国曰。足ハツ 一ハツ 恭ヘキ 八便ハツ 一僻ヘキ 貌

左丘明ハツ 恥キウモ 丘亦ハツ 恥ハツ

孔安国曰。左丘明ハ魯ノ大トモトスルハ 一夫

怨ウラミラカクシテ 匿ノ 其トモトスルハ 人トモトスルハ ヲ友トモトスルハ

孔安国曰。心ノ内ニ相ウラミテ 怨ウラミテ 外ニ詐ウラミテ ハリテ親ウラミテ ス

左丘明ハツ 恥キウモ 丘亦ハツ 恥ハツ

27 (119) 25 (117) 【顔淵季路侍章】

顔淵季路侍ハシヘリ 子曰。盍ナシシ 各爾ナシチノコ 志イハ ヲ曰イハ サル 子路イハ カ曰

願イ ハ車馬衣ケイ 一ケイ 輕キウ 一ケイ 裘朋キウ 一ケイ 友キウ (ト) 共24ヤツストモ 二敵ウラムルコトナケン 憾ウラムルコトナケン 無ウラムルコトナケン

孔安国曰。憾ウラムルコトナケン ハ恨ウラムルコトナケン 一也

顔淵カ曰。願ホコルコトナケン ハ善ホコルコトナケン 二伐ホコルコトナケン 無ホコルコトナケン

孔安国曰。自ミ 己カ善ミ ヲ称ミ ルコト無ミ ケン

勞ラウヲホ 施ナケン コト無ナケン

孔安国曰。勞ラウヲホ 一ラウヲホ 事ラウヲホ ヲ以ラウヲホ (テ) 人ニ置ラウヲホ 一ラウヲホ 施ラウヲホ (コト) 無ラウヲホ ケ

ン

公治長 雍也

子路曰。願ヤスシキカ ハ子ノ志ヤスシキカ ヲ聞ヤスシキカ。子曰。老ヤスシキカ 一ヤスシキカ 者ヤスシキカ 二ハ安ヤスシキカ 朋ヤスシキカ 一ヤスシキカ 友ナツカシシセラレン 二ハ信ナツカシシセラレン セラレン 少ナツカシシセラレン 一者ナツカシシセラレン 二ハ懷ナツカシシセラレン

28 (120) 26 (118) 【已矣乎章】

子曰。已ヤヌルカチ 矣ヤヌルカチ 乎ヤヌルカチ 吾ヤヌルカチ レ未ヤヌルカチ タ見ヤヌルカチ ス 能ヤヌルカチ ク其ヤヌルカチ ノ過ア ヲ見ヤヌルカチ テ内ミ 二自ミ 訟セムルモノヲ 者セムルモノヲ

訟者

包氏曰。訟セキ ハ責セキ (ノ) 猶セキ (シ)。言セキ ハ人過セキ 有セキ トキハ能セキ

自責セキ コト莫セキ (シ)

29 (121) 27 (119) 【十室之邑章】

子曰。十室ノ邑ユウニ 必ユウニ ス忠25 一信ユウニ 丘カ如モノアラシ キ者モノアラシ 有モノアラシ 丘カ学コノムニシカ 好コノムニシカ 如コノムニシカ

サラシ

論語雍也第六

1 (122) 1 (120) 【雍也可使南面章】

子曰。雍1 ハ南面1 セシメツ可1 シ

包氏曰。南面1 セシメ(ツ) 可1 シトハ 言1 ハ諸1 一1 侯1 二任1

シテ国ヲ治1 (メ) 使1 メツ可1 (シ)

2 (123) \* 【仲弓問子桑伯子章】

雍也

仲弓 子桑伯子ヲ問フ

王肅曰。伯子ハ書伝ニモ焉ヲ見コト無シ

子曰。可ナリ 簡カシナリ

其レ能ク簡ナルヲ以レハレ故ニ可也ト曰

仲弓カ曰。敬居簡ヲ行 以テ其ノ民ミレ臨ム 亦

可ナラス乎ヤ

孔安国曰。身敬一肅ニ居テ下ニ臨ムニ寛一略ナル則ハ

可ナリ

簡ニ居簡ヲ行 無 乃大一簡乎カ

包氏曰。伯子ノ簡ハ大一簡ナリ

子曰。雍カ言然ナリ

3 (124) 2 (121) 【哀公問曰弟子章】

哀公問テ曰ク 弟一子孰タレカ学好コトヲ為。孔子対テ曰。

顔回ト云者有リ 学好怒 遷ス 弋過ス 不

幸短一命ニシテ死ニキ 今ハ則チ亡 未夕聞ス 学好者

ノヲ

凡一人 情ニ任ルヲ喜ヒ理ニ違フヲ怒ル 顔淵ハ道ニ

任フテ怒レトモ分ニ過レキレ遷ハ移一也 怒リ

其ノ理ニ當テ移一易レスレ弋過 ストハ不善有ル

トキハ未夕嘗テ復夕行ハレスレ

4 (125) 3 (122) 【子華使於齊章】

子華齊ニ使 冉子其ノ母ノ為ニ粟請。子曰。釜與ヘヨ

馬融曰。子華ハ弟子ノ公西華ナリ 赤八字ソ。六一斗

四一升ヲ釜曰

益請。曰 廩與ヘヨ

包氏曰 十六斗ノ一廩ト為

冉子粟五一秉與フ

馬融曰。十六斛秉曰 五一秉合シテ八十斛

子曰。赤 齊ニ適 肥 馬ニ乘輕キ裘 衣。吾レ聞ク

君一子ハ急ニ周 富 繼ス

鄭玄曰。冉有太夕多ク與ルニ非レル

5 (126) \* 【原思為之宰章】

原思宰為

包氏曰。弟子ノ原憲ソ 思八字。孔子魯ノ司一寇為。

原憲ヲ以〔テ〕家ト為 邑ノ宰タリ

粟九一<sup>アタラ</sup>百與<sup>ジス</sup> 辭

孔安国曰。九一<sup>アタラ</sup>百八<sup>ジス</sup>九百斗ナリ 辭一讓シテ受〔ケ〕

(ス)

子曰。母<sup>ナカレ</sup>

孔安国曰。祿ノ法ハ當ニ受ル所ヲ以テ讓コト無〔カル〕

(ヘシ)

以爾<sup>モテナンチカ</sup> 鄰一里郷一党ニ與<sup>アタヘヌ</sup> 乎

鄭玄曰。五一家ヲ鄰ト為。五一鄰ヲ里ト為。万二千五

百家ヲ郷ト為。五百家ヲ党ト為

6 (127) 4 (123) 【子謂仲弓章】

子仲弓ニ謂<sup>カタテ</sup> 曰。犁一牛ノ子<sup>コ</sup> 驛<sup>アカフシテマタツノアリ</sup> 且角 用ルコト

勿<sup>ナカラマク</sup> 欲スト雖モ山一川其レ舍<sup>ステメヤ</sup> 諸

犁トハ雜文ナリ。驛トハ赤 色ナリ。角トハ角ノ周<sup>18</sup>キ

ハ正ニ犧一牲ニ中ルソ 其ノ生〔ル〕所ノ犁ヲ以〔テ〕

用〔ヒ〕 (サ) ラマク欲ト雖〔モ〕 山川寧口肯<sup>20</sup>テ之ヲ

舍<sup>ヤ</sup>ン乎 言ハ父善〔ナラ〕 (ス) 〔ト〕 雖モ其ノ子ノ美

雍也

ヲハ害〔セ〕 (サ) ルナリ

7 (128) 5 (124) 【回也其心三月不違仁章】

子曰。回 其 心 口 三 月 仁 二 違<sup>タカハ</sup> ス 其ノ余ハ日一月

ニ至レル<sup>ラクノミ</sup> 焉而已矣

言ハ余人ハ暫ク仁ニ至ルニ時有り 唯夕回ハ時移トモ

變〔セ〕 (ス)

8 (129) 6 (125) 【季康子問仲由章】

季康子問ク 仲由ヲハ政コトニ從<sup>シ</sup>ハ使<sup>シメツ</sup> 可シ也與 子曰

由ハ果ナリ

包氏曰。果ハ謂ク果一敢決一斷<sup>22</sup>

政コトニ從<sup>シ</sup>ニ於テ何有。曰賜 政コトニ從<sup>シ</sup>ハ使<sup>メツ</sup>

可シ也與 子曰賜ハ達ナリ

孔安国曰。達ハ謂ク物ノ理ニ通〔ス〕

政コトニ從<sup>シ</sup>ニ於テ何有。曰求ヲハ政コトニ從<sup>シ</sup>ハ使<sup>ツ</sup>

可シ也與 子曰。求ハ藝<sup>ゲイナリ</sup>

孔安国曰。藝ハ謂ク才一能多ソ

政コトニ從<sup>シ</sup>ハニ於テ何カ有ン。

雍也

9 (130) 7 (126) 【季氏使閔子騫為費宰章】

季氏閔子騫ヲシテ費ノ宰ヒ為使タラシム

孔安国曰。費ハ季氏カ邑ナリ。季氏不<sub>レ</sub>臣ニシテ其ノ

邑宰ソムク叛閔子騫カ賢ヲ聞ク故ニ之ヲ用ント欲〔ス〕

閔子騫カ曰。善我カ為タメニ辞セヨ

孔安国曰。季氏23カ宰ヲ為ヲサメンコトヲ欲〔セ〕(ス)。使<sub>レ</sub>者

ニ語テ曰ク。善ク我カ為ノ二辞ノ説ヲ作シテ。復タ我ヲ

召ヨハ(サ)ラ令メヨ。

如我モシヲ復マタスルコト有ラハ

孔安国曰。復我トハ重テ我ヲ召ヨヒニ来ルソ

則<sub>レ</sub>吾レ必ス汶上ブシノホトリニアラン在在

孔安国曰。去テ汶<sub>一</sub>水ノ上ニ之ユイテ北ノ方齊ニ如ユカント欲ス

10 (131) 8 (127) 【伯牛有疾章】

伯牛ヤマイ疾有リ

馬融曰。伯牛ハ弟<sub>一</sub>子冉<sub>一</sub>耕カウソ

子之(ヲ)問26トフラクマド牖26トフラクマド自リ其ノ手ヲ執テ

包氏曰。悪疾有リ 人ニ見ミハマク欲〔セ〕(ス) 故ニ孔子

牖ノ従リ其ノ手ヲ執〔ル〕

曰<sub>ノ</sub>亡シナン

孔安国曰。亡ハ喪<sub>一</sub>也。疾<sub>一</sub>甚シ故ニ其ノ手ヲ持テ之27

レ喪シナン曰〔フ〕

命マイナルカナ矣夫斯<sub>ノ</sub>人ニシテ斯ノ疾有コト 斯ノ人ニシテ斯ノ

疾有コト

包氏曰。再ヒ之ヲ言イフコトハ痛テ之ヲ惜ムコト甚シ

11 (132) 9 (128) 【賢哉回也章】

子曰。賢ナルカナ哉回。一<sub>一</sub>簞食<sub>一</sub>瓢ヒヨウノインシテ飲ヒサコ

孔安国曰。簞クンハシナリ笥ヒヨウハコ瓢瓢

陋巷ロウカウニアリ在 人其ノ憂ヘニ堪ス。回 其ノ樂ミヲ改メス

賢ナルカナ哉 回

孔安国曰。顔淵道ヲ樂ンテ簞食シテ陋巷ロウカウニ在ト雖〔ト

モ〕其ノ樂ム所ヲ改〔メ〕(ス)

12 (133) 10 (129) 【非不説子之道章】

冉求カ曰 子ノ道ヲ説ビ〔サル〕ニハ非ス 力足〔ラ〕

〔サ〕ル〔也〕。子曰。力足〔ラ〕〔サル〕ハ中<sub>一</sub>道ニ

シテ廢スタレナン 今女子画ヤム

孔安国曰。画ハ止一也。力足クハ〔ラ〕(ス)トハ當ニ中道ニシテ廢スタレシム (へ)シ 今女子ミ30ト自止ル耳ノミ 力ノ極ルニ非〔ス〕

13 (134) 11 (130) 【子謂子夏章】

子子夏二謂イッテ・カタツテノ 曰。女君一子ノ儒為ジュウヲセヨ 小人ノ儒ヲ為スルコト 母レ

君一子ノ儒ヲ為ルトキハ將ニ以テ道ヲ明ニセントス 小一人ノ儒ヲ為ルハ則チ其ノ名ニ矜ホコル

14 (135) 12 (131) 【子游為武城宰章】

子游武一城ノ宰為タリ 包氏曰。武城ハ魯ノ下一邑ナリ 子曰。女子人ヲ得タリ乎哉ヤ

孔安国曰。焉一耳乎一哉ハ皆 辞ナリ

曰 澹台滅明者ノ有リ。行ユクトキニミチニ 徑由〔ラ〕(ス) 公一 事ニ非レハ未タ嘗ヨリ偃室エンカシツニ 至ラス

包氏曰。澹台ハ姓。滅明ハ名ナリ。字ハ子羽。言ハ其

雍也

レ公ヲフヤケニシテ 且ツ方タ、シイ

15 (136) 13 (132) 【孟之反不伐章】

子曰。孟之反ハン 伐ホコラ (ス)

孔安国曰。魯ノ大一夫孟之側ソクナリ。齊ト戦フトキニ軍大敗ル。伐ホコラ ストハ。自其ノ功ヲ伐ホコラ (サ) ルナリ

策ムチウツテ 曰〔ク〕 敢アエテ 後ヲクレタルニ 非ス 馬ノ進スマ (サ) ル〔也〕

馬融曰。殿32 (ハ) 軍ノ後 在ル者ナリ 前啓ト曰 〔フ〕 後アトラ 殿ト曰〔フ〕 孟之反賢ニシテ勇ミ有リ 軍

大ニ奔ワシルトキニ 猶ヲ後ヘニ在テ殿為ヲクレタル 人ヲ迎ムカヘテ 功ヲ為34ナス

独リ其ノ名有コトヲ欲〔セ〕(ス) 故ニ曰 我レ敢テ 後ニ在テ敵ヲ距35 非ス 馬ノ進コト能ハ(サ)レハ也 ト云

16 (137) 14 (133) 【不有祝鮀之佞章】

子曰。祝鮀シクダ 力佞有ネイ (ラ) スハ宋朝カ美有ビ36アレ。難カタイカナ 乎今ノ世 二免マヌカレンコト

孔安国曰。佞ハ口一才。祝鮀シクダハ 衛ノ大一夫。名ハ子魚。



雍也

時 世ニ之ヲ貴フ。宋朝ハ宋国ノ美一人ニシテ。而モ  
淫<sup>37</sup>ヲ善クセリ。言ハ當ニ祝鮀カ佞ノ如クニシテ反テ。  
宋朝カ美ノ如ナル(へ)シ 難<sup>カタイカナ</sup> 今ノ世ノ害ヲ免<sup>マヌカレンコト</sup>

17 (138) 15 (134) 【誰能出不由戸章】

子曰。誰<sup>カ</sup>能<sup>イットル</sup>出<sup>トキニ</sup>由<sup>コ</sup>戸<sup>ヨラ</sup>ニ由<sup>ナシ</sup>(サラ)ン者<sup>ナシ</sup> 何<sup>ナシ</sup>斯<sup>ナシ</sup>ノ道<sup>ナシ</sup>ニ  
由<sup>ナカラ</sup>コト莫<sup>ナシ</sup>

言ハ人身ヲ立テ功ヲ成スコトハ當ニ道ニ由(ル)(へ)

(シ) 譬ハ人ノ出<sup>イ</sup>入<sup>イ</sup>スルニ要<sup>40</sup>ス當ニ戸<sup>20</sup>ニ從<sup>イ</sup>(ル)

(へ) キカ猶クナリ

18 (139) 16 (135) 【質勝文則野章】

子曰。質<sup>カ</sup>文<sup>カ</sup>ニ勝<sup>カ</sup> 則<sup>ヤナリ</sup>野<sup>ナリ</sup>

包氏曰。野ハ野人ノ如(シ) 言ハ鄙略

文 質<sup>シ</sup>ニ勝<sup>シ</sup>トキハ則<sup>シ</sup>史<sup>シ</sup>

包氏曰。史<sup>シ</sup>ハ文<sup>シ</sup>多<sup>ク</sup> 而<sup>シ</sup>質<sup>シ</sup>少<sup>ク</sup>

文<sup>シ</sup>質<sup>シ</sup>彬<sup>シ</sup>彬<sup>シ</sup>トシテ然<sup>シ</sup> 後<sup>シ</sup>二君<sup>シ</sup>一子<sup>シ</sup>ナリ

包氏曰。彬<sup>シ</sup>彬<sup>シ</sup>ハ文<sup>シ</sup>質<sup>シ</sup>相<sup>シ</sup>比<sup>シ</sup>半<sup>シ</sup>ニスルノ貌<sup>カクナリ</sup>

19 (140) 17 (136) 【人之生也直章】

子曰。人ノ生<sup>イケツコトハチヨクナレハナリ</sup> 直<sup>チ</sup>

馬融曰。言ハ人ノ世ニ生<sup>42</sup>テ自<sup>ミ</sup>終<sup>ハル</sup> 所<sup>シ</sup>一以<sup>シ</sup>ンハ其ノ正<sup>シ</sup>

直ノ道ヲ以<sup>テ</sup>(テ)(也)

罔<sup>シ</sup>生<sup>イ</sup> 幸<sup>シ</sup> 免<sup>シ</sup>

包氏曰。正<sup>シ</sup>一<sup>シ</sup>直<sup>シ</sup>ノ道<sup>シ</sup>ニ誣<sup>シ</sup>一<sup>シ</sup>罔<sup>シ</sup>亦<sup>シ</sup>夕<sup>シ</sup>生<sup>イ</sup> 是<sup>シ</sup>レ幸<sup>シ</sup>ニシテ  
免<sup>マヌカレタルナリ</sup>

20 (141) 18 (137) 【知之者章】

子曰。知<sup>シ</sup>レル者<sup>シ</sup>ノハ好<sup>コト</sup>者<sup>シ</sup>ノニハ如<sup>シ</sup>ス 好<sup>シ</sup>ム者<sup>シ</sup>ノハ樂<sup>タ</sup>ム

者<sup>シ</sup>ノニハ如<sup>シ</sup>ス

包氏曰。学<sup>シ</sup>一<sup>シ</sup>問<sup>シ</sup>之<sup>シ</sup>ヲ知<sup>シ</sup>ル者<sup>シ</sup>ノハ之<sup>シ</sup>(ヲ) 好<sup>シ</sup>ム者<sup>シ</sup>篤<sup>モク</sup>

如<sup>シ</sup>ス 之<sup>シ</sup>ヲ好<sup>シ</sup>ム者<sup>シ</sup>ハ又<sup>シ</sup>之<sup>シ</sup>ヲ樂<sup>シ</sup>ム者<sup>シ</sup>ノ、深<sup>シ</sup>ニハ如<sup>シ</sup>(ス)

21 (142) 19 (138) 【中人以上章】

子曰。中<sup>シ</sup>一人<sup>シ</sup>以<sup>テ</sup>一<sup>シ</sup>上<sup>シ</sup>ニハ以<sup>テ</sup>上<sup>シ</sup>語<sup>シ</sup>(ル)可<sup>シ</sup> 中<sup>シ</sup>一人<sup>シ</sup>以<sup>テ</sup>

下<sup>シ</sup>エハ以<sup>テ</sup>上<sup>シ</sup>語<sup>シ</sup>(ル)可<sup>シ</sup>(ラ)(ス)

王肅曰。上<sup>カミトハ</sup> 謂<sup>フ</sup>ク 上<sup>シ</sup>一<sup>シ</sup>知<sup>シ</sup>ノ知<sup>シ</sup>(ル)所<sup>シ</sup> 而<sup>シ</sup> 中<sup>シ</sup>人<sup>シ</sup>ヲ

举<sup>シ</sup>コトハ其<sup>シ</sup>ノ上<sup>シ</sup>タル可<sup>シ</sup>下<sup>シ</sup>タル可<sup>シ</sup>ヲ以<sup>テ</sup>ナリ

22 (143) 20 (139) 【樊遲問知章】

樊遲知問フ 子曰 民ノ義ヲ務ツトム

王肅曰 民ヲ化一ケイシテサカルラ道スル所一以ンノ義ヲ務ツトムルナリ

鬼一神ヲ敬ケイシテサカルラ 遠 知ト謂可シ

包氏曰。鬼一神ヲ敬シテ瀆クガサ(サ)ルナリ

仁問フ 子曰。仁ハ先ツ難ナヤンテ後ニ獲ウ 仁ト謂可シ

孔安国曰。先ツ勞一苦シテ乃功ヲ得ル 此レ仁ト為ル47

所一以ンナリ

23 (144) 21 (140) 【知者楽水章】

子曰。知一者ハ水ヲ楽48

包氏曰。知一者ハ其ノ才一知ヲ運49テ以テ世ヲ治ルコト

水ノ流テ已ムコト如シカ(サル)カ如ナルヲ楽ム

仁一者ハ山ヲ楽フ

仁一者ハ山ノ安一固ニシテ自一然ニ動カ51(ス)シテ万一

物生ルカ如クナルヲ楽ム52

知一者ハ動ウコク

包氏曰。自トシテ進ム故ニ動ク

仁一者ハ静シツカナリ

雍也

孔安国曰。欲無カ故ニ静カナリ

知一者ハ楽クフ

鄭玄曰。知一者ハ自役ミ其ノ志エキシテ(ヲ)得カ故ニ楽ム

仁一者ハ寿イノチナカシ

包氏曰。性静ナル故ニ寿53考

24 (145) 22 (141) 【斉一変章】

子曰 斉一セイヲヒ變ヘンセハ魯ニ至イタシナン。魯ヲ一ヒ變セハ道ニ至

ナシ

包氏曰。言ハ斉魯ニ太公周公ノ余一化有ナリ 太公ハ

大一賢ナリ。周公ハ聖一人ナリ 今 其ノ政一教衰ト

雖(トモ)若シ明一君有テ之ヲ興サハ齊ハ魯ノ如クナ

ラ使メツ可(シ) 魯ハ大一道ヲ行54時ノ如クナラ使

メツ可(シ)

25 (146) 23 (142) 【觚不觚章】

子曰。觚觚スココナラ

馬融曰。觚ハ礼ノ器也 一升ヲ爵シヤクト日 二升ヲ

觚コト曰

雍也

觚ナレ哉觚ナレ哉

觚 哉觚哉 言ハ觚ニ非レハ也 以テ政コトヲ為<sup>スルニ</sup>其ノ道ヲ得(サ)ル則ハ成(ラ)(サ)ルニ喩(フ)

26 (147) 24 (143) 【仁者雖告之日章】

宰我問テ曰 仁一者ニ雖<sup>タトイツケテイ</sup>告<sup>イニ</sup>曰井仁一者有リト云ハ其レ從<sup>シタカハンヤ</sup>

孔安国曰。宰我仁一者ハ必ス人ノ患一難ヲ濟<sup>スクフ</sup>(ト)以<sup>ラ</sup>為<sup>ラ</sup>故ニ問フ仁一人井ニ墮コト有ハ將ニ自投<sup>ミ</sup>一<sup>ヲ</sup>下シテ而シテ之ヲ出ントスル乎否 極メテ仁一人ノ憂一<sup>ヲ</sup>樂ノ至ル所ヲ觀<sup>ミ</sup>マク欲ル

子曰。何為<sup>ナシスレソ</sup>其<sup>シカラシ</sup>然<sup>シ</sup> 君一子ハ逝<sup>ユカシム</sup>可シ 陷<sup>ヲチイラシム</sup>可(ラ)(ス)

包氏曰。逝<sup>セイハ</sup>往一也。言ハ君一子往テ之ヲ視セ使ム可<sup>シ</sup>ラク耳<sup>ノミ</sup> 自投<sup>ミ</sup>シテ之ニ從<sup>カヘンセ</sup>フニ肯(ス)

斯<sup>アサムク</sup>可シ 罔<sup>シフス</sup>可(ラ)(ス) 馬融曰。斯<sup>アサムク</sup>可シトハ往<sup>ユカ</sup>使ム可(シ) 罔<sup>シフス</sup>可(ラ)(ス) トハ誣罔<sup>シイシイテミ</sup> 自投<sup>ミ</sup>一<sup>ヲ</sup>下セ令コトヲ得可(ラ)(ス)

27 (148) 25 (144) 【君子博学於文章】

子曰。君一子ハ博<sup>ヒロク</sup>文ヲ学<sup>60</sup>ンテ約<sup>ヤクスルニ</sup> 礼ヲ以ス 亦以テ畔<sup>ソムカサル</sup>弗<sup>シ</sup>可シ

鄭玄曰。畔<sup>ソムカサルトハ</sup>弗<sup>シ</sup>道ニ違<sup>タカハ</sup>(サ)ルナリ

28 (149) 26 (145) 【子見南子章】

子南一子ヲ見<sup>ニ</sup> 子路說<sup>コロコヒ</sup>ス 夫一子矢<sup>61</sup> 曰予否<sup>62</sup> 所<sup>63</sup>ヲセハ 天之(ヲ)厭<sup>63</sup> 天之(ヲ)厭<sup>63</sup>ン

孔安国曰。等シク以<sup>ラ</sup>為<sup>ラ</sup>南子ハ衛ノ靈公ノ夫一人。淫一<sup>ヲ</sup>乱シテ靈公之二惑<sup>マツイヌ</sup>。孔子之二見<sup>マミユルコト</sup>ハ因<sup>テ</sup>以テ靈公ニ說<sup>コロ</sup>テ治一<sup>ヲ</sup>道ヲ行ハ使ント欲(ス)。矢誓<sup>シハ</sup>一也 子路說(コヒ)(ス) 故ニ夫一子之ニ誓<sup>シ</sup>テ曰。道ヲ行コト既<sup>64</sup>ニ婦一人ノ事サニ非ス 而モ弟子說(コヒ)(ス) 之力與<sup>65</sup>メニ咒一誓スル(ハ) 義疑フ可レハナリ

29 (150) 27 (146) 【中庸之為德也章】

子曰。中一庸ノ德為<sup>タルコト</sup>其<sup>イタレルカナ</sup>レ至<sup>ス</sup> 矣乎<sup>ス</sup> 民<sup>スクナキコト</sup>ニ鮮<sup>ス</sup> 久<sup>シ</sup>シ 庸ハ常一也。中一和二常ニ之ヲ行フ可キ德ナリ 世一<sup>66</sup>乱レテ先一<sup>ニ</sup>生ノ道<sup>ニ</sup> 廢<sup>ス</sup> 民能ク此ノ道ヲ行コト鮮<sup>キ</sup>

コト久シ<sup>67</sup> 今ニ適<sup>カナフニ</sup> 非〔ス〕

30 (151) 28 (147) 【如能博施於民章】

子貢カ曰。如<sup>モシ</sup> 能ク博<sup>ヒロク</sup>民ニ施シ 能ク衆ヲ濟<sup>スクハ、イカン</sup> 何一<sup>ニ</sup>如  
仁ト謂フ可シ乎<sup>ヤ</sup> 子曰。何<sup>ナシ</sup>仁ヲシモ事<sup>コト、セシ</sup> 必ス<sup>カ</sup> 聖乎。  
堯舜其レ猶ヲ病<sup>ヤメリ</sup>

孔安国曰。若シ能ク広ク恩一<sup>ニ</sup>惠ヲ施シテ。民ノ患一<sup>ニ</sup>難  
ヲ濟フコト堯舜ノ至一<sup>ニ</sup>聖。猶ヲ其ノ難<sup>カタキコトヲヤメリ</sup> 病

夫レ仁一<sup>ニ</sup>者ハ己立<sup>ヲノレタシト</sup> 欲シテ人ヲ立ツ 己レ達<sup>ニ</sup>セント欲  
シテ人ヲ達ス 能ク近<sup>チカク</sup> 譬ヲ取ル 仁ノ方<sup>ミチト</sup> 謂フ可カラク  
已<sup>ノミ</sup>

孔安国曰。更ニ子貢カ為ニ仁一<sup>ニ</sup>者ノ行ヲ説ク。方ハ道一<sup>ニ</sup>  
也 但<sup>レ</sup> 能ク近ク譬ヘヲ己<sup>ヲノレニ</sup> 取ル 皆己レヲ恕<sup>ヲモンハカツテ</sup>  
欲セ(サル) 所ヲ之ヲ人ニ施スコト勿レ

論語述而第七

1 (152) 1 (148) 【述而不作章】

子曰。述<sup>ノヘテサクセ</sup>作ス 信<sup>ニ</sup>シテ古ヲ好ム 竊<sup>ヒソカニ</sup> 我ヲ老一<sup>ニ</sup>彭<sup>ハウニ</sup>比<sup>ニ</sup>

雍也 述而

ス

包氏曰。老彭ハ殷ノ賢一<sup>ニ</sup>大一<sup>ニ</sup>夫ナリ。好テ古<sup>ヘン</sup> 事ヲ述  
ス 我レ老一<sup>ニ</sup>彭カ若シトハ但之<sup>ニ</sup>〔ヲ〕述ル耳<sup>ミ</sup>

2 (153) 2 (149) 【默而識之章】

子曰。默<sup>モクシテシル</sup> 識<sup>マナシテイル</sup> 学<sup>マナシテイル</sup> 厭ス 人ヲ誨<sup>ヲシヘテウマ</sup> 倦ス 何ソ我ニ有ル  
哉<sup>ヤ</sup>

鄭玄曰。人是ノ行有コト無シ 我ニ於トハ我<sup>ニ</sup> 独<sup>ニ</sup>之有  
ナリ

3 (154) 3 (150) 【德之不脩章】

子曰。徳ヲ脩<sup>ヲサメ</sup>ス 学ヲ講セス 義ヲ聞テ從<sup>シタカフコト</sup> 能<sup>ハ</sup>〔ハ〕  
ス 善<sup>ヨカラ</sup>〔サル〕ヲ改<sup>アラタムルコト</sup> 能<sup>ハ</sup>〔ハ〕ス 是レ吾カ憂<sup>ウレエナリ</sup>

孔安国曰。夫一<sup>ニ</sup>子常ニ此ノ四ノ者ヲ以テ憂〔ト〕為

4 (155) 4 (151) 【子之燕居章】

子ノ燕<sup>エン</sup>一<sup>ニ</sup>居<sup>キヨセルトキニ</sup> 申<sup>シ</sup>一<sup>ニ</sup>申<sup>シ</sup>一<sup>ニ</sup>如タリ 天<sup>ヨウ</sup>一<sup>ニ</sup>天<sup>ニ</sup>一<sup>ニ</sup>如タリ  
馬融曰。申一<sup>ニ</sup>申<sup>シ</sup>一<sup>ニ</sup>天<sup>ニ</sup>一<sup>ニ</sup>天<sup>ニ</sup>一<sup>ニ</sup>和<sup>ニ</sup>一<sup>ニ</sup>舒<sup>ニ</sup>ノ貌ナリ

5 (156) 5 (152) 【甚矣吾衰也章】

子曰。甚<sup>ハナハタシイカナ</sup> 矣<sup>ニ</sup> 吾カ衰<sup>ワトロヘタルコト</sup> 也 久<sup>シ</sup> 矣<sup>ニ</sup> 吾レ復<sup>マタ</sup>夢<sup>ニ</sup>ニタモ周<sup>ニ</sup>

述而

公ヲ見〔サル〕コト

孔安国曰。孔子衰一老シテ復一夢ニタモ周公ヲ見〔ス〕

明一盛ノ時ニ夢ニ周公ヲ見テ其ノ道ヲ行ハマク欲〔ス〕

6 (157) 6 (153) 【志於道章】

子曰。道ニ志シ

志ハ慕一也。道ハ体ニ〔ス〕可〔ラ〕〔ス〕故ニ之ヲ

志而巳

徳ニ拠

拠ハ仗一也。徳ハ成、形有〔ル〕故ニ拠可〔シ〕

仁ニ依リ

依ハ倚一也。仁一者ハ功ヲ人ニ施スソ。故ニ倚可キナ

リ

藝遊

藝ハ六一藝。拠一依ルニ足〔ス〕故ニ遊ト曰〔フ〕

7 (158) 7 (154) 【自行束修以上章】

子曰。自束一脩以一上ヲ行。吾レ未タ嘗。誨

無ハンハアラ〔ス〕

孔安国曰。言ハ人、能ク礼ヲ奉シテ自束一脩以一上ヲ行フ則ハ皆之ヲ教ヘ誨

8 (159) 8 (155) 【不憤不啓章】

子曰。憤〔ス〕ンハ啓ス。悱〔ス〕ンハ廢ス。一

隅。示スニ三一隅以テ反セ〔サ〕ルトキハ則吾レ復

ス

鄭玄曰。孔子人ト言トキニ必其ノ人ノ心ノ憤一憤口ノ

悱一悱タルヲ待テ乃、後ニ啓一發シテ為ニ之ヲ説ク

此〔ノ〕如ル則ハ識一思ノ深也。説則ハ一隅ヲ

挙テ以之ニ語ルニ其、人其ノ類〔ヲ〕思〔ハ〕〔サ〕

ル則ハ復、重テ之ヲ教〔サル〕ナリ

9 (160) 9 (156) 【子食於有喪者之側章】

子、喪有ル者側、食スルトキハ未タ嘗、飽〔ス〕。

子、是ノ曰哭、歌ハス

喪ニハ哀一戚、飽テ其ノ側ラニ食ルハ是レ、憫一隱、心無

〔キ〕也

10 (161) 10 (157) 【子謂顔淵章】

子 顔淵〔二〕謂曰。用トキハ則行 舍 蔵唯 我  
ト爾ト是レ有 夫

孔安国曰。言ハ行フ可キ則 行ヒ 止ム可〔キ〕則

止ム 唯 我ト顔淵ト同 耳

子路曰 子三軍ヲ行トキハ誰 與

孔安国曰。大一國ハ三軍子路孔一子ノ独リ顔淵ヲ

美 見テ己レカ勇夫一子三軍ノ将〔ト〕為 至テ亦

唯タ己レト俱ニ當 以一為ラク 故ニ此ノ問ヲ發〔ス〕

子曰。暴一虎馮一河シテ死ストモ悔無キ者ノニハ吾ハ與

ジ

孔安国曰。暴一虎徒 搏 馮一河徒 涉

必ス事ニ臨ンテ懼 謀 好 成者ノナリ

11 (162) 11 (158) 【富而可求也章】

子曰。富而モ求ム可クンハ執一鞭ノ士ト雖モ吾レ亦タ之

〔ヲ〕為

鄭玄曰。富一貴ハ求テ得可クンハ當ニ德ヲ修テ以〔テ〕

之ヲ得〔ヘ〕シ 若シ道ニ於テ求ム可クンハ執一鞭ノ賤一

述而

職ナリト雖〔トモ〕我 亦之ヲ為シ

如求ム可ラ〔ス〕ンハ吾カ好 所ニ從

孔安国曰。好 所口トハ古 人ノ道ソ

12 (163) 12 (159) 【子之所慎章】

子ノ慎 所ハ齊戰疾

孔安国曰。此ノ三 者ハ人ノ慎ムコト能〔ハ〕〔サ〕

ル所ナリ 而ヲ夫一子之ヲ慎メリ

13 (164) 13 (160) 【子在齊聞韶章】

子齊在韶樂 聞テ三一月マテ肉 味ヒヲ知〔ラ〕〔ス〕

周生烈曰。孔一子齊ニ在シテ韶一樂ノ盛一美ヲ習フコ

トヲ聞ク 故ニ肉一味ヲ忘ル、〔也〕

曰 凶〔サリ〕キ 樂為 斯至

王肅曰。為ハ作一也 凶〔サリ〕キ 韶樂ヲ作 此

二至 此 濟

14 (165) 14 (161) 【夫子為衛君乎章】

冉有曰。夫一子衛君ヲ為 ヤ

孔安国曰。為ハ助ノ猶シ。衛ノ君 者 輒謂〔フ〕。

述而

衛ノ靈一公 太一子蒯一瓚逐。公 薨孫ノ輒立ツ

後二晋ノ趙一鞅 蒯一瓚威納。衛ノ石一曼一姑師

ヲ帥一之ヲ圍故二其ノ意問フ 輒ヲ助ンヤ不<sub>イナ</sub>乎<sub>ヤ</sub>

子貢曰。諾 吾レ將二問ントス。入テ曰ク伯夷叔齊ハ何

人ソ也 子曰。古ノ賢一人ナリ 曰 怨乎 曰 仁ヲ求

メテ仁ヲ得タリ 又何 怨乎<sub>ナシノウラミアランヤ</sub>

孔安国曰。夷齊ハ国ヲ讓テ遠 去テ餓一死ニ終フ。故

二怨邪<sub>ウラミアリヤ</sub> ト問フ 讓ルヲ以テ仁ト為 豈二怨<sub>ウラミ</sub> アラン

乎<sub>ヤ</sub> 出曰 夫一子ハ為<sub>タスケシ</sub> 不

鄭玄曰。父一子国ヲ争<sub>アランフハ</sub> 惡一行ナリ。孔子 伯夷叔

齊ヲ以テ賢ニシテ且ツ仁アリト為<sub>ス</sub>。故<sub>26</sub> 知〔ヌ〕衛ノ

君ヲ助〔ケ〕〔サル〕コト明ケシ

15 (166) 15 (162) 【飯蔬食章】

子曰。蔬一食 飯 水ヲ飲ミ 肱 曲テ枕トシテ楽ミ亦其ノ

中<sub>ナカニ</sub>在リ

孔安国曰。蔬一食ハ菜一食ナリ 肱<sub>コウハ</sub> 臂。孔子此ヲ以テ

楽 為<sub>クノシント</sub>

不<sub>トミマタ</sub>一義ニシテ富且貴キハ我ニ於テ浮<sub>ウカヘル</sub> 雲ノ如シ

鄭玄曰。富貴シテモ義ヲ以〔セ〕〔サ〕ルハ我ニ於テ

浮<sub>ル</sub> 雲ノ如〔シ〕 己<sub>ヲノレカユウニ</sub> 有非ル

16 (167) 16 (163) 【加我数年章】

子曰。我カ数一<sub>29</sub>年ヲ加ヘ五十二シテ以テ易学<sub>エキ</sub>ビバ以テ

大<sub>ヲ、イナルアヤマチ</sub> 過 無ル可シ

易ニ理ヲ窮メ性ヲ尽シテ以〔テ〕命ニ至ル 年五十二

シテ天一命ヲ知ル。命ヲ知ル年ヲ以テ命ニ至ル書ヲ読

ム。故ニ以テ大ナル過<sub>アヤマチ</sub> 無〔カル〕〔ベ〕シ

17 (168) 17 (164) 【子所雅言章】

子雅<sub>30</sub> 言所ハ

孔安国曰。雅<sub>ク</sub> 言フハ正<sub>タ、シキコトハ</sub> 言也

詩一書執<sub>ツ</sub>一礼皆雅<sub>マ</sub>ク言<sub>イフ</sub>

鄭玄曰。先一王ノ典一法ヲ読ム<sub>31</sub> 必ス正シク其 音エ

ヲ言フ。然 後義全タシ。故ニ諱<sub>イム</sub>所有〔ル〕可〔ラ〕

〔ス〕。礼ハ誦セ〔ス〕 故ニ執ト言フ

18 (169) 18 (166) 【葉公問孔子於子路章】

葉公孔子ヲ子路ニ問フ 子路対ス

孔安國曰。葉一公名ハ諸一梁楚大一夫 菜葉食。

僭 公ト称ス。对(ス)トハ未タ答ル所 以ヲ知(ラ)

(ス)

子曰。女奚 曰サツツル 其レ人為 憤 發食ヲ忘

樂 以 憂ヒヲ忘タリ 老将ニ至 スルコトヲ知

〔三〕スト爾云

19 (170) 19 (166) 【我非生而知之者章】

子曰。我レ生 知ル者ノニ非ス 古ヲ好 敏 求

メタル者

鄭玄曰。此〔三〕言ハ人ヲ学ニ勉

20 (171) 20 (167) 【不語怪力乱神章】

子怪力乱神語ス

孔安國曰。怪 怪一異。力 冪舟ヲ盪。鳥一獲 千一

鈞 拳ル属 若キヲ謂フ。乱ハ臣君ヲ弑 子父ヲ

謂フ。神ハ鬼一神ノ事ヲ謂フ 或ハ教一化ニ益

述而

無シ 或ハ忍(サ)ル所ヲ言 也

21 (172) 21 (168) 【三人行章】

子曰。我レ三一人行 必ス我カ師得 其ノ善者

ノヲ挾 從 其ノ善ヲ(サ)ル者ノヲハ而モ改ム

言ハ我カ三一人ハ行本ヨリ賢一愚無シ。善ヲ挾 之ニ

從ハン。不一善ヲハ之ヲ改ム 故ニ常ノ師無ン

22 (173) 22 (169) 【天生德於予章】

德ヲ予生 桓 魋其レ予 如何

包氏曰。桓一魋 宋ノ司一馬一黎ソ 天。德ヲ予

生ハ授ルニ聖一性ヲ以テスルヲ謂(フ)。徳天一地

ニ合(ハ)吉ニシテ利アラ(ス)ト云コト無シ 故ニ

其レ予レヲ如何曰フ

23 (174) 23 (170) 【二三子以我為隱子乎章】

子曰。二一三一子我ヲ以テ子 隱 為乎 吾レ爾

隱 無シ

包氏曰。二一三一子トハ諸弟子ヲ謂フ。聖一人ハ知広

ク道深シ。弟一子之ヲ学トモ及コト能(ハ)(ス) 隱一



匿<sup>カクス</sup>所口有ルト以<sup>一</sup>為ク 故二之ヲ解ス<sup>38</sup>

吾<sup>39</sup>レ行<sup>39</sup>而シテ二一三子ト與<sup>トモニセ</sup>（ス）ト云コト無キハ是レ丘ナリ

包氏曰。我力<sup>スル</sup>為所爾<sup>40</sup>ト之（ヲ）共ニセ（ス）ト云コト無キ者ノハ是レ丘カ心ナリ

24 (175) 24 (171) 【子以四教章】

子 四ヲ以テ教ユ 文<sup>一</sup>行忠<sup>一</sup>信ナリ

四ノ者ノハ形<sup>一</sup>質有テ<sup>テ</sup>拳<sup>テ</sup>以テ教ユ可シ

25 (176) 25 (172) 【聖人吾不得而見之矣章】

子曰。聖<sup>一</sup>人ヲハ吾レ得テ見スナンヌ 君<sup>41</sup>一子ヲ見コトヲ得テハ斯可ナリ

世二明<sup>一</sup>君無コトヲ疾<sup>42</sup>

26 (177) \* 【善人吾不得而見之矣章】

子曰。善<sup>一</sup>人ヲ吾レ得テ見スナンヌ 恒有ル者<sup>ツネ</sup>見コトヲ得テハ斯レ可ナリ

亡<sup>ナケレトモアリトシ</sup>有為<sup>ムナシケレトモミテリトス</sup>虚<sup>ムナシケレトモミテリトス</sup>盈<sup>ムナシケレトモミテリトス</sup>為<sup>ムナシケレトモミテリトス</sup>約<sup>セハシケレトモユタカナリトス</sup>泰<sup>カタイカナツネ</sup>為<sup>カタイカナツネ</sup>難乎<sup>カタイカナツネ</sup>恒有ルコト

孔安国曰。之ヲ名テ常有ト為可キコト難シ

27 (178) 26 (173) 【子釣而不綱章】

子 釣<sup>テウスレトモカウセ</sup>綱<sup>ヨクスレトモネトリライ</sup>ス 弋<sup>ヨクスレトモネトリライ</sup>宿<sup>イル</sup>射<sup>イル</sup>ス

孔安国曰。釣<sup>チヨウ</sup>ハ一竿<sup>カンノツリナリ</sup>釣<sup>カウ</sup>。綱<sup>ツクリテ</sup>ハ大綱<sup>ツクリテ</sup>ヲ為<sup>ツクリテ</sup>以テ<sup>ツクリテ</sup>横<sup>43</sup>流<sup>ヨクハシヤクシヤ</sup>レヲ絶<sup>イトラ</sup> 繳<sup>ツリニツケテ</sup>以テ釣<sup>ツリニツケテ</sup> 繫<sup>カケテツラナリ</sup>羅<sup>カケテツラナリ</sup>一属<sup>カケテツラナリ</sup>シテ網<sup>アミニツクル</sup>著<sup>カケテツラナリ</sup>

28 (179) 27 (174) 【蓋有不知而作之者章】

子曰。蓋<sup>一</sup>シ知ラ（ス）シテ作<sup>サクスル</sup>者<sup>一</sup>ノ有ラン 我<sup>コレ</sup>ハ是無シ

包氏曰。時<sup>ノ</sup>人多ク穿<sup>セン</sup>一鑿<sup>サクシテミタリニ</sup> 妄<sup>セキヲ</sup>篇<sup>一</sup>籍<sup>一</sup>作スル者有<sup>リ</sup> 故<sup>一</sup>二然云ナリ

多<sup>ク</sup>聞テ其<sup>ヨキ</sup>ノ善者<sup>一</sup>ヲ択<sup>エランテシタカフ</sup> 従<sup>ク</sup>。多<sup>ク</sup>見テ識<sup>シルハシルカツキナリ</sup>知<sup>ク</sup>次<sup>ク</sup>

孔安国曰。此（ノ）如ハ之ヲ知ル者ノ二次<sup>ツクナリ</sup>

29 (180) 28 (175) 【互鄉難與言章】

互<sup>ゴ</sup>一鄉<sup>キヤウトモニモライフコトカタシ</sup>與<sup>キヤウトモニモライフコトカタシ</sup>言<sup>キヤウトモニモライフコトカタシ</sup> 難<sup>キヤウトモニモライフコトカタシ</sup>童<sup>一</sup>子見ユ 門<sup>マド</sup>一入<sup>マドトイヌ</sup>惑<sup>マドトイヌ</sup>

鄭玄曰。互<sup>ゴ</sup>一鄉<sup>ゴ</sup>ハ郷ノ名<sup>一</sup>也。其ノ郷人言<sup>一</sup>語自<sup>ミ</sup>

時<sup>ホシイマ、ニシテ</sup>宜<sup>ヨロシキニ</sup>達<sup>（セ）</sup>（ス）シテ而シテ童<sup>一</sup>子来<sup>テ</sup>

怪<sup>アヤシム</sup>テ孔<sup>一</sup>子二見ルコト有リ。門<sup>一</sup>人孔子之<sup>一</sup>二見ルコトヲ

子曰。其ノ進ス、マンニハクミセン 與 其ノ退シリソカンニハクミセ 與シ 唯 何ナシソハ 甚キ

孔安国曰。教一誨ノ道其ノ進ムニハ與クミシ 其ノ退クニハクミシ 與シ 我カ此童子ニ見ルコトヲ怪ミ惡アキラニクムコト 惡 何ソ一45

ヘニ甚キ

人己ヲノレライサキヨフシテ 絜 以 進ス、マハ 其ノ絜ニハ與イサ 其ノ往 保インシヲハヤスンセ シ

鄭玄曰。往ハ去ノ猶シ 人己レヲ虚ム フシテ自 絜イ シテ 来ヲハ當ニ其ノ進ス ニハ與ク ス（ヘ）シ。亦 何ソ能ク其

ノ去インシ 後行ヲ保アトノ クモクンヤ

30 (181) 29 (176) 【仁遠乎哉章】

子曰。仁遠乎トラカレヤ 哉我レ仁ヲ欲ホツスレハコニ 斯 仁至イタル

包氏曰。仁一 道ハ遠ラス 之「ヲ」行フ則ハ是ニ至ル

31 (182) 30 (177) 【陳司敗問昭公知礼乎章】

陳司敗問ク 昭公礼ヲ知りヤ

孔安国曰。司一 敗ハ官一 名ナリ 陳ノ大一 夫ソ。昭一

公ハ魯ノ昭一 公ナリ

孔子对テ曰。礼ヲ知レリ 孔子退キヌ 巫馬期揖 進アバキライツシテス、ンテ

曰。吾レ聞ク 君一 子ハ党タウセ ス 君一 子モ亦 党タウスヤ 乎。君

述而

呉ニ娶メトレリ 同一 姓ナルカ為ニ之ヲ呉孟子ト謂イフ 君而モ礼ヲ 知シセラハ 孰カ礼ヲ知「ラ」(サラ)ン

孔安国曰。巫一 馬一 期弟一 子ソ。名ハ施セナリ。相 助タスケ テ

非ヲ匿カクストラ 党ト曰「フ」。魯呉ハ俱ニ姫一 姓ソ。礼ニ同

姓ニハ昏コンセ (ス) 而ヲ君呉ニ之ヲ娶メトル。當ニ呉一 姫ト称

「ス」(ヘ)「シ」 諱 孟子ト曰

巫馬期以テ告マフス。子曰 丘 幸ニシテ苟モ過アヤマチ 有ルトキハ

人必ス知シル

孔安国曰。可一 敗カ言ヲ以テ告 国ノ惡ヲ諱 礼。聖一

人ハ知 深ク道 弘 故ニ受テ 以過アヤマチトス 為

32 (183) 31 (178) 【子與人歌章】

子 人ト歌ウタウタフトキニシテヨキトキハ 善 必ス反使カハサシメテ 而 後ニ和シテ ス

其ノ善ヲ樂ム故ニ重テ歌ウタクハ 使テ而 後ニ自之ヲ和ス

33 (184) 32 (179) 【文莫吾猶人也章】

子曰。文一 莫バクナルコト 吾レ猶ヲ人ノコトシ

莫無一 也。文一 無トハ俗ノ文一 不ト言カ猶シ 文不

ナルコト吾レ人ノ猶シトハ。言ハ凡ソ文皆人ニ勝マサラ (サ)

ルソ

躬君一子ヲ行ヲコナフトキハ 則 吾レ未夕得ウルコトアラ 有ス

孔安国曰。躬君一子ヲ為ナスコト 己レ未夕得コト能〔ハ〕

(ス)

34 (185) 33 (180) 【若聖與仁章】

子曰。聖ト仁トノ若コトキ 則 吾レ豈ニ敢47アエテセンヤ

孔安国曰。孔子謙シテ敢テ自仁一聖ト名〔ケラレ〕

(ス)

抑 為 厭ス 人ヲ誨 倦ス則爾云ト謂可ラク已矣。

公西華曰。正唯弟一子学 能〔ハ〕ス

包氏曰。正ク言フ所ノ如シハ弟一子猶ヲ学コト能〔ハ〕

(ス)。况ヤ仁一聖ヲ乎ヤ

35 (186) 34 (181) 【子疾病章】

子ノ病疾ヤマイヘイナリ。子路禱イノラントコフ 請

包氏曰。禱ハ鬼一神ニ禱一請コフ

子曰。有諸アリヤ

周生烈曰。言ハ此レ鬼一神ニ禱一請事有〔リ〕乎

子路对テ曰。有之アリ 誅曰 上一下ノ神一祇ニ禱タウ

孔安国曰。子路指 失ス。誅禱一篇ノ名也

子曰。丘カ禱 久矣イカナ

孔安国曰。孔子素 行神一明ニ合 故 曰丘カ禱イノルコト

久矣シイカナト

36 (187) 35 (182) 【奢則不孫章】

子曰。奢 則不孫ナリ 儉 則ハ固 其ノ不孫ナラ

ン與 寧 固

孔安国曰。俱ニ之ヲ失ス 奢ハ儉 如〔カ〕(ス) 奢

一則ハ上ミ僭 儉ナル則ハ礼ニ及〔ハ〕(サル)ノミ。

固ハ陋一也ロウ

37 (188) 36 (183) 【君子坦蕩蕩章】

子曰。君一子ハ坦一蕩一蕩タリ 小一人ハ長戚一戚タリ

鄭玄曰。坦蕩蕩ハ寛一広ノ貌チ。長戚一戚ハ憂一懼クウ

多キ貌

38 (189) 37 (184) 【子温而厲章】

子 温ワンニシテハゲシ 厲威リキアツテ猛タケカラス 恭クニシテヤスシ安ヤスシ

論語泰伯第八

1 (190) 1 (185) 【泰伯章】

子曰。泰伯ヲハ其レ至一徳ト謂可ラク也已矣 三ヒ天一下ヲ以テ讓ユツル 民得テ称スルコト無シ

王肅曰。泰伯ハ周ノ太一王ノ太子。次ハ仲一雍。少一弟ヲハ季一歴ト曰。季一歴一賢又聖一子文一王一昌一ヲ生。昌必ス天一下ヲ有一ン 故ニ泰伯天一下ヲ以テ三ヒ王季ニ讓ル。其ノ讓リ隠キタリ 故ニ得テ称ルコト無キハ至一徳ヲ為所一以ン

2 (191) 2 (186) 【恭而無礼章】

子曰。恭ケウニシテ 礼無トキハ勞ス 慎ツクニシテ 礼無キ則ハ惹シス 惹シハ畏一懼一ノ貌。言 慎トモ礼ヲ以テ節〔セ〕 (サル) 則ハ常ニ畏一懼一ス

勇ユウニシテ 礼無キ則ハ乱ス。直ニシテ礼無キ則ハ絞カウス 馬融曰。絞カウハカウ 絞カウ 一刺シ 述而 泰伯

君一子親一二篤アツキトキハ 則民仁一ヲ與一故一旧遺キウワスレ (サ) ル則ハ民一 偷イヤシカラ ス

包氏曰。興キヨウハ 起一也。君 能ク親一屬一ニ厚シテ忘3 其ノ故一旧ヲ遺ツカハ (ス) 行ノ美ナル者ナリ 則 民ミ皆之ニ化〔シ〕 仁4 厚ノ行ヲ起フコシナシテイヤシクウスフセ 為偷 薄 (ス)

3 (192) 3 (187) 【曾子有疾章】

曾子疾有リ 門一弟一子ヲ召曰 予足ヲ啓ヒラケワカ 予手ヲ啓ケ 鄭玄曰。啓ハ開一也。曾子身一体一ヲ父一母一ニ受ケ敢アヘテ 毀5 傷ヤワラ (ス) ト以ヲ 為ラク。故ニ弟一子一ヲシテ衾キン 開ヒラヒテ 之ヲ視6 (〔セシ〕ム

詩ニ云。戰セン 戰競キヨウ 競トシテ深キ 淵臨フチニソメルカ 如ク 薄冰ウスキヒラ 履フメルカ 如シ

孔安国曰。此ノ詩ヲ言フハ。己レ 常ニ戒メ 慎ソコナヒテ毀レ 傷ヤワラ 所 有ンコトヲ恐ル、ニ喩フ 而今 後チ吾レ知免夫8 小一子

周生烈曰。乃9ヒ今 日ヨリ後我レ 自患ミ 難ニ免マヌカレンコトヲ 知ル。小一子ハ弟一子一也。之ヲ呼ヨフコト ハ其ノ言ヲ聽識キ、

ラ使ント欲ス

4 (193) 4 (188) 【曾子有疾孟敬子問之章】

曾子疾ヤマヒ有リ。孟敬子ケイ問フ

馬融曰。孟敬子ハ魯ノ大<sup>カ</sup>夫仲孫捷カウソ

曾子言イッテ曰。鳥ノ將ニ死セントスルトキニ其ノ鳴ナクコトカナシ哀。

人ノ將ニ死シナントスルトキニ其ノ言イフコトヨシ善

包氏曰。敬<sup>ヨケン</sup>子ヲ戒マク欲ス 言ハ我レ將ニ死ント

(ス) 言コト善 用〔ユル〕可シ

君<sup>タツ</sup>子ノ貴ブ所ノ道三ツ 容<sup>ヨウ</sup>一貌動 斯暴<sup>ホウ</sup>一慢<sup>マン</sup>遠

顔<sup>タ、シクシテコ、ニ</sup>一色正 斯信<sup>チカツクジ</sup>ヲ近 辞<sup>キ</sup>一氣ヲ出 斯鄙<sup>イダシテココニヒ</sup>一倍<sup>サク</sup>ヲ遠

鄭玄曰。此ノ道トハ礼ヲ謂。容<sup>ハム</sup>一貌ヲ動シテ能ク濟<sup>セイ</sup>一

濟<sup>サウ</sup> 躡<sup>ク</sup>一躡タル則ハ人敢テ之ヲ暴<sup>ホウ</sup>一慢<sup>マン</sup>セ (ス) 顔<sup>ハム</sup>一

色ヲ正シテ能ク矜<sup>ケウ</sup>一莊<sup>サウ</sup> 嚴<sup>ゲン</sup>一栗<sup>リツナル</sup> 則ハ人敢テ之ヲ欺<sup>キ</sup>一

誕<sup>イッフワ</sup>セ (ス)。辞<sup>イフワ</sup>一氣ヲ出テ能順ニシテ之ヲ説ク則ハ

惡<sup>イフワ</sup>一戾<sup>レイ</sup>ノ言無ク耳入〔ル〕

籩<sup>コトハ</sup>一豆ノ事 則子有<sup>コトハ</sup>一司存セリ

包氏曰。敬<sup>ツトム</sup>子大ヲ忘レテ小ヲ務 故ニ又之ヲ戒ルニ

此ヲ以ス。籩<sup>コトハ</sup>一豆ハ礼ノ器ノナリ

5 (194) 5 (189) 【以能問於不能章】

曾子曰。能ヲ以テ不<sup>レ</sup>能ニ問フ 多<sup>ク</sup>ヲ以テ寡<sup>ク</sup>問フ。

有<sup>アレトモナキカトク</sup>無<sup>レ</sup>若<sup>ク</sup>。実<sup>ミテレトモムナシヤカ</sup>虚<sup>ク</sup> 若<sup>ク</sup>シ 犯<sup>ワカセトモムクヒ</sup> 校<sup>ス</sup>ス

包氏曰。校<sup>カウハ</sup>報<sup>ハ</sup>一也 言ハ侵<sup>ワカシ</sup> 犯<sup>ル</sup>サ見<sup>ル</sup> 報<sup>ル</sup>〔セ〕〔サル〕

ナリ

昔<sup>ハ</sup>者 吾カ友嘗<sup>トモカツテコトニコ、ニシタカヘリキ</sup>事<sup>ト</sup>斯<sup>ト</sup>從<sup>ト</sup>

馬融曰。友ハ謂ク顔淵ソ

6 (195) 6 (190) 【可以託六尺之孤章】

曾子カ曰ク。以テ六<sup>セキ</sup>一尺ノ孤<sup>コ</sup>ヲ託<sup>ツク</sup>可シ

孔安国曰。六<sup>ハム</sup>一尺ノ孤ハ幼<sup>ハム</sup>一少ノ君ソ

以テ百<sup>メイ</sup>一里ノ命<sup>イフ</sup>寄<sup>ル</sup>可シ

孔安国曰。君ノ政<sup>セウ</sup>一令ヲ撰<sup>スル</sup>

大<sup>ウバフ</sup>一節ニ臨<sup>ル</sup>ンテ奪<sup>フ</sup>可<sup>ク</sup>ラ (ス)

大<sup>ウバフ</sup>一節トハ。国<sup>クニ</sup>一家ヲ安<sup>ヤ</sup>シ 社<sup>ヤ</sup>一稷ヲ定<sup>ル</sup>ルソ 奮<sup>ト</sup>トハ

傾<sup>ヒト</sup> 奪<sup>フ</sup>〔フ〕可〔ラ〕 (ス)

君<sup>ヒト</sup>子人カ 君<sup>ヒト</sup>子人ナリ。

7 (196) 7 (191) 【士不可以不弘毅章】

曾子カ曰ク。士ハ以テ弘コウ毅ギナラ（ス）ンハアル可ラス 任ニ重ワモフシテ道遠トラス

包氏曰。弘ハ大一也。毅強ギハ13ツヨフシテ能ク決一断スル。士ハ

弘毅クギニシテ然一後二能ク重一任負ジンヲラフテ遠一路ニ致ス

仁ニ以テ己ニ任ト為ス亦重ワモカラス乎 死シテ後二己ヤム亦遠

カラズ乎ヤ

孔安国曰。仁ヲ以テ己レカ任ト為重スワモキコトコレヨリワモキハナシ焉 重莫

死シテ後 己ニヤム遠コト焉ヨリ遠キハ莫シ

8 (197) 8 (192) 【興於詩章】

子曰。詩二興ヲユリ

包氏曰。興ハ起一也。言ハ身ヲ修ヲサメテハ當ニ先ツ詩ヲ学

〔フ〕（へ）シ

礼立レイニクテ

包氏曰。礼ハ身ヲ立ル所一以ンソ

樂成ガクニナル

孔安国曰。樂性ヲ成所一以ン也

泰伯

9 (198) 9 (193) 【民可使由之章】

子曰。民ニハ由モチイシム使可シ 知ラ使ム可〔ラ〕ス

由ハ用 用ユ使ム可クシテ知ラ使ム可〔ラ〕（サ）ル

トハ百一姓能ク日ニ用トモ知コト能〔ハ〕（サ）ルナ

リ

10 (199) 10 (194) 【好勇疾貧章】

子曰。勇好貧 疾乱ナリ

包氏曰。勇ヲ好ム人ニシテ己ヲノレカ貧一賤ヲ患一疾者ノハ

必ス將ニ乱ヲ為ント（ス）

人トシテ不仁ヲ疾ニクムコトステニ己ハナ甚キハ乱ナリ

孔安国曰。悪ヲ疾ヤムコト太甚キトキハ亦其ヲシテ乱ヲ為ナサ

使ム

11 (200) 11 (195) 【如有周公之才之美】

子曰。如周公ノ才ノ美有リトモ使驕且吝タトヒヲコリマクヤフサカナラハ其ノ余

ハ觀ルニ足〔ラ〕（サ）ラク己ノミ

孔安国曰。周公ハ。周公旦ソ

12 (201) 12 (196) 【三年学章】

子曰。三一年学シテ穀至〔ラ〕〔サ〕ルトキハ得易ウルコトヤスカラ

〔サ〕ラク已ノミ

孔安国曰。穀ハ善一也。言ハ人三歳学テ善ニ至〔ラ〕

〔サル〕トキハ得可〔ラ〕〔ス〕言ハ必ス及コト無ケ

ン人ヲ学ニ勸所一以ス、ムル

13 (202) 13 (197) 【篤信好学章】

子曰。信ヲ篤アツクシガク学ヲ好マホルキ死ヲ善一ハウニハ道ニ守危一邦入〔ラ〕

〔ス〕乱一邦ニハ居〔ス〕天一マミヘ下道有トキハ見道無ト

キハ隠カケル

包氏曰。言ハ行當ニ常ニ然カンス〔ヘ〕シ。危一邦ハウニハ

入〔ラ〕〔ス〕トハ謂ク始テ往ユカマク欲ス。乱一邦ニハ

居〔ラ〕〔ス〕トハ今去ステマク欲ルナリ臣君ヲ弑シイシ子父ヲ

弑コロスハ乱ナリ。危ハ将ニ乱ント〔ス〕〔ル〕兆キサシ

邦道有トキニ貧マシクカツイヤシキハハガ且賤マダ恥ナリ邦道無トキハ富且トミマダ

貴タツトキハハチナリ恥

14 (203) 14 (198) 【不在其位章】

子曰。其ノ位ニ在〔ラ〕〔サ〕レハ其ノ政マツリコトヲハカラ謀ス

孔安国曰。各ノ其ノ職ニ專一ナランコトヲ欲〔ス〕

15 (204) 15 (199) 【師摯之始章】

子曰。師摯力関一ハシムルトキニヤウ唯ノ乱ヲ始ハシムルトキニヤウ洋一洋一乎コトシテミ、ニミテル耳盈コトシテミ、ニミテル

哉カナ

鄭玄曰。師摯ハ魯ノ大一師ノ名ナリ。始ハ首ノ猶〔シ〕。

周ノ道既ニ衰テ鄭衛ノ音作コヘラコリ正一樂廢シテ節ヲ失フ。

魯ノ大一師摯関一唯ノ声ヲ識テ首ハシメテ其ノ乱ヲ理ヲサムルトキハ

洋一洋トシテ耳盈ミ、ニミテル聴テ之ヲ美ニス16

16 (205) 16 (200) 【狂而不直章】

子曰。狂キヤウニシテ直ナラス

孔安国曰。狂一者進ミ取テ宜〔ク〕直ナル〔ヘシ〕

侗トウニシテケンナラ愿ツ、シムス

孔安国曰。侗ニシテ未タ器ト成〔ラ〕〔サル〕人ナリ

宜ク謹ンテ愿カ、ハル〔ヘ〕シ

控一控トシテ信アラスコウ

包氏曰。控一控ハ慤一慤コク宜ク信アル可〔シ〕ツツシム

吾レ知〔ラ〕ス

孔安国曰。言ハ皆常ノ度ト反セリ 故ニ我レ知〔ラ〕

(ス)

17 (206) 17 (201) 【学如不及章】

子曰。学如及(ス)ンハ猶シ失<sup>ウシナツテシコトヲソル、カ<sup>21</sup></sup> 恐<sup>コトシ</sup> コトシ

学外自〔リ〕入り至リ熟カ乃ヒ長―久ナル可シ。如シ

及〔ハ〕(ス)ンハ猶シ失<sup>ウシナツテシコトヲソル、カ<sup>21</sup></sup> 恐<sup>コトシ</sup> コトシ

18 (207) 18 (202) 【巍巍乎章】

子曰。巍<sup>キ</sup>―巍タル乎<sup>カナ</sup> 舜禹ノ天―下ヲ有<sup>タモテルコトシ</sup> 而シテ與<sup>アツカラ</sup>

(ス)

舜禹己レ天―下ヲ與<sup>アスカラントモトメ</sup> 求(ス)シテ之ヲ得ルコトヲ

美<sup>ホム</sup>。巍―巍ハ高―大ノ称ナリ

19 (208) 19 (203) 【大哉堯之為君也章】

子曰。大<sup>ヒナルカナ</sup> 哉堯ノ君為<sup>キミクルコト</sup> 巍―巍タル乎<sup>カナ</sup> 唯<sup>タ、<sup>24</sup>―ヲ、イナリトス</sup> 天大<sup>カ</sup> 為<sup>ス</sup>

唯堯則<sup>ノツトル</sup>

孔安国曰。則ハ法―也。堯能天ニ法<sup>ノトツテ</sup> 化ヲ行コトヲ美<sup>ホム</sup>

蕩―蕩トシテ民ミ能ク名<sup>ナスクルコトナイコト</sup> 無<sup>ナシ</sup>

包氏曰。蕩―蕩ハ広―遠ノ称ナリ。言ハ其レ徳ヲ布<sup>シクコト</sup>

泰伯

広―遠ニシテ。民能ク識<sup>シツテ</sup> 名コト無シ

巍―巍タル乎<sup>カナ</sup> 其レ成<sup>セイ</sup>―功有ルコト

功成リ化隆<sup>サクカニシテ</sup> 高―大ナルコト巍―巍

煥<sup>クワタルカナ</sup> 乎<sup>ナ</sup> 其レ文章有ルコト

煥ハ明―也。其レ文ヲ立テ制ヲ垂ル、コト又著<sup>チヨ</sup>―明ナ

リ

20 (209) 20 (204) 【舜有臣五人章】

舜 臣五―人有リ〔而〕天―下治<sup>ヲサマル</sup>

孔安国曰。禹<sup>ウ</sup> 稷<sup>シヨクセツ</sup> 契<sup>カウ</sup> 皋<sup>ユウ</sup> 陶<sup>ハク</sup> 伯<sup>ハク</sup>―益ナリ

武王ノ曰。予乱<sup>ワレニ</sup>―臣十一―人有リ

馬融曰。乱ハ理―也。理―官ノ者ノ十一人。謂ク周―

公―旦 召<sup>セウ</sup>―公―爽<sup>セキ</sup> 太―公―望<sup>ヒツ</sup> 畢<sup>ヒツ</sup>―公 榮<sup>エイ</sup>―公

太―顛<sup>テン</sup> 閔<sup>クワウ</sup>―夭<sup>ヨウ</sup> 散<sup>ギ</sup>―宣<sup>ギ</sup>―生 南―宮―适<sup>クワツ</sup>。其ノ一

人文―母ヲ謂フ<sup>27</sup>

孔子曰。才難<sup>サイノカクイコト</sup> 其レ然<sup>シカラ</sup> ス乎唐虞ノ際<sup>ヤ</sup> 斯<sup>アイクニコ、ニ</sup> 於テ盛<sup>サカナナリト</sup>

為<sup>ス</sup> 婦人有リ 九―人而已<sup>ノミ</sup>

孔安国曰。唐ハ堯ノ号<sup>ナナリ</sup>。虞ハ舜ノ号ナリ。際ハ堯舜



泰伯 子罕

交一會ノ間タ。斯ハ此ナリ。此周ニ此。言ハ堯舜交一  
會ノ間タヲ。此レ於周ニ此レハ。周最トモ盛ニシテ賢  
多シ。然ニ尚ヲ一婦人有リ 其ノ余ノ九一人ナラク而  
已。大才ノ得難キコト豈ニ然(ラ)(サラ)ン乎  
天一下ヲ三一分ニシテ其ノニツヲ有以テ殷服一事。  
周ノ徳ヲハ其レ至一徳ト謂可ラク已

包氏曰。殷ノ紂淫一乱ス。文王西伯ト為シテ聖一徳有  
リ 天一下周ニ帰ル者三分ニシテニヲ有ツ 猶以テ  
殷ニ服一事ス。故ニ之ヲ至一徳ト謂フ

21 (210) 21 (205) 【禹吾無間然章】

子曰。禹ヲハ吾レ間一然 無シ

孔安国曰。孔子禹ノ功一徳ノ盛ナルヲ推。己レカ復タ  
其ノ間ヲ間 能ハ(サル)コトヲ言フ

飲一食菲 孝ヲ鬼一神ニ致ス

馬融曰。菲薄一也。孝ヲ鬼神ニ致トハ祭一祀豊一絜ナ

リ

衣一服ヲ惡 美ヲ黻 冕致ス

アシフシテ フツ ベンニ  
カンムリ 同

孔安国曰。其ノ常ノ服ヲ損シテ以テ祭一服ヲ盛ニス

宮一室ヲ卑 力ヲ溝一洫尽

包氏曰。方一里ヲ井ノ為。井ノ間ニ溝有(リ)。溝ノ

広サ深サ四一尺。十里ヲ城ト為。城ノ間ニ洫有(リ)。

洫ノ広 深サ八一尺

禹ヲハ吾レ間一然トスルコト無

論語子罕第九

1 (211) 1 (206) 【子罕言章】

子罕 利言 命與 仁與

罕ハ希一也。利ハ義ノ和。命ハ天ノ命。仁ハ行ノ盛

也 能ク之ニ及コト寡 故ニ希言

2 (212) 2 (207) 【達巷党人章】

達巷党 人ノ曰。大哉 孔子ノ博學 名成ス所口無キ

コト

鄭玄曰。達一巷ハ党ノ名 也。五一十家ヲ党ト為。

此ノ党ノ人孔子博道一藝ヲ学(テ) 一一名ヲ成(サ)

(サル)コトヲ美ル而巳

子聞ヒテ門一弟一子ニ謂曰。吾レ何執御執乎

射執ル乎 吾ハ御執レリ

鄭玄曰。人之ヲ美聞テ承ルニ謙ヲ以ス。吾ハ御ヲ執

トハ六一藝ノ卑名アラント欲ス

3 (213) 3 (208) 【麻冕章】

子曰。麻冕ハ礼ナリ 今ノ純儉吾ハ衆從カハン

孔安国曰。冕ハ緇一布ノ冠一也 古ハ績一麻(麻績) 三一十升布ヲ以テ之ヲ為 純ハ絲一也 絲成

リ易キ故ニ儉ニ從(フ)

下拝礼ナリ 今上拝ルハ泰ナリ。衆違雖吾ハ

下從ハン

王肅曰。臣君ト礼ヲ行フ 下拝シテ。然後升テ礼

ヲ成ス。時ノ臣驕一泰ス 故ニ上ニ於テ拝ス。今下

從フハ礼ノ恭也

4 (214) 4 (209) 【子絶四章】

子四絶 意トスルコト母

子罕

道ヲ以テ度ト為 故ニ意ニ任セ(ス)

必ストスルコト母レ

之(ヲ)用ル則ハ行フ。之ヲ舍則ハ蔵。故ニ專

必トスルコト無シ

固母レ

可モ無シ不可モ無シ 故ニ固ク行コト無シ

我母レ

古ヘヲ述テ自作(セ)(ス) 羣一萃処自異ナラ

(ス)唯道是從フ 故ニ自其ノ身ニ有(ラ)

(ス)

5 (215) 5 (210) 【子畏於匡章】

子匡畏

包氏曰。匡人誤テ夫子ヲ圍 陽一虎タリト以一為陽一

虎脊 匡ニ暴ス 夫一子ノ弟一子顔一剋 時ニ又虎ト

俱ニ往。後ニ剋夫一子ノ御ト為テ匡ニ至ル。匡人相

與 共ニ剋ヲ識ル。又夫一子ノ容一貌虎ト相似タ

リ。故ニ匡人兵ヲ以テ之ヲ圍ム

子罕

日 文王既二没ボツシタレトモブシコニアラヤ 文茲在ス乎

孔安国曰。茲ハ此。言ハ文一王已ニ没タリト雖〔トモ〕

其ノ文見ニ此在リ。此トハ自其ノ身ニ此

天マサニ將斯ノ文ヲ喪ホロボサント セマシカハ後一死者斯ノ文ニ

與アツカルコトヲ 得(サ)ラマシ

孔安国曰。文王既ニ没タリ 故ニ孔子自後一死ト謂フ。

言ハ天將ニ此ノ文ヲ喪ホロボサント (セマシカ)者。本ヨリ當

ニ我ヲシテ之ヲ知〔ラ〕使メ(ス) 今我ヲシテ知

〔ラ〕使ム 未タ喪ヒント欲〔セ〕(サ)ル〔也〕

天未タ斯ノ文ヲ喪ホロボサ ス 匡人其レ予如何ワレライカントハ

馬融曰。予如何 奈我何ト言〔フ〕猶シ。天ノ未タ

此ノ文ヲ喪サ(サ)ル則ハ我當ニ之ヲ伝 匡人我レ

ヲ奈 何欲ハ言ハ其〔レ〕天ニ達イタテ己ヲ害スルコト能

〔ハ〕(ス)

6 (216) 6 (211) 【太宰問於子貢章】

太宰子貢ニ問テ曰。夫一子ハ聖一者與 何其レ多一能

ナル

孔安国曰。太一宰ハ大一夫ノ官ノ名ナリ。或ハ吳或ハ

宋 未タ分ツ可〔ラ〕(ス)。孔一子ノ多一能ヲ小一藝

ニ疑フ

子貢カ曰。固 天ノ縦 將一聖ナリ 又多一能ナリ

孔安国曰。言ハ天固ニ縦 大一聖ノ徳ナリ。又多一能

ナラ使〔ム〕。

子聞テ曰。太宰ハ我レヲ知レル者乎 吾レ少

賤 故鄙一事ニ多一能ナリ 君一子ハ多ナレ乎 多

ナラス

包氏曰。我レ少ク小キトキ貧 賤シテ常ニ自〔ラ〕事

ヲ執ル 故ニ鄙一一人ノ事ヲ為 多一能ナリ 君一子ハ

固ニ〔マサニ〕多一能ナル當〔ラ〕(ス)

7 (217) \* 【牢曰子云章】

牢曰ク。子ノ云 吾レ試 ス 故 藝

鄭玄曰。牢ハ弟一子ノ子一牢。試ハ用。言ハ孔一子自

云ク。我レ用ラレ(ス) 故ニ伎一藝ニ多一能ナリ

8 (218) 7 (212) 【吾有知乎哉章】

子曰。吾レ知レルコト有リ乎ヤ 知シル 無シ

知ハ知12一意ノ知。言ハ知13一者ノ言ハ未タ必シモ 尽〔サ〕

ス。今 我レ誠ニ尽セリ

鄙ヒ一夫有リテ我ニ問フ空コウ一空一如タリ 我レ其ノ兩フタツ

端ハシラ 叩ヲ 竭コシテツクス

孔安国曰。鄙一夫有リ来テ我レニ問フ 其ノ意口空コウ一

空一然タリ 我 則事ノ終一始兩一端ヲ發シテ以テ之

ニ語テ知ル所ヲ竭ツクシ 尽シテ愛15 有コトヲ為〔サ〕(ス)

9 (218) (213) 【鳳鳥不至章】

子曰。鳳一鳥至イタラス 河 凶出トライクサス 吾レ已16 矣ヤンヌルカナ 夫

孔安国曰。聖一人命ヲ受ルコト有ル則ハ鳳一鳥至リ。

河ヨリ凶ヲ出〔ス〕。今天此ノ瑞無〔シ〕。吾 已ヤンヌルカナ 矣

夫ハ見コトヲ得〔サ〕ル〔也〕。河一凶ハ八一卦是レ

〔也〕

10 (220) 9 (214) 【子見齊衰者章】

子 齊シ一衰サイノ一者冕モノ一衣イ一裳ベン一者ト瞽コ一者トヲ見テハ

包氏曰。冕冕一冠 大ベンハ一夫ノ服ナリ。瞽メシイタルハ盲者

子罕

也

見ルニ少一者ナリト雖トモ必ス作タツ 過スクルトキニ 必ス趨ワシル

包氏曰。作ハ起一也。趨スウハトク疾ユク一行。此ハ夫一子喪ニ有

ルヲ哀アミ位ニ在コトヲ尊タツトヒ 人ト成〔ラ〕(サ) ルヲ恤18

11 (221) 10 (215) 【顔淵喟然歎曰章】

顔淵ケイ喟ナケイテ然トシテ難 曰。

喟一然ハ歎ル声ナリ

仰アラクハイヨク 弥 高ク 鑽キレハイヨク 弥 堅

言ハ窮 尽ス可〔ラ〕(ス)

瞻ミルニマヘニアルカトスレハコツ 前在 忽エントシテシリヘニ一焉 後 在リ

言ハ忽一恍キヤウトシテ 形一象ヲ為〔ス〕可〔ラ〕(ス)

夫一子循一循一然トシテ善人ヲ誘ヨク

循循ハ次一序ノ貌。誘ユウハ進一也。言ハ夫一子ハ正ニ此

ノ道ヲ以〔テ〕人ヲ勸メ進ルニ次一序有〔リ〕

我レヲ博ヒロムルニ 文ヲ以シ 我ヲ約19 礼以ス 罷ヤンナント 欲スレ

トモ能アタハス 既ニ吾カオヲ竭ツクシツモシタテル 如立所口有ルトキハ卓タク一

爾ゾトシテシタカハマクホツスト 從 欲 雖モ由未 已ヨシナカラマクノミ

孔安国曰。言ハ夫一子既ニ文章ヲ以テ我ヲ開キ博ム。

又礼一節ヲ以テ我ヲ節一約ス。我〔一ヲ〕シテ罷<sup>ヤシナント</sup>欲

レトモ能ハ(サラ)使ム。已ニ我才ヲ竭<sup>ツクセリ</sup>。其ノ立ツ

ル所有ル則ハ又卓<sup>タク</sup>一然トシテ及〔一フ〕可〔一ラ〕(ス)。

言ハ己カ夫一子ノ善一誘ヲ蒙ト雖〔トモ〕猶夫一子ノ

立ル所ニ及コト能ハ(ス)

12 (222) 11 (216) 【子疾病章】

子ノ疾病<sup>ヤマヒヘイナリ</sup>

包氏曰。疾ノ甚ヲ病ト曰〔一フ〕

子路門一人ヲシテ臣<sup>タラ</sup>為<sup>シム</sup>使

鄭玄曰。孔一子嘗<sup>ムカシ</sup>大<sup>シ</sup>一夫<sup>タリ</sup>為<sup>ス</sup>。故ニ子路弟子ヲシテ其

ノ臣ノ礼ヲ行ハ使メマク欲ス

病<sup>ヤマヒノヒマアルトキニ</sup>間<sup>ヒ</sup>曰。久<sup>イニカナ</sup>矣哉。由力詐<sup>イツハリヲコナフコト</sup>行<sup>フ</sup>。臣無シ而

ルヲ臣有ト為<sup>ス</sup>。吾レ誰ヲカ欺<sup>アサムカン</sup>。天ヲ欺ン乎<sup>ヤ</sup>

孔安国曰。病ヒノ小シ差<sup>イヘタルヲ</sup>。間ト曰〔一フ〕。言ハ子路是

ノ心有リ。唯今一日ノミニ非(ス)

且予<sup>マタ</sup>レ其ノ臣ノ手ニ死ナン與<sup>ヨリハ</sup>。無<sup>ム</sup>寧<sup>シロキ</sup>二一三子ノ手死<sup>テニ</sup>

ナン

馬融曰。無一寧ハ寧。二一三子ハ門一人。就<sup>タト</sup>使<sup>ヒ</sup>我

臣有テ其ノ手ニ死ンヨリハ。我レ寧口弟子ノ手ニ死<sup>マタフレクトヒラ、イナルハウムリヲ</sup>

且予<sup>マタ</sup>縦<sup>レ</sup>大<sup>ク</sup>葬<sup>ス</sup>得(ス)トモ

孔安国曰。君一臣ノ礼一葬

予<sup>ワレ</sup>道一<sup>レ</sup>路ニ死ナン乎<sup>ヤ</sup>

馬融曰。就<sup>タト</sup>使<sup>ヒ</sup>我レ君一臣ノ礼ヲ以テ葬ムラル、コト

ヲ得(ス)トモ二一三子ノ在ル有リ。我レ寧口當ニ

道一<sup>ステラル、コトヲ</sup>路ニ棄<sup>ス</sup>。憂フ(ヘ)ケンヤ

13 (223) 12 (217) 【有美玉於斯章】

子貢カ曰。美<sup>コトニ</sup>一玉斯有リ。匱<sup>ヒツ</sup>二韞<sup>ヲサメテカクセリ</sup>藏<sup>キ</sup>善<sup>キ</sup>買<sup>アタヒラ</sup>求<sup>メ</sup>メ

テ沽<sup>ウラメヤ</sup>諸

馬融曰。韞<sup>ランハ</sup>藏<sup>ハ</sup>一也。匱<sup>トクハキ</sup>匱<sup>ハ</sup>一也。匱<sup>ヒツノ</sup>中ニ藏<sup>カクシタリ</sup>。沽<sup>コハバイ</sup>売<sup>ス</sup>

也。善<sup>ウラメヤ</sup>買<sup>アタヘラ</sup>得<sup>テ</sup>寧口之ヲ売<sup>ウラメヤ</sup>

子曰。沽<sup>ウラメヤ</sup>之哉。沽<sup>ウラメヤ</sup>之哉。我ハ買<sup>アタヒラマツノ</sup>待<sup>タ</sup>者也

包氏曰。之ヲ沽<sup>ウラメヤ</sup>哉トハ術<sup>ライバイ</sup>一<sup>ニ</sup>売<sup>ス</sup>(セ)(サ)ルノ辞<sup>コトハ</sup>我

ハ居<sup>アタヒラ</sup>テ買<sup>タ</sup>待<sup>タ</sup>ツ者ノナリ

14 (224) 13 (218) 【子欲居九夷章】

子九夷二居欲ス

馬融曰。九夷ハ東一方ノ夷九種有〔リ〕

或曰。陋如之何。子曰。君一子居何ノ陋有

馬融曰。君一子ノ居所口ハ皆化ス

15 (225) 14 (219) 【吾自衛反魯章】

子曰。吾レ衛自リ魯ニ反テ然後二樂正雅一頌各ノ其ノ所口ヲ得タリ

鄭玄曰。魯ニ反トハ。魯ノ哀一公十一年ノ冬ナリ。是

時二道一哀ハ樂一廢ル孔子来一還テ乃ヒ之〔ヲ〕

正ス。故ニ雅一頌各ノ其ノ所ヲ得ト曰〔フ〕。

16 (226) 15 (220) 【出則事公卿章】

子曰。出則チ公一卿事入則チ父一兄事喪事ハ敢勉〔ス〕ンハアラス酒ノ困為ス何ンソ我ニ有ル哉

馬融曰。困ハ乱一也

子罕

17 (227) 16 (221) 【子在川上章】

子川上在マシテ曰。逝者斯如キ夫昼一夜ヲ舎ス

包氏曰。逝往一也。言ハ凡ソ往一者川ノ流ルカ如シ

18 (228) 17 (222) 【吾未見好德如好色者章】

子曰。吾レ未タ見〔ス〕徳ヲ好色ヲ好如クスル者

時人徳ニ薄色ニ厚疾故ニ此ノ言ヲ発ス

19 (229) 18 (223) 【譬如為山章】

子曰。譬ハ山為如シ未タ一簣ヲ成スシテ止吾レ止

包氏曰。簣ハ土籠。此ハ人ヲ勸道一徳ニ進ナリ。山

為ハ其ノ功已ニ多ト雖〔トモ〕未タ一籠ヲ成〔サ〕

〔ス〕中一道ニシテ止者ノハ我レ其ノ前功ノ多ヲ

以〔テ〕善ト〔セ〕〔サ〕ルナリ其ノ志ノ遂〔サル〕

ヲ見ル故ニ與〔ス〕

譬ハ平一地ノ如シ一簣覆雖トモ進吾レモ往

馬融曰。平地トハ將ニ進テ功ヲ加ントス始テ一簣

ヲ覆雖〔トモ〕我レ其ノ見一功ノ少ヲ以〔テ〕薄

〔シトセ〕シ 其ノ進ント欲ルニ掘ヨツテ與セン

20 (230) 19 (224) 【語之而不情者章】

子曰。語カタルニ而フコタラ不情(サ)ルハ其レ回也28カ與

顔淵則29サトス解故二之(ニ)語ルニ情フコタラ(ス) 余一人ハ

解(ラ)(ス) 故二語ルニ情フコタル時有リ

21 (231) 20 (225) 【子謂顔淵章】

子30顔淵二謂カッタテノ曰。惜乎吾レ其ノ進ス、ムラ見テ未タ其ノ止ヤムラ

見ス

包氏曰。孔子顔淵二謂 進一益シテ未タ止(サル)ハ

痛31惜ノ甚ナリ  
イタミラシム

22 (232) 21 (226) 【苗而不秀者章】

子曰。苗ナエニシテヒデア秀(サ)ル者ノ有リ矣一夫ヒデア、ミノラ秀實(サ)ル

者有リ矣一夫

孔安国曰。言八万一物生シテ育成セ(サ)ル者有リ

喻32人32亦然ナリ  
イタミラシム

23 (233) 22 (227) 【後生可畏章】

子曰。後一生畏ル可シ焉来一者ノ今ニ如サルコト

ヲ知ラン

後一生ハ謂ク年少ソ

四一十五一十二シテ聞キコユルコト無ンハ斯レ亦畏フソル、ニタラ足サラク

也ノ已ミ。

24 (234) 23 (228) 【法語之言章】

子曰。法一語言能ク從シタカフコト無ラン乎ヤ改ルヲ貴シトス為

孔安国曰。人過チ有ハ正道ヲ以テ之ニ告ルニ口ニ順シタカヒ

從(サル)コト無シ 能ク必ス自一改ルヲ乃貴ト為

異ノ與ノ言能ク説ヨロコブコト無ラン乎ヤ繹タツヌル之レヲ貴シト

為

馬融曰。巽ハ恭一也。謂ク恭一巽謹一敬ノ言ハ 之ヲ

聞テ説(ス)ト云コト無(シ)。能ク尋ツキ繹ツイテ之(ヲ)

行ヲ乃貴ト為

説タスネンテ繹シタカツテス 從改メス 吾レ如33之イカントスルコト何ナカラマク

已ノ。

25 (235) 24 (229) 【主忠信章】

子曰。忠一信ヲ主トシテ己レニ如(サ)ル者ノヲ友トス

ルコト無シ 過<sup>アママテハ</sup> 則チ改ルニ憚<sup>ハヤカルコト</sup> 勿レ

其ノ主トスル所ヲ友トスル所ニ慎ンテ過チ有ルトキハ

務<sup>ツトメ</sup> 改ム 皆益ト為<sup>35</sup>〔ル〕所以

26 (236) 25 (230) 【三軍可奪帥也章】

子曰。三軍ヲハ帥奪可 匹一夫ヲハ志シヲ奪可

〔ラ〕ス

孔安国曰。三軍ハ衆 雖〔トモ〕人一心ニ非〔ル〕

則ハ其ノ將一帥 奪テ取ル可シ。匹一夫ハ微ナリト雖

〔トモ〕苟モ其ノ志ヲ守ルトキハ得テ奪フ可〔ラ〕(ス)

27 (237) 26 (231) 【衣敝緼袍章】

子曰。敝<sup>ヤフレタルラン</sup> 緼<sup>ハウラキテ</sup> 袍<sup>コ</sup> 衣<sup>カクヲキケルヒト</sup> 狐<sup>タツテハチ</sup> 貉<sup>キツネノワキケ</sup> 衣者ト立恥〔サ〕ル

者ノハ其レ由也與

孔安国曰。緼<sup>ランハ</sup> 泉<sup>シシヨ</sup> 著<sup>シケイト</sup>

伎<sup>ヤブラ</sup> ス 求<sup>モトメ</sup> ス 何<sup>ナニヲ</sup> 用テカ臧<sup>ヨカラ</sup> (サラ)ン

馬融曰。伎<sup>シハ</sup> 害一也。臧<sup>サウハ</sup> 善一也。言ハ伎一害セ<sup>36</sup> (ス)

貪<sup>37</sup>リ求メ (ス) 何<sup>38</sup> 用カ不善ト為シ 貪<sup>39</sup> 一 惡<sup>40</sup> 伎一

害ヲ疾<sup>ニクム</sup> 詩ナリ

子罕

子路身ヲ終<sup>ヲフルマテシヨス</sup> 誦<sup>ヨシトスルニ</sup>。子曰。是レ道<sup>チ</sup> 也 何ンソ以テ

臧<sup>ヨシトスルニ</sup> 足ラン

馬融曰。臧ハ善一也。尚<sup>ラ</sup> 復タ是ヨリ美<sup>ビナル</sup> 者ノ有ン

何ソ以テ善ト為ルニ足<sup>タラン</sup>

28 (238) 27 (232) 【歲寒章】

子曰。歲寒<sup>トシサムフシテ</sup> 然シテ後ニ松一栢ノ後ニ彫<sup>シホムコトラ</sup> 知ル

大<sup>カ</sup> 一 寒ノ歲ハ衆一木皆死 然<sup>シ</sup> 後ニ松一栢小シ彫<sup>シホミ</sup>

傷コトヲ知ル。平<sup>ヘ</sup> 一 歲ニハ則衆一木亦死 (サ) ル者ノ

有リ 故ニ歲寒ヲ須<sup>マチテ</sup> 而 後ニ別ツ 凡<sup>ソ</sup> 一人ノ治世ニ

処<sup>イテ</sup> 亦 能自修シ整<sup>トノヘテ</sup> 君一子ト同ク濁一世ニ在テ

然<sup>シ</sup> 後ニ君一子ノ正シテ苟モ容<sup>38</sup>〔ラレ〕 (サ) ルコト

ヲ知ルニ喩フ

29 (239) 28 (233) 【知者不惑章】

子曰。知一者ハ惑<sup>マトハ</sup> (ス)

包氏曰。惑<sup>コク</sup> 一 乱〔セ〕 (ス)

仁一者ハ憂<sup>ウレエ</sup> (ス)

孔安国曰。憂<sup>39</sup> 一 患無ソ



子罕 郷党

勇一者ハ<sup>40</sup>懼ス

30 (240) 29 (234) 【可與共学章】

子曰。與<sup>トモニ</sup>共<sup>ニ</sup>学<sup>ニ</sup>ブ可シ 未<sup>トモニ</sup>夕<sup>ニ</sup>與<sup>ニ</sup>道<sup>ニ</sup>適<sup>ユク</sup>可<sup>ラ</sup>ス

適<sup>テキハ</sup>之<sup>ハ</sup>也。学<sup>トモ</sup>ト雖<sup>レ</sup>〔トモ〕或<sup>41</sup>ハ異<sup>ニ</sup>一<sup>ニ</sup>端<sup>ヲ</sup>得<sup>タ</sup>リ 未<sup>42</sup>

夕<sup>トモ</sup>必<sup>ニ</sup>道<sup>ニ</sup>之<sup>ニ</sup>能<sup>ハ</sup>〔ハ〕(ス)

與<sup>トモニ</sup>道<sup>ニ</sup>適<sup>ユク</sup>可<sup>シ</sup> 未<sup>トモニ</sup>夕<sup>ニ</sup>與<sup>ニ</sup>立<sup>ニ</sup>可<sup>ラ</sup>ス

能<sup>ク</sup>道<sup>ニ</sup>之<sup>ニ</sup>雖<sup>レ</sup>〔トモ〕未<sup>トモ</sup>夕<sup>ニ</sup>必<sup>ニ</sup>モ以<sup>テ</sup>成<sup>立</sup>スル所<sup>有</sup>コ

ト能<sup>ハ</sup>〔ハ〕ス

與<sup>トモニ</sup>立<sup>ツ</sup>可<sup>シ</sup> 未<sup>トモ</sup>夕<sup>ニ</sup>與<sup>ニ</sup>二<sup>ハ</sup>權<sup>ハ</sup>可<sup>ラ</sup>ス

能<sup>ク</sup>立<sup>ツ</sup>〔ツ〕所<sup>有</sup>〔ルト〕雖<sup>レ</sup>〔トモ〕未<sup>トモ</sup>夕<sup>ニ</sup>必<sup>ニ</sup>モ其<sup>ノ</sup>輕<sup>一</sup>

重<sup>ノ</sup>極<sup>ヲ</sup>權<sup>量</sup>能<sup>ハ</sup>〔ハ〕ス

31 (241) 30 (235) 【唐棣之華章】

唐<sup>タク</sup>棣<sup>テイノハナ</sup>華<sup>ハナ</sup>偏<sup>ヘ</sup>ニ其<sup>レ</sup>反<sup>ハ</sup>〔ハ〕<sup>ハンセリ</sup> 豈<sup>ナン</sup>ニ爾<sup>ヲ</sup>思<sup>ハ</sup>〔サラ〕ンヤ 室<sup>シ</sup>

是<sup>レ</sup>遠<sup>ト</sup>

逸<sup>イツ</sup>詩<sup>シ</sup>。唐<sup>タク</sup>棣<sup>テイ</sup>ハ移<sup>イ</sup>。華<sup>ハ</sup>反<sup>シ</sup>テ後<sup>ニ</sup>合<sup>フ</sup> 此<sup>ノ</sup>詩<sup>ヲ</sup>

賦<sup>フシ</sup>以<sup>テ</sup>權<sup>一</sup>道<sup>ノ</sup>反<sup>シ</sup>テ後<sup>ニ</sup>大<sup>順</sup>ニ至<sup>ル</sup>ヲ言<sup>フ</sup>〔フ〕。其<sup>ノ</sup>

ノ人<sup>ヲ</sup>思<sup>ト</sup>モ見<sup>コト</sup>ヲ得<sup>ハ</sup>〔サル〕ハ其<sup>ノ</sup>室<sup>遠</sup>也<sup>レ</sup>也<sup>ハ</sup>。

以<sup>ヲ</sup>言<sup>ヘ</sup> 權<sup>ヲ</sup>思<sup>テ</sup>モ見<sup>ハ</sup>〔コトヲ〕得<sup>ハ</sup>〔サルハ〕其<sup>ノ</sup>道<sup>一</sup>

遠<sup>ハ</sup>〔也〕

子曰。未<sup>トモ</sup>夕<sup>ニ</sup>之<sup>レ</sup>思<sup>ハ</sup>サル也 夫<sup>レ</sup>何<sup>ン</sup>ノ遠<sup>ト</sup>之<sup>有</sup>ラン哉<sup>ヤ</sup>

夫<sup>レ</sup>思<sup>ハ</sup>當<sup>ニ</sup>其<sup>ノ</sup>反<sup>ヲ</sup>思<sup>フ</sup>〔フ〕〔ベシ〕 反<sup>ハ</sup>是<sup>ヲ</sup>思<sup>ハ</sup>

〔ハ〕〔サ〕ルハ遠<sup>ト</sup>為<sup>ル</sup>〔ル〕所<sup>一</sup>以<sup>テ</sup>ナリ 能<sup>ク</sup>其<sup>ノ</sup>反<sup>一</sup>

ヲ思<sup>ハ</sup>、何<sup>ン</sup>ノ遠<sup>ト</sup>云<sup>コト</sup>有<sup>ン</sup> 言<sup>ハ</sup>權<sup>レ</sup>ハ知<sup>ヌ</sup>又<sup>可</sup>

〔シ〕 唯<sup>ニ</sup>思<sup>ヲ</sup>知<sup>ハ</sup>〔ラ〕〔サル〕耳<sup>ノ</sup> 之<sup>ヲ</sup>思<sup>コト</sup>次<sup>一</sup>序<sup>一</sup>

有<sup>ヲ</sup>ハ斯<sup>レ</sup>知<sup>ハ</sup>〔ヌ〕可<sup>シ</sup>〔シ〕

論語郷党第十

1 (242) 1 (236) 【君子於郷党節】

孔子<sup>コ</sup>郷<sup>ニ</sup>党<sup>ニ</sup>於<sup>テ</sup>恂<sup>ニ</sup>恂<sup>ニ</sup>如<sup>ク</sup>言<sup>フ</sup> 能<sup>ハ</sup>〔サ〕ル者<sup>ノ</sup>

二似<sup>レ</sup>

王<sup>ス</sup>肅<sup>曰</sup>。恂<sup>ニ</sup>恂<sup>ニ</sup>ハ温<sup>ニ</sup>恭<sup>ノ</sup>貌<sup>一</sup>

其<sup>レ</sup>宗<sup>一</sup>廟<sup>一</sup>朝<sup>一</sup>庭<sup>ニ</sup>在<sup>テ</sup>便<sup>ニ</sup>便<sup>ト</sup>シテ言<sup>コト</sup>唯<sup>謹</sup>

鄭<sup>コ</sup>玄<sup>曰</sup>。便<sup>ハ</sup>辨<sup>一</sup>也 辨<sup>ル</sup>ト雖<sup>レ</sup>〔トモ〕謹<sup>一</sup>敬<sup>セ</sup>リ

\* 2 (237)

朝ニシテ下<sup>カ</sup>一夫ト言<sup>フ</sup> 侃<sup>モノ云トキハカ</sup>侃<sup>モノ云トキハカ</sup>如タリ

孔安国曰。侃<sup>ラクノ</sup>侃<sup>ラクノ</sup>和<sup>ラクノ</sup>一楽<sup>ラクノ</sup>貌

上<sup>モノ云トキハギン</sup>一夫ト言<sup>モノ云トキハギン</sup> 闇<sup>モノ云トキハギン</sup>闇<sup>モノ云トキハギン</sup>如<sup>モノ云トキハギン</sup>〔タリ〕

孔安国曰。闇<sup>モノ云トキハギン</sup>闇<sup>モノ云トキハギン</sup>ハ中<sup>モノ云トキハギン</sup>一正<sup>モノ云トキハギン</sup>ノ貌

君<sup>ミ</sup>在<sup>イマストキハシユク</sup> 蹶<sup>セキ</sup>蹶<sup>セキ</sup>如<sup>セキ</sup>タリ 與<sup>ヨ</sup>一與<sup>ヨ</sup>一<sup>ヨ</sup>如<sup>ヨ</sup>タリ

馬融曰。君<sup>イマストハ</sup>在<sup>イマストハ</sup> 君<sup>アサマツリコトヲミル</sup>ノ朝<sup>アサマツリコトヲミル</sup> 視<sup>シユク</sup>。蹶<sup>セキハ</sup>蹶<sup>セキハ</sup>如<sup>セキハ</sup>タリ 恭<sup>セキハ</sup>一敬<sup>セキハ</sup>ノ

貌<sup>セキハ</sup>。與<sup>セキハ</sup>一與<sup>セキハ</sup>ハ威<sup>セキハ</sup>一儀<sup>セキハ</sup>中<sup>セキハ</sup>一適<sup>セキハ</sup>貌<sup>セキハ</sup>

\* 3 (238) 【君召使擯節】

君<sup>メシテ</sup>召<sup>ヒンセンムルトキ</sup> 擯<sup>ヒンセンムルトキ</sup>使<sup>ヒンセンムルトキ</sup>

鄭玄曰。君<sup>ムカヘ</sup> 召<sup>ムカヘ</sup>シテ擯<sup>ムカヘ</sup>〔セ〕使<sup>ムカヘ</sup>〔ムルト〕ハ賓<sup>ムカヘ</sup>一客<sup>ムカヘ</sup>有<sup>ムカヘ</sup>

ルトキハ迎<sup>ムカヘ</sup>使<sup>ムカヘ</sup>ル

色<sup>イロ</sup>勃<sup>ボツ</sup>一<sup>イロ</sup>如<sup>イロ</sup>タリ

孔安国曰。必<sup>イロ</sup>ス色<sup>イロ</sup>ヲ變<sup>イロ</sup>〔ス〕

足<sup>アシ</sup>躩<sup>シクハク</sup>一<sup>アシ</sup>如<sup>アシ</sup>タリ

包氏曰。盤<sup>バン</sup>一<sup>バン</sup>辟<sup>ヘキ</sup>貌<sup>ヘキ</sup>

與<sup>トモニタテル</sup>立<sup>イッスルトキ</sup>所<sup>イッスルトキ</sup>ヲ揖<sup>イッスルトキ</sup> 其<sup>ヒタリミキリニスコロモノマヘウシロセン</sup>手<sup>ヒタリミキリニスコロモノマヘウシロセン</sup>ヲ左<sup>ヒタリミキリニスコロモノマヘウシロセン</sup>右<sup>ヒタリミキリニスコロモノマヘウシロセン</sup> 衣<sup>ヒタリミキリニスコロモノマヘウシロセン</sup> 前<sup>ヒタリミキリニスコロモノマヘウシロセン</sup>後<sup>ヒタリミキリニスコロモノマヘウシロセン</sup>檐<sup>ヒタリミキリニスコロモノマヘウシロセン</sup>一<sup>ヒタリミキリニスコロモノマヘウシロセン</sup>如<sup>ヒタリミキリニスコロモノマヘウシロセン</sup>タ

リ

郷党

鄭玄曰。左<sup>イッスルトキニ</sup>人<sup>イッスルトキニ</sup>ヲ揖<sup>イッスルトキニ</sup> 其<sup>イッスルトキニ</sup>ノ手<sup>イッスルトキニ</sup>ヲ左<sup>イッスルトキニ</sup>ニス 右<sup>イッスルトキニ</sup>人<sup>イッスルトキニ</sup>ヲ

揖<sup>イッスルトキニ</sup> 其<sup>イッスルトキニ</sup>ノ手<sup>イッスルトキニ</sup>ヲ右<sup>イッスルトキニ</sup>ス 一<sup>イッスルトキニ</sup>ヒハ俛<sup>フシ</sup>一<sup>イッスルトキニ</sup>ヒハ仰<sup>アラク</sup>故<sup>イッスルトキニ</sup>ニ衣<sup>イッスルトキニ</sup>ノ前<sup>イッスルトキニ</sup>

後<sup>ウシロ</sup>則<sup>セン</sup>檐<sup>セン</sup>一<sup>ウシロ</sup>如<sup>ウシロ</sup>〔タリ〕

趨<sup>ハシリ</sup>進<sup>ハシリ</sup> 翼<sup>ハシリ</sup>一<sup>ハシリ</sup>如<sup>ハシリ</sup>タリ

孔安国曰。言<sup>ハシリ</sup>ハ端<sup>ハシリ</sup>一<sup>ハシリ</sup>好<sup>ハシリ</sup>

賓<sup>ヒンシリソクヌルトキニ</sup>退<sup>ヒンシリソクヌルトキニ</sup> 必<sup>フク</sup>ス復<sup>フク</sup>一<sup>フク</sup>命<sup>マフス</sup>シテ曰<sup>マフス</sup> 賓<sup>マフス</sup>願<sup>コセ</sup> スト

孔安国曰。復<sup>ニカヘリ</sup>一<sup>ニカヘリ</sup>命<sup>ニカヘリ</sup>トハ君<sup>ニカヘリ</sup>ニ賓<sup>ニカヘリ</sup>已<sup>ニカヘリ</sup> 去<sup>ニカヘリ</sup> 白<sup>ニカヘリ</sup>

\* 4 (239) 【入公門節】

公<sup>キク</sup>一<sup>キク</sup>門<sup>キク</sup>ニ入<sup>キク</sup>トキハ鞠<sup>キク</sup>一<sup>キク</sup>躬<sup>キク</sup>一<sup>キク</sup>如<sup>キク</sup>タリ 容<sup>イレラレ</sup>〔サ〕ルカ如<sup>イレラレ</sup>ク

ス

孔安国曰。身<sup>ヲサムル</sup>ヲ斂<sup>ヲサムル</sup>

立<sup>タテルトキハ</sup> 門<sup>アキラ</sup>ニ中<sup>ユクトキニ</sup>ス 行<sup>ユクトキニ</sup> 闕<sup>ユクトキニ</sup> 履<sup>ユクトキニ</sup>〔ス〕

孔安国曰。闕<sup>イキハ</sup>門<sup>イキハ</sup>ノ限<sup>カキリ</sup>

位<sup>スケルトキニ</sup>ヲ過<sup>スケルトキニ</sup> 色<sup>ボツ</sup>口<sup>ボツ</sup>勃<sup>ボツ</sup>一<sup>ボツ</sup>如<sup>ボツ</sup>タリ 足<sup>タハク</sup>シ躩<sup>タハク</sup>如<sup>タハク</sup>タリ

包氏曰。君<sup>スケルトキニ</sup>ノ空<sup>スケルトキニ</sup>一<sup>スケルトキニ</sup>位<sup>スケルトキニ</sup>ヲ過<sup>スケルトキニ</sup>也<sup>スケルトキニ</sup>

其<sup>モ</sup>ノ言<sup>モ</sup>コト足<sup>ノホルトキニ</sup>ラ〔サ〕ル者<sup>ノホルトキニ</sup>ノ二<sup>ノホルトキニ</sup>似<sup>ノホルトキニ</sup> 齊<sup>シラ</sup>撮<sup>カキヲサメテ</sup> 堂<sup>ノホルトキニ</sup>ニ

升<sup>ノホルトキニ</sup> 鞠<sup>キウ</sup>一<sup>キウ</sup>躬<sup>キウ</sup>一<sup>キウ</sup>如<sup>キウ</sup>タリ 氣<sup>キラ</sup>屏<sup>シリンケテイキセ</sup> 息<sup>ノホルトキニ</sup>〔サ〕ル者<sup>ノホルトキニ</sup>ノ二<sup>ノホルトキニ</sup>似<sup>ノホルトキニ</sup>

郷党

孔安国曰。皆重ク慎也。衣ノ下齊曰〔フ〕齊

ヲ撰カキヲサムルトハ衣ヲ摳カキヲサムル也

出イテ一クダルトキニ等ヲ降クダルトキニ顔一色ヲ逞ノベテイ怡一怡一如タリ

孔安国曰。先ツ氣ヲ屏シリソキ階ヲ下クダツテ氣ヲ舒ノフ故ニ怡一怡一

如〔タリ〕

階没ハシタツクシテワシリス、ンテヨク趨進ハシタツクシテワシリス、ンテヨク翼一如タリ

孔安国曰。没ハ尽一也。下テ階ヲ尽スソ

其ノ位ニ復カハルトキニシユク蹶一踏一如タリ

孔安国曰。来カ時ニ過スル所ノ位也

\* 5 (240) 【執圭節】

圭執タマワルトキニキク鞠一躬一如タリ 勝タハ(サ)ルカ如クス

包氏曰。君ノ為ニ使シテ以テ鄰一國ニ聘一問スルトキニ

君ノ圭執一持ケイワトリ鞠一躬ハ敬一慎ノ至レルナリ

上アグルトキニ揖タマ如シ。下クダストキニ授ニサスルカ如クス。勃ボツ一如トシテ戦一

色シヨクアリ。足シ縮一縮シユク循トシテシタカフコト有力如シ

鄭玄曰。上アグルトキニ揖スルカ如シトハ玉ヲ授クルニ敬ウヲ宜

クシ下クダストキニ授ルカ如トハ敢テ礼ヲ忘レ(ス)。戦一色

ハ敬也。足シ縮一縮如トハシタカフコト循ヘイシテ有リツマサキヲ前ツマサキヲ拳ツマサキヲ

ケ踵キヒスラヒイテ曳行ク

享一礼キヤウ容一色有リシヨク

鄭玄曰。享キヤウハ献一也。聘一礼既ニ聘ヘイシテ享ス 享ルニ圭一

璧ヘキヲ用ユ 庭一実有リ

私ワ二覲マミユルトキニ愉一愉一如タリ

鄭玄曰。覲見一也。既ニ享シテ乃私ノ礼ヲ以テ見ユ。

愉一愉ハ顔一色ノ和10ヤワラカナルナリ

\* 6 (241) 【君子不以紺緇飾節】

君一子ハ紺緇カンシウワ以テ飾モトラシニ〔セ〕ス

孔安国曰。一入ヒト緇〔ト〕曰〔フ〕。飾モトラシトハ以テ領一

袖ノ縁モトラシヲナサ為(ス)。紺ハ齊一服盛ナル色ナリ 以テ12エリ

飾モトラシトスルハセイ為齊一服衣似リ。緇ハ三一年ノ練レンニ緇ヲ以テ13

飾一衣ハ其レ喪一服ヲ衣ルニ似ルカ為タメナリ故ニ皆以テ衣14

二飾トセ(ス)

紅一紫シラ以テ褻服ニ為ツクラス

王肅曰。褻服トハ私ニ居テ公一會ノ服ニ非ルナリ 皆

不<sup>ケ</sup>正ナリ 褻<sup>ケ</sup>尚<sup>ラ</sup>衣<sup>15</sup>(ス) 正<sup>ケ</sup>服<sup>ニ</sup>シテ施<sup>ハ</sup>(ス) 所  
無<sup>シ</sup>(シ)

暑<sup>1</sup>二當<sup>ア</sup>テハ<sup>ヒト</sup>績<sup>ケ</sup> 絺<sup>ケ</sup>一<sup>ケ</sup>紵<sup>ニ</sup> 必<sup>ウ</sup>ス表<sup>ハ</sup> 出<sup>ツ</sup>

孔安国曰。暑<sup>アツ</sup>則<sup>ヒト</sup>八<sup>16</sup>单<sup>ヒト</sup> 服<sup>ケ</sup> 絺<sup>ケ</sup>一<sup>ケ</sup>紵<sup>ハ</sup>葛<sup>カ</sup>也。必<sup>ス</sup>

表<sup>ウ</sup> 出<sup>ツ</sup>トハ上<sup>ヘ</sup>一<sup>ヘ</sup>衣<sup>ヲ</sup>加<sup>ル</sup> へ也

緇<sup>シ</sup>一<sup>イ</sup>衣<sup>ハ</sup>羔<sup>ノ</sup> 裘<sup>モ</sup> 素<sup>イ</sup>一<sup>イ</sup>衣<sup>ハ</sup>麕<sup>ノ</sup> 裘<sup>モ</sup> 黄<sup>イ</sup>一<sup>イ</sup>衣<sup>ハ</sup>狐<sup>ノ</sup> 裘<sup>モ</sup>

褻<sup>ケ</sup>裘<sup>モ</sup> 長<sup>ナ</sup> 右<sup>ノ</sup>袂<sup>ヲ</sup>短<sup>ク</sup>

孔安国曰。服<sup>ハ</sup>皆<sup>中</sup>一<sup>外</sup>ノ色<sup>相</sup> 称<sup>カ</sup>私<sup>ノ</sup>家<sup>ニ</sup>ハ裘<sup>モ</sup>

長<sup>18</sup>スルハ温<sup>アタ</sup> 主<sup>ル</sup>。右<sup>ノ</sup>袂<sup>ヲ</sup>短<sup>ク</sup>フスルトハ事<sup>19</sup>ヲ作<sup>ニ</sup>

便<sup>タ</sup>ヨリナリ

必<sup>イ</sup>ス寝<sup>ネ</sup> 衣<sup>モ</sup>有<sup>リ</sup> 長<sup>ナ</sup> 一<sup>一</sup>身<sup>有</sup>一<sup>半</sup>

孔安国曰。今<sup>ノ</sup>被<sup>フ</sup>也

狐<sup>コ</sup>一<sup>カ</sup>貉<sup>ノ</sup>厚<sup>ク</sup> 以<sup>テ</sup>居<sup>ス</sup>

鄭玄曰。家<sup>ニ</sup>在<sup>ハ</sup>(テ) 以<sup>テ</sup>賓<sup>一</sup>客<sup>ニ</sup>接<sup>ス</sup>

喪<sup>去</sup> 佩<sup>スト</sup>云<sup>所</sup>口<sup>無</sup>シ

孔安国曰。去<sup>ハ</sup>除<sup>一</sup>也。喪<sup>ニ</sup>非<sup>ル</sup>則<sup>ハ</sup>備<sup>ツ</sup> 宜<sup>ク</sup>佩<sup>ス</sup>

(へ)キ所<sup>二</sup>佩<sup>ス</sup>

郷党

帷<sup>イ</sup>一<sup>裳</sup>ニ非<sup>レ</sup>ハ必<sup>ス</sup>殺<sup>ス</sup>

王<sup>肅</sup>曰。衣<sup>ハ</sup>必<sup>ス</sup>殺<sup>ス</sup>縫<sup>ヲ</sup> 有<sup>リ</sup> 唯<sup>イ</sup>帷<sup>一</sup>裳<sup>ニ</sup>殺<sup>ス</sup> 無<sup>シ</sup>

羔<sup>カウ</sup>一<sup>キウ</sup>裘<sup>ヲ</sup>玄<sup>一</sup>冠<sup>ニ</sup>シテハ以<sup>テ</sup>弔<sup>ス</sup>(ス)

孔安国曰。喪<sup>ハ</sup>素<sup>ニ</sup> 主<sup>ト</sup>ス。吉<sup>ニ</sup>ハ玄<sup>ニ</sup> 主<sup>ト</sup>ス。吉<sup>一</sup>

凶<sup>服</sup>ヲ異<sup>ニ</sup> 故<sup>ニ</sup>相<sup>ヒ</sup>弔<sup>ス</sup>(ス)

吉<sup>一</sup>月<sup>ニ</sup> 必<sup>ス</sup>朝<sup>一</sup>服<sup>シテ</sup>朝<sup>ス</sup>

孔安国曰。吉<sup>一</sup>月<sup>ハ</sup>八月<sup>一</sup>朔<sup>也</sup> 朝<sup>一</sup>服<sup>ハ</sup>皮<sup>并</sup>ノ服<sup>ナリ</sup>

\* 7 (242)

齊<sup>サイ</sup>スルトキハ 必<sup>ス</sup>明<sup>一</sup>衣<sup>布</sup>有<sup>リ</sup>

孔安国曰。布<sup>ヲ</sup>以<sup>テ</sup>沐<sup>一</sup>浴<sup>ニ</sup> 衣<sup>ニ</sup>為<sup>ス</sup>

【齊<sup>ニ</sup>必<sup>ス</sup>變<sup>ス</sup>食<sup>節</sup>】

齊<sup>サイ</sup>スルトキニ 必<sup>ス</sup>食<sup>ク</sup>ヲ變<sup>ス</sup>

孔安国曰。常<sup>ノ</sup>食<sup>ヲ</sup>改<sup>ム</sup>

居<sup>フル</sup>トキニ 必<sup>ス</sup>座<sup>遷</sup>

孔安国曰。常<sup>ノ</sup>処<sup>ヲ</sup>易<sup>ス</sup>

\* 8 (243)

食<sup>イ</sup>精<sup>ハ</sup> 厭<sup>ス</sup> 膾<sup>ナ</sup>細<sup>ク</sup> 厭<sup>ス</sup> 食<sup>イ</sup>饘<sup>ハ</sup> 餲<sup>ス</sup>

郷党

孔安国曰。饘イ、シテアイセルハ22クサク 餲スエリテ 臭 味ヒノ変セルソ

魚ノ餛アザレテ 肉敗シ、ノヤフレタルクラハ 食ス

孔安国曰。魚一敗ヲ餛曰タイト〔フ〕

色口惡食ス 臭惡食ス 餛失シンウシナヘルクラハ 食ス

孔安国曰。餛失シンラフトハ生一熟ノ節ヲ失フソ

時ナラ24〔サ〕レハ食ス

鄭玄曰。時ニ〔アラス〕トハ朝夕日一中ノ時ニ非ルナ

リ

割正キリシテタシカラ〔サ〕ルヲ食ハ〔ス〕 其ノ醬アヘモノヲエ 得〔サ〕レハ

食ハ〔ス〕

馬融曰。魚ノ膾ナマスハカラシヒシラニ 芥醬 非レハ食〔ハ〕〔ス〕

肉多ト雖モ食25ニク 氣勝シメス 唯タ 酒ハ量リ無レトモ乱ランニ

及スフヨホサ 沽ウル 酒ケ市脯食イチノホシジクラハ〔ス〕 薑ハジカミヲステ 撤スシテ食クラフ

孔安国曰。撤去一也 齊モノイミニハクン 薰一物ヲ禁ス 薑ハジカミハ 辛

シテ臭〔カラ〕〔ス〕 故ニ去ステ〔ス〕

多ク食スクラハ

孔安国曰。過一飽スゴシ〔セ〕〔ス〕

公祭26コウヲマツルトキニシ、ヨヘニセ 肉宿ス

周生烈曰。祭コトヲ君ニ助クルニ得27〔ル〕所ノ牲28セイ一

体帰テ則以班賜神ノ恵留29アカキケマフ〔メ〕〔ス〕

祭ノ肉三一日ヲ出イダサ〔ス〕。三一日ヲ出イテヌルヲハクラハ 食ス

鄭玄曰。自其ノ家ノ祭ノ肉ナリ 三一日ヲ過レハ食

〔ハ〕〔ス〕 是レ鬼一神ノ余リヲ褻ケカス

食シヨクスルトキハモノカタリセ 語ス 寢言ス 䟽イマルトキニモノイハ 一食菜羹瓜ソ 雖モ

祭ルトキハ必ス齊セイ一如タリ

孔安国曰。齊セイハ 嚴一敬ノ貌チ 三ノ物薄ウスシト 雖〔モ〕之

ヲ祭31ルニハ必ス敬ス

\* 9 (244) 【席不正不坐節】

席正セキタ、シカラ〔サ〕レハ坐ス

\* 10 (245)

郷一人飲一酒 杖一者出イテヌルトキニコ、ニイス 斯出

孔安国曰。杖一者ハ老一人 郷人飲一酒ノ礼ニ老一者

ヲ主トス 老一者ノ礼畢テ出ルトキハ孔子從テ出ルナ

リ

【郷人儼節】

郷人儼ヒトノヲニアラフトキニ 朝朝服シテ阼カインタテリ階立

孔安国曰。儼エキハ疫カリヲフナリ一鬼ヲ驅逐先一祖ヲ驚コトヲ恐ルコトヲ恐ル

故二朝一服シテ廟ノ阼カイン階立ツ

\* 11 (246)

人ヲ他一邦ハウニ問フトキハ再一拝シテ送ヲクル

孔安国曰。拝シテ使一者ヲ送ルハ敬也33

【康子饋菓節】

康一子カウシ菓ヲ饋ヲクル拝シテ受ウク

包氏曰。孔子ハ菓ヲ饋ヲクルナリ

曰。丘未タ達セスト云テ敢テ嘗ナメス

孔安国曰。未タ其ノ故ヲ知(ラ)(ス) 故二嘗ナメ(サ)

ルハ礼也

\* 12 (247) 【廐焚節】

廐焚子ムマヤケタリ朝ヨリ退シリソイテノ曰。人ヲ傷ヤフルヤト云テムマヲ馬問ハス

鄭玄曰。人ヲ重フモフシテケモノライヤシンス畜賤朝ヨリ退クトハ魯ノ君ノ

朝自り来 帰

郷党

\* 13 (248) 【君賜食節】

君食クヲ賜タマフトキハ 必ス席ヲ正タフシテ先嘗マツナム

孔安国曰。君ノ惠ケイライ敬スル 既ニ之ヲ嘗ナメテ乃一以班34賜アカキヲタマフ

フ

君脰ナマクサキヲ 賜フトキハ必ス熟シテ薦ス、ム

孔安国曰。薦トハ其ノ先一祖二薦ス、ムルナリ

君生イケルヲ 賜フトキハ必ス畜カフ 食クニ君二侍ハンヘルトキニ 君祭スルト

キハ先ツ飯ハシス

鄭玄曰。君ノ祭リニ於(テ)則一先ツ飯ストハ為36先

ツ食ヲ嘗ルカ若ク然(ス)

【疾君視之節】

疾ヤマイスルトキニ 君視ミルトキハ 東一首シテ朝一服ヲ加クハヘテシラヒク 紳拖

包氏曰。夫一子疾ヤマイスルトキニ 南一牖ノ下ニ処テ東一首シテ

其ノ朝一服ヲ加ヘ紳拖ラヒラヒク 紳ハ大一帯テイナリ 敢テ朝一服ヲ

衣キ(サ)レハ君二見マミヘ(ス)

【君命召節】

君命シテ召メストキハカラマタ 駕俟スシテ行ユク

郷党

鄭玄曰。急スミヤカニ 君ノ命ニ趨37行一ハシテ出シテ車ニ既ニ駕シテ

随フ

\* 14 (249) 【入太廟節】

大―廟ニ入テ事毎二問

鄭玄曰。君ノ為ニ祭コトヲ助ル 大―廟ハ周一公ノ廟

\* 15 (250) 【朋友死節】

朋―友死シテ帰所口無シ。曰 我ワカモトニ 於テ殯ヒンセヨ

孔安国曰。朋―友ノ恩ヲ重ヲモンスルナリヨル 帰所無トハ親38

昵ムツマシキコト 無〔キ〕ナリ

【朋友之饋節】

朋―友ノ饋ヲクリモノ 車―馬ト雖モ祭リノ肉 非レハ拝セス

孔安国曰。拝〔セ〕（ス）トハ財ヲ通ル義ニ有〔ルナ

リ〕

\* 16 (251) 【寢不尸節】

寢トキニ尸スシセ

包氏曰。四―体ヲ偃―仆エン 手足ヲ布展フシテ 死―人ニ似レ

リ

居 容 小

孔安国曰。家―室ノ為ノ敬ハ久シ難〔シ〕

【見齊衰者節】

子 齊―衰者見狎サイノモノヲミテハナレタリト 雖モ必ス変ス

孔安国曰。狎ハ素カウ 親ク狎ナレタリナリ

冕―者ト瞽―者トヲ見テハ褻ナレタリト 雖モ必ス貌カタチヲ 以ス

周生烈曰。褻數相見ヲ謂〔フ〕 必ス當ニ貌ヲ以

テ之ニ礼ス（ヘ）シ

凶―服―者ニ式シヨクスフ 負―版ノ者式モノニシヨクス

孔安国曰。凶―服トハ死ヲ送ヲクル ノ衣―物ナリ 負―版フ

者トハ邦―國ノ凶―籍セキヲ 持ツ者ナリ

盛―饌有トキハ必ス色ヲ變シテ作タクツ

孔安国曰。作ハ起―也 主―人ノ親ミツカラヲクルヲ 饋 敬ス

迅雷 風 烈 必ス変ス

鄭玄曰。天ノ怒 敬ス 風 疾雷 烈ト為

\* 17 (252) 【升車節】

車ニ升トキニ必ス正タマシク 立テ綏スイヲ 執トル

周生烈曰。必ス正ク立テ綏<sup>スイ</sup>執ルハ安ト為ル所<sup>42</sup>以  
車<sup>ノ</sup>中<sup>ウチニシテ</sup>内<sup>シリヘニ</sup>顧<sup>ス</sup>ス

包氏曰。車中ニシテ内<sup>シリヘニ</sup>顧<sup>ミ</sup>〔ミ〕〔サル〕〔ト〕ハ前<sup>43</sup>

視<sup>コト</sup>衡<sup>カウ</sup>一<sup>ヤクニ</sup>軛<sup>過</sup>〔キ〕〔ス〕<sup>43</sup>傍<sup>カタワラ</sup>視<sup>コト</sup>轎<sup>キ</sup>一<sup>コクニ</sup>轂<sup>クルマノカキクサビ</sup>

過〔キ〕〔サル〕ナリ

疾言<sup>トクモノイハ</sup>ス 親<sup>ミツカラユヒサ、</sup>指<sup>ス</sup>ス

\* 18 (253) 【色斯拳矣節】

色<sup>ノマ、ニ44コ、ニキヨス</sup> 斯<sup>拳</sup>

馬融曰。顔色ヲ見ルニ善〔ラ〕〔サ〕ル則ハ之〔ラ〕

去ル

翔<sup>フルマフテ</sup> 後<sup>イル</sup>二集

周生烈曰。廻<sup>クハイシヤウ</sup>一<sup>翔</sup>審<sup>一</sup>觀<sup>シテ</sup>後<sup>ニ</sup>下<sup>45</sup>止<sup>ル</sup>

【日山深雄雉節】

日<sup>ノ</sup>山<sup>一</sup>梁<sup>ノ</sup>雌<sup>一</sup>雉<sup>一</sup>時<sup>ナルカナ</sup>哉<sup>一</sup>時<sup>哉</sup>子路<sup>キヨウス</sup>共<sup>ソナユル</sup>三<sup>ヒ</sup>嗅<sup>カイテ</sup>

作<sup>タツ</sup>

言ハ山一梁ノ雌一雉其ノ時ヲ得。而ヲ人時ヲ得〔ス〕  
故ニ之ヲ歎ス。子一<sup>46</sup>路其ノ時ノ物ナルヲ以テ故ニ共一

郷党 先進

具ス。其ノ本一<sup>カイトカツ</sup>意ニ非レハ苟モ食ハ〔ス〕 故ニ三ヒ  
嗅<sup>起</sup>

論語先進第十一

1 (243) 1 (254) 【先進於礼楽章】

子曰。先<sup>マツ</sup>礼一<sup>ス、ムハ</sup>樂ニ進<sup>野一人也</sup> 後<sup>ノチニ</sup>礼一<sup>ノチニ</sup>樂ニ進ムハ

君一子也

先一進後一進トハ士ノ先一後ノ輩ヲ謂フ。礼一樂ハ世

ニ因テ損一益ス。後一進ハ礼一樂ト俱ニ時ノ中ヲ得タ

リ。斯レ君一子ナリ。先一進ハ古一風有リ。斯レ野一

人也

如<sup>モシ</sup>用ヒハ則<sup>吾ハ先一進ニ從ハシ</sup>

包氏曰。将<sup>ウツシ</sup>ニ風ヲ移<sup>カヘ</sup>俗ヲ易<sup>カヘ</sup>之ヲ淳<sup>ソ</sup>一素ニ帰ントハ先一

進ハ猶シ古一風ニ近シ 故ニ之レニ從ン

2 (244) 2 (255) 【從我於陳蔡章】

子曰。我ニ陳一<sup>サイニシタカシ</sup>蔡<sup>一</sup>從<sup>シタカワ</sup>者ノハ皆門<sup>カトニシモ</sup> 及ハ〔サ〕ル者

ノ也



先進

鄭玄曰。言ハ弟一子我ニ從テ陳一蔡ニ厄カシナメラル者ノ皆

仕ツカイ進ノ門ニ及ハハスシテ其ノ所ヲ失フ

3 (245) \* 【德行章】

德一行ニハ顔淵 閔子騫 冉伯牛 仲弓。言語ゲンキヨニハ 宰我

子貢。政事ニハ冉有 季路。文一学ニハ子游 子夏。

4 (246) 3 (256) 【回也非助我者也章】

子曰。回 我ヲ助者非ス 吾カ言於テ説ヨロコビ (ス) ト云

所口無シ

孔安国曰。助ハ益マス〔ノ〕猶〔シ〕。言ハ回 言ヲ聞テ

即解サトル発一サトル起シテ已ヲ増一益ス可コト無〔シ〕

5 (247) 4 (257) 【孝哉閔子騫章】

子曰。孝ナルカナ閔子騫 人 其ノ父一母昆一弟ノ言コトヲ

間ヘタテス

陳羣曰。言ハ閔子騫人ト為ナリ。上父一母二事ツカフマツリ。下兄一

弟二順テ。動一静善ヲ尽ツクス。故二人非一問カンノ言ト有ソシリ

コトヲ得ヘタツル(ス)

6 (248) 5 (258) 【南容三復白圭章】

南容三ヒ白一圭ケイヲカヘサフス復

孔安国曰。詩ニ云ク。白一圭ノ玷カケタルヲハ 尚ヲ磨可〔シ〕

斯ノ言ノ玷カケタルヲハ 為可〔ラ〕(ス) 南容詩ヲ讀テ此ニ

至テ三ヒ之ヲ反一復ス 是レ其ノ心言ヲ慎ツシメハ 〔也〕

孔子其ノ兄コノカミノ 子ヲ以テ妻メアハス

7 (249) 6 (259) 【季康子問弟子章】

季康子問トハク。弟一子孰タレカ学好コノムコトヲスル 為。孔一子対曰。顔回ト

イフ者有リ 学ヲ好コノム不レ幸短一命ニシテ死ニキ 今ハ

則ナシチ亡 未夕学好ム者ノヲ聞〔カ〕ス

8 (250) 7 (260) 【顔淵死章】

顔淵死。顔路シノ子車ヲ請コフ

孔安国曰。顔一路ハ顔一淵カ父一也。家マスシ貧故ニ孔

子ノ車ヲ請テ売ウテ 以テ槨クハクヲ作ツクラント 欲〔ス〕

子曰。オアルモオアラサルモ亦各ノ其ノ子言コライフ 鯉

死シメルトキニ 棺有テ槨クハク無シ。吾レ徒カチヨリユイテ行以テ椁ツクラヲ為ス 吾

大一夫ノ後シリヘニシタカヘルヲ 從 以テ吾レ以テ徒カチヨリユク 行可〔ラ〕ス

孔安国曰。鯉ハ孔子ノ子伯魚。孔子時ニ大一夫タリ為 故

ニ言ク。吾レ大一夫ノ後ヘニ從フト 以テ徒<sup>カチヨリ</sup>行<sup>フ</sup>

可<sup>ヘラ</sup>(ラ)(ス) 是レ謙<sup>ヘリクタル</sup>ノ辞ハ

9 (251) 8 (261) 【顏淵死子日噫章】

顏淵死ヌ。子日<sup>イ</sup>。噫<sup>イ</sup>!

包氏日。噫ハ痛一傷ノ声<sup>コヘナリ</sup>

天子喪<sup>ワレフホホシツ</sup> 天子ヲ喪ツ<sup>ホ</sup>

天子ヲ喪トハ己レヲ喪(カ) 若シ 再ヒ之(ヲ)言フ

コトハ痛ミ惜<sup>ヲシム</sup> 甚キナリ

10 (252) 9 (262) 【顏淵死子哭之慟章】

顏淵死ヌ。子哭<sup>シ</sup>。慟<sup>コクシテトウス</sup>

馬融日。慟ハ哀<sup>6</sup>ノ過

從一者日。子慟。子日。慟スルコト有<sup>アツルカ</sup>

孔安国日。自己カ悲一哀ノ過コトヲ知(ル)

夫人ノ為<sup>カノ</sup> 慟スルニ非シテ誰<sup>タレガタメニカセン</sup> 為

11 (253) 10 (263) 【顏淵死門人欲厚葬之章】

顏淵死ヌ。門一人厚葬<sup>アツクハフムラマク</sup> 欲ス。子日。不<sup>ノ</sup>一可ナリ

礼ニ貧富ノ各ノ宜コト有リ。顏淵家 貧シテ門一人厚

先進

ク葬<sup>ハ</sup>ント欲ス 故ニ聽<sup>ユルサ</sup>(ス)

門人一人厚葬<sup>アツクハフムル</sup>。子日。回<sup>ワレラミルコトナラチ、ノ</sup> 予視<sup>ワレミルコトナラコ</sup> 猶父(コト)クス

子視<sup>ワレミルコトナラコ</sup> 猶子コトクスルコトヲ得ス 我ニ非ス。夫<sup>カノ</sup>一<sup>ノ</sup>一<sup>ノ</sup>一<sup>ノ</sup>

子ナラン

馬融日。言ハ回自父有リ。父<sup>ノ</sup> 意ニ門一人厚ク葬ルコ

トヲ聽<sup>ユルサント</sup> 欲ス。我レ制一止スルコトヲ得ス。其レ厚

ク葬コトヲ非<sup>8</sup>(ル) 故ニ爾云フ

12 (254) 11 (264) 【季路問事鬼神章】

季路鬼神二事<sup>ツカヘンコトヲ</sup> 問(フ)。子日。未タ人事<sup>ヒトニツカフルコト</sup> 能ハ

ス 焉<sup>イツクシン</sup> 能ク鬼二事<sup>ツカヘンイワケ</sup> 日 敢テ死ヲ問フ。日 未タ生

ヲ知(ラ)ス 焉<sup>イツクシン</sup> 死ヲ知ラン

陳羣日。鬼一神及死ノ事<sup>コトハ9</sup> 明メ難シ 之(ヲ)語ルニ

益無(シ) 故ニ答へ(ス)

13 (255) 12 (265) 【閔子騫侍側章】

閔子騫側<sup>カタハラニハシヘリ</sup> 侍<sup>シ</sup> 間一<sup>ノ</sup>間一<sup>ノ</sup>如タリ。子路行<sup>カウ</sup>一<sup>ノ</sup>行<sup>ノ</sup>一<sup>ノ</sup>如タリ

冉子子貢侃<sup>カン</sup>一<sup>ノ</sup>侃<sup>ノ</sup>一<sup>ノ</sup>如タリ 子樂<sup>カクシヤ</sup>

鄭玄日。各ノ其ノ性ヲ尽コトヲ樂<sup>タノシム</sup> 行<sup>ノ</sup>一<sup>ノ</sup>行<sup>ノ</sup>ハ剛<sup>カウ</sup>一<sup>ノ</sup>彊<sup>キヤウ</sup>

ノ貌

由カ若キ其ノ死一然<sup>ゼンラ</sup>得シ

孔安国曰。寿<sup>10</sup>以テ終コトヲ得(ス)

14 (256) 13 (266) 【魯人為長府章】

魯人長一府為<sup>ツクル</sup>閔子騫カ曰。旧一貫ニ仍<sup>ヨラハイ</sup>如<sup>イ</sup>之一何<sup>ン</sup>

何<sup>ナシ</sup>必<sup>メ</sup>シモ改<sup>メ</sup>作<sup>ツクラン</sup>

鄭玄曰。長一府ハ藏ノ名一也 貨<sup>クワ</sup>藏<sup>ヲサムル</sup> 府ト曰(フ)

仍ハ因一也 貫ハ事一也 旧事ニ因ラハ則可ナラン

何ソ乃<sup>チ</sup>復<sup>11</sup>タ更<sup>11</sup>改<sup>ツクラン</sup>テ作<sup>ツクラン</sup>

子曰。夫一人ハ言<sup>イハ</sup>ス 言<sup>イフキトニ</sup> 必<sup>アタルコト</sup>ス中<sup>アタルコト</sup> 有<sup>リ</sup>

王肅曰。言<sup>コト</sup> 必<sup>アタルコト</sup>ス中<sup>アタルコト</sup> 有<sup>リ</sup>トハ其(ノ)民ヲ勞<sup>12</sup>シテ

改<sup>レ</sup>メ作<sup>レ</sup>コトヲ欲<sup>13</sup>(セ)(サル)コトヲ善<sup>ス</sup>ンス。

15 (257) 14 (267) 【由之琴章】

子曰。由ハ瑟<sup>シツラコソルコトナシ</sup>鼓<sup>カトニシモライテスルヤ</sup> 奚<sup>カ</sup>丘<sup>カ</sup>力<sup>カ</sup>門<sup>カ</sup> 於<sup>カ</sup>為<sup>カ</sup>

馬融曰。言ハ子路力<sup>シツラコソルコトガ</sup>瑟<sup>セウニカナハ</sup>鼓<sup>セウニカナハ</sup> 雅<sup>セウニカナハ</sup>一<sup>セウニカナハ</sup>頌<sup>セウニカナハ</sup>合<sup>セウニカナハ</sup>(ス)

門一人子路ヲ敬<sup>レ</sup>セス。子曰。由<sup>14</sup>堂<sup>ニ</sup>升<sup>ト</sup>モ未<sup>タ</sup>室<sup>ニ</sup>入<sup>ル</sup>

(ラ)ス

馬融曰。我カ堂ニ升<sup>レ</sup>テ未<sup>タ</sup>室<sup>ニ</sup>入<sup>ル</sup>(ラ)(サ)ル耳<sup>ノミ</sup>

門一人解<sup>サトラ</sup>ス 孔子ノ言<sup>コト</sup>子路ヲ賤<sup>イヤシ</sup> 為<sup>イ</sup>謂<sup>フ</sup> 故ニ復<sup>レ</sup>タ之<sup>ノ</sup>

ヲ解<sup>15</sup>ス

16 (258) 15 (268) 【子貢問師與商也孰賢章】

子貢問<sup>トハクシトシヤウ</sup> 師<sup>イツレカマサレル</sup>商<sup>ト</sup>孰<sup>ノ</sup>賢<sup>シハスキタリ</sup>。子曰。師<sup>シハスキタリ</sup>過<sup>ル</sup> 商<sup>ハ</sup>及<sup>ハ</sup>ハス

孔安国曰。言ハ俱<sup>16</sup>ニ中<sup>16</sup> 得<sup>レ</sup>(ス)

曰<sup>イハク</sup>然<sup>ラ</sup>ハ則<sup>シハマサレリヤ</sup>師<sup>シハマサレリヤ</sup>愈<sup>ス</sup> 與<sup>ス</sup>。子曰。過<sup>ス</sup>タルモ猶<sup>ラ</sup>及<sup>ハ</sup>(サ)

ルカコトシ

愈<sup>17</sup>ハ勝<sup>ル</sup>ノ猶<sup>シ</sup>(シ)

17 (259) 16 (269) 【李氏富於周公章】

李氏周公ヨリ富<sup>トモリ</sup>

孔安国曰。周公ハ天一子ノ宰<sup>シナリ</sup>一卿<sup>シナリ</sup>一士<sup>シナリ</sup>

而ルヲ求<sup>レ</sup>之カ為<sup>シウ</sup>メニ聚<sup>レンシテツケマス</sup>一斂<sup>附益</sup> 附<sup>益</sup>

孔安国曰。冉<sup>シテ</sup>求<sup>シテ</sup>季<sup>フ</sup>氏<sup>18</sup>宰<sup>18</sup>ト為<sup>セイヤ</sup>之カ為<sup>スミヤカニ</sup>メニ賦<sup>ス</sup>一税<sup>急</sup> 急<sup>急</sup>

子曰。吾<sup>トモカラニ</sup>カ從<sup>ツミラナラシテセメンコト</sup> 非<sup>ス</sup> 小<sup>ツミラナラシテセメンコト</sup>一子<sup>ツミラナラシテセメンコト</sup>鼓<sup>ツミラナラシテセメンコト</sup> 鳴<sup>ツミラナラシテセメンコト</sup> 攻<sup>ツミラナラシテセメンコト</sup> 可<sup>ツミラナラシテセメンコト</sup>ナリ

鄭玄曰。小子ハ門一人也 鼓<sup>ツミラナラシテ</sup> 鳴<sup>ツミラナラシテ</sup> 其<sup>ツミラナラシテ</sup>ノ罪<sup>ツミラナラシテ</sup>声<sup>ツミラナラシテ</sup> 以<sup>ツミラナラシテ</sup>テ

之ヲ責<sup>セメン</sup>

18 (260) 17 (270) 【柴也愚章】

柴ノ愚ダナリ

弟一子ノ高柴ナリ 字ハ子一羔カウ 愚ハ愚一直ノ愚ナリ

参魯シンハロナリ

孔安国曰。魯ハ鈍一也 曾子ハ性遲一鈍ナリ

師僻シハヘキナリ

馬融曰。子張才人ニ過スキタリ 失ハ邪一僻ヘキニシテアマチカサルニ 過 文 在

り

由ハ嘍カンナリ  
アラコト

鄭玄曰。子路力行畔一嘍失カンニシツセリ

\* 18 (271)

子曰。回ハ其レ庶コイネカツテシハクムナシ 屨 空 賜ハ命 受ケ (ス) シテ

貨一殖クハ 億シヨク 則ハ屨 中シハクアツ

意ハ回ハ聖一道ヲ庶一幾ス 数シハクム 空ク匱 雖 (トモ)

而モ楽ミ其ノ中ニ在リ。賜ハ教一命ヲ受 (ケ) (ス)

シテ唯財一貨是ヲ殖クワ 是シヨクシ一非ヲ億一度 蓋シ回ヲ美ホムルハ

賜ヲ勵ハケマス 所一以。一ニハ曰ク屨ハ每猶 (シ) 空ハ虚

先進

中ノ猶 (シ) 聖一人ノ善ヲ以テ数一子ノ庶幾ヲ教ル

ニ猶シ道ヲ知 (ルニ) 至 (ラ) (サル) カ (コト) シママ

者ノハ各ノ内ニ此ノ害有 (リ) 其ノ庶一幾於テ每ニキニ

能ク虚一中ナル者ノハ唯回ナリ 道ヲ懷ヲモフコト 深一遠ナ

リ 心ヲ虚ムナシクセ (サ) レハ道ヲ知コト能 (ハ) ス 子貢

数一子ノ病無シ 然モ 亦道ヲ知 (ラ) (サル) ハ理ヲ

窮メ (ス) ト雖 (トモ) 而モ幸ニシテ中ル 天一命ニ

非 (スト) 雖 (トモ) 偶22タマクニトメリ 富亦心ヲ虚ニ (セ) (サ)

ル所一以ナリ

19 (261) 19 (272) 【子張問善人之道章】

子張善一人ノ道ヲ問フ。子曰。迹アトニシモシタカハ 踐 ス 亦室ニシ

モ入 (ラ) ス

孔安国曰。踐ハ循一也 言ハ善一人旧一迹ニタモ循シタカヒ

追 (サル) 而一已 亦 多 少 能ク業創 然トモ23ソコハカトナク

亦タ聖一人ノ奥一室ニ入コト能 (ハ) (ス)

\* 20 (273)

子曰。論一篤一是與。君一子者乎。色一莊一者乎。

論一篤トハ口ニ<sup>24</sup>折<sup>エラヒ</sup>言<sup>イフコト</sup>無ヲ謂フ。君一子トハ身ニ<sup>ヒ</sup>鄙<sup>アシカラ</sup>一行無ヲ謂。色一莊トハ惡<sup>スシテ</sup>スシテ<sup>イツクシ</sup>嚴<sup>シ</sup>以テ小<sup>サ</sup>人ヲ遠<sup>サクル</sup>。言ハ此ノ三ノ者ノ皆以テ善人ト為可シ

20 (262) 21 (274) 【子路問聞斯行諸章】

子路問ハク<sup>キクマ、ニコレヲコナハンヤ</sup>聞<sup>キクマ、ニコレヲコナハンヤ</sup>斯行<sup>ス</sup>諸<sup>カ</sup>

包氏曰。窮<sup>キウワス</sup>賑<sup>ニ</sup>乏<sup>トモシキ</sup>救<sup>キラスクフ</sup>ノ事

子曰。父一兄在<sup>マスコト</sup>有<sup>ニキハン</sup>リ如<sup>イ</sup>一之<sup>イカ</sup>何<sup>ン</sup>其<sup>キクマ、ニコレ</sup>レ聞<sup>キクマ、ニコレ</sup>斯<sup>マスコト</sup>行<sup>マスコト</sup>

孔安国曰。當<sup>マ</sup>ニ父一兄ニ白<sup>マ</sup>(ス)(ヘシ)自<sup>ミ</sup>專<sup>ホシイマ、ニスルコトヲ</sup>

得可<sup>マ</sup>(カラ)(ス)

再有<sup>マ</sup>問<sup>キクマ、ニ</sup>ハク<sup>マスコト</sup>聞<sup>マスコト</sup>斯<sup>マスコト</sup>レ行<sup>マスコト</sup>諸<sup>マスコト</sup>子曰<sup>マスコト</sup>ク。聞<sup>マスコト</sup>斯<sup>マスコト</sup>レ

行<sup>マスコト</sup>公<sup>マスコト</sup>西<sup>マスコト</sup>華<sup>マスコト</sup>曰<sup>マスコト</sup>ク。由<sup>マスコト</sup>問<sup>マスコト</sup>ハク<sup>マスコト</sup>聞<sup>マスコト</sup>マ、ニ<sup>マスコト</sup>斯<sup>マスコト</sup>レ行<sup>マスコト</sup>諸<sup>マスコト</sup>子曰<sup>マスコト</sup>。

父<sup>マスコト</sup>一<sup>マスコト</sup>兄<sup>マスコト</sup>在<sup>マスコト</sup>有<sup>マスコト</sup>リ。求<sup>マスコト</sup>問<sup>マスコト</sup>ハク。聞<sup>マスコト</sup>マ、ニ<sup>マスコト</sup>斯<sup>マスコト</sup>レ行<sup>マスコト</sup>諸<sup>マスコト</sup>子曰<sup>マスコト</sup>。

ク。聞<sup>マスコト</sup>ニ<sup>マスコト</sup>斯<sup>マスコト</sup>レ行<sup>マスコト</sup>ナヘ。赤<sup>マスコト</sup>惑<sup>マスコト</sup>。敢<sup>マスコト</sup>テ<sup>マスコト</sup>問<sup>マスコト</sup>フ。

孔安国曰。其<sup>マ</sup>ノ問<sup>マ</sup>同<sup>マ</sup>シテ<sup>マ</sup>答<sup>マ</sup>異<sup>マ</sup>ナル<sup>マ</sup>ニ<sup>マ</sup>惑<sup>マ</sup>

子曰。求<sup>マ</sup>退<sup>マ</sup>。故<sup>マ</sup>ニ<sup>マ</sup>進<sup>マ</sup>。由<sup>マ</sup>八<sup>マ</sup>人<sup>マ</sup>兼<sup>マ</sup>タリ<sup>マ</sup>故<sup>マ</sup>ニ<sup>マ</sup>退<sup>マ</sup>ク。

鄭玄曰。言<sup>マ</sup>ハ<sup>マ</sup>冉<sup>マ</sup>有<sup>マ</sup>ハ<sup>マ</sup>性<sup>マ</sup>謙<sup>マ</sup>一<sup>マ</sup>退<sup>マ</sup>ナリ<sup>マ</sup>子<sup>マ</sup>路<sup>マ</sup>務<sup>マ</sup>テ<sup>マ</sup>勝<sup>マ</sup>一<sup>マ</sup>

尚<sup>マ</sup>在<sup>マ</sup>リ<sup>マ</sup>人<sup>マ</sup>各<sup>マ</sup>ノ<sup>マ</sup>其<sup>マ</sup>ノ<sup>マ</sup>人<sup>マ</sup>ノ<sup>マ</sup>失<sup>マ</sup>ニ<sup>マ</sup>因<sup>マ</sup>テ<sup>マ</sup>之<sup>マ</sup>ヲ<sup>マ</sup>正<sup>マ</sup>ス

21 (263) 22 (275) 【子畏於匡章】

子<sup>マ</sup>匡<sup>マ</sup>畏<sup>マ</sup>顔<sup>マ</sup>淵<sup>マ</sup>後<sup>マ</sup>

孔安国曰。言<sup>マ</sup>ハ<sup>マ</sup>孔子<sup>マ</sup>ト<sup>マ</sup>相<sup>マ</sup>一<sup>マ</sup>失<sup>マ</sup>セリ<sup>マ</sup>故<sup>マ</sup>ニ<sup>マ</sup>後<sup>マ</sup>ヘ<sup>マ</sup>ニ<sup>マ</sup>在<sup>マ</sup>リ

子曰。吾<sup>マ</sup>レ<sup>マ</sup>女<sup>マ</sup>以<sup>マ</sup>テ<sup>マ</sup>死<sup>マ</sup>為<sup>マ</sup>日<sup>マ</sup>子<sup>マ</sup>在<sup>マ</sup>回<sup>マ</sup>何<sup>マ</sup>ン<sup>マ</sup>ソ<sup>マ</sup>敢<sup>マ</sup>テ<sup>マ</sup>死<sup>マ</sup>ナ<sup>マ</sup>ン

テ死<sup>マ</sup>ナ<sup>マ</sup>ン

包氏曰。言<sup>マ</sup>ハ<sup>マ</sup>夫<sup>マ</sup>一<sup>マ</sup>子<sup>マ</sup>在<sup>マ</sup>己<sup>マ</sup>レ<sup>マ</sup>敢<sup>マ</sup>テ<sup>マ</sup>死<sup>マ</sup>ル<sup>マ</sup>所<sup>マ</sup>口<sup>マ</sup>無<sup>マ</sup>ン

22 (264) 23 (276) 【季子然問仲由冉求章】

季<sup>マ</sup>子<sup>マ</sup>然<sup>マ</sup>問<sup>マ</sup>ク<sup>マ</sup>仲<sup>マ</sup>由<sup>マ</sup>冉<sup>マ</sup>求<sup>マ</sup>ヲ<sup>マ</sup>ハ<sup>マ</sup>大<sup>マ</sup>一<sup>マ</sup>臣<sup>マ</sup>ト<sup>マ</sup>謂<sup>マ</sup>ツ<sup>マ</sup>可<sup>マ</sup>ン<sup>マ</sup>與<sup>マ</sup>

孔安国曰。季<sup>マ</sup>子<sup>マ</sup>然<sup>マ</sup>ハ<sup>マ</sup>季<sup>マ</sup>氏<sup>マ</sup>カ<sup>マ</sup>子<sup>マ</sup>一<sup>マ</sup>弟<sup>マ</sup>ナ<sup>マ</sup>リ<sup>マ</sup>自<sup>マ</sup>此<sup>マ</sup>ノ<sup>マ</sup>二<sup>マ</sup>子<sup>マ</sup>ヲ

臣<sup>マ</sup>ト<sup>マ</sup>ス<sup>マ</sup>ル<sup>マ</sup>コト<sup>マ</sup>ヲ<sup>マ</sup>得<sup>マ</sup>コト<sup>マ</sup>多<sup>マ</sup>シ<sup>マ</sup>故<sup>マ</sup>ニ<sup>マ</sup>之<sup>マ</sup>ヲ<sup>マ</sup>問<sup>マ</sup>フ

子曰。吾<sup>マ</sup>レ<sup>マ</sup>子<sup>マ</sup>以<sup>マ</sup>テ<sup>マ</sup>異<sup>マ</sup>問<sup>マ</sup>為<sup>マ</sup>曾<sup>マ</sup>子<sup>マ</sup>由<sup>マ</sup>ト<sup>マ</sup>求<sup>マ</sup>ト<sup>マ</sup>ガ<sup>マ</sup>問<sup>マ</sup>

孔安国曰。子<sup>マ</sup>異<sup>マ</sup>一<sup>マ</sup>事<sup>マ</sup>ヲ<sup>マ</sup>問<sup>マ</sup>ト<sup>マ</sup>謂<sup>マ</sup>(フ)耳<sup>マ</sup>則<sup>マ</sup>此<sup>マ</sup>ノ<sup>マ</sup>二<sup>マ</sup>

人<sup>マ</sup>ノ<sup>マ</sup>問<sup>マ</sup>安<sup>マ</sup>ソ<sup>マ</sup>大<sup>マ</sup>一<sup>マ</sup>臣<sup>マ</sup>ト<sup>マ</sup>為<sup>マ</sup>足<sup>マ</sup>ン<sup>マ</sup>乎<sup>マ</sup>

所謂<sup>マ</sup>ル<sup>マ</sup>大<sup>マ</sup>一<sup>マ</sup>臣<sup>マ</sup>ハ<sup>マ</sup>道<sup>マ</sup>ヲ<sup>マ</sup>以<sup>マ</sup>テ<sup>マ</sup>君<sup>マ</sup>ニ<sup>マ</sup>事<sup>マ</sup>ツ<sup>マ</sup>ル<sup>マ</sup>不<sup>マ</sup>一<sup>マ</sup>可<sup>マ</sup>ナル<sup>マ</sup>則<sup>マ</sup>ハ<sup>マ</sup>止<sup>マ</sup>

今<sup>マ</sup>由<sup>マ</sup>ト<sup>マ</sup>求<sup>マ</sup>ト<sup>マ</sup>ヲ<sup>マ</sup>ハ<sup>マ</sup>具<sup>マ</sup>一<sup>マ</sup>臣<sup>マ</sup>ト<sup>マ</sup>謂<sup>マ</sup>フ<sup>マ</sup>可<sup>マ</sup>シ

孔安国曰。言<sup>マ</sup>ハ<sup>マ</sup>臣<sup>マ</sup>ノ<sup>マ</sup>数<sup>マ</sup>備<sup>マ</sup>而<sup>マ</sup>已<sup>マ</sup>

曰<sup>イ</sup> 然<sup>シ</sup>ラハ則<sup>ト</sup> 從<sup>シ</sup> 者<sup>カ</sup>與<sup>ト</sup>

孔安国曰。臣<sup>シ</sup>ト為<sup>シ</sup>皆當<sup>ニ</sup>君<sup>ノ</sup>欲<sup>ル</sup>所<sup>ニ</sup>從<sup>フ</sup>（ヘ）キ邪<sup>ヤ</sup>

ト問<sup>フ</sup>

子曰。父<sup>ト</sup>君<sup>ト</sup>ヲ弑<sup>シ</sup> 亦<sup>シ</sup>夕<sup>ニ</sup>從<sup>フ</sup> シ

孔安国曰。二<sup>ノ</sup>子<sup>ノ</sup>其<sup>ノ</sup>主<sup>ニ</sup>從<sup>ト</sup>雖<sup>モ</sup>亦<sup>大</sup>一<sup>ニ</sup>逆<sup>ヲ</sup>為<sup>ス</sup>

與<sup>ス</sup>

23 (265) 24 (277) 【子路使子羔為費宰章】

子路<sup>シ</sup>子羔<sup>カウラ</sup>シテ費宰<sup>ヒノ</sup>為<sup>シ</sup>ム。子曰。夫<sup>カ</sup>人<sup>ノ</sup>子<sup>コ</sup>賊<sup>ナリ</sup>

包氏曰。子<sup>ノ</sup>羔<sup>カウ</sup>学<sup>コト</sup>未<sup>タ</sup>熟<sup>ク</sup>一<sup>ニ</sup>習<sup>セ</sup>（サ）ル<sup>ニ</sup>而<sup>モ</sup>政

コトヲ為<sup>メ</sup>ハ人<sup>ヲ</sup>賊<sup>ハ</sup>害<sup>（スル）</sup>所<sup>一</sup>以<sup>テ</sup>ン<sup>ナリ</sup>

子路<sup>カ</sup>曰。民<sup>一</sup>人<sup>有</sup>リ 社<sup>一</sup>稷<sup>有</sup>リ 何<sup>ナ</sup>必<sup>シ</sup>モ書<sup>ヲ</sup>讀

ンテ然<sup>シ</sup> 後<sup>マ</sup>二<sup>マ</sup>学<sup>コト</sup> 為<sup>ス</sup>

孔安国曰。言<sup>ハ</sup>民<sup>ヲ</sup>治<sup>ム</sup> 神<sup>ニ</sup>事<sup>ル</sup> 是<sup>ニ</sup>於<sup>テ</sup>習<sup>フ</sup>モ

亦<sup>シ</sup>学<sup>也</sup>

子曰。是<sup>ノ</sup>故<sup>ニ</sup>夫<sup>カ</sup>佞<sup>一</sup>者<sup>ヲ</sup>惡<sup>ム</sup>

孔安国曰。其<sup>ノ</sup>口<sup>一</sup>給<sup>ヲ</sup>以<sup>テ</sup>應<sup>ニ</sup>己<sup>カ</sup>非<sup>ヲ</sup>遂<sup>（ヘク）</sup>

シテ窮<sup>ヲ</sup>知<sup>（ラ）</sup>（サ）ル<sup>コト</sup>ヲ疾<sup>ム</sup>

先進

24 (266) 25 (278) 【子路會皙章】

子路<sup>セ</sup>會<sup>セ</sup>皙

孔安国曰。會<sup>一</sup>皙<sup>一</sup>參<sup>カ</sup>父<sup>ナ</sup>リ。名<sup>ハ</sup>八<sup>点</sup>

冉<sup>有</sup>公<sup>西</sup>華<sup>侍</sup>一<sup>坐</sup> 子曰。吾<sup>カ</sup>一<sup>日</sup>モ長<sup>タル</sup>ヲ以<sup>テ</sup>乎

爾<sup>吾</sup>以<sup>母</sup>

孔安国曰。言<sup>ハ</sup>我<sup>レ</sup>女<sup>ヲ</sup>問<sup>フ</sup> 女<sup>チ</sup>我<sup>カ</sup>長<sup>タル</sup>ヲ以<sup>テ</sup>

〔ノ〕故<sup>ニ</sup>对<sup>シ</sup> 難<sup>シ</sup> 無<sup>（レ）</sup>

居<sup>ル</sup>則<sup>ハ</sup>曰<sup>ク</sup> 吾<sup>ヲ</sup>知<sup>ラ</sup>ス

孔安国曰。女<sup>チ</sup>常<sup>ニ</sup>居<sup>ト</sup>キ<sup>ニ</sup>人<sup>己</sup>レ<sup>ヲ</sup>知<sup>（ラ）</sup>（ス）

ト云

如<sup>ル</sup>爾<sup>ヲ</sup> 知<sup>コト</sup>或<sup>レ</sup>則<sup>何</sup>ヲ以<sup>テ</sup>カ<sup>セン</sup>哉

孔安国曰。如<sup>ク</sup>女<sup>チ</sup>ヲ用<sup>コト</sup>有<sup>ハ</sup>則<sup>レ</sup> 何<sup>ヲ</sup>以<sup>テ</sup>カ<sup>治</sup>ヲ為<sup>ス</sup>

乎

子路<sup>率</sup>一<sup>爾</sup> 对<sup>テ</sup>曰<sup>ク</sup>

率<sup>一</sup>爾<sup>ト</sup>ハ三<sup>一</sup>人<sup>二</sup>先<sup>一</sup> 对<sup>テ</sup>

千<sup>乘</sup>ノ国<sup>大</sup>一<sup>国</sup>ノ間<sup>撰</sup> 加<sup>師</sup>一<sup>旅</sup>ヲ以<sup>シ</sup> 因<sup>饑</sup>

謹<sup>以</sup>テ<sup>セ</sup>ン<sup>ニ</sup>

先進

包氏曰。撰ハ大一ノ国ノ間ニ撰一迫ス

由為 三年ニ及ハン比 勇有リ 且方知ラ使可

方ハ義一方

夫一子晒

馬融曰。晒ハ笑一也

求爾 何如 对曰ク 方六一七一十如 五六一十

求性ハ謙一退ナリ 言ハ方六一七一十如クハ五六一

十一里ノ小国ヲ得テ治マク欲ル而一已

求為 三一年ニ及ハン比 民足使可シ 其ノ礼一樂

ノ如キハ以テ君子ヲ俟

孔安国曰。求 自云ク能ク民ヲ足 而一已 謂ク衣一

食ノ足一也 礼一樂ノ化ノ若ンハ當ニ以テ君子ヲ待ツ

(へ)シ 謙ハ辞一也

赤爾 何如カン 对テ曰ク 敢能 曰ニハ非ス 願

ハ学 宗一廟ノ事 如会一同端一章一甫願ハ小一

相為

鄭玄曰。我レ自能 言ニハ非(ス) 願ハ学ヒテ之ヲ

為 宗一廟ノ事トハ謂ク祭一祀 諸一侯時ニ見ヲ会

曰(フ) 殷 見ヲ同ト曰(フ) 端ハ玄一端 玄一端

ヲ衣 章一甫ヲ冠 諸一侯ノ日ニ朝ヲ視服ナリ

小一相トハ謂ク君ノ礼ヲ相 者ノナリ

点 爾 何如 瑟鼓 希

孔安国曰。对 所 以ンヲ思フ 故ニ音希

鏗爾 瑟舍作对 曰 三子一者ノ撰 異

孔安国曰ク。瑟 置 起 对 撰ハ具一也 政コトヲ

為ノ具ナリ 鏗一爾ハ瑟 投ノ声

子曰。何傷 乎 亦タ各ノ其ノ志シヲ言

孔安国曰。各ノ己レカ志ヲ言フ 義ニ於テ傷 無シ

曰 暮一春ニハ春 服既ニ成 冠一者五六一六一人童一子

六一七一人ヲ得テ沂ニ浴 舞一雩風 詠シテ帰

包氏曰。暮一春トハ季一春 三一月 春ノ服既ニ成ト

ハ単一袷衣ノ時ナリ 我レ冠一者五六人童一子六七

人ヲ得テ沂一水ノ上 浴舞一雩ノ下風一涼シテ先一

王ノ道ヲ歌一詠シ夫一子ノ門ニ帰ント欲ルナリ

夫一子喟然トシテ歎曰 吾ハ点與

周生烈曰。点 独リ時ヲ知コトヲ善ミンス

三一子一者出ヌ 曾皙後。曾皙カ曰。夫三一子一者ノ言

何如 子曰。亦 各ノ其ノ志シヲ言フ已 曰 夫一子

何由ヲ晒 子曰。国ヲ為ニハ礼ヲ以ス 其ノ言議ス

是故ニ晒

包氏曰。国ヲ為ニハ礼ヲ以ス 礼ハ讓ヲ貴トス 子路

カ言讓ヲ(ス) 故ニ之ヲ笑フ

唯求ハ則邦非ス與。安 方六一七十如 五六一十

ニシテ邦非サル者ノヲ見 唯 赤ハ則チ邦非ス與。宗一

廟ノ事如 会一 同諸侯(ニ) 非シテ如之何

孔安国曰。明 皆諸一侯ノ事ナリ 子路ト 徒同ス

子路讓(ラ)(サ) ルコトヲ笑フ

赤小為孰能ク大為

孔安国曰。赤 謙シテ小一相ト言フ耳 孰能大一相

為

論語顏淵第十二

1 (267) 1 (279) 【顏淵問仁章】

顏淵仁 問フ 子曰 己 克礼ニ復 仁ト為

馬融曰。己レヲ克 身ヲ約 孔安国曰 復反一

也 身 能礼ニ反ルヲ則仁ト為

一 一日モ己レヲ克 礼ニ復 天一 下仁ニ帰ス

馬融曰。一 一日タモ猶ヲ帰セ見 況ヤ身終ルマテヲ乎

仁ヲ為 己 由人ニ由ラン乎哉

孔安国曰。善ヲ行コト己レニ在リ 人ニ在(ラ)(ス)

顏淵カ曰。其ノ目請 問フ

包氏曰。其ノ必ス條目有コトヲ知ル故ニ之ヲ請 問

子曰。礼ニ非ンハ視 勿レ 礼ニ非ンハ聽 勿レ 礼ニ

非ンハ言 勿レ 礼ニ非ンハ動 勿レ

鄭玄曰。此ノ四ノ者ノハ己レヲ克 礼ニ復 目

顏淵カ曰。回 不 敏 雖トモ請 斯ノ語事

王肅曰。敬シテ此ノ語事トスルハ必ス之ヲ行ントナ



り

2 (268) 2 (280) 【仲弓問仁章】

仲弓仁問フ。子曰 門ヲ出ルトキハ大一賓 見ルカ如ク  
ス 民ヲ使 大一祭ニ承 如クス

孔安国曰。仁ノ道ハ敬 尚 莫

己レカ欲 (サ) ル所ロヲ人ニ施コト勿レ 邦在テモ

怨 無ク家ニ在テモ怨コト無シ

包氏曰。邦在ヲ諸一侯ト為家ニ在ヲ卿一大夫ト為

仲弓カ曰。雍 不一敏ナリト雖トモ請 斯ノ語事

3 (269) 3 (281) 【司馬牛問仁章】

司馬牛 仁問フ。子曰。仁一者ハ其ノ言

孔安国曰。言難一也 牛ハ宋人 也 弟一子司馬

犁

曰 其ノ言 斯ヲ仁ト謂フ可ク已 乎。子曰。為難

言 無キコトヲ得ン乎

孔安国曰。仁ヲ行コト難シ 仁ヲ言フモ亦難 (サ)

ルコトヲ得 (サラ) ンヤ

4 (270) 4 (282) 【司馬牛問君子章】

司馬牛君一子ヲ問フ。子曰 君一子ハ憂ス懼ス

孔安国曰。牛カ兄 桓一魋將ニ乱ヲ為ント (ス) 牛

宋自リ来テ学 (フ) 常ニ憂一懼ス 故ニ孔子之ヲ解

ク

曰 憂ス 懼ス 斯ヲ君一子ト謂フ可ラク已 乎。子

曰 内 省 疚 ス 夫レ何 憂ヘ何ヲカ懼

包氏曰。疚 病一也 内 省ニ罪惡無トキハ憂一懼ス

可キコト無 (シ)

5 (271) 5 (283) 【司馬牛憂日章】

司馬牛憂 曰 人 皆兄一弟有リ 我レ独 亡

鄭玄曰。牛カ兄 桓 魋惡ヲ行フ 死一亡日無シ 我

レ独リ兄一弟無ト為

子夏カ曰ク。商 聞 死一生命有リ 富一貴天ニ在リ 君一

子ハ敬 失無ク 人ト恭 而礼有ラハ四一海ノ内皆

兄一弟為 君一子何 兄一弟無 患

包氏曰。君一子ハ惡ヲ疏 賢ヲ友 九一州ノ人皆礼

ヲ以テ親<sup>4シタシム</sup>可シ

6 (272) 6 (284) 【子張問明章】

子張 明問フ。子曰。浸<sup>シ</sup>潤<sup>ジュン</sup>。譜<sup>フ</sup>膚<sup>シウ</sup>受<sup>ソ</sup>ノ愬<sup>ウツタユル</sup>行<sup>ヲコナハレ</sup>

(サ) ルヲ明<sup>メイ</sup>謂<sup>ト</sup>フ可カラク已<sup>ノミ</sup>

鄭玄曰。譜<sup>シントハ</sup>人<sup>コト</sup>ノ言<sup>コト</sup>水<sup>コト</sup>ノ浸<sup>コト</sup>潤<sup>コト</sup>シテ以テ漸ク人ノ禍ヲ

成カ如<sup>シ</sup>馬融曰。膚<sup>フ</sup>受<sup>フ</sup>ハ皮膚ナリ 外<sup>ハ</sup>語<sup>ス</sup>其

ノ内<sup>ミツルニ</sup>実<sup>ニ</sup>非<sup>ス</sup>(ス)

浸<sup>ソ</sup>潤<sup>ソ</sup>ノ譜<sup>ソ</sup> 膚<sup>ソ</sup>受<sup>ソ</sup>ノ愬<sup>ソ</sup> 行<sup>レ</sup>(サ) ルヲ遠<sup>トヲシト</sup> 謂<sup>フ</sup>可

ラク已<sup>ノミ</sup>

馬融曰。此ノ二ノ者ノ無レハ但夕<sup>5</sup>明<sup>スル</sup>ヲ為<sup>ス</sup> 非<sup>ス</sup> 其

ノ徳<sup>ニ</sup>行<sup>ハ</sup>高<sup>ク</sup>遠<sup>ク</sup>ニシテ人能ク及<sup>ク</sup>コト莫<sup>シ</sup>

7 (273) 7 (285) 【子貢問政章】

子貢政<sup>マツリコトヲ</sup> 問<sup>フ</sup>。子曰。食<sup>タシ</sup>ヲ足<sup>ク</sup> 兵<sup>タシ</sup>ヲ足<sup>ク</sup> 民<sup>ミ</sup>ミヲシテ信<sup>ス</sup>

アラシム。子貢カ曰。必<sup>ヤム</sup>ス已<sup>コトヲ</sup> 得<sup>ス</sup>(ス) シテ斯<sup>コノ</sup>二<sup>ツノモノヲ</sup> 者<sup>ヲ</sup>

去<sup>テ</sup>何<sup>ハ</sup> 先<sup>ハ</sup> 曰<sup>ク</sup> 兵<sup>ヲ</sup>去<sup>ク</sup> 曰<sup>ク</sup> 必<sup>ヤム</sup>ス已<sup>コトヲ</sup> 得<sup>ス</sup>(ス) シテ

斯<sup>ノ</sup>二<sup>ノ</sup> 者<sup>ヲ</sup>去<sup>ク</sup>何<sup>ヲ</sup>カ先<sup>ハ</sup> 曰<sup>ク</sup> 食<sup>ヲ</sup>去<sup>ク</sup>ヨ 古<sup>イ</sup>ヘ自<sup>リ</sup>皆<sup>ク</sup>

死<sup>ス</sup>有<sup>リ</sup>民<sup>ミ</sup>信<sup>ス</sup>セ(ス)ンハ立<sup>タ</sup>シ

顔淵

孔安国曰。死ルハ古<sup>ク</sup>今常二道ニシテ人<sup>ニ</sup>皆<sup>ク</sup>之<sup>レ</sup>有<sup>リ</sup>  
邦<sup>クニヲ</sup> 治<sup>ル</sup>ニハ信<sup>ヲ</sup>失<sup>フ</sup>(フ)可<sup>ク</sup>(ラ)(ス)

8 (274) 8 (286) 【棘子成曰章】

棘<sup>キヨクシ</sup>子<sup>セイ</sup>城<sup>カイ</sup>曰。君<sup>ノ</sup>子<sup>ハ</sup>質<sup>ナ</sup>ラク而<sup>レ</sup>已<sup>ニ</sup>矣<sup>ナリ</sup> 何<sup>ヲ</sup>以<sup>テ</sup>カ文<sup>ヲ</sup>為<sup>ス</sup>

鄭玄曰。旧説ニ棘子城ハ衛ノ大<sup>夫</sup>ト云フ

子貢カ曰。惜<sup>ラシ</sup>乎<sup>カナ</sup> 夫<sup>ノ</sup>子<sup>ノ</sup>君<sup>ノ</sup>子<sup>ヲ</sup>説<sup>トクコトシモシタニシモ</sup> 駟<sup>舌</sup> 及<sup>ハ</sup>

ス

鄭玄曰。惜<sup>ス</sup>乎<sup>ナ</sup> 夫<sup>ノ</sup>子<sup>ノ</sup>君<sup>ノ</sup>子<sup>ヲ</sup>説<sup>トクコトシモシタニシモ</sup> 過<sup>リ</sup>言<sup>ヒ</sup>

出<sup>レ</sup>ハ駟<sup>一</sup>馬<sup>之</sup>ヲ追<sup>テ</sup>モ舌<sup>二</sup>及<sup>ハ</sup>(ス)

文<sup>猶</sup>ヲ質<sup>ノ</sup>コトシ 質<sup>猶</sup>ヲ文<sup>ノ</sup>コトシ 虎<sup>コ</sup>一<sup>豹</sup>鞞<sup>ヘウノツクリカハ</sup> 猶

ヲ犬<sup>一</sup>羊<sup>ノ</sup>鞞<sup>ツクリカハノ</sup> コトシ

孔安国曰。皮<sup>ノ</sup>毛<sup>ヲ</sup>去<sup>ル</sup>ヲ鞞<sup>ト</sup>曰<sup>ク</sup>(フ) 虎<sup>一</sup>豹<sup>ト</sup>

犬<sup>一</sup>羊<sup>(ト)</sup>別<sup>アワカツコトハ</sup> 正<sup>ニ</sup>毛<sup>ノ</sup>文<sup>ズヤノ</sup>異<sup>ナル</sup>ヲ以<sup>テ</sup>耳<sup>ノ</sup>今

文<sup>一</sup>質<sup>ヲ</sup>シテ同<sup>フ</sup>使<sup>メ</sup>ハ何<sup>ヲ</sup>以<sup>テ</sup>カ虎<sup>一</sup>豹<sup>ト</sup>犬<sup>一</sup>羊<sup>(ト)</sup>

ヲ別<sup>ン</sup>邪

9 (275) 9 (287) 【哀公問於有若章】

哀<sup>ユウ</sup>公<sup>ジヤクニ</sup>有<sup>若</sup> 問<sup>テ</sup>曰<sup>ク</sup> 年<sup>ハ</sup> 饑<sup>ウヘテヨウタラ</sup>用<sup>足</sup>ス 如<sup>イ</sup>之<sup>カ</sup> 何<sup>ン</sup> 有<sup>若</sup>

対テ曰 盍徹サル。

鄭玄曰。盍何一不也。周ノ法ニハ什カ一ニシテ税之

ヲ徹ト謂フ。徹ハ通一也。天一ノ下ノ通一法為

曰。二ツニシテ吾猶ヲ足ス。如之何。其レ徹

孔安国曰。ニトハ謂ク什カ一ニシテ税

対テ曰。百一姓足。君孰與足。(サ)ラン。百一姓足

(ス)ンハ君孰與足

孔安国曰。孰ハ誰一也

10 (276) 10 (288) 【子張問崇徳辨惑章】

子張問ク 徳ヲ崇 惑ニ辨

包氏曰。弁ハ別一也

子曰。忠一信ヲ主トシテ義ニ徒 徳ヲ崇 ナリ

包氏曰。義ニ從 義ヲ見テ則 意ヲ從 之レニ從フ

愛スルトキハ其ノ生 欲シ 惡 其ノ死 欲

ス 既ニ其ノ生 欲ス 又其ノ死 欲ス 是レ

惑

包氏曰。愛惡ハ當ニ常ニ有ル(ヘシ) 一ヒハ之レ生

ンコトヲ欲シ 一ヒハ之レ死ンコトヲ欲ス 是レ心ノ

惑

誠ニ以テ富シ 亦祇以テ異

鄭玄曰。此ハ詩ノ小一雅 祇ハ適一也言ハ此一行 誠

ニ以テ富ヲ致ス可(ラ) (ス) 適以テ異ト為 足耳

此ノ詩ノ異一議ヲ取テ以テ之ヲ非

11 (277) 11 (289) 【齊景公問政於孔子章】

齊景公政ヲ孔子ニ問フ。孔子対曰。君 君タリ 臣

臣タリ 父 父タリ 子 子タリ

孔安国曰。當ニ此ノ時陳一恒齊ヲ制スルニ君君タラ

(ス) 臣臣タラ(ス) 父父タラ(ス) 子子タラ(ス)

故ニ此ヲ以テ対

公ノ曰 善哉 信 如君君タラス臣臣タラス父父タ

ラス子子タラスハ 粟有ト雖トモ吾レ豈ニ得食 諸

孔安国曰。言ハ將に危 ス 陳氏果シテ齊ヲ滅ス

12 (278) 12 (290) 【片言章】

子曰。片一言 以テ獄 折可 其レ由與

孔安国曰。片ハ偏ノ猶シ。訟<sup>ウタヘラキクコト</sup>聽<sup>ウタヘラキクコト</sup>必ス兩辞ヲ須<sup>マツテ</sup>以テ  
是<sup>ヒトヘニ</sup>一非ヲ定ム。偏<sup>ヒトヘニ</sup>一<sup>ヒトヘニ</sup>言ヲ信シテ以テ獄<sup>ウツタヘラ</sup>折ムル

者ノハ唯<sup>ヒトヘニ</sup>子<sup>ヒトヘニ</sup>路ノミ可<sup>ヒトヘニ</sup>一也

子路宿<sup>アラカシメダクスルコト</sup>諾<sup>アラカシメダクスルコト</sup>無シ

宿<sup>ヨソ</sup>ハ豫猶〔シ〕子路信<sup>アツフシテ</sup>二篤<sup>アツフシテ</sup>時<sup>トキ</sup>二臨<sup>フルキコト</sup>テ故<sup>ユヘ</sup>多<sup>オホク</sup>カラ

ンコトヲ恐ル<sup>オソ</sup>故<sup>ユヘ</sup>二豫<sup>ダクセ</sup>メ諾<sup>ダクセ</sup>（ス）

13 (279) 13 (291) 【聴訟吾猶人也章】

子曰。訟<sup>ウタヘラキクコト</sup>聽<sup>ウタヘラキクコト</sup>吾<sup>ウタヘラキクコト</sup>レ猶<sup>ウタヘラキクコト</sup>ヲ人ノコトシ

包氏曰。言<sup>ヒトシキナリ</sup>ハ人ト等<sup>ヒトシキナリ</sup>

必<sup>ウタヘ</sup>ス訟<sup>ウタヘ</sup>無<sup>シメンカ</sup>ラ使<sup>シメンカ</sup>乎

王肅曰。之<sup>ウタヘ</sup>ヲ化<sup>シメンカ</sup>ルコト前<sup>シメンカ</sup>ニ在<sup>シメンカ</sup>リ

14 (280) 14 (292) 【子張問政章】

子張政<sup>マ</sup>ヲ問<sup>マ</sup>フ。子曰。居<sup>フルトキハウムコト</sup>倦<sup>フルトキハウムコト</sup>無<sup>シ</sup>シ行<sup>ヲコナフトキハ</sup>忠<sup>ヲコナフトキハ</sup>ヲ以<sup>ヲコナフトキハ</sup>ス

王肅曰。言<sup>スル</sup>ハ政<sup>スル</sup>コトヲ為<sup>スル</sup>ノ道<sup>スル</sup>之<sup>スル</sup>ニ居<sup>スル</sup>トキハ身<sup>スル</sup>ニ於<sup>スル</sup>テ

懈<sup>スル</sup>倦<sup>スル</sup>ヲ得<sup>スル</sup>コト無<sup>シ</sup>〔シ〕之<sup>スル</sup>ヲ行<sup>スル</sup>トキハ民<sup>スル</sup>ニ於<sup>スル</sup>テ必<sup>スル</sup>ス忠<sup>スル</sup>

信<sup>スル</sup>ヲ以<sup>スル</sup>ス

15 (281) 15 (293) 【博学於文章】

顔淵

子曰。君<sup>ヒト</sup>一<sup>ヒト</sup>子<sup>ヒト</sup>ハ博<sup>ヒト</sup>文<sup>ヒト</sup>ヲ学<sup>ヒト</sup>約<sup>ヒト</sup>礼<sup>ヒト</sup>ヲ以<sup>ヒト</sup>ス亦<sup>ヒト</sup>以<sup>ヒト</sup>テ畔<sup>ヒト</sup>

畔<sup>ソムカサルヘシトハ</sup>弗<sup>ソムカサルヘシトハ</sup>道<sup>ソムカサルヘシトハ</sup>二違<sup>ソムカサルヘシトハ</sup>ハ〔サ〕ルナリ

16 (282) 16 (294) 【君子成人之美章】

子曰。君<sup>ヒト</sup>一<sup>ヒト</sup>子<sup>ヒト</sup>ハ人<sup>ヒト</sup>ノ美<sup>ヒト</sup>成<sup>ヒト</sup>人<sup>ヒト</sup>ノ惡<sup>ヒト</sup>成<sup>ヒト</sup>ス小<sup>ヒト</sup>一<sup>ヒト</sup>人<sup>ヒト</sup>ハ是<sup>ヒト</sup>

反<sup>ヒト</sup>

17 (283) 17 (295) 【季康子問政於孔子章】

季康子政<sup>マ</sup>ヲ孔子<sup>マ</sup>ニ問<sup>マ</sup>フ。孔子<sup>マ</sup>對<sup>マ</sup>曰。政<sup>マ</sup>コトハ正<sup>マ</sup>也<sup>マ</sup>子<sup>マ</sup>

帥<sup>マ</sup>正<sup>マ</sup>孰<sup>マ</sup>敢<sup>マ</sup>テ正<sup>マ</sup>〔サ〕ラン

鄭玄曰。季康子<sup>マ</sup>ハ魯<sup>マ</sup>ノ上<sup>マ</sup>一<sup>マ</sup>卿<sup>マ</sup>諸<sup>マ</sup>一<sup>マ</sup>臣<sup>マ</sup>ノ帥<sup>マ</sup>也<sup>マ</sup>

18 (284) 18 (296) 【季康子患盜章】

季康子盜<sup>マ</sup>患<sup>マ</sup>孔子<sup>マ</sup>ニ問<sup>マ</sup>フ孔子<sup>マ</sup>對<sup>マ</sup>曰。苟<sup>マ</sup>子<sup>マ</sup>欲<sup>マ</sup>〔ス〕

ンハ賞<sup>マ</sup>スト雖<sup>マ</sup>トモ竊<sup>マ</sup>シ

孔安国曰。欲<sup>マ</sup>トハ情<sup>マ</sup>一<sup>マ</sup>欲<sup>マ</sup>ナリ言<sup>マ</sup>ハ民<sup>マ</sup>ノ上<sup>マ</sup>化<sup>マ</sup>ルコト

其<sup>マ</sup>ノ令<sup>マ</sup>所<sup>マ</sup>ニ從<sup>マ</sup>ハ〔ス〕其<sup>マ</sup>ノ好<sup>マ</sup>所<sup>マ</sup>ニ從<sup>マ</sup>フナリ

19 (285) 19 (297) 【季康子問政於孔子章】

季康子政<sup>マ</sup>ヲ孔子<sup>マ</sup>ニ問<sup>マ</sup>テ曰。如<sup>マ</sup>無<sup>マ</sup>一<sup>マ</sup>道<sup>マ</sup>ヲ殺<sup>マ</sup>以<sup>マ</sup>テ有<sup>マ</sup>一<sup>マ</sup>道<sup>マ</sup>ニ

就何<sup>ツカハイ</sup>如<sup>カシ</sup>

孔安国曰。就八成<sup>コロシテ</sup>也。多ク殺<sup>コロシテ</sup>以テ姦ヲ止メマク欲

〔ス〕

孔子<sup>コノ</sup>对曰。子政<sup>シ</sup>ヲ為<sup>スルニイツクンソサツラモチイン</sup>焉。殺<sup>レ</sup>用<sup>レ</sup>子善<sup>ホセハ</sup>ヲ欲<sup>ス</sup>而モ民

善<sup>ヨケン</sup>君<sup>クワフルトキハ</sup>一子ノ徳ハ風ナリ。小<sup>フス</sup>一人ノ徳ハ草<sup>クサナリ</sup>。草ニ風ヲ

尚<sup>クワフルトキハ</sup>必ス偃<sup>フス</sup>

孔安国曰。亦康子<sup>ミタカシカラ</sup>ヲシテ先ツ自正<sup>ミタカシカラ</sup>。令メマク欲ルナ

リ。偃<sup>エンハフ</sup>仆<sup>レ</sup>也。草ニ加ルニ風ヲ以テスルトキハ仆<sup>レ</sup>

〔サ〕〔ス〕ト云者ノ無シ。猶シ民ノ上<sup>カミニ</sup>化ルカコトシ

20 (286) 20 (298) 【子張問士章】

子張<sup>シ</sup>問ク。士何<sup>シ</sup>如<sup>カシ</sup>。斯レヲ達<sup>タツ</sup>。謂フ可キ矣。子曰。何<sup>ナシ</sup>

哉<sup>ヤ</sup>。爾<sup>ナシチ</sup>謂フ所<sup>タツ</sup>口ノ達ハ。子張<sup>コ</sup>对テ曰。邦<sup>クニニ</sup>在テモ必

ス聞ヘ。家ニ在テモ必ス聞ユ

鄭玄曰。言ハ士ノ在<sup>19アラユル</sup>所<sup>19</sup>口皆能ク名<sup>19</sup>一譽有<sup>19</sup>〔リ〕

子曰。是レ聞也<sup>19</sup>。達<sup>19</sup>ニ非ス。夫<sup>20</sup>レ達<sup>20</sup>一也ハ質<sup>20</sup>一直ニシテ

義<sup>コトヲアキラカニシテイロラミル</sup>ヲ好ム。言<sup>コトヲアキラカニシテイロラミル</sup>察<sup>コトヲアキラカニシテイロラミル</sup>。色<sup>コトヲアキラカニシテイロラミル</sup>觀<sup>コトヲアキラカニシテイロラミル</sup>。慮<sup>コトヲアキラカニシテイロラミル</sup>以テ人<sup>ヒトニクダス</sup>下<sup>ヒトニクダス</sup>

馬融曰。常ニ謙<sup>ヒトニクダス</sup>一退<sup>ヒトニクダス</sup>ノ志シ有<sup>ヒトニクダス</sup>〔リ〕。言語ヲ察シ顔<sup>ヒトニクダス</sup>

色ヲ見テ其ノ所欲ヲ知リ。其ノ念<sup>21</sup>一慮ヲ常ニ以テ人ニ

下<sup>21</sup>ンコトヲ欲スルナリ

邦<sup>クニニ</sup>在モ必ス達ス。家ニ在モ必ス達ス

馬融曰。謙<sup>22</sup>尊ニシテ光<sup>テリ</sup>。卑<sup>イヤシフシテコユ</sup>。踰<sup>レ</sup>可<sup>レ</sup>〔ラ〕〔ス〕

夫<sup>23</sup>レ聞<sup>レ</sup>一也ハ色<sup>イロノマニ</sup>。仁ヲ取テ行フトキハ違<sup>タガイヌフルトキハウ</sup>。居<sup>レ</sup>疑ハ

ス

馬融曰。此レ佞<sup>カウテ</sup>一人ヲ言フ。佞<sup>カウテ</sup>一人仁<sup>カウテ</sup>者ノ色ヲ假<sup>カウテ</sup>

之ヲ行フトキハ則<sup>カカフ</sup>違<sup>レ</sup>其ノ偽<sup>イツハリニ</sup>。安<sup>レ</sup>居シテ自疑<sup>ミウ</sup>ハ

〔ス〕

邦<sup>クニニ</sup>在モ必ス聞ヘ。家ニ在モ必ス聞ユ

馬融曰。佞<sup>カウテ</sup>一人ハ党多シ

21 (287) 21 (299) 【樊遲從遊於舞雩之下章】

樊遲<sup>シタカツテア</sup>從<sup>ウ</sup>遊<sup>モトニアソフ</sup>於舞雩<sup>モトニアソフ</sup>之下<sup>モトニアソフ</sup>

包氏曰。舞<sup>ア</sup>一雩<sup>ウ</sup>ノ処ニ壇<sup>ダン</sup>一墀<sup>24タシノ</sup>樹<sup>24</sup>一木有<sup>24</sup>〔リ〕。故ニ其

ノ下ニ遊フ可キ

曰。敢<sup>イ</sup>問<sup>テ</sup>フ。徳<sup>タツトヒトクヲササメテマトイ25フカシコト</sup>ヲ崇<sup>タツトヒトクヲササメテマトイ25フカシコト</sup>。慝<sup>タツトヒトクヲササメテマトイ25フカシコト</sup>脩<sup>タツトヒトクヲササメテマトイ25フカシコト</sup>。惑<sup>タツトヒトクヲササメテマトイ25フカシコト</sup>。辨<sup>タツトヒトクヲササメテマトイ25フカシコト</sup>

孔安国曰。慝<sup>トクハ</sup>惡<sup>トクハ</sup>一也。脩<sup>トクハ</sup>ハ治<sup>トクハ</sup>一也。惡<sup>トクハ</sup>ヲ治<sup>トクハ</sup>テ善<sup>トクハ</sup>ヲ為<sup>トクハ</sup>

子曰。善哉。問フコト。事先得。後徳ヲ崇タツトルニ非ス與ヤ

孔安国曰。先ツ事ニ勞シテ然。後ニ報ヲ得ルナリ

其ノ惡ヲ攻セメテ人ノ惡アフラ攻ルコト無キハ慝脩。非ス與ヤ。朝イカリニノ忿ノ其ノ身ヲ忘ワスレテ以テ其ノ親ニ及ホス。惑マトヘルニ非ス與ヤ

22 (288) 22 (300) 【樊遲問仁章】

樊遲仁問フ。子曰。人ヲ愛ス。知問フ。子曰。人ヲ知ル。樊遲未タ達セス。子曰。直ナラキヲアケテ。擧マカレルヲライテ。枉マカレル。錯マカレル。能ク枉マカレル者ノヲシテ直ナラカラシム使

包氏曰。正ナラシム。直ナラシム。人ヲ擧マカレルテ之ヲ用テ邪アヤカシム。枉マカレルノ人ヲ廢マカレル。置スル則ハ皆化シテ直ナラシムヲ為ナス

樊遲退シテ子夏ヲ見曰。郷サキニ吾レ夫ノ子ニ見マミエテ。知問。子曰。直ナラキヲ。擧マカレルヲ。枉マカレルヲ。錯マカレルヲ。能ク枉マカレルヲ者ナラカラシムシテ直ナラシム使何謂コトヲ也。子夏カ曰。富サカンナルカナ哉コノコト。是言

孔安国曰。富ハ猶シ盛ノコトク也

舜天タモテ。下エラシクヲ有アゲシカハ衆エラシクニ選エラシク。皐陶アゲシカハ擧アゲシカハ不サカリキ仁サカリキ者サカリキ遠サカリキ湯

顔淵

天タモテ。下エラシクヲ有アゲシカハ衆エラシクニ選エラシク。伊尹アゲシカハ擧アゲシカハ不サカリキ仁サカリキ者サカリキ遠サカリキ

孔安国曰。言ハ舜湯天タモテ。下エラシクヲ有アゲシカハ衆エラシクヲ選エラシク。摯アゲシカハンテ皐アゲシカハ

陶伊尹アゲシカハヲ擧アゲシカハルトキハ則不サカリキ仁サカリキ者サカリキハ遠サカリキリ仁サカリキ者サカリキハ至アゲシカハリ

キ

23 (289) 23 (301) 【子貢問友章】

子貢友問フ。子曰。忠タモテ告タモテ善道タモテ不サカリキ可サカリキナル則ハ止ヤム自辱ミハスカシムルコト無シ

包氏曰。忠タモテ告タモテルトハ是タモテ非タモテヲ以テ之ヲ告ル。善タモテヲ以テ之ヲ道クニ從シタカハラレ見ミ(サ)ル則ハ止ム。必ス之ヲ言トキハ辱ハシシメラル見ミ或

24 (290) 24 (302) 【君子以文会友章】

曾子カ曰。君トモ子トモハ文クハニスヲ以テ友トモヲ会クハニス

孔安国曰。友ハ文徳ヲ以テ合

友トモヲ以テ仁トモヲ輔トモ

孔安国曰。友ハ相ヒ切トモ。磋トモスルノ道有トモ(リ)己トモレカ

仁トモヲ輔トモ成トモス所トモ以トモナリ

論語子路第十三

1 (291) 1 (303) 【子路問政章】

子路政ヲ問フ。子曰。先<sup>マツシテ</sup>勞セシム

孔安国曰。先<sup>1</sup>トハ導クニ徳ヲ以テシテ民〔ヲ〕シテ信

アラ使<sup>シメテ</sup>然<sup>シメテ</sup>。後ニ之ヲ勞シム。易曰。說シメテ以テ民

ヲ使トキハ民其ノ勞ヲ忘ル

益請<sup>エキコフ</sup>曰。倦<sup>ウムコト</sup>無レ

孔安国曰。子路其ノ少キコトヲ嫌フ。故ニ益請フ。曰

ク倦コト無レ者<sup>2</sup>。此ノ上ミノ事ヲ行テ倦コト無キ則ハ

可ナリ

2 (292) 2 (304) 【仲弓為季氏宰章】

仲弓季氏力宰ト為政コトヲ問フ。子曰。有<sup>サキニセヨ</sup>一司ヲ先

王肅曰。言ハ政ヲ為ニ當ニ先ツ有司ニ任シテ而<sup>1</sup>後ニ

其ノ事ヲ責<sup>セム</sup>(ヘシ)

小<sup>ユルシテ</sup>一過ヲ赦<sup>キヨセヨ</sup>。賢<sup>イツクシ</sup>一才ヲ擧<sup>キヨセン</sup>。曰。焉<sup>イツクシ</sup>賢才ヲ知テ擧<sup>キヨセン</sup>。曰

爾<sup>ナシテカシラシ</sup>知<sup>ル</sup>所<sup>ヲ</sup>口<sup>ヲ</sup>擧<sup>ル</sup>。爾<sup>ナシテカシラシ</sup>知<sup>ラ</sup>(サ)ル所<sup>ヲ</sup>口<sup>ヲ</sup>ハ人<sup>其レ</sup>其レ

舍<sup>ステメヤ</sup>諸<sup>ヲ</sup>

孔安国曰。汝カ知〔ラ〕(サ)〔ル〕所<sup>ヲ</sup>人<sup>將ニ</sup>自<sup>之ヲ</sup>之ヲ

拳<sup>ノ</sup>ト(ス)各ノ其ノ知〔ル〕所〔ラ〕拳<sup>ル</sup>則ハ賢<sup>一</sup>

才<sup>ノ</sup>遺<sup>コト</sup>無<sup>シ</sup>

3 (293) 3 (305) 【衛君待子而為政章】

子路カ曰。衛ノ君<sup>マチテマ</sup>子ヲ待<sup>セントキニ</sup>政ヲ為<sup>マサニイツレラカサキセン</sup>。子將<sup>先</sup>奚<sup>先</sup>

包氏曰。問<sup>ユイテ</sup>往<sup>ナラク、シラセシ</sup>將ニ何ヲカ先ツ行〔ク〕所トセント

子曰。必ス名正<sup>ナラク、シラセシ</sup>

馬融曰。百<sup>一</sup>事ノ名ヲ正セント

子路カ曰。是<sup>アルカ</sup>レ有<sup>サカレ</sup>哉<sup>也</sup>。子ノ迂<sup>イナシ</sup>也<sup>タ、シラセシ</sup>。奚<sup>タ、シラセシ</sup>其<sup>レ</sup>正<sup>コト</sup>

包氏曰。迂<sup>ウハ</sup>遠〔ノ〕猶〔シ〕言ハ孔<sup>一</sup>子ノ言事ニ遠<sup>コト</sup>

ナリ

子曰。野<sup>ヤナルカナ</sup>哉<sup>ユウ</sup>由<sup>ユウ</sup>

孔安国曰。野ハ不<sup>一</sup>達ノ猶〔シ〕

君子ハ其ノ知〔ラ〕(サ)ル所ニ於テ蓋<sup>ケクシ</sup>闕<sup>一</sup>如ス

包氏曰。君<sup>一</sup>子其ノ知〔ラ〕(サ)〔ル〕所ニ於テ當ニ

闕<sup>カクテヨルコト</sup>摠<sup>一</sup>勿<sup>ル</sup>(ヘ)シ。今由<sup>一</sup>名ヲ正スルノ義ヲ知〔ラ〕

(ス) 之ヲ迂<sup>ウ</sup>遠ト謂<sup>ウ</sup>「フ」

名正<sup>タ</sup>ラ(サ)ル則<sup>コトシタカハ</sup>ハ言順<sup>コトシ</sup>ス 言順<sup>コトシ</sup>ハ(サ)ル則<sup>ワザナラ</sup>ハ事成<sup>ワザナラ</sup>ス 事成<sup>サ</sup>「ラ」(サ)ル則<sup>ワザナラ</sup>ハ礼<sup>ワザナラ</sup>樂興<sup>ワザナラ</sup>ス 礼<sup>ワザナラ</sup>樂興<sup>ワザナラ</sup>「ラ」(サ)ル則<sup>ワザナラ</sup>ハ刑<sup>ワザナラ</sup>罰中<sup>ワザナラ</sup>ス

孔安国曰。礼ハ以テ上ミヲ安ンシ 樂<sup>カクハ</sup>以テ風ヲ移<sup>ウツス</sup>二

者ノ行<sup>ノ</sup>「ハレ」(サル)則<sup>ノ</sup>ハ淫<sup>ノ</sup>刑濫<sup>ノ</sup>罰有リ

刑<sup>ノ</sup>罰中<sup>ア</sup>(サ)ル則<sup>ノ</sup>ハ民手足<sup>ノ</sup>ヲ惜<sup>ノ</sup>所口無シ 故<sup>カ</sup>ニ君<sup>ノ</sup>子

ハ名<sup>ナツクルコト</sup> 必<sup>イフ</sup>ス言<sup>イフコト</sup>可<sup>ワコナフ</sup>クス 言<sup>イフコト</sup> 必<sup>ワコナフ</sup>ス行<sup>ワコナフ</sup> 可<sup>ワコナフ</sup>クス

王肅曰。之<sup>6</sup>ヲ名<sup>6</sup>ル所<sup>6</sup>「ノ」事<sup>6</sup>ハ必<sup>6</sup>ス得<sup>6</sup>テ明<sup>6</sup>カニ言<sup>6</sup>フ可

「クス」 言<sup>7</sup>ル所<sup>7</sup>ノ事<sup>7</sup>必<sup>7</sup>ス得<sup>7</sup>テ遵<sup>シタカヒ</sup> 行<sup>7</sup>フ可<sup>7</sup>「クス」

君<sup>ノ</sup>子<sup>ノ</sup>ハ其<sup>コトニ</sup>ノ言<sup>コトニ</sup>於<sup>イヤシクモスル</sup>テ苟<sup>イヤシクモスル</sup> 所<sup>ノ</sup>口<sup>ノ</sup>無<sup>ノ</sup>ラマク而<sup>ノミ</sup>「巳」

4 (294) 4 (306) 【樊遲請学稼章】

樊遲<sup>カ</sup>稼<sup>マナヒントコフ</sup>学<sup>マナヒントコフ</sup> 請<sup>マナヒントコフ</sup>。子<sup>ノ</sup>曰<sup>マナヒントコフ</sup>。吾<sup>ノ</sup>レ老<sup>ノ</sup>一<sup>ノ</sup>農<sup>ノ</sup>如<sup>ノ</sup>「カ」ス 圃<sup>ホ</sup>

為<sup>ツクルコト</sup> 学<sup>マナヒントコフ</sup> 請<sup>マナヒントコフ</sup>。子<sup>ノ</sup>曰<sup>マナヒントコフ</sup>。吾<sup>ノ</sup>レ老<sup>ノ</sup>一<sup>ノ</sup>圃<sup>シカ</sup>ニ如<sup>シカ</sup>ス

馬融曰。五穀<sup>ウ</sup>ヲ樹<sup>ウ</sup> 稼<sup>ト</sup>曰<sup>「フ」</sup>。菜<sup>サイ</sup>一<sup>ソ</sup>蔬<sup>ソ</sup>樹<sup>ル</sup>ヲ圃<sup>ホト</sup>曰<sup>「フ」</sup>

フ

樊遲<sup>イテヌ</sup>出<sup>イテヌ</sup>。子<sup>ノ</sup>曰<sup>イテヌ</sup>。小<sup>ノ</sup>一<sup>ノ</sup>人<sup>ノ</sup>ナル哉<sup>カナ</sup> 樊<sup>ハ</sup>須<sup>ハ</sup> 上<sup>カミ</sup>礼<sup>ミ</sup>ヲ好<sup>コソム</sup>則<sup>コソム</sup>ハ民

子路

敢<sup>ケイセ</sup>テ敬<sup>ケイセ</sup>(ス)ト云<sup>ナシ</sup>コト莫<sup>ナシ</sup> 上<sup>カミ</sup>義<sup>ミ</sup>ヲ好<sup>コ</sup>「ム」則<sup>コ</sup>ハ民<sup>コ</sup>敢<sup>コ</sup>テ服<sup>コ</sup>

セ(ス)ト云<sup>ナシ</sup>コト莫<sup>ナシ</sup> 上<sup>カミ</sup>信<sup>ミ</sup>ヲ好<sup>コ</sup>ム則<sup>コ</sup>ハ民<sup>コ</sup>敢<sup>コ</sup>テ情<sup>コ</sup>用<sup>ヒ</sup>ヒ (ス)ト云<sup>ナシ</sup>コト莫<sup>ナシ</sup>

孔安国曰。情<sup>ヨウス</sup>ハ情<sup>ヨウス</sup>一<sup>ヨウス</sup>実<sup>ヨウス</sup> 言<sup>ヨウス</sup>ハ民<sup>ヨウス</sup>ノ其<sup>ヨウス</sup>ノ上<sup>ヨウス</sup>ミニ化<sup>ヨウス</sup>ルコト

各<sup>ヨウス</sup>ノ情<sup>ヨウス</sup>一<sup>ヨウス</sup>実<sup>ヨウス</sup>ヲ以<sup>ヨウス</sup>テ応<sup>ヨウス</sup>

夫<sup>ソレ</sup>是<sup>ソレ</sup>ノ如<sup>ソレ</sup>キハ則<sup>ソレ</sup>四<sup>ソレ</sup>一<sup>ソレ</sup>方<sup>ソレ</sup>ノ民<sup>ソレ</sup>其<sup>ソレ</sup>ノ子<sup>ソレ</sup>穢<sup>ソレ</sup>一<sup>ソレ</sup>負<sup>ソレ</sup>シテ至<sup>ソレ</sup>焉<sup>ソレ</sup>

「ソ」稼<sup>カラ</sup>用<sup>ヒ</sup>ヒン

包氏曰。礼<sup>ノ</sup>一<sup>ノ</sup>儀<sup>ノ</sup>ト信<sup>ノ</sup>トハ以<sup>ノ</sup>テ德<sup>ノ</sup>ヲ成<sup>ノ</sup>二<sup>ノ</sup>足<sup>ノ</sup>

何<sup>ノ</sup>ソ稼<sup>カラ</sup>学<sup>カラ</sup>コトヲ用<sup>ノ</sup>テ民<sup>ノ</sup>ヲ教<sup>ノ</sup>ン。負<sup>フ</sup>ハ器<sup>ノ</sup>ヲ以<sup>ノ</sup>テ穢<sup>ノ</sup> 曰<sup>ノ</sup>

「フ」

5 (295) 5 (307) 【誦詩三百章】

子<sup>ノ</sup>曰<sup>ノ</sup>。詩<sup>ノ</sup>三<sup>ノ</sup>一<sup>ノ</sup>百<sup>ノ</sup>ヲ誦<sup>ノ</sup>ス 授<sup>サ</sup>ルニ政<sup>マ</sup>ヲ以<sup>マ</sup>テスルトキハ達<sup>マ</sup>セ

ス 四<sup>ノ</sup>一<sup>ノ</sup>方<sup>ノ</sup>ニ使<sup>ヒトリコト</sup>トシテ專<sup>ヒトリコト</sup>対<sup>ヒトリコト</sup> 能<sup>ヒトリコト</sup>ハス 多<sup>ヒトリコト</sup>シト雖<sup>ヒトリコト</sup>フト

モ亦<sup>ナニヲモテカセンヤ</sup>溪<sup>ナニヲモテカセンヤ</sup>以<sup>ナニヲモテカセンヤ</sup>為<sup>ナニヲモテカセンヤ</sup>

專<sup>ナニヲモテカセンヤ</sup>ハ独<sup>ナニヲモテカセンヤ</sup>ノ猶<sup>ナニヲモテカセンヤ</sup>シ。

6 (296) 6 (308) 【其身正不令章】

子<sup>ノ</sup>曰<sup>ノ</sup>。其<sup>ノ</sup>身<sup>ノ</sup>正<sup>ノ</sup>トキハ令<sup>ノ</sup>(サ)レトモ行<sup>ノ</sup> 其<sup>ノ</sup>身<sup>ノ</sup>正<sup>ノ</sup>ラ



子路

(サ) ルトキ令レイストイヘトモシタカハ 雖レ 従レ ス

令ハ教一令

7 (297) 7 (309) 【魯衛之政章】

子曰。魯衛ノ政ハ兄一弟ノ如シ

包氏曰。魯ハ周公ノ封。衛ハ康叔ノ封。周公康叔既ニ

兄弟為。康叔周公ニ睦。其ノ国ノ政コトモ亦兄一弟ノ

如シ

8 (298) 8 (310) 【子謂衛公子荆章】

子 衛ノ公子荆ヲ謂 善室ニ居

王肅曰。荆ト遽一瑗 史一鮪 (ト) 並ニ君子 (タリ)

始メ有 曰〔ク〕 苟モ合 少 有 曰 苟モ完 富

有 曰 苟モ美

9 (299) 9 (311) 【子適衛章】

子 衛ニ適 冉子僕

孔安国曰。孔子衛ニ之 冉有御タリ

子曰。庶 哉

孔安国曰。庶ハ衆 言ハ衛ノ民ミ衆多キナリ

冉有カ曰。既ニ庶 又 何カ加 曰富 曰既ニ 富又 何カ加 曰 教

10 (300) 10 (312) 【苟有用我者章】

子曰。苟ニ我ヲ用ルコト有ラハ期一月而 已可 三

年ニシテ成 有

孔安国曰。言 誠ニ我カ政一事ヲ用コト有ラハ。期一

月ニシテ可ナラン 以テ其ノ政一教ヲ行ハ。必ス三

年ニシテ乃ヒ成一功有ン

11 (301) 11 (313) 【善人為邦百年章】

子曰。善一人邦為 百一年ニシテ亦以テ殘勝 殺去

可シ

王肅曰。殘勝 殘一暴 人ニ勝テ惡ヲ為 (サ) ラ使ム

殺ヲ去 刑一殺用 (ヒ) (ス)

誠 哉 是ノ言

孔安国曰。古ニ此ノ言有リ 故ニ孔子之ヲ信ス

12 (302) 12 (314) 【如有王者章】

子曰 如王一者有ラハ必ス世 後ニ仁アラシ

孔安国曰。三十年ヲ世ト曰〔フ〕。如シ命ヲ受ル王一  
者有ラハ必 三十年ニシテ仁一政乃成ラン

13 (303) 13 (315) 【苟正其身矣章】

子曰。苟二其 身ヲ正セハ政ニ從ンニ於テ何有 其ノ身  
ヲ正ルコト能〔ハ〕スハ人ヲ正 如何。

14 (304) 14 (316) 【冉子退朝章】

冉子朝ヨリ退

周生烈曰。魯ノ君〔ニ〕朝ヨリ罷謂〔フ〕

子曰。何晏 対曰 政ト有り

馬融曰。政一者ハ改メ更 匡一正ス所有リ

子曰。其レ事

馬融曰。事 凡ソ常ノ事ヲ行フ所ソ

如政コト有ラハ吾レ以 (ス) ト雖トモ吾レ其レ與

聞

馬融曰。如シ政ノ常ノ事ニ非ル有ハ。我レ大一夫為

任一用セ見 (ス) ト雖〔トモ〕。必ス當ニ之ヲ與 聞

(へ)〔シ〕

子路

15 (305) 15 (317) 【定公問一言而可以興邦章】

定公問 一言ニシテ以テ邦 興 可キコト有諸。孔子対  
テ曰。言以テ是 若キハアル可ラス 其レ幾

王肅曰。其ノ大 要ノ一 言ヲ以テ国ヲ正シ興コト能  
〔ハ〕 (ス)。幾ハ近一也 一言ニシテ国ヲ興ス可キ

コト近 有り

人ノ言 曰 君為 難 臣為 易 ス 如君為 難

知 一言ニシテ邦 興ニ幾ス〔乎〕

孔安国曰。事ハ一 言ニシテ成ル可〔ラ〕 (ス) 此ノ

如クナルヲ知ル則ハ近ル可〔シ〕

曰 一言ニシテ邦 喪 可キコト有諸 孔子対曰 言

以テ是 若 可ラス 其レ幾 人ノ言 曰 予君

為 樂コト無シ 唯其レ言 予違 莫 樂

孔安国曰。言ハ君為 樂コト無シ 樂所口ハ唯其ノ

言トシテ違〔へ〕見〔レ〕 (サル)〔ヲ〕 樂〔フ〕

如其レ善ニシテ違 莫 亦善ス乎 如不 善ニシテ

違 莫 一言ニシテ邦 喪 幾 ス乎

孔安国曰。人君ノ言フ所善ニシテ違コト無キハ則  
善<sup>18</sup>也。其ノ言フ所不<sup>18</sup>善ニシテ敢テ違コト無<sup>18</sup>〔キ〕  
ハ則一<sup>18</sup>言ニシテ国ヲ喪スニ近キソ

16 (306) 16 (318) 【葉公問政章】

葉公政ヲ問フ。子曰。近<sup>チカキモノヨ</sup>者説トキハ遠<sup>トウキモノ</sup>者来ル

17 (307) 17 (319) 【子夏為莒父宰章】

子夏莒父ノ宰<sup>サイトシテマ</sup>為政ヲ問フ

鄭玄曰。旧<sup>キヨ</sup>説ニ云。莒<sup>キヨ</sup>父ハ魯ノ下<sup>ユウナリ</sup>一邑

子曰。速<sup>スミヤカニセマク</sup>欲<sup>ホツスルコトナカレ</sup>母<sup>スミヤカニセマク</sup>小<sup>スミヤカニセマク</sup>利ヲ見コト無レ速

欲<sup>ホ</sup>ル則ハ達セス。小<sup>ホ</sup>利ヲ見ル則ハ大<sup>ホ</sup>一事成ス

孔安国曰。事<sup>コト</sup>以テ速<sup>ス</sup>ニ成ル可<sup>シ</sup>〔ラ〕(ス) 其ノ速ニセ

マク欲ル則ハ達セ(ス) 小利ヲ見テ大事ヲ妨<sup>サマタクル</sup> 則ハ

大事成〔ラ〕(ス)

18 (308) 18 (320) 【葉公語孔子曰章】

葉公孔子ニ語<sup>カタテイ</sup>曰。吾<sup>ミナナラフスル</sup>カ党<sup>ミナナラフスル</sup>ニ躬直<sup>ミナナラフスル</sup> 者ノ有リ

孔安国曰。躬<sup>ミナナラフスル</sup>ヲ直トハ身ヲ直シテ而<sup>シテ</sup>行フ

其ノ父羊ヲ攘<sup>ヌスメリ</sup> 而ルヲ子證<sup>コアラハス</sup>

周生烈曰。因<sup>ヨシ</sup>有テ盜ヲ攘ト曰〔フ〕

孔子曰。吾カ党ノ直<sup>ナラキ</sup>者ノハ是レニ異ナリ 父子<sup>コノ</sup>為メニ

隱<sup>カクシ</sup>子父ノ為メニ隱<sup>カクスナラキコト</sup>直<sup>ナカニ</sup> 其ノ中<sup>ナカニ</sup>在リ。

19 (309) 19 (321) 【樊遲問仁章】

樊遲仁ヲ問フ。子曰。居<sup>ケウアリ</sup>一処ニハ恭<sup>コトヲトテケイアリ</sup> 事<sup>コトヲトテケイアリ</sup> 執敬 人ト忠

アラハ夷狄<sup>イデキニユクト</sup>之<sup>ス</sup>雖モ棄可〔ラ〕ス

包氏曰。夷<sup>イ</sup>狄ノ礼<sup>イ</sup>一義無キノ処ニ之ト雖〔トモ〕猶

シ棄<sup>ステ</sup>去<sup>ステ</sup>テ行ハ(ス)ンハ〔アル〕可〔ラ〕(ス)

20 (310) 20 (322) 【何如斯可謂之士矣章】

子貢問テ曰。何<sup>イカ</sup>如斯<sup>ナル</sup>レヲカ士ト謂〔フ〕可キ。子曰。

己<sup>コト</sup>ヲ行ニ恥<sup>ハヂ</sup>有リ

孔安国曰。恥<sup>セ</sup>有トハ為〔サ〕ルコト有ナリ

四<sup>ツカイトシテ</sup>一方ニ使<sup>ハツカシメ</sup> 君<sup>ハツカシメ</sup>一命ヲ辱<sup>ハツカシメ</sup> (サ)ルヲ士ト謂フ可シ

曰。敢<sup>イ</sup>テ其ノ次<sup>ツキ</sup>問フ 曰。宗<sup>ソウ</sup>一族<sup>ソクニハ</sup> 孝<sup>セウ</sup>ヲ称<sup>セウ</sup> 卿<sup>セイ</sup>一党ニハ

悌<sup>テイ</sup>称<sup>テイ</sup>ス 曰。敢<sup>イ</sup>テ其ノ次<sup>ツキ</sup>ヲ問フ 曰。言<sup>コト</sup>必ス信<sup>シ</sup>アリ

行<sup>コト</sup>必ス果<sup>ハタス</sup> 硜<sup>カウ</sup>一硜然タルハ小<sup>コト</sup>一人ナリ 抑<sup>ソモク</sup>亦<sup>モト</sup>以テ次<sup>ツキ</sup>

為<sup>ス</sup>可シ

鄭玄曰。行必ス果トハ行マク欲ル所ヲハ必ス取テ之ヲ  
為<sup>スル</sup>。磴<sup>カ</sup>トハ小<sup>カ</sup>一人ノ貌也。抑<sup>ソモク</sup>亦<sup>モ</sup>其ノ次トハ

言ハ以テ次ト為<sup>ス</sup>可キ

曰<sup>イ</sup>。今ノ政コトニ從<sup>シタカフモノイ</sup>者何<sup>カ</sup>如<sup>カ</sup>。子曰。噫<sup>イ</sup>。斗<sup>ト</sup>一<sup>ト</sup>筭<sup>サウ</sup>人<sup>ノ</sup>  
何<sup>ナ</sup>筭<sup>ス</sup>足<sup>ラン</sup>

鄭玄曰。噫<sup>イ、ハ</sup>心不<sup>セ</sup>一<sup>ナリ</sup>平<sup>ナリ</sup>ノ声<sup>サウハ</sup>。筭<sup>サウハ</sup>竹ノ器ノ斗<sup>ト</sup>二<sup>ト</sup>升<sup>シ</sup>ヲ  
容<sup>イル</sup>者ノナリ。筭ハ数。

21 (311) 21 (323) 【子得中行而與之章】

子曰。中<sup>ノ</sup>一<sup>ノ</sup>行<sup>ヲ</sup>得<sup>エテ</sup>與<sup>ク</sup>ス。必<sup>キ</sup>ス狂<sup>ケシカ</sup>一<sup>ノ</sup>狷<sup>ケシカ</sup>乎<sup>カ</sup>

包氏曰。中<sup>ノ</sup>一<sup>ノ</sup>行<sup>ト</sup>ハ行<sup>ノ</sup>能<sup>ク</sup>其<sup>ノ</sup>中<sup>ヲ</sup>得<sup>ル</sup>者ナリ。言  
ハ中<sup>ノ</sup>一<sup>ノ</sup>行<sup>ヲ</sup>得<sup>ル</sup>（サ）ル則<sup>チ</sup>ハ狂<sup>ケシカ</sup>一<sup>ノ</sup>狷<sup>ケシカ</sup>得<sup>ル</sup>マク欲<sup>ル</sup>者ノナ  
リ

狂<sup>ケシカ</sup>一<sup>ノ</sup>者<sup>ハ</sup>進<sup>ス</sup>テ取<sup>ル</sup>。狷<sup>ケシカ</sup>一<sup>ノ</sup>者<sup>ハ</sup>為<sup>セ</sup>（サ）ル所<sup>ニ</sup>口<sup>ニ</sup>有<sup>リ</sup>

包氏曰。狂<sup>ケシカ</sup>一<sup>ノ</sup>者<sup>ハ</sup>進<sup>テ</sup>善<sup>ク</sup>一<sup>ノ</sup>道<sup>ヲ</sup>取<sup>ル</sup>。狷<sup>ケシカ</sup>一<sup>ノ</sup>者<sup>ハ</sup>節<sup>ヲ</sup>守<sup>ル</sup>  
テ為<sup>ス</sup>。無<sup>シ</sup>。此<sup>ノ</sup>二<sup>ノ</sup>人<sup>ヲ</sup>得<sup>ル</sup>マク欲<sup>ル</sup>コトハ。時<sup>ニ</sup>多<sup>ク</sup>ヲ以<sup>テ</sup>  
テ進<sup>ミ</sup>。退<sup>テ</sup>其<sup>ノ</sup>恒<sup>トツネ</sup>一<sup>ヲ</sup>取<sup>ル</sup>

22 (312) 22 (324) 【南人有言曰章】

子路

子曰。南<sup>ノ</sup>一<sup>ノ</sup>人<sup>ノ</sup>言<sup>ハ</sup>有<sup>リ</sup>。曰<sup>ク</sup>。人<sup>ト</sup>シテ恒<sup>ズ</sup>無<sup>キ</sup>ヲハ以<sup>テ</sup>  
巫<sup>イ</sup>一<sup>ヲ</sup>医<sup>イ</sup>作<sup>ス</sup>可<sup>ラ</sup>ス

孔安国曰。南<sup>ノ</sup>一<sup>ノ</sup>人<sup>ハ</sup>南<sup>ノ</sup>国<sup>ノ</sup>人<sup>ナリ</sup>。鄭玄曰。言<sup>ハ</sup>巫<sup>イ</sup>一<sup>ヲ</sup>

医<sup>イ</sup>モ常<sup>ニ</sup>無<sup>ク</sup>ノ人<sup>ヲ</sup>治<sup>ス</sup>。能<sup>ク</sup>（ハ）（ス）  
善<sup>ク</sup>哉<sup>カ</sup>

包氏曰。南<sup>ノ</sup>一<sup>ノ</sup>人<sup>ノ</sup>言<sup>ヲ</sup>善<sup>ク</sup>

其<sup>ノ</sup>德<sup>ヲ</sup>恒<sup>ズ</sup>（ニセ）（サ）ルトキハ或<sup>チ</sup>ヒハ羞<sup>ハ</sup>承<sup>ス</sup>

孔安国曰。此<sup>ハ</sup>易<sup>ノ</sup>恒<sup>ノ</sup>卦<sup>ノ</sup>辞<sup>ナリ</sup>。言<sup>ハ</sup>德<sup>ニ</sup>常<sup>ニ</sup>無<sup>キ</sup>則<sup>チ</sup>ハ  
羞<sup>ハ</sup>辱<sup>ム</sup>之<sup>ヲ</sup>承<sup>ク</sup>

子曰。占<sup>ラ</sup>サラク而<sup>シテ</sup>已<sup>ム</sup>

鄭玄曰。易<sup>ハ</sup>吉<sup>ク</sup>一<sup>ノ</sup>凶<sup>ク</sup>ヲ占<sup>フ</sup>所<sup>ニ</sup>以<sup>テ</sup>ナリ。恒<sup>ズ</sup>無<sup>キ</sup>人<sup>ヲ</sup>ハ  
易<sup>モ</sup>占<sup>ハ</sup>（サ）ル所<sup>ナリ</sup>

23 (313) 23 (325) 【君子而不同章】

子曰。君<sup>一</sup>子<sup>ハ</sup>和<sup>シテ</sup>同<sup>ス</sup>。小<sup>一</sup>人<sup>ハ</sup>同<sup>シテ</sup>和<sup>セ</sup>ス

君<sup>一</sup>子<sup>ノ</sup>心<sup>ニ</sup>和<sup>セ</sup>リ。然<sup>レ</sup>モ其<sup>ノ</sup>見<sup>ル</sup>所<sup>ノ</sup>各<sup>ノ</sup>異<sup>ナリ</sup>。故<sup>ニ</sup>  
同<sup>（セ）</sup>（ス）ト曰<sup>フ</sup>。小<sup>一</sup>人<sup>ハ</sup>嗜<sup>ム</sup>好<sup>（ム）</sup>所<sup>（ノ）</sup>

者<sup>ノ</sup>同<sup>シ</sup>。然<sup>レ</sup>トモ各<sup>ノ</sup>其<sup>ノ</sup>利<sup>ヲ</sup>争<sup>フ</sup>。故<sup>ニ</sup>和<sup>セ</sup>（ス）

〔ト〕曰〔フ〕

24 (314) 24 (326) 【郷人皆好之章】

子貢問テ曰 郷人ニ皆好 何如。子曰 未可ナリ  
郷人ニ皆悪 何如。子曰 未可ナリ  
郷人ノ善者 好 其ノ善(サ)ル者ニハ 悪

孔安国曰。善一人ハ己レヲ善シ。悪一人ハ己ヲ悪ニス。是レ善ヲ善トスルコト明シ。悪ヲ悪スルコト著

25 (315) 25 (327) 【君子易事而難説也章】

子曰。君子ハ事易 難  
孔安国曰。一人ニ備 責(ス) 故ニ事易シ  
道以テセ(サ)ルトキ説ス 其ノ人ヲ使  
及ンテ器

孔安国曰。才ヲ度 官ニ任ス

小人ノ事 難フシテ説 易説 道以テセ(ス)

ト雖トモ説 其ノ人ヲ使 及 備 求ム。

26 (316) 26 (328) 【君子康而子驕章】

子曰。君子ハ泰 驕(ラ)ス 小人ハ驕(テ) 泰

〔ナラ〕ス

君子ハ自縦一泰 驕ニ似テ驕(ラ)ス。小人ハ拘 忌 而モ実ニハ自驕リ矜ルナリ。

27 (317) 27 (329) 【剛毅木訥章】

子曰 剛毅木訥 仁ニ近シ  
王肅曰。剛ハ無一欲ナリ。毅果一敢ナリ。木ハ質一樸。訥 遲一鈍ナリ。此ノ四有〔ル〕者仁ニ近シ

28 (318) 28 (330) 【何如斯可謂之士矣章】

子路問テ曰何 如斯 士ト謂フ可キ。子曰。切一切悝 悝 怡一怡一如タリ 士ト謂ツ可シ 朋一友ヲハ切一切悝 悝 兄一弟ニハ怡一怡一如タリ  
馬融曰。切一切悝一悝ハ相ヒ切一責ノ貌チ。怡一怡ハ和一順ノ貌チ

29 (319) 29 (331) 【善人教民七年章】

子曰。善一人民ヲ教ル七年ニシテ亦以テ戎 即可シ  
包氏曰。戎 即 兵ニ就テ以テ攻 戰 可シ

30 (320) 30 (332) 【以不教民戰章】

子曰。教〔へ〕〔サ〕ル民ヲ以テ戰タタカハシムル。是ヲ棄スツト謂フ

馬融曰。言ハ習ハ〔サ〕ルノ民ヲ用テ攻ム戰シムルト

キハ必ス破ス敗ル。是レ之ヲ棄スツト謂フソ

### 論語憲問第十四

#### 1 (321) 1 (333) 【憲問恥章】

憲恥ケンハチラ問フ。子曰。邦二道有トキハ穀コク

孔安國曰。穀ハ禄。邦二道有トキハ當ニ其ノ禄ヲ食ハム

(へ)シ

邦二道無トキニ穀コク恥ハチ也

孔安國曰。君無一1道ニシテ其ノ朝ニ在テ其ノ禄ヲ食ム

是レ恥ハチ辱クナリ

#### 2 (322) 2 (334) 【克伐怨欲章】

克伐コクハツエン怨欲ヨク行ヲ(サ)ルヲ以テ仁ト為可シ矣ヤ

馬融曰。克人ニ勝ンコトヲ好ム。伐バツ自其ノ功ニ伐ホコル。

怨2小エン一ハ怨ヲ忌イム。欲ヨク貪ハタン一ハ欲也

子曰。以テ難カクシトス為可シ。仁ハ則吾レ知〔ラ〕ス

子路 憲問

包氏曰。此人四ノ者ノハ之ヲ行〔フノ〕難キ者ナリ

未タ以テ仁ト為足スルニ〔ラ〕(ス)

#### 3 (323) 3 (335) 【士而憶居章】

子曰。士トシテ居ヤス懷スルハ以テ士ト為足スルニ〔ラ〕(ス)

士ハ當ニ道ニ志シテ安ヤスカランコトヲ求メ(ス)其ノ居ヤスヲ

懷ヤススルハ士ニ非ル(也)

#### 4 (324) 4 (336) 【邦有道章】

子曰。邦二道有トキハ言コトヲ危ハケシフシ行ハヲ危ハス

包氏曰。危ハ厲レイ一ハ也。邦二道有トキハ以テ言一ハ行ハヲ厲ハ

ス

邦道無トキハ行ハヲ危ハシテ言コト孫シタカフ

孫ハ順一ハ也。行ハヲ厲トハ俗ニ隨ハ(ス)言ニ順テ以

〔テ〕害4ヲ遠サカルナリ

#### 5 (325) 5 (337) 【有德者必有言章】

子曰。徳有ル者ノハ必ス言有リ

徳ハ以テ憶ワモンハカツテ中ル可〔ラ〕(ス)故ニ必ス言有コト

〔リ〕

意問

言有ル者ノハ必ス徳有ラス 仁一者ハ必ス勇有リ 勇一者ニハ必シモ仁有〔ラ〕ス

6 (326) 6 (338) 【南宮适章】

南宮适

孔安国曰。适 南宮敬叔 魯ノ大夫ナリ

孔子ニ問テ曰 羿善ク射 奭舟ヲ盪

孔安国曰。羿 有窮ノ君ナリ。夏一后一相ノ位ヲ篡。

其ノ臣寒一泥之ヲ殺ス。其ノ室ニ困テ寡〔ラ〕生寡

多一力ニシテ能ク陸一地ニ舟ヲ行 夏一后少一康ノ為

メニ殺サル

俱ニ其ノ死一然ヲ得シ

孔安国曰。此ノ二一子ハ皆寿ヲ以テ終コトヲ得〔ス〕

禹稷躬稼 天一一下ヲ有夫一子答ヘス

馬融曰。禹ハ力ヲ溝一洫 尽稷ハ百一穀ヲ播一殖 故

二躬稼 曰〔フ〕。禹ハ其ノ身ニ及リ稷ハ後一世ニ

及ヘリ 皆王ナリ。适 意ニ禹稷ヲ以テ孔子ニ比

欲ス 孔子謙ス 故ニ答ヘ〔ス〕

南宮适出ヌ。子曰。君一子ナル哉 若一人 徳ヲ尚 哉 若キ人

孔安国曰。不義ヲ賤 有徳ヲ貴フ 故ニ君一子

ト曰〔フ〕

7 (327) 7 (339) 【君子而不仁者章】

子曰。君一子ニシテ仁アラサル者ノハ有 矣 未タ有

〔ラ〕シ 小一人ニシテ仁アル者ノハ

孔安国曰。君子ト曰〔フト〕 雖〔トモ〕 猶ヲ未タ

備 能〔ハ〕〔ス〕

8 (328) 8 (340) 【愛之能勿勞乎章】

子曰。愛セハ能ク勞スルコト勿 忠セハ能ク 勿ラ

ン

孔安国曰。言ハ人愛ル所有ルトキハ必ス勞来〔セ〕マ

ク欲ス 忠トスル所有ハ必ス教一 欲ス

9 (329) 9 (341) 【為命章】

子曰。命ヲ為 裨一謹草一創ス

孔安国曰。裨一謹鄭ノ大一夫ノ名 也。野ニ謀ル則

ハ獲<sup>エ</sup>。国ニ謀ル則ハ否<sup>ス</sup>。鄭一<sup>エサルナリ</sup>国ニ將ニ諸一<sup>ス</sup>侯ノ

事有<sup>ニ</sup>ト(スル)則ハ車ニ乘シテ以テ野ニ<sup>ユイテ</sup>適盟一<sup>ス</sup>会

ノ辞<sup>コトハ</sup>謀一<sup>ヲ</sup>作〔セ〕使〔ム〕

世叔<sup>セシユクタク</sup>討<sup>リ</sup>論<sup>リン</sup>行<sup>ハ</sup>一<sup>ヲ</sup>人ノ子一<sup>ヲ</sup>羽修<sup>ウ</sup>一<sup>ヲ</sup>飾<sup>シヨク</sup>東一<sup>ノ</sup>里ノ子産<sup>サン</sup>潤<sup>ジュン</sup>一<sup>ヲ</sup>色<sup>シク</sup>ス

馬融曰。世叔<sup>シヨクハ</sup>鄭ノ大<sup>ニ</sup>夫游<sup>シヨク</sup>一<sup>ヲ</sup>吉也。討<sup>タウ</sup>治<sup>ハ</sup>。裨<sup>ハ</sup>一<sup>ヲ</sup>謀

既ニ謀ヲ造〔ル〕世叔復<sup>ニ</sup>夕治メテ之ヲ論ス。詳<sup>ツ</sup>ニシ

テ之〔ヲ〕審<sup>ア</sup>ニス。行<sup>ハ</sup>一<sup>ヲ</sup>人ハ使ヒヲ掌<sup>ツカサトル</sup>官ナリ。子一

羽ハ公一<sup>ノ</sup>孫一<sup>ヲ</sup>揮<sup>キ</sup>ナリ。子産東<sup>ニ</sup>里ニ居ス。因<sup>ニ</sup>以<sup>テ</sup>号ト<sup>ス</sup>為<sup>ス</sup>。

此ノ四一<sup>ノ</sup>賢ヲ更<sup>カヘテ</sup>成ル。故ニ敗一<sup>ノ</sup>事有<sup>コト</sup>鮮<sup>スクナシ</sup>

10 (330) 10 (342) 【或問子産章】

或ヒト子一<sup>ノ</sup>産ヲ問フ。子曰。惠<sup>ケイ</sup>一<sup>ノ</sup>人也

孔安国曰。惠<sup>ケイハ</sup>愛<sup>ハ</sup>子一<sup>ノ</sup>産ハ古ノ遺<sup>イ</sup>一<sup>ノ</sup>愛イナリ

子西〔ヲ〕問フ。曰。彼哉<sup>カレヲサヘヤク</sup> 彼哉<sup>カレ</sup>

馬融曰。子西ハ鄭ノ大<sup>ニ</sup>夫 彼<sup>カレ</sup> 哉<sup>ヲヤ</sup> 彼<sup>カレ</sup> 哉<sup>ヲヤ</sup> トハ 言ハ

称ルニ足コト無シ。或ヒトノ曰ク 楚ノ令一<sup>ノ</sup>尹ハ子一

西ナリ

憲問

管仲ヲ問フ。曰。人<sup>ノ</sup>也

詩ニ謂所<sup>コレ</sup>ル伊<sup>イ</sup> 人ナリト言カ猶<sup>ユウ</sup>シ

伯一<sup>ノ</sup>氏ノ駢<sup>ヘン</sup>一<sup>ノ</sup>邑<sup>ユウ</sup>三百ヲ奪<sup>ウハツテ</sup> 䟽<sup>シイヲ</sup>一<sup>ノ</sup>食<sup>ハ</sup>飯<sup>ハ</sup>齒<sup>シ</sup>没<sup>モト</sup> 怨<sup>ウラミ</sup> 言<sup>ハ</sup>

無シ

孔安国曰。伯一<sup>ノ</sup>氏ハ齊ノ大<sup>ニ</sup>夫。駢<sup>ヘン</sup>一<sup>ノ</sup>邑<sup>ユウハ</sup> 地ノ名ナリ。

齒<sup>シ</sup>八年也。伯一<sup>ノ</sup>氏カ食一<sup>ノ</sup>邑<sup>ユウ</sup>三百家ヲ管一<sup>ノ</sup>仲之ヲ奪<sup>ウ</sup>テ

䟽<sup>シ</sup>一<sup>ノ</sup>食<sup>ハ</sup>シテ齒<sup>シ</sup>ニ没<sup>モト</sup>ニ至〔ラ〕使<sup>レ</sup>トモ怨<sup>ル</sup>言<sup>ハ</sup>無シ。其

ノ理<sup>ニ</sup>當<sup>ル</sup>ヲ以テ〔ノ〕故<sup>ニ</sup>也

11 (331) 11 (343) 【貧而無怨難章】

子曰。貧<sup>マ</sup>シテ怨<sup>ウラミ</sup>無キコトハ難<sup>カタク</sup>。富<sup>トシテ</sup>驕<sup>コル</sup>無キコトハ

易<sup>ヤスシ</sup>

王肅曰。貧<sup>マ</sup>キ者<sup>ハ</sup>怨<sup>ウラミ</sup>善<sup>ク</sup>クス 富<sup>ル</sup>ヲ怨<sup>ム</sup> 富<sup>者</sup>ハ驕<sup>ル</sup>

善<sup>ク</sup>クス 二<sup>ノ</sup>者<sup>ノ</sup>中<sup>ニ</sup>貧<sup>者</sup>ハ人ヲ怨<sup>ミ</sup> (サ)ラ使<sup>ル</sup>

コト難〔シ〕

12 (332) 12 (344) 【孟公綽章】

子曰。孟公綽<sup>コウシヤクテウ</sup>趙魏ノ老<sup>タル</sup>為<sup>ユタカナリ</sup>則<sup>ニ</sup>ハ優<sup>トウセツ</sup>

為<sup>タル</sup>可〔ラ〕(ス)



孔安国曰。公綽魯ノ大―夫ナリ。趙魏ハ皆晋ノ卿ナリ。家―臣ヲ老ト称ス。公―綽カ性ハ欲寡。趙―魏賢ヲ貧ル。家―老ハ職無シ。故ニ優。滕―薛小―国ナリ。大―夫ハ職煩。故ニ為可〔ラ〕(ス)

13 (333) 13 (345) 【子路問成人章】

子路成―人ヲ問フ。曰。臧武仲カ智馬融曰。魯ノ大―夫臧―孫―紇公綽カ不―欲

馬融曰。魯ノ大―夫孟公綽卞莊子カ勇

周生烈曰。卞邑ノ大―夫ナリ冉求カ藝ノ若ンハ文。札樂ヲ以ス

孔安国曰。之ヲ加ルニ礼―樂ヲ以テ文成亦以テ成―人ト為可シ。曰。今ノ成―人ハ何必シモ然。利ヲ見ハ義ヲ思フ

馬融曰。義アテ然。後ニ取。苟クモ得(ス)危ヲ見テハ命ヲ授ク。久―要ニシテ平―生ノ言忘(サ)

ル亦以テ成―人ト為可シ孔安国曰。久―要トハ旧―約。平―生トハ少時ノ猶〔シ〕

14 (334) 14 (346) 【子問公叔文子於公明賈章】

子公叔文子ヲ公明賈ニ問フ。曰。信乎。夫―子ハ言ス笑ス取〔ラ〕(ス)ト云コト孔安国曰。公叔文子ハ衛ノ大―夫公孫拔ソ。文ハ諡

公明賈對曰。以テ告者過也。夫―子時アテ然。後ニ言。人其ノ言厭ス。樂然。後ニ笑フ。人其ノ笑フコトヲ厭ス。義アリテ然。後ニ取。人其ノ取コトヲ厭〔ハ〕ス。子曰。其然ナリ。豈其レ然ラン乎

馬融曰。其ノ道ヲ得コトヲ美。其ノ悉ク然ルコト能ハ(サラ)ンコトヲ嫌

15 (335) 15 (347) 【臧武仲以防章】

子曰。臧武仲防以テ魯ニ後為。求君ヲ要セ(ス)ト曰ト雖〔トモ〕吾信セス

孔安国曰。防武一仲力故一邑。為一後ハ後立也。

魯ノ襄公二十三年ニ武一仲孟一氏カ為ニ諧所レテ邾

ニ出ー奔。邾自(リ)防ニ如。大ー蔡ヲ以テ納。請

使ム。曰ク。紇敢テ害(セントニ)非(ス)。智ノ足

(ラ)(サ)ル(也)。敢テ私ニ請非ス。苟モ先一祀

ヲ守トナリ。二一勲。無ンハ敢テ邑ヲ避サラン。

乃臧一為ヲ立ツ。紇防ヲ致シテ齊ニ奔シル。此レ謂所

要一君

16 (336) 16 (348) 【晋文公譎而不正章】

子曰。晋ノ文公譎。正。ス

鄭玄曰。譎トハ詐。天一子ヲ召。諸一侯ヲシテ朝セ使

ルヲ謂(フ)。仲尼曰。臣ヲ以テ君ヲ召シテ以テ訓ス

可(ラ)(ス)。故ニ書シテ曰ク。天一王河一陽ニ

狩。是レ譎シテ正ラ(ス)

齊ノ桓公ハ正シテ譎。ス

馬融曰。楚ヲ伐。公一義ヲ以ス。包一茅ノ貢入(ラ)

(サ)ルコトヲ責。昭一王ノ南一征シテ還(ラ)(サル)

コトヲ問(フ) 是レ正シテ譎(ス)

17 (337) 17 (349) 【桓公殺公子糾章】

子路曰。桓公公子糾殺。召忽死ヌ。管仲死セス。曰

未タ仁アラス乎

孔安国曰。齊ノ襄公立テ常無シ。鮑叔牙カ曰ク。君民

ヲ使フニ慢。乱レ。將ニ作。スト云テ公一子小

白ヲ奉シテ莒出ー奔ス。襄公ノ従一弟公孫無知襄公

ヲ殺。管夷吾。召忽。公子糾。奉シテ魯ニ出ー奔ス。齊人

無知ヲ殺ス。魯。齊ヲ伐。子糾。納。小白莒自リ先

入ル。是ヲ桓公ト為乃子糾ヲ殺ストキニ召忽死ス

子曰。桓公九タヒ諸一侯ヲ合。兵車ヲ以テセサルコト

ハ管仲カカラ也。其ノ仁ニ如。其ノ仁ニ如シヤ

孔安国曰。誰カ管仲之仁ニ如シ

18 (338) 18 (350) 【管仲非仁者與章】

子貢曰。管仲仁一者ニ非ス與。桓公公子糾殺ストキニ

死ルコト能(ハ)(ス)シテ又相タリ。子曰。管仲桓公

ヲ相。諸一侯ヲ霸。一。天一。下ヲ匡

憲問

憲問

馬融曰。匡キヤウハ正シ也。天テン一子微ミ弱ニナリ。桓公諸シ一侯

ヲ帥シ以周シ一室シヲ尊シテ一ニ天ニ一ニ下ニヲ正ス

民ミン今イマ二ニ到リテ二ニ其ノ賜ヲ受ケル

其ノ賜ヲ受ルトハ髮ヲ被シ枉ニ左ニリニセシ(サル) 惠ヲ謂フ

(一フ)

管仲微ナカツセハ吾ガレ其ノ髮ヲ被シ枉ニ左ニリ

馬融曰。微ハ無シ也。管仲無キ則シハ君ヲ君タラ(ス) 臣

臣タラ(ス) 皆夷ニ狄ト為ス

豈ヒツ二匹一夫匹一婦ノ諒ヲ為シ自ラ溝ニ瀆シ經ヲ知ル莫シ

若クヤ

王肅曰。經ハ溝ニ瀆シ中ニ經一死ス管仲召シ忽ヲ公子糾ヲ

(二) 於テ君一臣ノ義ヲ未タ正ク成シ(ラ)(ス) 故ニ死ス

トモ未タ深ク嘉スルニ足ラ(ス) 死シ(サレ)トモ

未タ多ク非ズ足ラ(ス) 死既ニ難シ亦過テ厚ニ

在リ故ニ仲尼但シテ管仲カ功ヲ美メ亦召シ忽カ當ニ死ス

(ハカラ)(サル)コトヲ言フ(ハ)(ス)

19 (339) 19 (351) 【公叔文子之臣大夫僕章】

公叔文子ノ臣シ大ニ夫僕ニ文子ト同ク諸ニ公ニ升レリ

孔安国曰。大ニ夫僕ニ本文ニ一子カ家一臣ナリ。之ヲ

薦ス己レト並シテ大夫ト為シ同ク升テ公一朝ニ在シ(ラ)

使シ(ム)

子聞キ曰。以テ文ト為シ可シ

孔安国曰。行ハ是ノ如ク諡ヲ文ト為シ(ス)可シ

20 (340) 20 (352) 【衛靈公之無道也章】

子曰。衛ノ靈公無シ道ナリ。康子カ曰。夫レ是ハ(ノ)如ク

奚ニ喪スサル。孔子曰。仲叔圉ノ賔一客ヲ治シ祝ス

駝宗一廟ヲ治シ王孫賈ノ軍一旅ヲ治シ夫レ是ノ如クハ

奚ニ其ノ喪ス

孔安国曰。言ハ君無シ道ナリト雖シ(トモ)任スル所

(ノ)者ノ各ノ其ノ才ニ當レリ何ニ為シ亡フ當シ

21 (341) 21 (353) 【其言之不怍章】

子曰。其レ言ハ怍シルトキハ其レ為シ之一也難シ

馬融曰。怍ハ慙ニ也内ニ其ノ実有ル則シハ之ヲ言フ二慙シ

(ス)其ノ実ヲ積セム者ノハ之ヲ為シ難シ

22 (342) 22 (354) 【陳成子殺簡公章】

陳成子<sup>チンセイシ</sup> 簡公<sup>カン</sup>ヲ弒<sup>シセリ</sup> 孔子<sup>ホクヨクシテ</sup>沐浴<sup>シ</sup> 朝<sup>マフシテ</sup>シテ哀公<sup>アイコウ</sup>ニ告<sup>ツク</sup> 曰<sup>イハレ</sup>。陳恒<sup>チンコウ</sup>其ノ君<sup>ミコ</sup>ヲ弒<sup>シセリ</sup> 請<sup>コフ</sup>之<sup>ヲ</sup>討<sup>ツケヨ</sup>

馬融<sup>バヒツ</sup>曰<sup>イハレ</sup>。陳成子<sup>チンセイシ</sup>ハ齊<sup>シ</sup>ノ大<sup>オホ</sup>一<sup>ヒト</sup>夫<sup>ツケヨ</sup>陳恒<sup>チンコウ</sup> 將<sup>マフサント</sup>ニ君<sup>ミコ</sup>ニ告<sup>ツク</sup>

(ス) 故<sup>モト</sup>ニ先<sup>マツ</sup>ツ齊<sup>シ</sup> 齊<sup>シ</sup>スルトキハ必<sup>カナラ</sup>ス沐<sup>モク</sup>一<sup>ヒト</sup>浴<sup>ヨク</sup>

公<sup>コウ</sup>ノ曰<sup>イハレ</sup> 夫<sup>ツケヨ</sup>ニ一<sup>ヒト</sup>三<sup>サン</sup>一<sup>ヒト</sup>子<sup>シ</sup>ニ告<sup>ツク</sup>

孔安国<sup>コウアンコク</sup>曰<sup>イハレ</sup>。三<sup>サン</sup>卿<sup>ケイ</sup>ヲ謂<sup>イフ</sup>〔フ〕

孔子<sup>コウジ</sup>曰<sup>イハレ</sup>。吾<sup>ワレ</sup>カ大<sup>オホ</sup>一<sup>ヒト</sup>夫<sup>ツケヨ</sup>後<sup>ノチ</sup> 從<sup>マフサ</sup> 以<sup>マフサ</sup>テ敢<sup>マフサ</sup>テ告<sup>ツク</sup>(ス) ンハア

ラス 君<sup>ミコ</sup>ノ曰<sup>イハレ</sup> 夫<sup>ツケヨ</sup>ニ一<sup>ヒト</sup>三<sup>サン</sup>一<sup>ヒト</sup>子<sup>シ</sup>者<sup>ツケヨ</sup>ニ告<sup>ツク</sup>

馬融<sup>バヒツ</sup>曰<sup>イハレ</sup>。我<sup>ガ</sup>レ礼<sup>レイ</sup>ニ於<sup>オ</sup>テ當<sup>マ</sup>ニ君<sup>ミコ</sup>ニ告<sup>ツク</sup>(ス) (ヘ) シ 當<sup>マ</sup>

ニ一<sup>ヒト</sup>三<sup>サン</sup>子<sup>シ</sup>ニ告<sup>ツク</sup>(ヘカ<sup>カ</sup>ラ)(ス) 君<sup>ミコ</sup>我<sup>ガ</sup>ヲシテ往<sup>ユカ</sup>使<sup>シ</sup>(ム)

故<sup>ユ</sup>ニ復<sup>マ</sup>夕<sup>セキ</sup>往<sup>ユ</sup>ク

二<sup>ニ</sup>一<sup>ヒト</sup>三<sup>サン</sup>子<sup>シ</sup>ニ之<sup>ノ</sup>テ不<sup>ツク</sup>一<sup>ヒト</sup>可<sup>ツク</sup>ナリト告<sup>ツク</sup> 孔子<sup>コウジ</sup>曰<sup>イハレ</sup>。吾<sup>ワレ</sup>カ大<sup>オホ</sup>一<sup>ヒト</sup>夫<sup>ツケヨ</sup>

ノ後<sup>ノチ</sup> 從<sup>マフサ</sup> 以<sup>マフサ</sup>テ敢<sup>マフサ</sup>テ告<sup>ツク</sup>(ス) ンハアラス

馬融<sup>バヒツ</sup>曰<sup>イハレ</sup>。孔子<sup>コウジ</sup>君<sup>ミコ</sup>一<sup>ヒト</sup>命<sup>メイ</sup>ニ由<sup>ユ</sup>テニ三<sup>サン</sup>子<sup>シ</sup>ニ之<sup>ノ</sup>テ 不<sup>ツク</sup>一<sup>ヒト</sup>可<sup>ツク</sup>ナリト

告<sup>ツク</sup>ク 故<sup>ユ</sup>ニ復<sup>マ</sup>此<sup>コノ</sup>ノ辞<sup>ジ</sup>ハヲ以<sup>マフサ</sup>テ之<sup>ノ</sup>ニ語<sup>コト</sup>テ止<sup>ヤム</sup>

23 (343) 23 (355) 【子路問事君章】

子路<sup>シロ</sup>君<sup>ミコ</sup>ニ事<sup>ツカヘ</sup> 問<sup>コトヲ</sup>フ。子<sup>コウ</sup>曰<sup>イハレ</sup>。欺<sup>ア</sup>コト勿<sup>ナク</sup>テ勿<sup>シテ</sup> 犯<sup>カセ</sup>

孔安国<sup>コウアンコク</sup>曰<sup>イハレ</sup>。君<sup>ミコ</sup>ニ事<sup>ツカヘ</sup>ルノ道<sup>ミチ</sup>一<sup>ヒト</sup>義<sup>ギ</sup>ニヲイテ斯<sup>イサメ</sup>ク可<sup>カ</sup>(ラ)

(ス) 當<sup>マ</sup>ニ能<sup>ス</sup>ク顔<sup>ケン</sup>一<sup>ヒト</sup>色<sup>シキ</sup>ヲ犯<sup>カセ</sup>シテ諫<sup>イサメ</sup> 争<sup>マ</sup>(フ)(ヘ) シ

24 (344) 24 (356) 【君子上達章】

子<sup>コウ</sup>曰<sup>イハレ</sup>。君<sup>ミコ</sup>一<sup>ヒト</sup>子<sup>シ</sup>ハ上<sup>ウエ</sup>一<sup>ヒト</sup>達<sup>タク</sup>ス 小<sup>コ</sup>一<sup>ヒト</sup>人<sup>ヒト</sup>ハ下<sup>シモ</sup>一<sup>ヒト</sup>達<sup>タク</sup>ス

本<sup>モト</sup>上<sup>ウエ</sup>ト為<sup>ス</sup> 末<sup>スエ</sup>下<sup>シモ</sup>ト為<sup>ス</sup>

25 (345) 25 (357) 【古之学者为己章】

子<sup>コウ</sup>曰<sup>イハレ</sup>。古<sup>コノ</sup>ノ学<sup>ガク</sup>一<sup>ヒト</sup>者<sup>タメニ</sup>ハ己<sup>ミ</sup> 為<sup>ス</sup> 今<sup>イマノ</sup>ノ学<sup>ガク</sup>一<sup>ヒト</sup>者<sup>タメニ</sup>ハ人<sup>ヒト</sup>ノ為<sup>ス</sup>

孔安国<sup>コウアンコク</sup>曰<sup>イハレ</sup>。己<sup>ミ</sup>レカ為<sup>ス</sup>トハ履<sup>フン</sup>之<sup>ヲ</sup>(ラ) 行<sup>ユ</sup>ナフ 人<sup>ヒト</sup>ノ為<sup>ス</sup>

メニ徒<sup>ハカツテ</sup> 能<sup>ス</sup>ク之<sup>ノ</sup>ヲ言<sup>フ</sup>

26 (346) 26 (358) 【蘧伯玉使人於孔子章】

蘧<sup>キヨ</sup>伯<sup>ハク</sup>玉<sup>ク</sup>人<sup>ヒト</sup>ヲ孔子<sup>コウジ</sup>ニ使<sup>シ</sup> 孔子<sup>コウジ</sup>之<sup>ノ</sup>ト坐<sup>イ</sup>問<sup>フ</sup>

孔安国<sup>コウアンコク</sup>曰<sup>イハレ</sup>。伯<sup>ハク</sup>玉<sup>ク</sup>ハ衛<sup>ヱ</sup>ノ大<sup>オホ</sup>一<sup>ヒト</sup>夫<sup>ツケヨ</sup> 蘧<sup>セウ</sup>瑗<sup>エン</sup>ナリ

曰<sup>イハレ</sup> 夫<sup>ツケヨ</sup>一<sup>ヒト</sup>子<sup>シ</sup>ハ何<sup>ナニ</sup>ヲカスル 為<sup>ス</sup> 对<sup>コ</sup>曰<sup>イハレ</sup> 夫<sup>ツケヨ</sup>一<sup>ヒト</sup>子<sup>シ</sup>ハ其<sup>ノ</sup>過<sup>アヤマチ</sup>寡<sup>ナカラ</sup>

欲<sup>ス</sup>レトモ未<sup>タ</sup>能<sup>ハ</sup>ス

言<sup>フ</sup>ハ夫<sup>ツケヨ</sup>一<sup>ヒト</sup>子<sup>シ</sup>其<sup>ノ</sup>過<sup>アヤマチ</sup>寡<sup>ナカラ</sup> 寡<sup>ナカラ</sup> 欲<sup>ス</sup>トモ而<sup>シテ</sup>モ未<sup>タ</sup>過<sup>ア</sup>無<sup>キ</sup>コ

ト能<sup>ス</sup>(ハ)(ス)

使<sup>イテヌ</sup>一者出<sup>ツカヒナルカナク</sup>。子曰。使<sup>ツカヒナルカナク</sup>乎使<sup>ツカヒナルカナク</sup>乎

陳羣<sup>キン</sup>曰。再<sup>ホムル</sup>ヒ使<sup>ホムル</sup>乎ト言<sup>ホムル</sup>フコトハ之<sup>ホムル</sup>ヲ善<sup>ホムル</sup>〈也〉言<sup>ホムル</sup>ハ

使<sup>ホムル</sup>ヒ其<sup>ホムル</sup>ノ人<sup>ホムル</sup>ヲ得<sup>ホムル</sup>〔タリ〕

27 (347) 27 (359) 【不在其位章】

子曰。其<sup>ホムル</sup>ノ位<sup>ホムル</sup>ニ在<sup>ホムル</sup>〔ス〕ンハ其<sup>ホムル</sup>ノ政<sup>ホムル</sup>コトヲ謀<sup>ホムル</sup>ス

28 (348) 28 (360) 【君子思不出其位章】

曾子曰。君<sup>ホムル</sup>一子<sup>ホムル</sup>ハ思<sup>ホムル</sup>其<sup>ホムル</sup>ノ位<sup>ホムル</sup>ヒヨリ出<sup>ホムル</sup>〔サ〕ス

孔安国曰。其<sup>ホムル</sup>ノ職<sup>ホムル</sup>ヲ越<sup>ホムル</sup>〔ス〕

29 (349) 29 (361) 【君子恥其言之過其行章】

子曰。君<sup>ホムル</sup>一子<sup>ホムル</sup>ハ其<sup>ホムル</sup>ノ言<sup>ホムル</sup>其<sup>ホムル</sup>ノ行<sup>ホムル</sup>ニ過<sup>ホムル</sup> 恥<sup>ホムル</sup>。

30 (350) 30 (362) 【君子道者三章】

子曰。君<sup>ホムル</sup>一子<sup>ホムル</sup>ノ道<sup>ホムル</sup>ハ三<sup>ホムル</sup> 我<sup>ホムル</sup>レ能<sup>ホムル</sup> 無<sup>ホムル</sup>シ 仁<sup>ホムル</sup>一者<sup>ホムル</sup>ハ憂<sup>ホムル</sup>

ス 知<sup>ホムル</sup>一者<sup>ホムル</sup>ハ或<sup>ホムル</sup>ス 勇<sup>ホムル</sup>一者<sup>ホムル</sup>ハ懼<sup>ホムル</sup>ス。子貢曰。夫<sup>ホムル</sup>一子<sup>ホムル</sup>自<sup>ホムル</sup>

道<sup>ホムル</sup>

31 (351) 31 (363) 【子貢方人章】

子貢人<sup>ホムル</sup>ヲ方<sup>ホムル</sup>

孔安国曰。人<sup>ホムル</sup>ヲ比<sup>ホムル</sup>一方<sup>ホムル</sup>ス

子曰。賜<sup>ホムル</sup>。我<sup>ホムル</sup>レニ賢<sup>ホムル</sup> 夫<sup>ホムル</sup> 我<sup>ホムル</sup>ハ則<sup>ホムル</sup>チ暇<sup>ホムル</sup> ス

孔安国曰。人<sup>ホムル</sup>ヲ比<sup>ホムル</sup>一方<sup>ホムル</sup>スルニ暇<sup>ホムル</sup> 〔ス〕

32 (352) 32 (364) 【不患人之不己知章】

子曰。患<sup>ホムル</sup>〔サ〕レ 人<sup>ホムル</sup>ノ己<sup>ホムル</sup>ヲ知<sup>ホムル</sup>〔ラ〕 〔サ〕ルコトヲ

患<sup>ホムル</sup>ヘヨ 己<sup>ホムル</sup>レカ能<sup>ホムル</sup>無<sup>ホムル</sup>キコトヲ

王肅曰。徒<sup>ホムル</sup>己<sup>ホムル</sup>レカ能<sup>ホムル</sup>無<sup>ホムル</sup>コトヲ患<sup>ホムル</sup>

33 (353) 33 (365) 【不逆詐章】

子曰。逆<sup>ホムル</sup> 詐<sup>ホムル</sup> ス 億<sup>ホムル</sup> ス 信<sup>ホムル</sup>アラス 抑<sup>ホムル</sup> 亦<sup>ホムル</sup>先<sup>ホムル</sup>ツ

覚<sup>ホムル</sup> 者<sup>ホムル</sup>ノハ是<sup>ホムル</sup>レ賢<sup>ホムル</sup> 〔乎〕

孔安国曰。先<sup>ホムル</sup>ツ人情<sup>ホムル</sup>ヲ覚<sup>ホムル</sup> 者<sup>ホムル</sup>ハ是<sup>ホムル</sup>レ寧<sup>ホムル</sup>口<sup>ホムル</sup>能<sup>ホムル</sup>ク賢<sup>ホムル</sup>ナリト

為<sup>ホムル</sup>乎 或<sup>ホムル</sup> 時<sup>ホムル</sup>ニ反<sup>ホムル</sup>テ人<sup>ホムル</sup>ニ怨<sup>ホムル</sup>

34 (354) 34 (366) 【微生畎謂孔子曰章】

微生畎<sup>ホムル</sup>孔子<sup>ホムル</sup>ニ謂<sup>ホムル</sup>曰。丘<sup>ホムル</sup> 何<sup>ホムル</sup>為<sup>ホムル</sup> 是<sup>ホムル</sup>レ栖<sup>ホムル</sup>栖<sup>ホムル</sup> 者<sup>ホムル</sup>與<sup>ホムル</sup>無<sup>ホムル</sup> 乃<sup>ホムル</sup>佞<sup>ホムル</sup>

為<sup>ホムル</sup>乎

包氏曰。微生<sup>ホムル</sup>ハ姓<sup>ホムル</sup>。畎<sup>ホムル</sup>名<sup>ホムル</sup>

孔子<sup>ホムル</sup>対<sup>ホムル</sup>曰。敢<sup>ホムル</sup>テ佞<sup>ホムル</sup>ヲ為<sup>ホムル</sup> 非<sup>ホムル</sup>ス 固<sup>ホムル</sup> 疾<sup>ホムル</sup>

包氏曰。世<sup>ホムル</sup>ノ固<sup>ホムル</sup>一陋<sup>ホムル</sup>ヲ疾<sup>ホムル</sup> 道<sup>ホムル</sup>ヲ行<sup>ホムル</sup>テ以<sup>ホムル</sup>テ人<sup>ホムル</sup>ヲ化<sup>ホムル</sup>セマク

欲〔ス〕

35 (355) 35 (367) 【驥不称其力章】

子曰。驥<sup>キ</sup>其ノ力ヲ称<sup>チカ</sup>セ（ス）シテ其ノ徳ヲ称<sup>シ</sup>ス

鄭玄曰。徳トハ調一良ノ徳ヲ謂フ

36 (356) 36 (368) 【或曰以德報怨章】

或ヒトノ曰 徳ヲ以テ怨<sup>ウラミ</sup>報<sup>ムク</sup> 何<sup>ハイ</sup>如<sup>カ</sup> 子曰。何<sup>ナニ</sup>以カ

徳ヲ報<sup>ムク</sup>

徳ハ恩一恵ノ徳

直<sup>ナラキ</sup> 以テ怨<sup>ウ</sup>ヲ報<sup>ヒ</sup> 徳ヲ以テ徳ヲ報<sup>ムク</sup>。

37 (357) 37 (369) 【莫我知也夫章】

子曰。我ヲ知コト莫<sup>ナイ</sup>夫<sup>カナ</sup> 子貢曰 何<sup>ナニ</sup>為<sup>ス</sup>其レ予知コト

莫<sup>ナカラ</sup>

子貢夫一子ノ言<sup>コト</sup>怪<sup>アラヤシム</sup> 何<sup>ナニ</sup>為<sup>ス</sup>ソ己レヲ知コト莫<sup>ラン</sup>

故二問フナリ

子曰。天ヲモ怨<sup>ウラミ</sup> ス人ヲモ尤<sup>トカメ</sup> ス

馬融曰。孔子世ニ用ヒ〔ラレ〕〔サレ〕トモ而モ天ヲ

モ怨<sup>ウラミ</sup>（ス） 人已レヲ知〔ラ〕〔サレ〕トモ亦人ヲモ

憲問

尤<sup>トカメ</sup>（ス）

下一学シテ上一達ス

孔安国曰。下モ人一事ヲ学テ上<sup>29</sup>ミ天命ヲ知ル

我ヲ知レルハ其レ天乎<sup>カ</sup>

聖一人ハ天一地ト其ノ徳ヲ合<sup>30</sup>故二曰フ 唯<sup>タ</sup>天ノミ己

レヲ知ント

38 (358) 38 (370) 【公伯寮愬子路於季孫章】

公伯寮<sup>リヤウ</sup>子路ヲ季孫<sup>キソン</sup>愬<sup>ウツタフ</sup>

馬融曰。愬<sup>ソハシ</sup>諸一也 伯寮ハ魯ノ人 弟一子

子服景伯以テ告<sup>マフス</sup>

馬融曰。魯ノ大一夫子服何一忌<sup>マ</sup> 告<sup>マフス</sup>ハ孔子ニ告<sup>マフス</sup>

曰 夫一子固<sup>マ</sup>ニ惑<sup>マトヘルコ</sup> 志シ有リ

孔安国曰。季孫<sup>ザン</sup>讒<sup>ラ</sup> 信シテ子路ヲ恚<sup>31</sup>

公伯寮ニ於テ吾<sup>カ</sup> カラ猶ヲ能ク市一朝<sup>シ</sup>二肆<sup>シセシメテ</sup>

鄭玄曰。吾力勢ヒ能ク子路カ罪ミ季孫ニ無コトヲ辨テ

之ヲシテ伯寮ヲ誅<sup>チウシテシ</sup> 肆<sup>チ</sup>セ使ルナリ 罪有ヲ既ニ刑シテ

其ノ尸<sup>シカハネヲノフル</sup> 陳<sup>チ</sup> 肆<sup>チ</sup>ト曰〔フ〕

子曰。道ノ將ニ行レントスルモ命也。道ノ將ニ廢スルモ命也。公伯寮其レ命如何。

39 (359) 39 (371) 【賢者辟世章】

子曰。賢一者ハ世ヲ辟

孔安国曰。世一主得テ臣トスルコト莫

其ノ次ハ地ヲ辟

馬融曰。乱国ヲ去テ治一邦ニ適

其ノ次ハ色ヲ辟

孔安国曰。色一斯拳ス

其ノ次ハ言ヲ辟

孔安国曰。惡一言有トキハ乃去ル

40 (360) 40 (372) 【作者七人章】

子曰。作者七一人

包氏曰。作為一也。之ヲ為者ノ凡ソ七一人トハ長一

沮桀一溺文一人。石一門荷一蕢儀一封一人

楚ノ狂一接輿ヲ謂一フ

41 (361) 41 (373) 【子路宿於石門章】

子路石一門ニ宿。石一門ノ晨一門ノ曰。奚自

晨一門ハ闔一人

子路曰。孔氏自。曰。是レ其ノ不一可ナルコトヲ知テ

之一ヲ為者與

包氏曰。言ハ孔子世ノ為可一ラ一サル一ヲ知テ

強之ヲ為

42 (362) 42 (374) 【子擊磬於衛章】

子擊衛二擊蕢荷。孔子ノ門過者有リ。曰。心

口有ル哉。磬擊

蕢ハ草ノ器也。心有トハ謂ク。契一契一然

既ニシテ曰。鄙哉。硯一硯一乎。己レヲ知コト莫。斯

己而已

此ノ硯一硯ハ徒ニ己レヲ信スラク而已。言ハ亦益無

〔シ〕

深則八厲。淺則八揭

包氏曰。衣ヲ以テ水ヲ涉。厲為。揭衣ヲ揭。言ハ世

二随テ以己レヲ行フ。水ニ遇必以濟。若シ其ノ

不可ナルコトヲ知ル則ハ當ニ為ナサ(サル)(ベ)(シ)  
子曰。果哉ナカ難未

未タ己カ志シヲ知ラ(ス)(シテ)便チ己レヲソシテ譏

果ト為ル所一以ナリ 未無ミハ也 以難33(イ无)カタイコト 無シトハ其

ノ己レカ道ヲ解コト能(ハ)(サル)ヲ以(テ)ナリ

43 (363) 43 (375) 【子張曰書云章】

子張曰。書ニ云イ。高マコトニモタシテ宗諒 險 三年言モノイハ(ス)ト云コ

ト何ナシト云コトナヤ謂

孔安国曰。高一宗ハ殷ノ中一興ノ王武一丁テイ 諒リヤウハ 信一

也 險34ハ黙ノ猶(シ)

子曰。何必ナシシモ高一宗ノミナランヤ 古イノ人皆然シカリ 君

薨コウシヌルトキハ 百一官一己ヲノレラスフ 総

馬融曰。己レトハ百一官二己ヲノレン

以テ冢チヨ一幸サイニキクコト聽 二年

孔安国曰。冢チヨ一幸サイハ天一官ノ王ノ治タスクルヲ佐 者一ノナリ

三年ノ喪モ畢テ然 後ニ王自政ミコトヲ聽キクナリ

44 (364) 44 (376) 【上好礼則章】

憲問

子曰。上ミ礼ヲ好コ則ハ民使易ツカヒヤスシ  
民ミ敢テ敬(セ)(ス)ト云コト莫シ 故ニ使ヤスシヒ易

45 (365) 45 (377) 【子路問君子章】

子路君子ヲ問フ。子曰。己ヲノレヲフサメテ脩 以テ敬ケイス

孔安国曰。其ノ身ヲ敬スルナリ

曰 斯ノ如キ而已乎。曰 己ヲ脩テ以テ人ヲ安ス

孔安国曰。人トハ謂ク朋一友九一族ゾクナリ

曰 斯ノ如キ而已乎。曰 己ヲ脩テ以テ百一姓ヲ安ス

己レヲ脩テ以テ百一姓ヲ安ス 堯舜モ其レ猶カタクヲ病

孔安国曰。病ハ難カタイノ猶35(シ)

46 (366) 46 (378) 【原壤夷侯章】

原壤ゲンジャウウスイニシテマツ夷ヒサマツイテ侯

馬融曰。原壤ハ魯人ナリ 孔子ノ故一旧ナリ 夷ハ

踞キヨ 侯待シハ也 踞ウスイニシテ 孔子ヲ待マツ

子曰。幼ヨウニシテ 孫シタガフ弟ナラ(ス) 長ノシテ述ノコト無ナク 老死ライシテ

ナ(サ)ルハ是レ賊 為ゾクナリ

賊 賊一害一ヲ為ナスナリ



杖ツヅラ以テ其ノ脛ハギラウツ叩

孔安国曰。叩コウハケケ擊一也。脛ケイハキヤク脚一脛ケイナリ

47 (367) 47 (379) 【闕党童子章】

闕一党ケツ童一子命ケツノ將メイヲヲコナフ

馬融曰。闕一党ノ童一子命ヲ將ヲコナフトハ賓一主ノ語37ハヲ

伝ヘテ出ー入スルナリ

或ヒト問テ曰。益一者與カ。子曰。吾レ其ノ位ニ居ブル見ル

童一子ハ隅スミニイテ坐位セイヒ無シ。成一人シテ乃位ユクラヒ有アリ

其ノ先一セイ生ト並ニ行ユクラ見ル。益ヲ求ル者ノニ非ス。速ニ

成ナラマク欲スル者モノ

包氏曰。先一イハク生ハ成一人。並ニ行トハ差38シテ後シリヘニ在ラ

(サル)ナリ。礼ニ違タカフテ速ニ成マク欲ル者ノナリ。則

チ益ヲ求ル者ノニ非ス

論語衛靈公第十五

1 (368) 1 (380) 【衛靈公問陳於孔子章】

衛靈孔陳ザシラ孔子二問フ

孔安国曰。軍陳行一列ノ法ナリ

孔子対曰。俎ソ一豆事トウノコトハ則嘗ムカシヨリ之ヲ聞キ、キ

孔安国曰。俎一豆ハ礼ノ器ツナリ

軍一旅ノ事ハ未タ之ヲ学ヒス

鄭玄曰。万二千五百一人ヲ軍ト為。五百人ヲ旅ト為。

軍一旅ハ未、事ナリ。本未タ立タ(サル)則ハ教

ルニ未、事ヲ以ス可ラ(ス)

2 (369) \* 【明日遂行章】

明一ツイニユク日ニ遂行ツイニユク。陳ニ在カテタヘヌセウマシ糧絶ヤシテ。従一者病能ク興ワコルコト莫ワクルモノ

シ

孔安国曰。従一者ハ弟子ナリ。興ハ起一也。孔子衛ヲ

去テ曹如サウニユク。曹容イレ(ス)。又宋ニ之ユク。匡一人ノ難ニ遭アイヌ

又陳ニ之ク。呉ノ陳ウツ(ヲ)伐ニ会アフ。陳乱ル。故ニ食カテニ

乏トモシ、

子路慍見イカテマミヘテイ曰。君一子亦窮ヤス乎。子曰。君一子固ニ窮

ス。小一人窮シテ斯レ濫ラシス

濫ラシハ溢一也。君一子固ニ亦窮スル時マ有リ。但小一人窮

スル則ハ濫一溢シテ非ヲ為ナスカ如ナラ(ス)

3 (370) 2 (381) 【賜也女以予為多学章】

子曰 賜 女子以テ多ク学ンテ之(ヲ) 識者シルヒト、スル 為カ。

対曰 然ナリ

孔安国曰。然トハ多一学ニシテ識シル謂フ

非與アラスヤ

孔安国曰。問今然スヤ

曰 非ス 予一以之(ヲ) 貫セリ

善ニハ元ハシメ有リ 事ニ会ヲハリ有(リ) 天一ミチヲ下塗殊コトニシテ

帰イラモムキヲ 同(シウス) 百一ヒト慮ニシテ一ヒト致ナリ 其ノ

元ハシメラ 知ル則ハ衆一善アツク 故ニ多一学ヲ待(タ) (ス)

一以コレヲモテ 知ル

4 (371) 3 (382) 【由知徳者鮮矣章】

子曰。由 徳ヲ知レル者ノ鮮スクナシ

王肅曰。君一子固マ (ニ) 窮ス 子路慍イカテ 見ユ 故ニ之

ヲ徳ヲ知ル者ノ少スクナシト 謂(フ)

5 (372) 4 (383) 【無為而治者章】

衛靈公

子曰。無一為ニシテ治ヲサマレルハ 其レ舜與カ 夫レ何ナニヲカセンヤ 為哉 己

レヲ恭ウヤクシラシテマ 正ク南一ミ面スラク而已

言ハ官ニ任スル(ニ) 其ノ人(ヲ) 得(タ) リ 故ニ

無一為ニシテ治ルニ

6 (373) 5 (384) 【子張問行章】

子張行ヲコナハレンコトヲ 問フ。子曰。言忠一信アリ行一篤敬トクケイアラハバン 蚩

貉邦ハクノクニト 雖トモ行レン 言忠一信アラ(ス) 行篤敬(ス)

ンハ州一里ト雖トモ行ヲコナハレンヤ 乎

鄭玄曰。万二千五百家ヲ州ト為。五一家ヲ鄰ト為。五一

鄰ヲ里ト為。行乎哉トハ言ハ行ル可(ラ) (ス)

立タテル 則ハ其ノ參シン 然タルヲ前マヘニ 見ル 輿ヨ 在トキハ則其ノ

衡倚カウニヨルヲ 見ル 夫レ然 後ニ行レンヤ

包氏曰。衡扼カウハヤク 言ハ忠一信ヲ思一念シテ立ル 則ハ常

二想ニ 見ルトキハ參一然トシテ前ヘニ在(リ) 輿コシニ 在

ル則ハ衡扼倚若シカウヤクニヨルカ

子張 紳書シンニシルス

孔安国曰。紳ハ大一帶テイソ

7 (374) 6 (385) 【直哉史魚章】

子曰。直ナル哉。史一魚。

孔安国曰。衛ノ大一夫史一鮪。

邦二道有トモ矢如ク。邦二道無レトモ矢如シ。

孔安国曰。道有ルトキモ道無キトキモ行ノ直ナルコト

矢如トハ曲(ス)

君一子ナル哉。蘧伯玉。邦二道有ル則ハ仕邦二道無キ則

ハ卷懷可シ

包氏曰。卷テ懷トハ時ノ政ニ與(カラ)(ス)柔一順

ニシテ人ニ忤(ハ)(サル)ヲ謂(フ)

8 (375) 7 (386) 【可與言而不與言章】

子曰。與言可クシテ與モニ言(サ)ルハ人ヲ失(ウシナヘルナリトモニ

言可ラスシテ與言言失(トモニイフハコトヲウシナヘルナリ)知一者人ヲモ失(ハ)ス

亦言失ハス。

9 (376) 8 (387) 【志士仁人章】

子曰。志一士仁一人ハ生求メテ以テ仁ヲ害スルコト無

シ身ヲ殺以テ仁ヲ成有リ

孔安国曰。生ヲ求テ仁ヲ害コト無ク死シテ而後二

仁ヲ成(ス)則ハ志一士仁一人ハ其ノ身ヲ愛(ス)

10 (377) 9 (388) 【子貢問為仁章】

子貢仁ヲ為問フ。子曰。工其ノ事善欲トキハ必

ス先ツ其ノ器ヲ利是ノ邦二居其一夫ノ賢一者二

事其ノ士ノ仁一者ヲ友トス

孔安国曰。言ハ工ハ利一器ヲ以テ用ト為人ハ賢一友

ヲ以テ助ト為

11 (378) 10 (389) 【顔淵問為邦章】

顔淵邦為問フ。子曰。夏ノ時ヲ行

万一物ノ生スルヲ扱見テ以テ四一時ノ始ト為其ノ

知(リ)易キニ取ル

殷輅乗

馬融曰。殷ノ車ヲ大輅曰(フ)左伝曰。大輅二

越一席ス其ノ儉昭

周ノ冕服

包氏曰。冕ハ礼ノ冠リナリ周ノ礼文ニシテ備其ノ

註一續耳〔二〕塞視一聽二任〔七〕〔サ〕ルニ取ル  
樂則韶舞

韶ハ舜ノ樂 善尽シ美尽セリ 故ニ之〔ヲ〕取ル

鄭一放 佞一人ヲ遠 鄭一放 佞一人ハ殆

孔安国曰。鄭一放 佞一人ハ亦 俱ニ能ク人ノ心ヲ感シ

ム 雅一樂賢人ト同シテ人ヲシテ淫一乱危一殆 使ム

故ニ當〔二〕放チ遠〔ベシ〕。

12 (379) 11 (390) 【人而無遠慮章】

子曰。人トシテ遠キ慮リ無トキハ必ス近 憂ヘ有リ。

13 (380) 12 (391) 【已矣乎章】

子曰。已 矣乎 吾レ未タ見ス 徳好ムコト色好ムカ如

クスル者ノヲ。

14 (381) 13 (392) 【臧文仲其竊位者章】

子曰。臧文仲ハ其レ位ヲ竊 者與 柳一下一惠賢ナル

ヲ知テ與立ス

孔安国曰。柳下惠ハ展一禽 其ノ賢ヲ知テ拳〔七〕

〔サル〕ヲ位ヲ竊 者ト為

衛靈公

15 (382) 14 (393) 【躬自厚章】

子曰。躬自ラ厚 人ヲ責 薄則ハ怨遠

孔安国曰。自己レヲ責 厚シテ人ヲ責ルコト薄トキ

ハ怨一咎遠ル所 以

16 (383) 15 (394) 【不日如之何章】

子曰。如之一何日スシテ

孔安国曰。如之一何日〔ハ〕〔ス〕トハ是奈何日ス

ト云カ猶シ

如之一何ハ吾レ如之一何未 已

孔安国曰。如之一何 言ハ禍一難已ニ成ヌルトキハ

吾 亦如之一何 無シ

17 (384) 16 (395) 【羣居終日章】

子曰。羣一居シテ終 日ニ言 義ニ及〔ハ〕〔ス〕好

小一慧行 難矣哉

鄭玄曰。小一惠謂ク小一小ノ才一知ナリ 難一矣一

哉トハ 言ハ終ニ成コト無〔シ〕

18 (385) 17 (396) 【君子義以為質章】

子曰。君一子ハ義以コレヲモテシツトス 質為 礼以テ行フ 孫以テシタカフ 出信以テ成 君一子 哉。ナルカナ

19 (386) 18 (397) 【君子病無能焉章】

子ハ能無コトヲ病 人ノ己レヲ知ラ (サル) コトヲ病 (ス)。

20 (387) 19 (398) 【君子疾没世章】

子曰。君一子ハ世没 名称セラレ (サル) コトヲ疾 疾ハ病 (ノ) 猶 (シ)

21 (388) 20 (399) 【君子求諸己章】

子曰。君一子ハ己 求 小一人ハ人ヲ求 君一子ハ己レヲ責ム 小一人ハ人ヲ責ム

22 (389) 21 (400) 【君子矜而不争章】

子曰。君一子ハ矜 争ハ (ス) 包氏曰。矜矜一莊

羣シテ党セ (ス)

孔安国曰。党ハ助一也 君一子衆ナリト雖 (モ) 相 私ニ助ケ (ス) 義ト與比ス

23 (390) 22 (401) 【君子不以言举人章】

子曰。君一子ハ言以テ人ヲ举ス

包氏曰。言有ルハ必シモ徳有 (ラ) (ス) 故ニ言以テ人 (ヲ) 举ク可 (ラ) (ス)

人ヲ以テ言 廢ス

24 (391) 23 (402) 【有一言而可以終身行之者乎章】

子貢問テ曰 一言ニシテ以テ身終ルマテ行 可キ者有リ乎。子曰。其レ恕乎 己欲セ (サ) ル所ヲ人ニ施コト勿レ。

25 (392) 24 (403) 【吾之於人也章】

子曰。吾カ人ニ於 誰ヲカ毀 誰ヲカ譽 有ハ其レ試 所口有リ

包氏曰。譽ムル所ヲハ輒チ試 事ヲ以テ空ク譽メ (サル) 而已

民ヲ斯 三代ノ直一道シテ行フ所以

馬融曰。三代トハ夏殷周ナリ 民ヲ用コト此 (ノ) 如クナルトキハ阿一私 所無 (シ) 所以ニ道ヲ

直シテ行ト云〔フ〕

26 (393) 25 (404) 【吾猶及史之闕文也章】

子曰。吾レ猶ヲ史ノ闕一<sup>シ</sup>文ニ及リ

包氏曰。古ノ史 字ヲ書<sup>シルスニ</sup> 於テ疑キコト有ル則ハ闕テ

以テ知一<sup>ル</sup>者ヲ待ツ

馬有ル者ノハ人ニ借<sup>カシテ</sup>之ヲ乘シム 今ハ則チ亡<sup>ナヒカナ</sup>矣〔夫〕

包氏曰。馬有<sup>ト</sup>キハ調一<sup>ル</sup>良スルコト能〔ハ〕(サルハ)

則人ニ借シテ之ヲ習ハ使ム 孔子自 謂 其ノ人此ノ

如ナルコトヲ見〔ルニ〕及〔ヘリト〕 今〔ニ〕至テ

有ルコト無〔シ〕 此ヲ言フ〔ハ〕俗〔ノ〕穿一<sup>セン</sup>鑿<sup>サク</sup>多

ヲ以ナリ

27 (394) 26 (405) 【巧言乱徳章】

子曰。巧一<sup>コウ</sup>言<sup>ケン</sup>徳ヲ乱タル 小ヲ忍<sup>シノビ</sup> (サ) ルトキハ大一<sup>ニ</sup>

謀<sup>ボウ</sup>乱<sup>ミタル</sup>

孔安国曰。巧一<sup>コウ</sup>言利一<sup>ロ</sup>ハ則徳一<sup>ニ</sup>義ヲ乱ル 小ヲ忍

〔ヒ〕(サ) ル則ハ大一<sup>ニ</sup>謀ヲ乱ル

28 (395) 27 (406) 【衆惡之章】

衛靈公

子曰。衆ノ惡<sup>ニクミンスルヲモ</sup> 必ス察ス 衆好<sup>ヨクミンスルヲモ</sup> 必ス察ス

王肅曰。或ハ衆ハ阿一<sup>ニ</sup>党比一<sup>ニ</sup>周ス 或ハ其<sup>ノ</sup>人特一<sup>トク</sup>立

シテ羣セ(ス) 故ニ好一<sup>ニ</sup>惡ヲ察セ(ス) ンハアル可

〔ラ〕(ス)

29 (396) 28 (407) 【人能弘道章】

子曰。人能ク道ヲ弘<sup>ヒロム</sup>道ノ人ヲ弘ニ非ス

王肅曰。才大ナル者ハ道 隨テ大ナリ 才小シキナル

者ハ道 隨テ小ナリ 故ニ人ヲ弘ルコト能〔ハ〕(ス)

30 (397) 29 (408) 【過而不改章】

子曰。過<sup>アヤマテア</sup> 改メ(サ) ル是ヲ過<sup>クワト</sup>謂フ。

31 (398) 30 (409) 【吾嘗終日不食章】

子曰。吾レ嘗終<sup>ムカシヒ</sup> 日ニ食<sup>シヨクセ</sup> ス 終<sup>ヨ</sup> 夜ヲ寢<sup>イネ</sup> (ス) シテ

以テ思<sup>ヲモヒシカトモ</sup> 益無<sup>ク</sup>リキ 学<sup>マナフルニハシカ</sup> 如シ。

32 (399) 31 (410) 【君子謀道不謀食章】

子曰。君一<sup>ハ</sup>子道ヲ謀<sup>ハカテシヨク</sup>食 謀〔ラ〕ス 耕<sup>タカヘストキンハウヘ</sup> 餒<sup>ウレヘテ</sup>其

中ニ在<sup>リ</sup> 学<sup>マナフルトキハ</sup> 禄<sup>ヲ</sup>其 中ニ在<sup>リ</sup> 君一<sup>ハ</sup>子ハ道ヲ憂<sup>ウレヘテ</sup>

貧<sup>マツシキ</sup> 憂ヘス

鄭玄曰。餒餓一也。言八耕タカヤサンコトヲ念ト雖トモ学

〔ヒ〕(ス) 故ニ飢一餓ル 学フ則ハ禄ヲ得 耕〔サ〕

〔サル〕〔ト〕雖〔トモ〕飢〔ヘ〕(ス) 人ヲ学ニ

勸24スムルナリ

33 (400) 32 (411) 【知及之章】

子曰。知及フヨヘトモ仁守マホルコト能ハ(サル)トキハ得タリト雖ト

モ必ス失ウシナフ

包氏曰。知能ク其ノ其ノ官ヲ治ニ及トモ仁守ルコト能

〔ハ〕(ス) 之ヲ得〔タリト〕雖〔トモ〕必ス之ヲ失

フ

知及ヒ仁能ク守トモマ莊イツクシフシテ以テ莅ノソマ(サル)トキハ則民ミ

敬セス

包氏曰。嚴イツクシミラ以テ臨ノソマ(サ)レハ則民ミ其ノ上ニ敬一

從〔セ〕(ス)

知及ヒ仁能ク守マホリイ莊マホリイフシテ以テ莅ノソメトモウコクニ動 礼を以セ(サ)

ルトキハ未タ善ヨカラス

王肅曰。動トキハ必ス礼〔ヲ〕以シテ然 後ニ善ナリ

34 (401) 33 (412) 【君子不可小知章】

子曰。君一子ハ小一知ス可〔ラ〕(ス) 而シテ大一受ス

可シ 小一人ハ大一受〔ス〕可〔ラ〕ス 而シテ小一知

ス可シ

君一子ノ道ハ深一遠ナリ 小ヲ以〔テ〕了一知〔ス〕

可〔ラ〕(ス) 而大受ス可〔シ〕 小一人ノ道ハ浅近

ナリ 小〔ラ〕以テ了一知〔ス〕可〔シ〕 而大一受

〔ス〕可〔ラ〕(ス)

35 (402) 34 (413) 【民之於仁也章】

子曰。民ノ仁ニ於ヲケルコト水一火ヨリモ甚シ

馬融曰。水火ト仁ト皆 民仰ク所而生スル者ナリ 仁

ハ最モ甚ト為

水火ヲハ吾レ踏フンテ死ル者ノヲ見ル 未タ仁ヲ踏フンテ死ヌル者

ノヲ見ス

馬融曰。水一火〔ヲ〕踏フンテ或一29時ハ人〔ヲ〕殺ス 仁

ヲ踏テハ未タ嘗ムカシヨリ人ヲ殺〔サ〕(ス)

36 (403) 35 (414) 【當仁章】

子曰。仁ニ當テハ師ニ讓ス

孔安国曰。仁ヲ行〔フ〕事ニ當〔テハ〕復タ師ニ讓

〔ラ〕(ス) 仁ヲ行コト急スミヤカナリ

37 (404) 36 (415) 【君子貞而不諒章】

子曰。君一子ハ貞タ、シフシテマコトアラ 諒 ス

孔安国曰。貞ハ正 諒ハ信 君一子ノ人其ノ道ヲ正

スル耳 言ノミ 必シモ信ヲ小スコシニ 〔セ〕(ス)

38 (405) 37 (416) 【事君敬其事而後其食章】

子曰。君ニ事ツカフマツルコト 其ノ事敬コトヲツ、シシテ 其ノ食クヲ後ニス

孔安国曰。先ツカヲ尽シテ然 後ニ禄ヲ食〔ス〕

39 (406) 38 (417) 【有教無類章】

子曰。教ニ有テハ類無ナシ

馬融曰。言ハ人ニ教ヘ見ル、ニ在テハ種一類有〔ル〕

無〔シ〕

40 (407) 39 (418) 【道不同章】

子曰。道同ラ〔サ〕〔ル〕トキハ相ヒ為ニ謀ハカス。

41 (408) 40 (419) 【辞達而已章】

衛靈公 季子

子曰。辞達スラク已コトハ

几ソ事 実ニ過タルハ莫〔シ〕 足 辞達ル則ハ足ス

文一艶チノ辞ヲ煩サ〔ス〕

42 (409) 41 (420) 【師冕見章】

師冕見ベンマミユ

孔安国曰。師ハ樂一入ノ盲33者ヲ冕ト名〔ク〕

階及ヘリ。子曰。階34 席及。子曰。席ニシテ皆坐ス

子 之ニ告曰 某ツケテノ 斯在リ 某シハ斯ニ在リ

孔安国曰。歴アマネク 告ルニ坐一中ノ人姓一字及在36 所ノ処

ヲ以ス

師一冕出ヌ 子張問曰。師ト言イツ、ルハ 道與。子曰。然ナリ

固ニ師ヲ相マ道ミチヒク也リ

馬融曰。相ハ導

### 論語季氏第十六

1 (410) 1 (421) 【季氏将伐顓臾章】

季氏将ニ顓臾伐ゼンユヲウケンス 冉有季路孔子ニ見テ曰。季氏将ニ



顓臾ニ事有ントス

孔安国曰。顓臾ハ伏羲ノ後 風姓ノ国 本ハ魯ノ附庸。當時臣トシテ魯ノ季氏ニ属セリ 其ノ地ヲ貪

滅シテ有 欲ス 冉有ト季路ト季氏カ臣〔ト〕為 来テ孔子ニ告

孔子曰。求 無 乃爾 是レ過 與

孔安国曰。冉求 季氏カ宰ト為 其ノ室ヲ相 之カ為

〔二〕聚一斂 故ニ孔子独リ求カ教 疑フ

夫レ顓臾ハ昔一者先一王以 東一蒙ノ主ト為

孔安国曰。主トシテ蒙一山ヲ祭ラ使ム

且邦一域ノ中チニ在リ

孔安国曰。魯ハ七百里ノ邦ナリ 顓臾附一庸ト為 其

ノ域 中チニ在リ

是レ社一稷ノ臣 也 何 以カ伐 為

孔安国曰。已魯ニ属シテ社一稷ノ臣為 何 用テカ

之ヲ滅 為

冉有曰。夫一子ハ欲 吾レニ一臣ハ皆欲セ (ス)

孔安国曰。咎 季氏ニ帰ス

孔子曰。求 周任言 有リ。曰 カラヲ陳 列 就能 (サル) トキハ止

馬融曰。周一任ハ古ノ良一史 言ハ當ニ才一カヲ陳 己 任スル所ヲ度 以其ノ位ニ就 (ベシ) 能ハ (ス)

ンハ當ニ止ム (ヘ) シ

危 持ス 顛 扶スハ則將ニ焉 彼ノ相ヲ用

ントス

包氏曰。言ハ人ヲ輔一相 者ノハ當ニ能ク危キヲ持

顛 扶 (ヘ) シ 若能 (ハ) (ス) ンハ何 用力相

為

且爾 言過 虎一兕 出 龜一玉 中チニ毀 是レ

誰ガ過 與

馬融曰。柙 檻一也。積 櫃一也 典リ守ル者ノ過

非ス邪 (ト) ナリ

冉有曰。今夫レ顓臾固 費近シ

馬融曰。固 謂ク城一郭完 堅シテ兵一申ノ利 也

費ヒハ季氏カ邑ナリ

今取〔ラ〕(ス)ンハ後一世必ス子一孫ノ憂ヲ為ウナシテシ

子曰。求 君一子ハ夫疾カレヲニクム

孔安国曰。汝カ言ノ如クナルヲ疾ム

欲スト曰フヲ舍ステ 必ス更サラニコトハラツクル辞 為

孔安国曰。其ノ貪一利ノ説ヲ舍ステ 而シテ更ニ他ノ辞ヲ

作ル 是レ疾ヤム所口

丘 聞キク 国ヲ有タケモチ 家ヲ有ツ者ノハ寡スクナイコトヲウレハ 患シ(ス)シテ

均ヒトシカラ (サ)ルコト〔ヲ〕患フ

孔安国曰。国トハ諸一侯ナリ 家トハ卿一夫ナリ

土一一人一民ノ寡一少ナルコトヲ患へ(ス) 政一治

ノ均一平ナラ(サ)ルコトヲ患フ

貧マコトヲ患へ(ス)シテ安ヤスシセラレ (サ)ルコトヲ患フ

孔安国曰。民ヲ安ニスルコト能ハ〔サル〕コトヲ憂ウレフ

民ミ安キ 則ハ国 富ム

蓋シ均ヒトシキトキハマツシキコト 貧 無シ 和ヤハラクトキハスク 寡コト無シ 安ヤスンストキハ

傾カナムクコト 無シ

季子

包氏曰。政一教均一平ナル則ハ貧ヒシナラ(ス) 上一下和一

同ナルトキハ寡クハラ 患へ(ス) 小大安一寧タルトキハ傾一

危〔ナラ〕(ス)

夫是ノ如キ故ニ遠一人服セ(サ)ル則ハ文一徳ヲ修ヲサメテ 以

来既ニ来キタス 則ハ安ヤスシ 今由ト求トハ夫一子ニ相タリ

遠一人服セ(サ)レトモ来キタスコト 能〔ハ〕(ス) 邦分崩離

析セキスレトモマ 守コト能〔ハ〕(ス)

孔安国曰。民ミ異一心有ヲ分ト曰〔フ〕 去サラント 欲ルヲ

崩ト曰〔フ〕 会一聚〔ス〕可〔ラ〕(サ)ルヲ離一

析セキト 曰〔フ〕

干一戈カン クワラ 邦一内ニ動ウンコトヲ謀ハカル

孔安国曰。干楯一也。戈戟一也

吾レ恐ハ季一孫カ憂ヒノ顛一與ニ在〔ラ〕(ス)シテ蕭セウ

牆ノ内ニ在アラシコトヲ

鄭玄曰。蕭ノ言コトハ肅一也。蕭一牆ハ謂ク屏 君一臣相

見ル礼 屏ニ至テ肅一敬ヲ加〔フ〕 是 以之ヲ蕭一

牆ト謂〔フ〕 後季氏カ家一臣陽一虎果ハクシテ 季一桓一子

ヲ囚<sup>トラフ</sup>

2 (411) 2 (422) 【天下有道章】

孔子曰。天<sup>一</sup>下道有ル則ハ礼<sup>一</sup>樂征<sup>一</sup>伐天<sup>一</sup>子自<sup>一</sup>出<sup>一</sup>ツ  
天下道無キ則ハ礼<sup>一</sup>樂征<sup>一</sup>伐諸侯自<sup>一</sup>〔リ〕出<sup>一</sup>ツ 諸侯自<sup>一</sup>  
リ出<sup>一</sup>テハ蓋シ十<sup>一</sup>世<sup>セイニシテ</sup> 失セ<sup>一</sup>〔ス〕ト云コト希<sup>スクナシ</sup>

孔安国曰。希ハ少<sup>一</sup>也。周ノ幽王犬<sup>一</sup>戎ノ為ニ殺<sup>ス</sup>〔セ〕  
所ル 平<sup>一</sup>王東<sup>ニウツテ</sup> 遷<sup>一</sup>周始<sup>テ微<sup>ビ</sup></sup>弱ナリ。諸<sup>一</sup>侯自<sup>一</sup>礼<sup>一</sup>  
樂ヲ作<sup>〔テ〕</sup>專<sup>ラ</sup>征<sup>一</sup>伐ヲ隱<sup>一</sup>公ニ始<sup>〔メテ〕</sup> 昭<sup>一</sup>公  
ニ至<sup>マテ</sup>十<sup>一</sup>世ニシテ政コトヲ失<sup>ツ</sup> 乾<sup>一</sup>侯ニ死<sup>ス</sup>  
大<sup>一</sup>夫自<sup>一</sup>出<sup>一</sup>五<sup>一</sup>世<sup>セイニシテ</sup> 失セ<sup>一</sup>〔ス〕ト云コト希<sup>スクナシ</sup>

孔安国曰。季文子ヨリ初<sup>一</sup>テ政コトヲ得<sup>テ</sup>桓子ニ至<sup>ル</sup>  
五<sup>一</sup>世ニシテ家<sup>一</sup>臣陽<sup>一</sup>虎〔カ〕為<sup>ニ</sup>囚<sup>トラス</sup> 所<sup>一</sup>〔ル〕

陪<sup>一</sup>臣国<sup>一</sup>命<sup>メイヲトツテハ</sup> 執<sup>一</sup> 三<sup>一</sup>世ニシテ失<sup>セ</sup>〔ス〕〔ト〕云コト  
希<sup>スクナシ</sup>

馬融曰。陪<sup>バイハ</sup>重<sup>一</sup>。家<sup>一</sup>臣ヲ謂<sup>フ</sup> 陽<sup>一</sup>虎季<sup>一</sup>氏カ家<sup>一</sup>  
臣ト為<sup>シテ</sup>虎<sup>ニ</sup>至<sup>テ</sup>三<sup>一</sup>世ニシテ齊<sup>ニ</sup>出<sup>一</sup>奔<sup>ス</sup>

天<sup>一</sup>下道有<sup>ト</sup>キハ政コト大<sup>一</sup>夫ニ在<sup>ラ</sup>〔ス〕

孔安国曰。之ヲ制スルコト君ニ由<sup>ル</sup>

天<sup>一</sup>下道有<sup>ル</sup>則ハ庶<sup>一</sup>人議<sup>ハカラ</sup>〔ス〕

孔安国曰。非<sup>ソシリハカル</sup>議<sup>一</sup>所無<sup>一</sup>〔シ〕

3 (412) 3 (423) 【禄之去公室章】

孔子曰。禄ノ公<sup>一</sup>室ヲ去<sup>サレルコト</sup> 五<sup>一</sup>世

鄭玄曰。言ハ此ノ時キ魯ノ定公ノ初メナリ 魯東<sup>一</sup>門  
ノ襄<sup>一</sup>仲カ文<sup>一</sup>公ノ子赤ヲ殺<sup>シテ</sup>宣公ヲ立<sup>〔シ〕</sup> 自<sup>一</sup>リ  
是<sup>ニ</sup>於<sup>テ</sup>政大<sup>一</sup>夫ニ在<sup>テ</sup>爵<sup>シヤク</sup> 禄君從<sup>リ</sup>出<sup>〔テ〕</sup>〔ス〕  
定公ニ至<sup>ル</sup>マテ五<sup>一</sup>世<sup>タリ</sup>為<sup>ス</sup>

政ノ大<sup>一</sup>夫ニ逮<sup>ヘル</sup>コト四<sup>一</sup>世

鄭玄曰。文子 武子 悼子 平子

故<sup>カ</sup>ニ夫<sup>カ</sup>三<sup>一</sup>桓ノ子<sup>一</sup>孫微<sup>ヒナリ</sup>

孔安国曰。三<sup>一</sup>桓ハ。謂<sup>仲孫 叔孫 季孫ナリ</sup> 三<sup>一</sup>  
卿<sup>クイ</sup>皆桓<sup>一</sup>公ヨリ出<sup>タリ</sup> 故<sup>ニ</sup>三<sup>一</sup>桓ト曰<sup>〔フ〕</sup>。仲孫ハ  
氏ナリ 其ノ氏ヲ改<sup>メテ</sup>孟氏ト称<sup>〔ス〕</sup> 哀<sup>一</sup>公ニ至<sup>テ</sup>  
皆<sup>衰<sup>アトヘタリ</sup></sup>

4 (413) 4 (424) 【益者三友章】

孔子曰。益一者三一友 損一者三一友 直<sup>ナラキヲ</sup> 友トシ  
諒<sup>マコトアルヲ</sup> 友トシ多一聞ヲ友トスルハ益ナリ 便一辟<sup>ベキヲ</sup> 友ト

シ

馬融曰。便<sup>タクミニ</sup> 巧<sup>タクミニ</sup> 人ノ忌<sup>イム</sup>所ヲ辟<sup>10</sup>テ以テ媚<sup>コヒラ</sup> 求<sup>メ</sup> 容<sup>イル、ナリ</sup>

善一柔<sup>ジュウワ</sup> 友トシ

馬融曰。面柔<sup>11</sup>

便一佞<sup>11</sup>ヲ友トスルハ損ナリ

鄭玄曰。便ハ辨一也 佞ニシテ辨ナルヲ謂フ

5 (414) 5 (426) 【益者三樂章】

孔子曰。益一者三一樂<sup>ガウ</sup> 損一者三一樂<sup>ガウ</sup> 礼樂ヲ節スルコ

トヲ樂<sup>ネガヒ</sup>

動一静ニ礼一樂ノ節ヲ得

人ノ善<sup>イフコトヲ</sup>ヲ道<sup>イフコトヲ</sup> 樂ヒ賢一友多カラシコトヲ樂フハ益ナリ

驕一樂<sup>ケウ ラクヲネガヒ</sup>

孔安国曰。尊一貴ヲ恃<sup>タフシテ</sup> 以テ自恣<sup>ミホシイマ、ニス</sup>

佚一遊ヲ樂ヒ

王肅曰。佚一遊ハ出<sup>12</sup>一入節ナラ(ス)

季子

宴<sup>エン</sup>一樂<sup>ラクヲ</sup> 樂フハ損ナリ

孔安国曰。宴<sup>エン</sup>一樂<sup>ラク</sup> 沈<sup>シム</sup>一荒淫瀆<sup>13</sup> 三<sup>ノ</sup>者ノ自損スルノ道

ナリ

6 (415) 6 (426) 【侍於君子有三愆章】

孔子曰 君一子ニ待<sup>ハンヘルトキ</sup> 三ツノ愆<sup>アヤマチ</sup> 有<sup>リ</sup>

孔安国曰。愆<sup>チン</sup>ハ過一也

言未<sup>コト</sup>タ及<sup>シ</sup>ハ(サ)ルニ而<sup>シカモイフ</sup>言<sup>コレ</sup>之ヲ躁<sup>サウト</sup> 謂<sup>フ</sup>

鄭玄曰。躁ハ安一静ナラ(ス)

言及<sup>コト</sup>ヘトモ言<sup>イハ</sup>(サ)ル 之ヲ隱<sup>イシト</sup> 謂<sup>フ</sup>

孔安国曰。隱<sup>カクシカクシテ</sup> 匿<sup>カクシカクシテ</sup> 情<sup>カクシカクシテ</sup>一実ヲ尽サ(サ)ルナリ

未<sup>コト</sup>タ顔一色ヲ見<sup>13</sup>(ス)シテ言<sup>イフ</sup>之ヲ瞽<sup>コト</sup> 謂<sup>フ</sup>

周生烈曰。未<sup>コト</sup>タ君一子ノ顔一色ノ趣<sup>14</sup>一嚮スル所ヲ見

(ス)而<sup>シテ</sup> 便<sup>アラカシメ</sup>子逆<sup>アラカシメ</sup> 意<sup>コト</sup>ニ先<sup>コト</sup>タツテ語ルハ瞽<sup>コト</sup>一者ノ猶<sup>コト</sup>シ

7 (416) 7 (427) 【君子有三戒章】

孔子曰。君一子三<sup>ノ</sup> 戒<sup>ワカキ</sup>メ有<sup>リ</sup> 少<sup>ワカキ</sup>時ハ血一氣未<sup>サタマラ</sup>タ定<sup>サタマラ</sup>

ス 戒<sup>ワカキ</sup>ルコト色<sup>サカシナルニ</sup>ニ在<sup>リ</sup> 其<sup>マサニ</sup>ノ壯<sup>マサニ</sup> 及<sup>マサニ</sup>ンテハ血一氣方<sup>マサニ</sup>

剛<sup>コハシ</sup> 戒<sup>ワカキ</sup>コト鬪<sup>トウニ</sup> 在<sup>リ</sup> 其<sup>ライメルニ</sup>ノ老<sup>ライメルニ</sup> 及<sup>ワトロヘヌ</sup>テハ血一氣既<sup>ワトロヘヌ</sup>ニ衰<sup>ワトロヘヌ</sup>

季子

戒<sup>イ</sup>コト得<sup>ウルニ</sup>在<sup>ル</sup>リ

孔安国曰。得ハ貪得ソ

8 (417) 8 (428) 【君子有三畏章】

孔子曰。君一子ハ三<sup>ノ</sup>畏<sup>ヲ</sup>有<sup>リ</sup>リ 天一命ヲ畏<sup>リ</sup>

吉<sup>15</sup>ニ順<sup>シ</sup>テ凶ニ逆<sup>サ</sup>フ 天ノ命

大一人ニ畏<sup>リ</sup>

大一人ハ即聖一人ト天一地ト其ノ徳ヲ合<sup>16</sup>ル者ノナリ

聖人ノ言<sup>コト</sup>畏<sup>ラ</sup>ル

深一遠ニシテ易<sup>17</sup>〔カル〕可〔ラ〕〔サ〕ルハ則聖一人

ノ言<sup>コト</sup>也

小一人ハ天一命ヲ知〔ラ〕〔ス〕シテ畏<sup>リ</sup>ス

恢<sup>クハ</sup>疏<sup>インナル</sup>故ニ畏<sup>コト</sup>ヲ知〔ラ〕〔ス〕

大一人ニ狎<sup>ナレタリ</sup>

直ニシテ肆<sup>18</sup>〔ス〕故ニ狎<sup>ナル</sup>

聖一人ノ言<sup>コト</sup>侮<sup>アハナトル</sup>

小一知<sup>ス</sup>可〔ラ〕〔ス〕故ニ之〔ヲ〕侮<sup>アハナトル</sup>

9 (418) 9 (429) 【生而知之者章】

孔子曰。生<sup>ウマレナカラニシテ</sup>知<sup>ル</sup>ハ上<sup>カミ</sup>也 学<sup>ン</sup>テ知<sup>ル</sup>ハ次也

困<sup>クル</sup>学<sup>ブ</sup>又<sup>ツキ</sup>其ノ次也

孔安国曰。困ハ謂ク 通セ〔サ〕ル所口有<sup>ル</sup>ナリ

困テ学<sup>ビ</sup>〔サ〕ル 民<sup>シモトス</sup>ミスレヲ下<sup>ス</sup>為<sup>ス</sup>

10 (419) 10 (430) 【君子有九思章】

孔子曰。君一子ハ九ツノ思<sup>ヒ</sup>有<sup>リ</sup>リ 視<sup>ミルコト</sup> 明<sup>メイ</sup> 思<sup>フ</sup>

聴<sup>キクコト</sup> 聰<sup>ソウ</sup> 思<sup>フ</sup> 色<sup>イロ</sup> 温<sup>ユク</sup>ヲ思<sup>フ</sup> 貌<sup>カタチ</sup> 恭<sup>クニ</sup> 思<sup>フ</sup> 〔フ〕 言<sup>コト</sup> 忠<sup>チウ</sup>ヲ

思<sup>フ</sup> 事<sup>ワサ</sup> 敬<sup>ケイ</sup> 思<sup>フ</sup> 疑<sup>ウタカハシキ</sup> 問<sup>ト</sup> 思<sup>フ</sup> 忿<sup>イカリ</sup> 難<sup>ニナシ</sup> 思<sup>フ</sup> 〔フ〕

得<sup>ウル</sup> 見<sup>ミ</sup>テハ義<sup>キ</sup>思<sup>フ</sup>

11 (420) 11 (431) 【見善如不及章】

孔子曰。善ヲ見<sup>ミ</sup>及<sup>ミ</sup>ハ〔サ〕ルカ如ク<sup>ス</sup> 不<sup>レ</sup>善ヲ見<sup>テ</sup>

ハ湯<sup>ユラ</sup>探<sup>サケル</sup> 如ク<sup>ス</sup> 吾<sup>レ</sup>其ノ人ヲ見<sup>ル</sup> 吾<sup>レ</sup>其ノ語<sup>コト</sup>聞<sup>ケ</sup>

リ

孔安国曰。湯ヲ探<sup>サ</sup>トハ惡〔ヲ〕去<sup>サケル</sup> 疾<sup>キ</sup> 喻<sup>ル</sup>ナリ

隱<sup>イン</sup>一居<sup>キヨ</sup> 以<sup>テ</sup>其ノ志<sup>シ</sup>シヲ求<sup>ム</sup> 義<sup>イ</sup>ヲ行<sup>フ</sup>テ以<sup>テ</sup>其ノ道<sup>ミチ</sup>ニ達<sup>ス</sup>

ス 吾<sup>レ</sup>其ノ語<sup>コト</sup>聞<sup>テ</sup>未<sup>タ</sup>其ノ人ヲ見<sup>ス</sup>

12 (421) 12 (432) 【齐景公有馬千駟章】

齊ノ景公馬千一駟有リ 死ヌル日民得テ称スルコト無シ

孔安国曰。千駟ハ四一十匹ナリ

伯夷叔齊首陽ノ下餓モトニウヘタリ

馬融曰。首陽山ハ河一東ノ蒲坂 華山ノ北 河曲ノ中

ニ在リ

民ミ今ニ到ルマテ称ス 其レ斯コレライフカ謂與

王肅曰。此レ謂所徳ヲ以テ称ト為者ノナリ

13 (422) 13 (433) 【陳亢問於伯魚曰章】

陳亢チンカウ 伯魚ニ問テ曰ク。子亦異一聞有リ乎ニラン

馬融曰。伯魚孔子ノ子ナリ。聞〔ク〕所當ニ異有〔ル〕

(ヘシ)〔ト〕以一為ナリ21

対曰 未イマタシ嘗ムカシ独カタリキ立

孔安国曰。独一立トハ 謂ク孔子ナリ

鯉 趨庭ヲ過。曰 詩学タリ乎 対曰 未。曰詩

学ヒ(ス)ンハ以テ言 無レ 鯉 退テ詩学フ 他一

曰ニ又独立リキ 鯉 趨リテ庭過。曰 礼学タリ乎

対曰 未シ 礼学ヒ(ス)ンハ以テ立 無レ 鯉

季子 陽貨

退テ礼学フ 斯 二ヲ聞 陳亢 退ヒテ喜テ曰 一ヲ問

テ三ヲ得 詩聞 礼聞 又君一子ノ其ノ子ヲ遠 聞テ

14 (423) 14 (434) 【邦君之妻章】

邦一君ノ妻君称シテハ夫一人ト曰フ 夫一人自称シテハ

小一童ト曰フ 邦人称シテハ君一夫一人ト曰フ 異一邦

ニ称シテハ寡一小一君ト曰フ 異一邦ノ人称シテハ亦君一

夫一人ト曰〔フ〕

孔安国曰。小一君トハ君一夫一人ノ称ナリ 異一邦ニ

対 謙ス 故ニ寡一小一君ト曰〔フ〕 此ノ時ニ當

テ諸一侯嫡一妾正ラ〔ス〕 称一号審カナラス故ニ孔

子正 其ノ礼ヲ言〔フ〕

### 論語陽貨第十七

1 (424) 1 (435) 【陽貨欲見孔子章】

陽貨孔子ヲ見欲ス。孔子見(ス)

孔安国曰。陽貨ハ陽虎。季氏カ家一臣トシテ魯国ノ政

コトヲ專ニス 孔子ニ見テ使ント欲ス

陽貨

孔子二豚イノコヲラクレリ 帰

孔安国曰。往テ謝セ使メント欲ス 故ニ孔子ハ豚ヲ遣ヲクル

孔子其ノ亡ナキヤ 時トシテ往拜ス 塗遇ミチニアヘリ

孔安国曰。塗ハ道 道一路ニ於テ與相逢トモニヒアフ

孔子ニ謂曰。来レ 予爾ト言 曰 其ノ宝ヲ懷 其

ノ邦迷 仁ト謂フ可シ乎。曰 不<sub>レ</sub>可ナリ

馬融曰。言ハ孔子仕ツカヘ (サ) ルハ是レ宝ヲ懷也 国

ノ治ヲ (サ) ルコトヲ知テ政ヲ為 (サ) (サ) ル 是

レ邦ヲ迷 (ス)

事從 好 亟 時ヲ失フ 知ト謂 (フ) 可シ乎。曰

不<sub>レ</sub>可ナリ

孔安国曰。言ハ孔子栖一栖トシテ事ニ從ンコトヲ好シ

テ数 遇 (ス) シテ時ヲ失セリ 知有ト為 (ス) 可

(ラ) (ス)

日月逝 歲我ト與 ス

馬融曰。年 老テ歲一月已ニ往ンヌ 當ニ急 仕ヘ

(ハ) シ

孔子曰。諾 吾レ將ニ仕 ス

孔安国曰。辞ヲ順ルヲ以テ害ヲ免

2 (425) 2 (436) 【性相近也章】

子曰。性相ヒ近シ 習 相ヒ遠

孔安国曰。君一子ハ習所口ヲ慎

\* 3 (437)

子曰。唯上<sub>レ</sub>知ト下<sub>レ</sub>愚トハ移ス

孔安国曰。上<sub>レ</sub>知ハ強 愚ヲ為使ム可 (ラ) (ス) 下

愚ハ強 賢ナラ使ム可 (ラ) (ス)

3 (426) 4 (438) 【子之武城章】

子武一城ニ之 絃一歌ノ声 聞テ

孔安国曰。子游武一城ノ宰為。

夫一子莞一爾 笑

莞一爾ハ小一笑ノ貌

曰 雞 割 焉 牛 刀 用ヒン

孔安国曰。言ハ小ヲ治ルニ何ソ須 (ク) 大<sub>レ</sub>道ヲ用

〔フ〕(へ)キ

子游対曰。昔者偃夫一子二聞曰。君一子道ヲ学ブル則ハ人ヲ愛ス。小一人道ヲ学則ハ使易シ。

孔安国曰。道トハ謂ク礼一楽。楽ハ以テ人ヲ和ス。人和ル則ハ使易。

子曰。二一三子

孔安国曰。従行者ノナリ。

偃言是也。前言戲耳。

孔安国曰。戯トハ小ヲ治ルニ大一道ヲ用ントスルヲ以ナリ。

4 (427) 5 (439) 【公山弗擾以費畔章】

公一山弗擾費以テ畔子召往欲ス。

孔安国曰。弗擾季氏カ宰ト為。陽虎ト共ニ季桓子ヲ

執孔子ヲ召。

子路説ヒ(ス)シテ曰。之未已。何ンソ必シモ公一

山一氏之之。

孔安国曰。之ハ適一也。之可キコト無キ則ハ止耳。

陽貨

何ソ必シモ公山氏カ之適

子曰。夫我ヲ召者。豈ニ徒哉。如我ヲ用コト有ラハ吾レ其レ東一周ヲ為乎。

周一道ヲ東ノ方ニ興。故ニ東周ト曰〔フ〕。

5 (428) 6 (440) 【子張問仁於孔子章】

子張仁ヲ孔子ニ問フ。孔子曰。能五ノ者ノヲ天一下行ヲ仁為。請問フ。曰。恭。寬。信。敏。慧。恭則ハ侮ス。

孔安国曰。侮。慢。見(ス)。

寬ナル則ハ衆ヲ得。信ナル則ハ人ニ任セラレン。

敏ナル則ハ功有リ。

孔安国曰。事ニ応。疾則ハ成一功多〔シ〕。

惠アル則ハ以テ人使足。

6 (429) 7 (441) 【佛肸召章】

佛肸子召往欲ス。

孔安国曰。晋ノ大一夫趙簡一子カ邑ノ宰ナリ。

子路曰。昔者由夫一子二聞曰。親其身ニ於テ



不<sup>スルハ</sup>善ヲ為<sup>スルハ</sup>君<sup>ハ</sup>子<sup>ハ</sup>入<sup>ラ</sup>ラス

其ノ国ニ入<sup>ラ</sup>（サ）ルナリ

佛<sup>ヒツ</sup>一<sup>キツ</sup>眸<sup>ホウ</sup>中<sup>ソムク</sup>一<sup>ソムク</sup>牟<sup>ホウ</sup>以<sup>テ</sup>畔<sup>ソムク</sup>子<sup>ノ</sup>往<sup>ユカシ</sup>如<sup>ク</sup>一<sup>ノ</sup>之<sup>ノ</sup>何<sup>カシ</sup>。子曰。

然<sup>レ</sup>ナリ 是<sup>ノ</sup>言<sup>コト</sup>有<sup>リ</sup> 堅<sup>カタキ</sup> 曰<sup>ハ</sup>ス乎<sup>ヤ</sup> 磨<sup>トゲトモヒス</sup> 磷<sup>ス</sup> 白<sup>キ</sup>

ヲ曰<sup>ハ</sup>（ス）乎<sup>ヤ</sup> 涅<sup>クリニスレトモクロマ</sup> 緇<sup>ス</sup>

孔安国曰。磷<sup>リン</sup>薄<sup>ハ</sup>也。涅<sup>ネ</sup>以<sup>テ</sup>皂<sup>サウ</sup>染<sup>ム</sup>可<sup>キ</sup>ナリ 言<sup>ハ</sup>

至<sup>テ</sup>堅<sup>キ</sup>者<sup>ノ</sup>ハ之<sup>ヲ</sup>磨<sup>ル</sup> 薄<sup>（ス）</sup> 至<sup>テ</sup>白<sup>ク</sup> 者<sup>ノ</sup>ハ之<sup>ヲ</sup>

ヲ涅<sup>クリニ</sup>染<sup>ム</sup>トモ黒<sup>クロマ</sup>（ス） 君子濁<sup>ル</sup>一<sup>ノ</sup>乱<sup>ニ</sup>在<sup>ト</sup>雖<sup>（トモ）</sup>濁

乱<sup>ケカスコト</sup>ニ汚<sup>ニ</sup> 能<sup>（ハ）</sup>（サ）ルニ喩<sup>フ</sup>

吾<sup>レ</sup>豈<sup>ニ</sup>匏<sup>ハウ</sup>瓜<sup>カ</sup>ナレ<sup>也</sup> 焉<sup>ヤ</sup> 能<sup>ク</sup>繫<sup>カ</sup> 食<sup>（サ）</sup> ラン

匏<sup>ハウ</sup>瓠<sup>ハコ</sup>一<sup>也</sup>。言<sup>ハ</sup>瓠<sup>ハコ</sup>一<sup>瓜</sup>ハ一<sup>処</sup>ニ繫<sup>カ</sup> 得<sup>ル</sup>者<sup>ノ</sup>ニ

シテ食<sup>レ</sup>（サ）ル故<sup>也</sup> 吾<sup>レ</sup>自<sup>ミ</sup>食<sup>ン</sup> 物<sup>ニ</sup>シテ當<sup>ニ</sup>東

西南北ヨリス（ヘ）シ 食<sup>レ</sup>（サ）ル物<sup>ノ</sup>一<sup>処</sup>ニ繫<sup>カ</sup>

滯<sup>トマルカ</sup> 如<sup>ク</sup>ナルコトヲ得<sup>（ス）</sup>

7 (430) 8 (442) 【由也女聞六言六蔽矣乎章】

子曰。由<sup>ニ</sup> 女<sup>ニ</sup> 六<sup>言</sup>六<sup>蔽</sup>聞<sup>ケリ</sup>矣<sup>乎</sup>

六<sup>言</sup>六<sup>蔽</sup>一<sup>蔽</sup>ハ下<sup>ノ</sup>六<sup>事</sup>ナリ。謂<sup>ク</sup>仁<sup>知</sup>信<sup>直</sup>勇<sup>剛</sup>

对<sup>曰</sup> 未<sup>イマダシ</sup>。居<sup>レ</sup> 吾<sup>レ</sup>女<sup>ナシニカタラシ</sup> 語

孔安国曰。子路起<sup>テ</sup>对<sup>テ</sup> 故<sup>ニ</sup>坐<sup>ニ</sup> 還<sup>カス</sup>使<sup>ム</sup>

仁<sup>ニ</sup>好<sup>ク</sup> 学<sup>好</sup>（サル） トキハ其<sup>ノ</sup>蔽<sup>愚</sup>ナリ

孔安国曰。仁<sup>一</sup>者<sup>ハ</sup>物<sup>ヲ</sup>愛<sup>ス</sup> 之<sup>ヲ</sup>裁<sup>ス</sup> 所<sup>一</sup>以<sup>テ</sup>知

（ラ）（ス）ハ則<sup>レ</sup>愚<sup>ナリ</sup>

知<sup>ヲ</sup>好<sup>ト</sup>モ学<sup>好</sup>マ（サル） トキハ其<sup>ノ</sup>蔽<sup>蕩</sup>

孔安国曰。蕩<sup>タウハハマサニ</sup> 適<sup>守</sup>ル所<sup>無</sup>キナリ

信<sup>ヲ</sup>好<sup>ト</sup>モ学<sup>好</sup>マ（サル） トキハ其<sup>ノ</sup>蔽<sup>賊</sup>

孔安国曰。父<sup>一</sup>子<sup>相</sup>一<sup>為</sup>二<sup>隠</sup> 知<sup>（ラ）</sup>（サル）輩

ラナリ

直<sup>チヨク</sup> 好<sup>ト</sup>モ学<sup>好</sup>マ（サル） トキハ其<sup>ノ</sup>蔽<sup>絞</sup>。勇<sup>ヲ</sup>好

メトモ学<sup>好</sup>マ（サル） トキハ其<sup>ノ</sup>蔽<sup>乱</sup>ナリ。剛<sup>好</sup>ト

モ学<sup>好</sup>マ（サル） トキハ其<sup>ノ</sup>蔽<sup>狂</sup>

孔安国曰。狂<sup>ミケリニ</sup> 人<sup>ニ</sup>抵<sup>ツキ</sup> 触<sup>フル</sup>

8 (431) 9 (443) 【小子何莫学夫詩章】

子曰。小<sup>子</sup>何<sup>ナシ</sup>夫<sup>マナ</sup>詩<sup>ヲ</sup>学<sup>マナ</sup> 莫<sup>ナキ</sup>

包氏曰。小<sup>一</sup>子<sup>ハ</sup>門<sup>一</sup>人

詩ハ以テ興<sup>タトフ</sup>可シ

孔安国曰。興ハ譬ヘヲ引テ類ヲ連ル

以テ觀<sup>ミル</sup>可シ

鄭玄曰。觀トハ風一俗ノ盛一衰ヲ觀<sup>ミル</sup>

以テ羣<sup>クニス</sup>可シ

孔安国曰。羣居シテ相<sup>ヒ</sup>切一磋ス

以テ怨<sup>ウラム</sup>可シ

孔安国曰。上<sup>カミノ</sup>政コトヲ怨<sup>ウ</sup>刺<sup>ソシルナリ</sup>

邇<sup>チカクハ</sup>父ニ事<sup>ツカフマツリトラクハ</sup>遠<sup>トホクハ</sup>君ニ事ル

孔安国曰。邇<sup>シ</sup>ハ近一也

多ハ鳥一獸草一木ノ名識<sup>ナラシル</sup>。

\* 10 (444)

子伯魚ニ謂<sup>カノ</sup>曰。女周<sup>ナシチ</sup>一南召<sup>セウ</sup>一南ヲ為<sup>マナヒタリヤ</sup>乎<sup>ヤ</sup>人トシテ周<sup>マナヒタリヤ</sup>

南召<sup>マナヒ</sup>一南ヲ為<sup>マナヒ</sup>(ス)ンハ其レ猶ヲ正<sup>マサニラモテラカキニシテタテルガ</sup>面<sup>カ</sup>牆<sup>カ</sup>立<sup>マサニラモテラカキニシテタテルガ</sup>(コ

ト)キ與<sup>カ</sup>

馬融曰。周<sup>シユク</sup>一南召<sup>ト</sup>一南。国<sup>ト</sup>一風ノ始メ。淑<sup>ト</sup>一女ヲ以テ

君<sup>ハシメ</sup>一子ニ配ス。三<sup>ハシメ</sup>一綱ノ首。王<sup>ハシメ</sup>一教<sup>ハシメ</sup>一之<sup>ハシメ</sup>端<sup>ハシメ</sup>故<sup>ハシメ</sup>ニ

陽貨

人トシテ為<sup>セ</sup>(サル)トキハ牆<sup>カキニムカテ</sup>向<sup>カキニムカテ</sup>立カ如シ

9 (432) 11 (445) 【礼云礼云章】

子曰。礼<sup>レイト</sup>云ヒ礼ト云フ玉<sup>ハクヲシモイヘヤ</sup>一帛<sup>ハクヲシモイヘヤ</sup>云乎

鄭玄曰。玉<sup>ケイ</sup>ハ圭<sup>シヤウノタクヒ</sup>一璋<sup>ハクハ</sup>属<sup>タクヒナリ</sup>。帛<sup>タクヒナリ</sup>東<sup>タクヒナリ</sup>一帛ノ属<sup>タクヒナリ</sup>。言ハ礼ハ

但此ノ玉帛ヲシモ崇<sup>タツトフル</sup>而<sup>ノミ</sup>已<sup>ノミ</sup>ニ非<sup>ノミ</sup>(ス)貴<sup>タツトフ</sup>所<sup>タツトフ</sup>口<sup>タツトフ</sup>

(ハ)乃シ其ノ上ヲ安シ民ヲ治コトヲ貴フ

樂<sup>ガクト</sup>云ヒ樂ト云フ鐘<sup>セウ</sup>一鼓<sup>コラシモイヘヤ</sup>云乎

馬融曰。樂ノ貴フ所口ハ風ヲ移シ俗ヲ易<sup>カフルナリ</sup>但鐘<sup>セウ</sup>一鼓<sup>コラシモイヘヤ</sup>

ヲシモ謂<sup>ノミ</sup>(フ)而已<sup>ノミ</sup>ニ非<sup>ノミ</sup>(ス)

10 (433) 12 (446) 【色厲而内荏章】

子曰。色<sup>ハケシフシテ</sup>口厲<sup>ヤハラカナルハ</sup>内荏<sup>ヤハラカナルハ</sup>

孔安国曰。荏<sup>ジン</sup>ハ柔一也。外<sup>20ミケウ</sup>ニハ自矜<sup>レイニシテ</sup>一厲<sup>ラロソカ</sup>内<sup>ラロソカ</sup>ニハ柔

佞ナル者ノヲ謂<sup>フ</sup>(フ)

小<sup>タトフレハ</sup>一人ニ譬<sup>センユノ</sup>其レ猶ヲ穿<sup>21又</sup>竅<sup>ウカチコユル</sup>盜<sup>21又</sup>ノコトキ與<sup>カ</sup>

孔安国曰。人ト為此<sup>ナリ</sup>(フ)如<sup>ナリ</sup>(キ)ハ小<sup>ナリ</sup>一人ノ盜<sup>ナリ</sup>一心

有力猶シ穿<sup>ウガツトハカベラ</sup>壁<sup>ウガツトハカベラ</sup>穿<sup>ウガツトハカベラ</sup>竅<sup>コユルトハカキヲコユル</sup>竅<sup>コユルトハカキヲコユル</sup>牆<sup>コユルトハカキヲコユル</sup>竅<sup>コユルトハカキヲコユル</sup>

11 (434) 13 (447) 【郷原章】

子曰。郷原22サトニタクヌルハ 徳ノ賊ナリ

周生烈曰。至ル所ノ郷輒サトニスナハチ 其ノ人ノ情口ヲ原テ己カ

意ト為シテ 以テ之ヲ待23イクス 是レ徳ヲ賊一乱スル者也 一

ニハ曰ク 郷ハ向一也 古ニハ字同シ 人剛一毅ギナルコト

能25ヒライレテ (ハ) (ス) シテ人ヲ見 (ル) 輒チ其ノ趣一嚮カウラ 原

ネテ 媚容25ヒライレテ 之ヲ合ア ヲ謂 (フ) 言ハ此レ徳ヲ賊スル所一

以ナリ

12 (435) 14 (440) 【道聴而塗説章】

子曰。道ニ聴塗説徳ノ棄也キイテミチニトクハ スタル

馬融曰。之ヲ道一路ニ聞テ則伝ヘテ之ヲ説トクナリ

13 (436) 15 (449) 【鄙夫章】

子曰。鄙一夫ハ與君ニ事ル可ケン也トモニ

孔安国曰。言ハ與君ニ事 (ル) 可 (ラ) (ス)

其レ未タ得 (サ) ルトキハ得ンコトヲ患ウレフ

之 (ラ) 得 (コトヲ) 患ルトハ之ヲ得コト能 (ハ)

(サル) ヲ患フ 楚ノ俗一言ナリ

既ニ得エツルトキハウ 失テンコトヲ患フ 苟モ失テンコトヲ患ルト

キハ至 (ラ) (ス) ト云所口無シ

鄭玄曰。至 (ラ) (サル) 所 (口) 無トハ 言ハ邪ナクメニ

媚為 (ス) ト云所口無 (シ)

14 (437) 16 (450) 【古者民有三疾章】

子曰。古ノ民ニハ三ノ疾有リ 今ハ是ノ亡ナイコトアリ 或

包氏曰。言ハ古ヘノ者ニハ民 疾ヒ今ノ時ト異コトナリ

古ノ狂ハ肆シナリ

包氏曰。肆意ヲ極メ敢 言フ

今ノ狂ハ蕩タウナリ

孔安国曰。蕩ハ扱所口無キナリ

古ノ矜ハ廉キヤウハレンナリ

馬融曰。廉一隅 有 (リ)

今ノ矜ハ忿一戾フシ

孔安国曰。理ヲ悪 怒多シ

古ノ愚ハ直チヨクナリ 今ノ愚ハ詐イツワレラクノミ 而已

15 (438) 17 (451) 【巧言令色章】

16 (439) 18 (452) 【惡紫之奪朱也章】

子曰。紫ノ朱奪ム 惡ニクム

孔安国曰。朱正一色ナリ 紫ハ間一色ノ好き者ナリ

其ノ邪28ヲ好テ正一色ヲ奪コトヲ惡ニクム

鄭一テイ声ノ雅樂乱ルコトヲ惡ニクム

包氏曰。鄭一アハレナル声ハ淫一カナシキ声ノ哀者ノナリ 其ノ雅一

樂ヲ奪コトヲ惡ム

利一ハウ口ノ邦一カ家ヲ覆クツカヘスコトラ 惡ム

孔安国曰。利一29口ノ人ハ言ハ多シテ実ト少シ 苟モ能

ク時ノ君ニ悦ヒ 媚テ其ノ国一ケ家ヲ傾覆ケツカヘスナリ

17 (440) 19 (453) 【予欲無言章】

子曰。予レ言イフコトナカラシコトヲ 無ク 欲ス。子貢曰。子 如言モシイハ (ス)

ンハ則小一子何ナニラカノヘン 述ス

之31 (ヲ) 言フハ益為ルコト少シ 故ニ言無ント欲ス

子曰。天何ナニラカイフヤ 言哉 四一ワコナハレ時行 百一ナ物生 天何ナニラカイフヤ 言哉

18 (441) 20 (454) 【孺悲欲見孔子章】

孺悲孔子ニ見ヘマク欲ス。孔子辞スルニ疾ヤマイラ 以ス 命メイラ

将ヲコナフ 者ノ戸ヲ出ルトキニ瑟取テ歌ウタツテ 聞シム

陽貨

孺一シユ悲魯人ヒハ 也。孔子見コトヲ欲セ (ス) 故ニ之ヲ

辞ルニ疾ヲ以テ其ノ命ヲ将ヲコナフ 者ノ為ニ已33 知 (ヲ)

(ス) 故ニ歌テ命ヲ将ヲコナフ 者ヲシテ悟サトラ (シ) ム 孺悲

(ヲ) シテ之ヲ思ハ (シム) ル所 以

19 (442) 21 (455) 【我我问三年之喪章】

宰我問トハク 三一年ノ喪期已ニ久シ 君一子三一年礼ヲ為34

(サ) ルトキハ礼必ス壞ヤフル 三一年樂為 (サ) ルトキハ樂

必ス崩旧一穀既ニ没新一穀既ニ升ナル 燧鑽 火ヲ改タ

ム期可ナラク已キ

馬融曰。周書ノ月令ニ火ヲ更アラタムルコト 有リ 春ハ榆一柳ユ

火ヲ取 (リ)。夏ハ棗杏サウ キヤウノ 火ヲ取リ。季一夏ニハ桑一サウ

柘セキノ 火ヲ取 (リ)。秋ハ柞サク 火ヲ取

(リ)。冬ハ槐檀クハイ ダン 火ヲ取 (リ) 一一年ノ

中ニ火ヲ鑽キルコト 各ノ木ヲ異ニス 故ニ火ヲ改ト曰 (フ)

子曰。夫稻食夫錦衣カノイネヲクラヒカノニシキヤキル 女於 (テ) 安乎 曰 安

女安 則為 夫君一子ノ喪居 旨 食 甘 ス 樂聞ガクラ

トモ 樂 ス 居一処安ラス 故ニ為ス 今女安 則為セヨ

孔安国曰。旨ハ美。其ノ親ニ仁無ヲ責ム 故ニ再ヒ

女安 則之ヲ為言〔フ〕

宰我出子曰。予不仁ナルコト子 生レテ三一年 然

後ニ父一母ノ懷 免

馬融曰。子 生レテ未タ三歳ナラ (サ) ルトキハ父母

ノ為ニ懷 一抱 所ル、ソ

夫レ三年ノ喪天一ト下ノ通一喪也

孔安国曰。天子自り庶一人ニ達ス

予レ三一年ノ愛其ノ父一母ニ有レ乎

孔安国曰。言ハ子 父母ニ於ルコト之カ徳ヲ報セント

欲ス 昊一 天極 罔 而ヲ予三一年ノ愛有ン乎

20 (443) 22 (456) 【飽食終日章】

子曰。飽 食シテ終 日ニ心ヲ用ル所口無キコト難 哉

博一 弈 者 有ラ (サ) ラン乎 之ヲ為 猶已賢

其レ抛一 樂 所無シテ善 淫一 欲ヲ 生 (スル) 為ナ

リ

21 (444) 23 (457) 【君子尚勇乎章】

子路曰。君一子ハ勇ヲ尚 乎 子曰。君一子ハ義以

上為 君一子勇有テ義無トキハ乱ヲ為 小一人ニ勇有

テ義無トキハ盗トヲ為

22 (445) 24 (458) 【君子亦有惡乎章】

子貢曰。君一子ニ亦惡 有リ乎 子曰。惡 有リ 人

ノ惡 稱スル者ノヲ惡

包氏曰。好 人ノ惡ヲ稱一説スルハ惡ヲ為ル所一以ナ

リ

下一流 居上 訕者ノヲ惡

孔安国曰。訕 謗一 毀

勇ニシテ礼無キ者ノヲ惡ム 果一 敢ニシテ窒 者ノヲ惡

ム

馬融曰。窒 窒一 塞

曰 賜モ亦タ惡ムコト有リ乎 微 以テ知ト為者ノヲ惡

ム

孔安国曰。微 抄一也 人ノ意ヲ拔 以テ己レカ有ト為

不孫ニシテ以テ勇ヲ為者ノヲ惡ム 評 以テ直 為者

ノヲ悪ム

包氏曰。評アバイテトハ 謂ク人ノ險一私ヲ攻一セメ發アハク

23 (446) 25 (459) 【唯女子與小人章】

子曰。唯女一子ト小人トハ養ヤシナヒ 難シト為ス 近チカツクレハ 不ス一孫

ナリ 遠サクレハウラム 怨ヲ。

24 (447) 26 (460) 【年四十而見惡焉章】

子曰 年四一十二シテ惡見其レ終ヤシヌラクノミ 已ニクマルハハ

鄭玄曰。年不コクニ一惑在テ人ノ為ニ惡所終ニ善ノ行ヒ

無レハナリ

論語微子第十八

1 (448) 1 (461) 【微子去之章】

微子去ビシ 箕子奴サンヌ 為キシ 比干諫ヤツコトナンヌ 死ヌ

馬融曰。微箕ハ二国ノ名ナリ 子ハ爵シヤク 微子ハ紂ノ

庶一兄ナリ 箕子比干ハ紂諸チウノ 父ナリ 微子ハ紂カ

無一道ナルヲ見テ早ク去サンヌ 箕子ハ伴イツハリ 狂タハムレテ シテ奴ヤツコト 為

〔ル〕 比干ハ諫イサムルヲ 以テ殺サル、ナリ

陽貨 微子

孔子曰。殷二三一仁有リ

仁一者ハ人ヲ愛ス 三一人ノ行各ノ異ナリ 而トモ同

ク仁ト称セラル、其レ俱ニ乱ヲ憂ヘ民ヲ寧ヤスンセンコト 在

ヲ以〔テナリ〕

2 (449) 2 (462) 【柳下惠為士師章】

柳下惠ハ士一師ト為シテ

孔安国曰。士一師ハ典一獄ノ官

三黜ヒ 人ノ曰イ。子 未タ以テ去ル可〔ラ〕サル乎。

曰 道ヲ直シテ人ニ事ツカヘハイツクニユクトシテカ 焉 往 三黜ヒ サランヤ

孔安国曰。苟モ道ヲ直シテ以テ人ニ事ヘハ 至ル所口

ノ国俱ニ當ニ復タ三ヒ黜シリソケラル (へ) シ

道ヲ枉マゲテ 人ニ事 何 必シモ父一母ノ邦 去ランヤ

3 (450) 3 (463) 【齊景公待孔子章】

齊ノ景公孔子ヲ待曰。季氏カ若 吾レ能シ 季孟ノ

間ダヲ以テ待マタン

孔安国曰。魯ノ三一卿。季氏ヲ上一卿ト為〔シ〕最モ

貴トシ。孟氏ヲ下一卿ト為〔シ〕事ヲ用〔イ〕(ス)

微子

言ハ之ヲ待スルニ二リノ者ノ間ヲ以ス。

曰 吾レ老<sup>ライシタリモチイラル、コト</sup>用<sup>コト</sup> 能ハシ 孔子行<sup>サンヌ</sup>

聖一<sup>ノ</sup>道ノ成リ難〔キヲ〕以ス 故ニ老<sup>ノ</sup>ンタリ用〔コト〕

能〔ハ〕(ス)ト云

4 (451) 4 (464) 【齊人婦女樂章】

齊人女<sup>メ</sup>一<sup>ノ</sup>樂<sup>ガクヲラクレリキ</sup>婦<sup>メ</sup> 季桓子受ク 三一日朝<sup>シ</sup>セス 孔子行<sup>サンヌ</sup>

孔安国曰。桓子ハ季孫斯 定公ヲシテ齊ノ女一<sup>ノ</sup>樂ヲ受

〔ケ〕使〔ム〕 君一<sup>ノ</sup>臣相<sup>シ</sup> 與ニ之〔ヲ〕觀ル 朝一<sup>ノ</sup>礼

ヲ廢ルコト三一日ナリ

5 (452) 5 (465) 【楚狂接輿歌而過孔子之門章】

楚<sup>キヤウセウヨウウタウタフテ</sup>ノ狂<sup>キヤウ</sup>接輿<sup>セウヨハ</sup>歌<sup>カ</sup> 孔子ノ門<sup>カト</sup>ヲ過<sup>スク</sup>

孔安国曰。接輿<sup>セウヨハ</sup>楚人<sup>イツハリ</sup> 佯<sup>シ</sup> 狂<sup>キヤウ</sup>シテ来<sup>キ</sup>テ歌<sup>カ</sup>テ以<sup>テ</sup>孔子ヲ

感<sup>カ</sup>一<sup>ノ</sup>切<sup>セ</sup>ス

曰 鳳<sup>ホウナレヤ</sup>兮<sup>フ</sup> 鳳<sup>ホウナレヤ</sup>兮<sup>フ</sup> 何<sup>ナシ</sup>徳<sup>ノ</sup>ノ衰<sup>ヲトロヘタル</sup>

孔安国曰。孔子ヲ鳳一<sup>ノ</sup>鳥ニ比ス。鳳一<sup>ノ</sup>鳥ハ聖一<sup>ノ</sup>君ヲ

待<sup>マテテ</sup>乃<sup>ハ</sup>ヒ見<sup>ミ</sup> 孔子ノ周<sup>カナハンコトヲモ</sup>一<sup>ノ</sup>行<sup>カ</sup>シテ合<sup>カナハン</sup>

二<sup>ノ</sup>衰<sup>ト</sup>曰〔フ〕也

往<sup>イシモノハイサム</sup>者<sup>ノ</sup>諫<sup>カ</sup>可〔ラ〕ス

孔安国曰。已<sup>シ</sup>一<sup>ノ</sup>往<sup>ニ</sup>行<sup>ハ</sup>〔ハ〕所<sup>ル、ヲハ</sup> 復<sup>メ</sup>夕<sup>メ</sup>諫<sup>カ</sup>一<sup>ノ</sup>止<sup>ム</sup>可〔ラ〕

(ス)

来<sup>キ</sup>レル者<sup>ノ</sup>ハ猶<sup>フ</sup>追<sup>フ</sup>可<sup>シ</sup>

孔安国曰。今<sup>イ</sup>自<sup>リ</sup>已<sup>シ</sup>一<sup>ノ</sup>来<sup>ハ</sup>追<sup>テ</sup>自<sup>ミ</sup> 止<sup>メ</sup>テ乱<sup>ヲ</sup>辟<sup>テ</sup>隱<sup>一</sup>

居<sup>ス</sup>可〔シ〕

已<sup>ヤシナン</sup>一<sup>ノ</sup>而<sup>シ</sup> 已<sup>ヤシナン</sup>一<sup>ノ</sup>而<sup>シ</sup> 今<sup>イ</sup>ノ政<sup>コト</sup>ニ從<sup>フ</sup>者<sup>ハ</sup>殆<sup>シ</sup>

孔安国曰。已<sup>シ</sup>一<sup>ノ</sup>而<sup>シ</sup>トハ 言<sup>ハ</sup>世<sup>ノ</sup>乱<sup>コト</sup>已<sup>ニ</sup>甚<sup>シ</sup> 復

夕<sup>イタムコト</sup>治<sup>ム</sup>可〔ラ〕(ス) 再<sup>ヒ</sup>之<sup>ヲ</sup>言<sup>コト</sup>トハ之<sup>ヲ</sup>傷<sup>キ</sup> 甚

也

孔子下<sup>フリテトモニハント</sup>與<sup>フ</sup>言<sup>フ</sup> 欲<sup>ス</sup> 趨<sup>フ</sup> 辟<sup>トモニイフコトヲ</sup> 與<sup>フ</sup>言<sup>フ</sup> 得<sup>ス</sup>

包氏曰。下<sup>ヲ</sup>トハ車<sup>ヨリ</sup>下<sup>ラル、ナリ</sup>

6 (453) 6 (466) 【長沮桀溺耦而耕章】

長沮<sup>ソケツアキコウシテカヤス</sup>桀溺<sup>ソケツアキコウシテカヤス</sup>耦<sup>ス</sup> 耕<sup>ス</sup> 孔子過<sup>ス</sup> 子路<sup>ツヲトハ</sup>ヲシテ津<sup>ツ</sup>問<sup>ハ</sup>シム

鄭玄曰。長沮桀溺<sup>ス</sup>ハ隱<sup>一</sup>者<sup>ノ</sup>。相<sup>ス</sup> 広<sup>サ</sup>五<sup>一</sup>寸<sup>ニ</sup>。二<sup>ノ</sup>相<sup>ス</sup>

耦<sup>クワトス</sup>為<sup>ス</sup>。津<sup>ワタリ</sup>ハ濟<sup>ニ</sup> 渡<sup>ル</sup>処<sup>ナリ</sup>

長沮曰。夫<sup>カノヨラトレルヒトヲハタレトカスル</sup>輿<sup>ヲ</sup>執<sup>ル</sup>者<sup>ノ</sup> 誰<sup>ニ</sup> 為<sup>ス</sup> 子路曰 孔丘<sup>コウキウトス</sup>為<sup>ス</sup>。曰<sup>イ</sup> 是

レ魯ノ孔丘與。曰。是也。曰。是津知ン

馬融曰。言ハ數周流シテ自〔ラ〕津ノ処ヲ知テント

ナリ

桀溺問フ。桀溺カ曰。子ヲハ誰トカ為。曰。仲由ト為

曰。是レハ魯ノ孔丘ガ徒與。對曰。然ナリ。曰。滔

滔者ノ天ト下皆是而シテ誰ヲカ以テ易

孔安国曰。滔ト滔ハ周一流ノ貌。言ハ當ニ今天ト

下ノ治ト乱同カル〔ヘ〕シ。空ク此ヲ捨彼適。故ニ

曰ク誰以テ之ニ易ヘン

且而其人ヲ辟士ニ從。與豈ニ世ヲ辟士ニ從

若哉

士二人ヲ辟法有リ。世ヲ辟法ニ有ハ長沮桀ト溺。孔

子ノ士為。人ヲ辟ルノ法ニ從。己士為。則チ世

ヲ辟ルノ法ニ從フト謂フ

輟ス

鄭玄曰。輟種ヲ覆也。輟止ト也。種ヲ覆止〔マ〕

〔ス〕津ヲ以〔テ〕告〔サル〕ナリ

微子

子路行以テ告夫ト子憮ト然トシテ

其ノ己カ意ニ達〔セ〕〔ス〕シテ便己ヲ非為

曰。鳥ト獸トハ與羣同。可〔ラ〕ス

孔安国曰。山ト林ト隱ト居レハ是レ鳥獸ト羣ヲ同スル

ナリ

吾レ斯人ノ徒與。非スシテ誰與

孔安国曰。吾レ自〔ラ〕當ニ此ノ天ト下ノ人ト羣ヲ同

ス〔ヘ〕シ。安ソ能ク人ヲ去テ鳥獸ニ從テ居乎

天ト下道有ルトキハ丘與易ス

孔安国曰。言ハ凡ソ天ト下道有トキハ丘皆與ニ易ヘ

〔ス〕己レカ大ニシテ人ハ小ナル故也

7 (454) 7 (467) 【子路從而後章】

子路從而後。丈一人ノ杖以テ篠荷遇

包氏曰。丈一人ハ老ト者。篠竹ノ器ノ名ナリ

子路問曰。子夫ト子ヲ見乎。丈一人ノ曰。四ト体ヲ

勤ス。五ト穀ヲ分タス。孰ヲカ夫ト子ト為

包氏曰。丈一人ノ云ク。四ト体ヲ勤ト勞セ〔ス〕。五ト



微子

穀ヲ分チウ殖ウエ(ス) 誰ヲカ夫一子ト為シテ之ヲ索モトメ邪ヤ

其ノ杖ヲ植タテ芸クサキル

孔安国曰。植シヨクハイ倚一也 草ヲ除ハラフ芸曰フ

子路拱立ケウシテクテリ

未タ答ヘン所一以ヲ知(ラ)(ス)

子路ヲ止トメ宿セシム 雞ニワトリ殺コロシ黍シヨ為ツク食テクラ其ノ二一子

ヲ見マミ明一日子路行ユイテ以テ告マフス。子曰。隱一者シヤ也 子

路ヲシテ反カヘンテ之ヲ見使ミセシム至ル則二行13アリキアリ

孔安国曰。子路反カヘテ其ノ家ニ至ルトキ丈一人出テ行テ

在ラ(ス)

子路曰 仕ツカヘ(サル)コトハ義無レハナリ

鄭玄曰。言ヲ留テ以テ丈一人ノ二一子ニ語ル

長一幼ノ節14廢スツ可(ラ)(ス)ンハ君一臣ノ義如イ一之カシ何ソ

其レ廢ス

孔安国曰。言ハ女父一子相ナシテ養テ廢ス可(ラ)(サル)

ヲ知(ル)反テ君一臣ノ義ヲ廢(ス)可ン邪

其ノ身ヲ潔イサキヨフセントホツシテ欲リ大倫乱リ

包氏曰。倫ハ道一也。理一也。

君一子ノ仕ツカフル其ノ義ヲ行ヲコナハント《也》道ノ行レ(サ)

ルコトハ己之(ヲ)知シ

包氏曰。言ハ君一子仕コトハ君一臣ノ義ヲ行ハン所一

以ナリ 自必モ道行コトヲ得(ス)孔子ノ道用ヒ見

レ(サ)ルコトハ自己レ之ヲ知レリ

8 (455) 8 (468) 【逸民章】

逸民伯夷 叔齊 虞仲 夷逸 朱張 柳下惠 少連

逸一民ハ節一行超一逸者ノナリ。包氏曰。此ノ七人

ハ皆逸一民ノ賢一者ナリ

子曰。其志ヲ降ス 其身ヲ辱ハツカシメ (サ)ルハ伯夷叔

齊與

鄭玄曰。言ハ其レ己カ心ヲ直シテ庸一君ノ朝ニ入(ラ)

(ス)

柳下惠 少連ヲ謂フ志ヲ降クダシ身ヲ辱ハツカシム言倫中行リ

慮中其レ斯而已

孔安国曰。但一能ク言倫一理ニ応シ 行思一慮ニ応セ

リ 此ノ如〔キ〕而已

虞仲 夷逸ヲ謂 隱一居シテ言放

包氏曰。放ハ置一也。置テ復タ世ノ矜 言〔ハ〕(ス)

身清ニ中廢 權中

馬融曰。清ハ純一絜。世ノ乱ニ遭テ身 廢棄以テ患

ヒヲ免レテ權合

我ハ則是レニ異ナリ 可モ無ク不一可モ無シ

馬融曰。亦必モ進ス 必シモ退カ(ス) 唯義在

所

9 (456) 9 (469) 【大師摯適齊章】

大師摯齊ニ適 臣飯干 楚適

孔安国曰。臣次一也。次ノ飯ノ樂一師也。摯干皆名。

三飯繚 蔡適 四飯缺 秦適

包氏曰。三一飯四一飯 樂一章ノ名ナリ 各ノ師異

ニス。繚缺皆名ナリ

鼓方叔 河ニ入り

包氏曰。鼓ハ鼓ミヲ摯者ナリ。方一叔ハ名ナリ。入ト

微子

ハ謂ク其ノ河内ニ居ル

播糞武ハ漢ニ入り

孔安国曰。播揺ノ猶〔シ〕。武ハ名也

少師ノ陽摯磬襄 海入ル

孔安国曰。魯ノ哀公ノ時ニ礼壞 樂崩 樂一人皆去

又 陽襄ハ皆 名ナリ

10 (457) 10 (470) 【周公謂魯公曰章】

周公魯公ニ謂 曰〔ク〕

孔安国曰。魯公ハ周公ノ子伯禽ナリ 魯ニ封

君一子ハ其ノ親施ス

孔安国曰。施易一也。他一人ヲ以テ其ノ親ニ易(ス)

大一臣ヲシテ以(ス) ト云ニ怨使ス

孔安国曰。以ハ用一也。怨 聽 用ヒ見(サル) コ

トヲ

故一旧 二大一故無キ則ハ棄ス 備 一一人ニ求ル

コト無シ

孔安国曰。大一故トハ惡一逆ノ事ヲ謂〔フ〕

微子 子張

11 (458) 11 (471) 【周有八士章】

周二八一士有リ。伯達 伯适 仲突 仲忽 叔夜 叔夏

季隨 季騶

包氏曰。周ノ時二四一乳 八一子ヲ得タリ 皆顯一士  
為 故ニ之ヲ記スル耳

論語子張第十九

1 (459) 1 (472) 【士見危致命章】

子張カ曰。士危ヲ見テハ命ヲ致

孔安国曰。命ヲ致トハ其ノ身ヲ愛(ス)

得 見テハ義ヲ思フ 祭リニハ敬 思フ 喪哀 思フ

其レ可ナラク已

2 (460) 2 (473) 【執德不弘章】

子張カ曰。徳ヲ執 弘 ス

道 信スルコト篤 ス 焉 能ク有為 焉ソ能ク亡為

孔安国曰。言ハ輕一重スル所口無(シ)

3 (461) 3 (474) 【子夏之門人章】

子夏カ門一人交 子張ニ問フ

孔安国曰。人ト交 接 道ヲ問フナリ

子張カ曰。子夏云 何 对テ曰 子夏カ曰 可ナラ

者 與 其ノ不一可ナラン者ノニハ拒 子張カ曰

吾カ聞 所口ニ異 君一子ハ賢ヲ尊衆ニ容 善ヲ嘉 不

能ヲ矜 我レ大一賢ナラハ人 與 何容(ス)ト云所

ロカアラン 我レ不一賢ナラハ人ニ與 將ニ我ヲ拒

如之何其レ人ヲ拒

包氏曰。友 交ラハ當ニ子夏カ如クス(ヘ)シ 汎

交ラハ當ニ子張カ如ス(ヘ)シ

4 (462) 4 (475) 【雖小道章】

子夏カ曰。小一道ナリト雖トモ必ス觀可キコト有リ

小一道トハ謂ク異一端ナリ

遠 致 泥 泥 恐

包氏曰。泥 難シテ通(セ)(サル)ナリ

是 以テ君一子ハ為ス

5 (463) 5 (476) 【日知其所亡章】

子夏カ曰。日其ノ亡ヒトニ 所ヲ知リナカツシ

孔安国曰。日其ノ未タ聞ヒトニ〔カ〕(サ)ル所ヲ知ルナリ

月 其ノ能ツキクニ 所ヲ忘ヨクスル 無ヲ学好ワスル、コト 謂可カラク也コノムトイフ 已イノミ

6 (464) 6 (477) 【博学篤志章】

子夏カ曰。博学ヒロクマナンテアツクシル 篤志

孔安国曰。広ク学ンテ厚アツク之ヲ識シル

切タシカニ 問テ近思チカクラモフ

切ニ 問トハ切タシカニ 己レカ学ンテ未タ悟サトラ(サ)ルノ事ヲ問

フナリ 近ツ 思フトハ近ク己レカ能ツ 及フ所ノ事ヲ思

フナリ 汎ヒロク 未タ学ハ(サ)ル所ヲ問ヒ 遠ク未タ達

セ(サ)ル所ヲ思フ則ハ 習フ所ノ者ニ於テ思フ所ノ

者ニ精シラ(ス)ハ解サトラ(サ)ルナリ

仁其ノ中ナカニ在リ

7 (465) 7 (478) 【百工居肆章】

子夏カ曰。百コウイチクラニイテ工肆 居以テ其コトヲナス 事成 君マナンテ子学 以

テ其ノ道イタスヲ致

包氏曰。言八百コウ工其ノ肆イチクラニラル 处則ハ事ナラシ 成ル 猶君ナラシ

子張

子ノ学テ以テ其ノ道ヲ立カコトシ

8 (466) 8 (479) 【小人之過也章】

子夏カ曰。小一人ノ過6 アヤマツテハ 必ス文カザル

孔安国曰。文カザルトハ 其ノ過アヲ節 其ノ情カサリテ一実ヲ言〔ハ〕

(サル)ナリ

9 (467) 9 (480) 【君子有三变章】

子夏カ曰。君ノソムトキニゲン子ハ三ケン一ケン变有リ 望ケン 儼ケン一ケン然 即

温 其ノ言聽コトヲキクトキレイナリ 厲

鄭玄曰。厲レイハゲン儼セイナリ一正

10 (468) 10 (481) 【君子信而後劳其民章】

子夏カ曰。君ヲレヲヤマシムトス子ハ信アリテ後ニ其ノ民ヲ劳セシム 未

タ信アラ(サ)ル則ハ以テ己ヲレヲヤマシムトス 厲 為

王肅曰。厲ハ病ノ猶〔シ〕

信イサムアリテ後ニ諫イサム 未タ信アラ(サ)ル則ハ以テ己ヲレヲソシルト 謗

為ス

11 (469) 11 (482) 【大德不踰閑章】

子夏カ曰。大ノリヲコヘ一德ハ閑 踰ス

子張

孔安国曰。閑カシハ法ノ猶シ〔シ〕

小一徳ハ出シ入リ可シナリ

孔安国曰。小一徳トハノリヲコヘ法ノ躐ハ〔サ〕ルコト能ハ〔ハ〕〔ス〕

故ニ出入可ト曰フ

12 (470) 12 (483) 【子夏門人小子章】

子游カ曰イ。子夏カ門一人小一子セイヤウヨウタイ洒掃ハ應對進退アタツテハ二當ハ

則チ可ナリ 抑ソモク末也スヘナリ 本則モトノ子無ナイコトイカシ 如之何

包氏曰。言ハ子夏カ弟一子賈一客二當一対シ威儀レ礼一

節ノ事修ルニ於テハ則チ可ナリ。然トモ此レ但是人

ノ末ノ事耳 其ノ本無ンハアル可レ〔ラ〕〔ス〕 故ニ本

ノ則チ無ナイコトイカシ 如之何ト云

子夏聞曰キイタイ 噫イ、ナゲク

孔安国曰。噫イ、ハ心口平ハラカ〔ナラ〕〔サ〕ルノ声コヘナリ

言一游過ゲン 君一子ノ道執イツレカ 先ツ伝ツクヘイ 執力後二倦ウマン

包氏曰。言ハ先ツ大業ヲ伝ルハ必ス厭ウムヒ倦ウマン 故ニ我カ

門一人ニ先ツ教ルニ小事ヲ以ス 後 将ニ教ニ大道ヲ

以ス

諸草一木ノ区マチクニシテ 以テ別ワカレアルニダトフ 譬コトヲ

馬融曰。言ハ大一道小一道ト殊ニ異イナリ 譬ハ草一木ノ類

ヲ異ニシテマチクニシテハカレアルカ 別マ 如シ 言ハ学ハ當ニ次ヲ以

〔ス〕〔へ〕〔シ〕

君一子ノ道焉イソ誣シイシム 可シキ

馬融曰。君一子ノ道ハ焉イソ誣シイシム 使ヘシ 言ハ我カ門一人

但能ク洒掃セイ 而已サウストラクノミ

始メ有リ率アハリ 有ルハ其レ唯聖一人乎カ

孔安国曰。終一始一ノ如クナルハ唯聖一人耳ノミ

13 (471) 13 (484) 【仕而優則学章】

子夏カ曰。仕ツカヘテユタカナル 優マナフ 則ハ学マナフ

馬融曰。行余一力有ル則ハ以テ文ヲ学フ

学テ優ユタカナル 則ハ仕ツカフ

14 (472) 14 (485) 【喪致乎哀章】

子游カ曰。喪モハアライタイシテヤム 致ツク 止トドマ

孔安国 毀性キキハヲ滅セ〔サ〕レ

15 (473) 15 (486) 【我友張也章】

子游カ曰。吾カ友張 能難 為

包氏曰。子張カ容儀ノ及ヒ難キヲ言〔フ〕

然レトモ未タ仁アラス

16 (474) 16 (487) 【堂堂乎張也章】

曾子カ曰。堂一 堂タルカナ張 與並 仁ヲ為 難シ

鄭玄曰。言ハ子張カ容儀盛ニシテ仁一 道ニ於テ薄

17 (475) 17 (488) 【吾聞諸夫子章】

曾子カ曰。吾レ夫一 子ニ聞 人未タ自致 有〔ラ〕ス

必ス親ノ喪乎

馬融曰。言ハ人未タ自他ノ事ヲ致一 尽スコト能〔ハ〕

(ス)〔ト〕雖〔モ〕親 喪至テハ必ス自致一 尽ス

18 (476) 18 (489) 【吾聞諸夫子孟莊子之孝也章】

曾子カ曰。吾レ夫一 子ニ聞 孟莊子カ孝ヲ 其ノ他ヲハ

能 可シ 其ノ父ノ臣ト父ノ政ヲ改 (サ) ルコト是レ

難

馬融曰。孟莊子ハ魯ノ大一 夫仲孫速一 也。諒一 闇 中

ニ在〔テ〕父ノ臣及父ノ政コト不一 善一 者ナリト雖

子張

〔モ〕改ルニ忍〔ヒ〕(サル)ヲ謂〔フ〕

19 (477) 19 (490) 【孟氏使陽膚為士師章】

孟氏陽膚シテ士一 師為使

包氏曰。陽一 膚。曾子カ弟一 子ナリ。士一 師ハ典一 獄

ノ官ナリ

曾子ニ問フ。曾子カ曰。上其 道ヲ失 民ミ散セルコ

ト久シ 如其ノ情 得テ則哀一 矜 喜コト勿レ

馬融曰。民ノ離一 散シテ 輕一 漂為法ヲ犯スハ乃チ上

ミノ為所ナリ 民ノ過ニ非〔ス〕 當ニ之ヲ哀一 矜

自〔ラ〕能ク其ノ情ヲ得ト喜コト勿ル〔ヘ〕シ

20 (478) 20 (491) 【紂之不善章】

子貢カ曰。紂 不一 善ナルコト是ノ如ク甚シキハアラス

是 以テ君一 子ハ下一流 居 惡 天一 下ノ惡皆帰

孔安國曰。紂 不一 善ヲ為シテ以テ天一 下ヲ喪 後一 世

憎 甚シ 皆天一 下ノ惡ヲ以テ之ヲ紂ニ帰ス

21 (479) 21 (492) 【君子之過也章】

子貢カ曰。君一 子ノ過 日一 月ノ食 如シ 過 人

子張

皆見ル 更アラタマルトキハ 人 皆仰アツク

孔安国曰。更改カウハ一也

22 (480) 22 (493) 【衛公孫朝章】

衛ノ公孫朝

馬融曰。朝ハ衛ノ大一夫ナリ

子貢ニ問テ曰。仲尼焉イツレカマナヒシ 学 子貢カ曰。文一武ノ道未タ

地ニ墜スシテ人ニ在リ 賢一者ハ其ノ大ヲ、イナル 者ノヲ識シル

不一賢一者ハ其ノ小スコシキナル 者ノヲ識シル 文武ノ道有一ラ

スト云コト莫シ 夫一子焉イツクンソマナヒ 学 (サ) ラン

孔安国曰。文一武ノ道未タ地ニ墜一落(セ) (ス) シ

テ賢ト不一賢ト各ノ識所口有リ 夫一子從シタガフテ 学ハ

(ス) ト云所口無シ

而シテ亦タ何常ノ師ト云コトカ有アラシ

孔安国曰。從シタガフテ 学ハ (サ) ル所無キカ故ニ常ノ師無

ト曰 (フ)

23 (481) 23 (484) 【叔孫武叔語大夫於朝章】

叔孫武叔大一夫ヲ朝ニ語シタソシブシテ

馬融曰。魯ノ大一夫叔孫州仇キウナリ。武ハ諡フクリナナリ

曰 子貢仲尼ニ賢マサレリシ 子一服一景一伯以テ子貢ニ告。子貢

カ曰。宮一牆シヤウニ 譬フレハ賜カ牆肩及ヘリ 室一家ノ

好 闕一見 夫一子ノ牆數一仞 其ノ門得テ入イラ (ス)

ハ宗一廟ノ美百一官ノ富見シ 其ノ門得者或寡カトラウルモノモシクハスクナシ

包氏曰。七一尺ヲ仞ト曰フ

夫一子ノ云イヒケンコト 亦タ宜ムヘナラ ス乎ヤ

包氏曰。夫一子トハ謂ク武叔ナリ

24 (482) 24 (495) 【叔孫武叔毀仲尼章】

叔孫武叔仲尼ヲ毀ソシル。子貢カ曰。以テ為スルコト 無シ 仲尼ハ

毀可(ラ) ス 他一人ノ賢一者ハ丘一陵ナリ 猶ヲ踰コヘツ

可シ 仲尼ハ日月ノ如シ 得テ踰コユルコト 無ケン 人自絶ミクヘマク

欲スト雖トモ其レ何ナンソ 日月ヲ傷ヤフランヤ 乎 多其ノ量リ知ラ

(サ) ルヲ見ル

言ハ人自ミ (ラ) 日一月ヲ絶タチ 棄ステマク 欲 (スト) 雖 (トモ)

其レ何ソ能ク之ヲ傷ヤフランヤ 乎 適自マサニミ (ラ) 其ノ量リ知

(ラ) (サル) ヲ見 (ル)

25 (483) 25 (496) 【陳子禽謂子貢章】

陳子禽 子貢ニ謂曰。子 恭為 仲尼 豈二子ニ賢

乎。子貢カ曰。君一子ハ一以テ知為 一以テ不

知ト為 言慎マ(ス)ンハアル可(ラ)ス 夫一子ノ及

フ可ラ(サ)ルコト猶ヲ天ノ階 升可(ラ)(サ)ル

カコトシ 夫一子ノ邦一家ヲ得テントキハ

孔安国曰。諸侯若シクハ卿一夫為ヲ謂(フ)

謂所立 斯立道 斯行 綏 斯来

動 斯二和ス 其レ生 榮其レ死ヌルトキハ哀

如之何其レ及ブ可ケン也

孔安国曰。綏安一也 言ハ孔子政コトヲ為ルニ其レ

教ヲ立ル則ハ立(タ)(ス)ト云コト無シ 之ヲ道

則ハ興行 (ス)ト云コト莫シ 之ヲ安ンスル則ハ

遠者ノ来リ至ル 之(ラ)動(ス)則ハ和一睦

(サル)(コト)莫(シ) 故ニ能ク。生 則ハ榮一顯

七見。死ル則ハ哀一痛七見ル

子張 堯曰

論語堯曰第二十

1 (484) 1 (497) 【堯曰章】

堯ノ曰。咨爾舜 天ノ曆一數爾 躬在リ

曆一數ハ列次ヲ謂(フ)

允 其ノ中ヲ執 四一海困一窮 シテ天ノ禄永終

包氏曰。允信一也。困極一也。永長一也。言ハ政

ヲ為ルニ信ニ其ノ中ヲ執ル則ハ能ク四一海ヲ窮一極ス

天ノ禄長ク終 所一以ナリ

舜亦タ以テ禹ニ命ス

孔安国曰。舜亦タ堯ノ己レニ命スルノ辞ヲ以テ禹ニ命

ス 曰 予小一子履 敢玄一牧ヲ用ヒテ敢テ昭 皇一皇后一

帝ニ告

孔安国曰。履ハ殷ノ湯ノ名也 此ハ桀 伐天ニ告ノ

文ナリ。殷ノ家ニハ白ヲ尚 未タ夏ノ礼ニ變(セ)

(ス) 故ニ玄一牧ヲ用ル。皇ハ大ナリ。后ハ君一也。



堯曰

大―夫タル君―帝トハ天―帝ヲ謂〔フ〕。墨子ニ湯誓ヲ引ニ其ノ辭ハ此〔ノ〕若シ

罪ミ有ラハ敢テ赦シ

包氏曰。天ニ順〔テ〕法ヲ奉〔ク〕罪有〔ラハ〕敢

テ擅ニ赦サ〔シ〕

帝臣蔽ス簡 帝ノ心ニ在リ

言ハ桀帝―臣ノ位ニ居リ罪過有ラハ隱蔽ス可〔ラ〕

〔ス〕 已ニ簡天―心ニ在〔ル〕故也

朕躬罪有ラハ万―方ニ以スルコト無ケン 万―方罪有ラ

ハ朕躬在ラン

孔安国曰。万―方〔ヲ〕以スルコト無トハ万―方ニ與

ラ〔ス〕 万―方ニ罪有ハ我カ身ノ過ナリ

周二大ナル賚 有テ善―人は是レ富リ

周ハ周―家ナリ。賚賜―也 言ハ周―家天ノ大ナル

賜ヲ受テ善―人ニ富ナリ 乱―臣有ト云十人は也

周―親 有ト雖トモ仁―人ニ如ス

孔安国曰。親而不―賢不―忠ナル則ハ之ヲ誅ス 管―

蔡是―也。仁―人トハ箕子微子来ル則ハ之ヲ用〔フ〕

百―姓過 有ラハ予―人在ラン 權―量ヲ謹 法―

度ヲ審 廢 官ヲ修 四―方ノ政 行ハル

包氏曰。權ハ秤―也。量ハ斗―斛ナリ。

滅 國ヲ興 絶 世ヲ繼 逸―民ヲ拳テ天―下ノ民心ヲ

婦 重 所ハ民―食ク喪―蔡

孔安国曰。民ヲ重ルハ國ノ本 也。食ヲ重ルハ民ノ命

也。喪ヲ重ルハ哀ヲ尽ス所―以ンナリ。祭ヲ重ルハ敬

ヲ致ス所―以ナリ

寛ナル則ハ衆ヲ得。敏ナル則ハ功有リ。公ナル則ハ民

説フ

孔安国曰。言ハ政―教公―平ナル則ハ民ミ説フ 凡ソ

此ノ二帝三王治ル所―以 故ニ伝ヘテ以テ後世ニ示ス

2 (485) 2 (498) 【子張問政於孔子章】

子張政ヲ孔子ニ問フ 曰。何如斯 以テ政ニ從 可キ

子曰。五―美尊 四―惡ヲ屏 斯レ以テ政コトニ從シム

可シ

孔安国曰。屏ハ除一也

子張カ曰。何カ五美ト謂フ。子曰。君一子ハ慧ケイトモツイヘス。費

ス。勞スレトモ怨ウラミス。欲ホツスレトモムサホラス。泰ユタカナレトモヲコラス。驕ケイス

威アレトモ猛タケカラス。子張カ曰。何カ惠スレトモ費ツイヘスト

謂フ。子曰。民ノ利トスル所口ニ因テ之ヲ利ス。斯レ亦

惠スレトモ費ツイヘ(サ)ルニアラス乎ヤ

王肅曰。民ヲ利ルコト政ニ在リ。財ヲ費ツイヤスコトト無シ

其ノ勞ス可キヲ扱エラシテ之(ヲ)勞ス。又誰タレヲカウラミント。仁ヲ欲

シテ仁ヲ得エタリ又焉イフクンソムサホラント。君一子ハ衆一寡ト無ク小大

ト無ク敢テ慢アナトルコトト無シ

孔安国曰。言ハ君一子ハ寡小ヲ以テ人ヲ慢アナ(ト)ラ

(ス)

斯レ亦泰ユタカナレトモヲコラス。驕(サ)ルニ(アラ)ス乎ヤ。君一子ハ其ノ

衣一冠ヲ正フシテ其ノ瞻視ミ尊儼ミル一然タリ。人望ノソンテ

畏斯レ亦威アレトモ猛タケカラス(サ)ルニ(アラ)ス乎ヤ。子張

カ曰。何カ四一惡ト謂フ。子曰。教(ス)シテ殺サツスル之ヲ

虐ギヤクト謂フ。戒(ス)シテ成ナルラミル之ヲ暴ボウト謂フ

堯曰

馬融曰。宿アラカシメ10戒メ(ス)目一前ニ成ヲ責ルヲナル成

視為ミルトス

令慢レイマナトツテキライタスレ。期致ゾク之ヲ賊ゾクト謂フ

孔安国曰。民ト信無シテ虚ムナシク期キヲ刻キム

猶11人ニ與アタフルニイタシイル、ニヤアサカナルカト。出納コトシ之ヲ有一司ト謂フ

孔安国曰。謂ク財一物俱二人ニ與フ當クシテ出シ内ル、

二吝リン一嗇シヨクス。之ヲ惜ヲシム一難ハム。此レ有一司ノ任ナラク耳ノイ

人一君ノ道ニ非(ス)

3 (486) 3 (499) 【不知命章】

孔子曰。命ヲ知(ラ)(ス)ンハ以テ君一子為タルコトト無シ

孔安国曰。命トハ窮一達ノ分ヲ謂(フ)

礼ヲ知(ラ)(ス)ンハ以テ立タツコトト無シ。言知(ラ)(ス)

ンハ以テ人ヲ知ルコト無シ

馬融曰。言聽ハ則チ其ノ是非ヲ別ク也13

校異並補注

論語序

1 各本「シヤウ」と附訓 2 各本「マサレリ」と附訓 3 静本「ケウ」内本「ク井ウ」岩本「ク井ヨウ」と附訓 4 各本「古論ニモ」5 各本「ナツケテ」6 岩本内本洋本「クン」7 「邕」岩本内本静本京本「井ヨウ」、洋本「イウ」

学而第一

1 各本「孔子ヲ謂」このような清家点本との異説は繁見するが、全ては挙げない。 2 各本「時ヲ以テスルトキハ」3 各本「説憚ヲ為ス所一以ナリ」4 静本京本岩本内本「来レル」5 静本岩本内本「恭順アリ」洋本「恭順ニシテ」6 静本京本岩本洋本「ヨクスル」7 各本不読 8 各本「其」を「有」に作るので「仁有ルコト」9 京本岩本洋本「曾參ソ」、清家点系はゾ式の訓読が主で、本冊は「ナリ」式が主である。 10 各本「講習ハスト云コト無シ而（テ）伝フルコトヲ得ン乎」11 岩本京本内本洋本「アユミト」12 岩本京本内本洋本「モモチ」13 各本「焉」「義」二字の位置が左右逆（洋本は本冊と同じであるが訂正す）であるので「義疑シ故ニ両<sup>フタツナカラ</sup>存ス」と訓ず。

14 洋本「シタシウス」とも。 15 岩本内本洋本「ケンヲケントセハ」とも。 16 洋本「ヲシマサルソ」17 静本岩本「アタラス」18 各本「ヨル」注も同じ 19 各本「之」不読。本冊は「之」を積極的に読み、他の清家点系本は不読。以下いちいち挙げず。 20 京本岩本「節スルコトヲ為ス」洋本「節ヲ為サス」21 洋本「猶ヲ覆ノコトシ」、猶は「ナラリコトシ」「コトシ」「ナラ」等多様に読まれているが単に返点のみの場合、今は「コトシ」と読む。 22 洋本「シヒ」23 静本京本岩本内本「貧シク賤シキ」、かかる音読訓読の違いは数多あり以下はいちいち挙げず。 24 各本「諸」不読

為政第二

1 岩本静本「帰スルソ」2 岩本「クワシキムネヲ」3 内本「言」4 内本「別<sup>コトナル</sup>無ケン」5 洋本「チクチク」6 岩本京本内本「乃」洋本「乃」7 岩本内本「ナンチ・スナハチ」両訓、洋本「ナンチ」8 静本京本岩本内本「先ツ食スルヲ」洋本「食ヲ先ス」9 洋本「モクトシテ」10 各本「ミレハ」11 洋本「新シキ者ヲ知ヲハ」12 洋本「アタル」13 岩本内本洋本「施コサスト云」14 洋本「終卒コトヲ得ス」15 内本「也已」16 各本「知ナリ」17 各本「以爲」を先読する。「或人以爲

ラク……」 18 洋本「ヨコキ」 19 京本静本「サイハイ」  
八倫第三

1 岩本静本洋本「イツレヲカ」岩本洋本は両読。 2 「ニ」に

うす墨にて「ヲ」と「ノ」を加筆する。各本「奢レルニ失ス」

3 静本「ヤママツリス」 4 洋本「マシハル」と「陪」に訓

5 洋本「ナンチ」とも訓 6 内本「ニタモ」 7 各本「アラ

カフ」 8 「於射而後」とあり。洋本は「射ニ於（イテ）而

シテ後ニ争コト有リ」と訓む。 9 内本岩本洋本「筭多キカ筭

少ナキニ飲<sup>ノマシムルハ</sup>」 10 各本「何ト謂フコトソ」 11 各本「イツセ

リ」 12 岩本洋本「一以テ成ルニ喩フ」 13 岩本内本「孔子ノ言

ノ」 14 各本「礼ニ喩ト云コトヲ解リ知ヌ」 15 洋本「降<sup>カウ</sup>セシム」

16 静本岩本「知ラサルト云コトヲ以スルコトハ」 17 岩本京

本静本内本「タナココロ」 18 岩本静本内本洋本「サトリヤス

シ」 19 洋本「イケルニ」 20 各本「或ルトキハ」 21 京本内本

「ミツカラ」 22 洋本「ナサ」 23 各本「謂コトソ」洋本、「謂コ

トゾヤ」 24 岩本京本静本内本「以テ喩フ近臣ニ」下同。 25

各本「チカツケ」洋本「ムツマシシテ」 26 岩本京本内本「慎

コトノ」 27 岩本静本京本内本「同セ（ス）」 28 岩本洋本「ナ

マシキヲ」 29 各本「其ノ礼廢レタルヲ見ル」 30 岩本静本内本

「時ニ」洋本「時ノ」 31 洋本「以テ礼有ル者ヲ」 32 岩本京本

内本洋本「ミタリニ」 33 各本「解キ説ク」 34 岩本静本京本内

本「ケンアリ」 35 岩本静本「之ヲ謂テ太タ儉スト以為ラク」

京本「之ヲ太タ儉スト以為ヘリ」内本洋本「太タ儉ナリト謂フ

ト以為ラク」 36 洋本「家臣トシテ職ヲ備ル□儉ト為ニ非（ス）」

37 洋本「其声ヲ尽クス」 38 洋本「諧」に「カナフ」と訓

39 洋本「ヨウナラン」 40 各本「ムカシヨリ」 41 静本「シヨウ

京本「セウ」 42 内本「シナン」 43 洋本「ヲコナフ」

#### 里仁第四

1 岩本内本「サトハ」 2 各本「クルシムトキハ非<sup>ヌ</sup>ヲ為（ナス）」

3 岩本静本京本内本「アキラカニス」 4 岩本静本京本内本

「スミヤカニスミヤカナルソ」 5 各本「タフレフソ」 6 各

本「我レ未タ見ス……」 7 各本「サヘニ」 8 岩本静本内本

「如カシ、仁ヲ……」と「不如」を先読。 9 各本「スルハ」

洋本「スルコト」 10 各本「テハ」 11 岩本静本内本「ルマテニ」

12 岩本静本京本内本「在ル所ノママナリ」洋本「在ユル所」

13 洋本「遷コトカタキソ」 14 原文「参乎」岩本内本「シン

ナルカナ」 15 洋本「タダチニ」 16 各本「何ト謂フコトソ」

17 静本京本「ツカフマツルコト」 18 各本「ルニ」 19 岩本静本

洋本「ヨリ」 20原文「奢則」洋本「奢ハ則チ」 21岩本静本京本内本「ヒトリアラ」 22岩本「カソフルトキハ」とも訓。

### 公治長第五

1各本「リュハ」洋本「ル」 2各本「信セラルルコト」 3各本「アメルソ」 4岩本静本京本「小キナルヲ」 5岩本内本「取ル所口無イカナ」とも訓。「材」を「哉」と同じと解する古注の一説による訓。 6「無<sup>トハ</sup>所<sup>レ</sup>復取<sup>レ</sup>哉」とある。各本「無<sup>レ</sup>所<sup>レ</sup>復取<sup>レ</sup>哉<sup>カトハ</sup>」と。 7各本「イニシヘ」 8岩本「吾レ女如カスト云コトヲユルス」とも訓。 9各本「ヲ」 10岩本内本「ヤトハ」 11岩本静本京本「スルソ」 12岩本静本京本内本「アキラカニシテ」 13岩本静本京本内本「寝タルニ発ス」 14岩本内本「著ハレ見エ」洋本「著ハシ見エ」 15洋本「己ヨリ下」内本「己カ下<sup>シモ</sup>」 16岩本「オケルコト」 17洋本「知<sup>リ</sup>」内本「知<sup>リ</sup>」以<sup>テ</sup>「非ル」 18各本「可ナルコト有コト無シ」 19虫損不明。各本「再思テモ(ツモ)」 20岩本静本京本内本「及バジ」 21岩本静本内本「ヲヨソツ可シ」 22岩本内本「(ベ)カラク」 23洋本「カヘル」各本「カヘンヌ」 24各本「ヤフツトモ」 25各本「忠信丘カ如キ者有ラハ焉ゾ丘カ学ヲ好ニ如カサラン」岩本静本は両訓。

### 雍也第六

1各本「ヲバ」 2各本「見ユルコト無シ」 3「曰<sup>ク</sup>可也」各本「曰<sup>ク</sup>可也」 4各本「リキ」 5岩本静本京本内本「情ニ任セテ」 6各本「喜ヒ怒ルコト理ニ違ヘリ」 7岩本静本京本内本「任セテ」 8各本「移<sup>カス</sup>易<sup>カス</sup>」 9岩本京本静本「未タムカシヨリ」 10岩本「ス」 11各本「冉有カアタヘタルコトノ太ハタ多コトヲ非ル」 12内本「之カ宰タリ」 13岩本静本京本内本「魯司寇ト為シテ」 14各本「家邑ノ宰ト為」 15「所<sup>レ</sup>當<sup>レ</sup>受<sup>ル</sup>無<sup>レ</sup>以<sup>テ</sup>讓<sup>ル</sup>」 16各本「カ」 17岩本「ス」 18各本「周正ニシテ」 19岩本静本京本内本「其ノ生<sup>ケル</sup>所<sup>ノ</sup>犁<sup>ヲ</sup>以<sup>テ</sup>」 20各本「舍<sup>ケル</sup>ツ肯<sup>ヤ</sup>」 21岩本静本京本内本「時ヲ移シテ」 22各本「一ヲ謂フ」以下同様。 23各本「季氏ノ宰<sup>ヲ</sup>為<sup>ル</sup>コトヲ」 24内本「ツクリ」 25各本「重ネテ来<sup>ル</sup>」以<sup>テ</sup>「我ヲ召フソ」 26各本「トフラフ」 27岩本静本京本内本「曰<sup>ク</sup>喪ナン」 28岩本静本京本内本「痛ミ惜コト甚シキナリ」 29岩本京本「樂フ所」 30各本「ヤムラクノミ」 洋本「ヤメルノミ」 31京本内本「イクサ」 32「殿テ」と訓ずるが意味不明ゆえ「ハ」にしておく。 33各本「マヘナルヲ」 「シリヘナルヲ」洋本「ウシロナルヲ」 34「為」字は補写して

- 訓む。 35岩本京本内本「アタヲフセケルニ」 36内本「有レヤ」とも訓。 37各本「善淫ナリ」洋本「善ク淫セリ」 38「者」各本不読。内本「者ノ」とも訓。 39岩本静本京本内本「カナラス」 40岩本静本京本内本「戸従ス」 41各本「ナカバナル」 42洋本「生シ」 43各本「ヲ」 44各本「学ヒ問テ」 45岩本京本静本「楽フ」 46内本「カミタル可（ク）シモタル可ヲ」 47岩本静本京本内本「仁ヲ為」 48岩本内本「ネカフ」とも訓。 49各本「メクラシテ」 50「不如已」如は知に作るべきで、岩本静本京本内本「已ムコト知ラサルガ如キヲ楽フ」 51各本「安ク固ク」 52各本「楽フ」 53洋本「壽考ナリ」 54各本「行レシ時」 55岩本静本京本内本「以テ諭フ——」と諭を先読。 56岩本静本京本「乎否」で「イナヤ」と訓。内本「乎否乎」で「ヤイナヤ」。 57各本「一ヲ極メ観マク」 58岩本静本京本内本「君一子ヲバ」 59各本「投一従シ」 60京本「ツツマヤカニスルニ」とも訓。 61岩本静本内本「ノヘテ」とも訓。 62岩本内本洋本「フサカル所ニハ」とも訓。 63岩本内本洋本「フサカル」とも訓。 64各本「事ニ」。本冊は「ワサ」と読むか。 65京本「之ト」 66岩本内本「廢タリ」、スタレと読むか。 67各本「久トハ適今ノミニ非ソ」 68各本「済フハ」 69岩本静本京本内本「至一聖モ」
- 述而第七
- 1各本「ノヘラクノミ」 2各本「有ルソ」京本「有り」 3各本「久シイカナ」 4各本「タモ」は無い。 5各本「明ケシ盛ンナン（ナリシ）」 6岩本静本京本内本「欲シキ」 7各本「ヲ志ヒ」 8各本「道ヲハ体ス可ラス」 9岩本内本洋本「故ニ志ラクノミ」 10各本「扱」 依 11各本「マタセス」 12岩本静本内本「イマシ」 13各本「ヒラキヲコシテ」 14各本「識リ思フ」 15各本「是ノ日ニシテ」 16各本「ウタウタハ」 17岩本静本京本内本「我レ爾力はレ有ルコトヲ與ス」とも訓。 18各本「己レ勇アリ 夫子ノ三軍ノ將タランニ至テハ當ニ唯タ己ト俱ナルベシト以為ヘラク」 19各本「求メツ可クハ（クンハ）」 20各本「鞭ヲ執リ」 22岩本京本静本内本「イヤシキツトメ」 23各本「習ハスヲ」 24各本「此ニ至ト云コトヲ」 25各本「故ニ問フ其ノ意一」 26各本「故ニ知ヌ 衛ノ君ヲ助（ケ）シト云コト明ケシ」 27各本「タノシフコト」 28岩本静本京本内本「富貴」 29各本「ニ」 30岩本「タタシフ」 31各本「ムトキハ」 32各本「ザレバナリ」 33各本「ツトメシメントナリ」洋本「ス、メナリ」 34各本音読。 35各本「忍

テ言ハサル所也」 36各本「援クルニ聖一性ヲ以テシテ徳ヲ天地ニ合<sup>カ</sup>ヘテ吉ニシテ利セスト云コト無ヲ謂フ」 37各本「子」音読。 38各本「トク」 39各本「ヲコナフトシテ」 40岩本靜本京本内本「ナンヂタチ」 41各本「君子ヲタモ見ルコト得テハ」京本「見コト得テハ君子ヲタモ」 42岩本靜本京本内本「ニクム」 43岩本靜本京本内本「ヨコサマニ」 44各本「知レルニ次者<sup>ヅ</sup>ノナリ」 45岩本靜本京本内本「ヒトツニシテ」 46各本「若<sup>モシ</sup>聖ト仁トニハ」 47各本「アヘンヤ」 48各本「正トハ言フ所ノ如キノ」 49各本「ウシナヘリ」 50岩本靜本京本内本「憂ヘ懼ルルコト」 51内本「ウヤウヤシフシテ」とも訓

泰伯第八

1各本「タモタン」 2各本「ヲソリヲソル」 3各本「其ノ故旧ヲ遺レ忘レサルハ」 4各本「起テ仁厚之行ヲ為<sup>ナ</sup>テ」 5岩本靜本京本内本「ク井シヤウ」と音読。 6各本「ミセ」 7各本「ソコナヒヤフル所」 8各本「マヌカレント云コトヲ知ンヌ」 9各本「乃<sup>イ</sup>シ」 10各本「悪戾ノ言耳ニ入ル無シ」 11岩本「ツグ」とも訓。 12各本「サルハ」 13各本「シヒテ」 14京本「以ヲモテ」各本「以」に「コレ」と訓。 15岩本「ヒビニ」 16各本「美ルソ」 17各本「直<sup>ヨ</sup>ニ宜シ」洋本「宜ク直ナル

ベシ」本冊は「宜<sup>レ</sup>直<sup>ナル</sup>」 18各本「ニ」 19各本「謹一愿ニ宜シ」本冊は「宜<sup>ク</sup>謹<sup>シ</sup>愿<sup>ニ</sup>」とある。 20各本「信スベキニ宜シ」 21各本「ゴトクス」 22各本「乃シ」 23各本「ゴトクスラク」 24各本「天ヲ」 25各本「タルカナ」 26岩本靜本内本洋本「シカシテ」 27岩本靜本京本内本「一人ハ」 28各本「此ノ周ニナラフレハ」 29各本「ニヲ有テレトモ」 30各本「間<sup>シスルコト</sup>一厠」

子罕第九

1各本「フトキハ」 2各本「モハラ」 3各本「ヲ有<sup>ア</sup>トセス」 4各本「サレ」 5岩本靜本京本内本「見<sup>ニ</sup>」 「現」と同じ意ならむ。 6各本「ムヘカラサラマシ」 7各本「サルニ」 8京本靜本岩本「猶ヲ奈我何ト言カコトシ」 9岩本靜本京本内本「モシクハ」 10各本「ワカ、シトキニ」洋本「ワカカリシ時」 11靜本内本「當ニ多一能ナルヘカラス」 12各本「意ヲ知ル」 13各本「知レル者ハ言<sup>コト</sup>」 14洋本「タタイテ」とも訓。 15各本「タメニ愛ムコト有ラス」 16各本「已<sup>ヤシメルカ</sup>矣夫」 17岩本京本靜本「是ナリ」 18各本「ウレフルナリ」 19各本「ヤクスルニ」 20各本「使<sup>ツ</sup>我欲<sup>モト</sup>レ罷<sup>ト</sup>而不<sup>レ</sup>能」 21岩本靜本内本は「哉」に「カナ」と訓ず。 22各本「テライウル」 23各本「ユク者」 24各本「吾モヤンナン」 25岩本靜本京本内本「サキノ

- 功」 26各本「ヨシトセ」 27内本洋本「功ノ少スソキナルヲ見テ」  
 28岩本静本内本は「與」に「カ」と附訓。 29各本「サトレ  
 リ」 30各本「顔淵ヲ謂テ」注同 31各本「イタミヲシイコト」  
 32岩本静本京本内本「諭フ人モ亦然ニ」洋本「人モ亦然ナル  
 ニ諭フ」 33各本「イカント云コト」 34各本「主トスル所友ト  
 スル所ヲ慎ンテ」本冊は「慎シテ其所トスル主トスル所トスル友」但「ニ」は  
 朱筆である。 35岩本内本「スル」 36岩本静本京本内本「ヤ  
 フラ」 37岩本静本京本内本「食ヲ疾ミ伎害ヲ悪ム詩ナリ」 38  
 各本「苟モ容レラレサル」 39各本「憂ヘ患ル」 40各本「ヲソ  
 リ」 41各本「モシクハ」 42岩本静本京本内本「未タ必シモ能  
 ク道ニユカス」 43岩本静本京本内本「コトハ」 44岩本京本内  
 本「権ヲハ知ヌ可シ」 45岩本京本内本静本「次序有ラハ」
- 郷党第十
- 1岩本静本京本内本「トキニ」 2各本「シキミ」 3岩本内本  
 「門カ限」 4各本「ノブルトキニ」 5本冊左に附訓あり「階  
 ヲ下フリツク尽ス」とも訓ず。岩本京本内本「クダリテ」 6各本「キ  
 タシ時ニ」 7各本「使トシテ」 8岩本京本静本内本「モタリ」  
 9各本「宜ク敬スベキソ」 10各本「ヤワラケルソ」 11各本  
 「領一袖ノ縁ニセサルソ」 12各本「以テ飾ニスレハ」 13各本
- 「鞞ヲ以テ衣ヲ飾レリ」 14各本「以テ衣ヲ飾ラス」 15各本  
 「衣ストナラハ正服ニハ施ス所無ケン」 16岩本京本静本「單キトヒ  
 服」 17各本「カゴノ」 18各本「アタタカナルニ主ス」 19各  
 本「作事ニタヨリス」 20各本「接スルソ」 21各本「ホ」 22  
 各本「臭シユウ味ビ」 23各本「魚ノヤブレタルヲ」 24各本「時アラ  
 サレハ」 25各本「シシ」 26各本「公ニ」 27各本「トキニ」  
 28各本「牲一ニ体ヲ」 29岩本京本静本内本「アカチ」洋本「ア  
 ケテ」 30各本「留メシトナリ」 31各本「祭ルトキハ」 32各  
 本「驚サンコトヲ」 33岩本静本京本内本「敬ストナリ」 34岩  
 本静本京本内本「アカチ賜フ」 35各本「君祭ルトキハ」 36各  
 本「先ツ食ヲ嘗ルガ為タメノ若ク然ス」 37各本「趨ルソ」 38各本  
 「親シ一チツ昵無イソ」 39各本「通一財ノ義有ルレハナリ」 40  
 各本「家室ノ敬ハ久シウシ難キカタメ為ナリ」 41岩本洋本内本  
 「ノル」京本「ノホル」 42各本「安シトスル為所以ナリ」 43岩本  
 静本京本内本「前ハ」カタハラハ」 44各本「コレ」 45洋本  
 「クタリイル」 46岩本静本京本「共具キウス」
- 先進第十一
- 1各本「シタカヘシ」 2各本「孝アルカナ」 3各本「ミカイ  
 ツヘシ」 4各本「言ヲツツシメルナリ」 5各本音読。「コト



- ハ」か 6各本「カナシミスキタルソ」 7各本「我ニハ」 8各本「ツシル」 9岩本靜本京本内本「明ニシ」 10京本内本「イノチヲ」 11各本「更ニ」 12岩本靜本京本内本「イタハテ」 13岩本京本靜本「ホムルソ」 14内本「由ハ」 15岩本京本靜本内本「トク」 16岩本音読。 17京本靜本「ナオ勝ノコトシ」 18岩本内本「スマイヤケンス」 19各本「猶道ヲ知ニ至ラサルコトハ」 20岩本靜本京本内本「有レバナリ」 21各本「ツネニ」 22各本「タマサカニシテ」 23各本「多一少」 24岩本靜本京本内本「エラハンコト」 25各本「人ニ勝チマサラントスル」 26各本「匡ニ」 27各本「敢テ死ナン所口無シ」 28各本「謂ヘラク子異事ヲ問フトノミ」 29各本「問フ——ヤ」と問字先読。 30岩本靜本京本内本「トモニ大逆ヲセジ」 31各本「ウマク習ハ」 32岩本靜本京本内本「ココニシテ習ハ亦学ブルナリ」 33各本「口ヲ以テ給応シテ己カ非ヲ遂テ」 34各本「吾カ一日モ爾チニ長タルヲ以テ吾（ヲ）以テスルコト母レ」 35各本「卒爾ニシテ」 36各本「シメツ」 37岩本靜本京本内本「シン」 38各本「民ヲ」 39各本「ノミトハ衣食足ヲ謂フ也」 40各本「謙ノ辞ナリ」 41各本「願ハ学ヒガテラニセン」 42各本「マミュル」 43岩本靜本京本内本「カンムリニスルハ」 44岩本靜本京本内本「ホム」 45各本「同一徒ナリ」
- 顔淵第十二
- 1各本「約スルソ」 2各本「ノミカ」 3岩本靜本京本内本「死亡センコト」 4岩本靜本京本内本「シンス」 5岩本靜本京本内本「明ト為ニ」 6各本「ツハモノヲ」 7各本「コトナルコト」 8各本「同カラシメハ」 9岩本靜本京本内本「乎」 10各本「什ニニシテ税スルヲ謂フ」 11岩本京本「シク」「スイ」 12各本「マコトナリ」 13各本「ユヘ多キコトヲ」 14各本「之ヲ身ニ居クトキハ」 洋本「居トキ身ニ於テ」 15各本「之ヲ民ニ行フトキハ」 洋本「行トキ民ニ於テ」 16各本「オコタリウム」 17岩本靜本京本内本「仆サストイフコト無シ」 18各本「何如ナル斯ヲカ達ト謂フ可キ」 19各本「在ル所ハ」 20各本「夫レ達ハ」 21各本「其レ念ヒ慮テ」 22各本「謙ハ尊クシテ光」 23各本「夫レ聞ハ」 24各本「セン」 25各本「ワカシコトヲ」 26岩本「直ト為」 27各本「アフ」
- 子路第十三
- 1各本「先ツ導クニ」 2岩本靜本京本内本「トハ」 3各本「乎」 4岩本「イツクシソ」 5各本「サカレリ」 6各本「名ツクル所ノ事」 7各本「言フ所」 8岩本靜本京本内本「民ニ

教ヘンヤ」 9各本「我ヲ政事ニ用イル有ラハ」 10各本「イマシ」 11岩本静本京本内本「魯君ニ朝スルヨリ」 12各本「政トハ」 13岩本静本「大夫タリ」 14岩本内本「ラレ」 15岩本静本京本内本「可キニ」 16各本「乎」 17各本「其ノイフトキニシテ違ヘラレサランコトヲ樂フ」 18各本「ヨシ」 19各本「時ノ進退多キヲ以テ」 20各本「恒一ナルニ」 21各本「フイニ」 22岩本京本静本「ホム」 23各本「ツネニ」 静本「承ルコト或」とも訓。 24岩本京本静本内本「易ノ」 25各本「ニクマレンニハ」 26岩本「アラハル」とも訓 27岩本静本京本内本「官ヲ」 28各本「似レトモ」 洋本「似タリ而トモ」 29各本「此ノ四ノ者有ルハ」 30各本「イカナル」 31岩本静本京本内本「セツサク（スル）ノ」 32各本「攻メ戦フ可キノ」

**憲問第十四**

1各本「道無トキニシテ」 2各本「怨ハ忌 小怨ソ」 3各本「行ノ難キ者ナリ」 4岩本静本京本内本「害ニサカル」 5各本「アツ」 6各本「陸地ヨリ」 7各本「ナラヘマク」 8各本不読。 9 静本京本内本「猶ヲ——コトシ」 10各本「アタレルヲ」 11各本「善ク怨ミ」 「善ク驕ル」 12各本「コトクシテ」 13 静本京本岩本「猶ホ——コトシ」 14各本「所——謂」で

あるが本冊「所謂」とあるのでかく記した。 15各本「君ヲ要スルナリ」 16 洋本「入レラレサル」 17各本「民ヲ使フコト慢レリ 乱将ニ作ンナントスト云テ」 18各本「ヒトツニ」 19各本「イタルマテニ」 20各本「ナンナマン」 21各本「ゴトクアランヤ」 22岩本静本京本内本「マサニ亡ブベケンヤ」 23各本「ツムトキハ」 24各本「人ノ為トハ徒ニ能ク言フソ」 25 静本洋本「キヨ」 26 京本岩本静本洋本「カ」内本「ヤ」 27各本「人ヲ怨ム（ン）」 28各本「ニクンテナリ」 29各本「シモツカタ」 「カミツカタ」 30各本「カナフ」 31岩本静本京本内本「フツクム」 32岩本静本京本内本「コレ」 33本冊に「イ无」と校して不読。 34岩本静本「猶ヲ黙ノゴトシ」 35岩本静本「猶ヲ難ノゴトシ」 36各本「スルナリト云テ」 37岩本静本京本内本「コト」 38岩本静本京本内本「ヤヤ」

**衛靈公第十五**

1 岩本静本京本内本「ヲモムキ同ジ」 2各本「無為ナリ」 3本冊「治」字補写セリ。 4各本「參然トシテ前ニ在ルヲ見ント想フ」 5各本「矢ノ如シ 曲ラス」 6各本「愛セザルナリ」 7各本「云ヘリ」 8各本「感セシムルコト」 洋本「カンスル」 9 岩本静本京本「乎」に「カナ」と附訓。 10各本「位

ヲヌスメリトス」 11各本「云ハ猶——云カコトシ」 12各本  
「之ヲ如何ト云コト無シ」 13岩本京本静本「哉」に「カナ」と  
附訓。 14岩本京本静本「イソフ」 15各本「可キコト」 16各  
本「直道ヲ(ト)云テ行フ所以」岩本「直道シテ行フヲ云フ」  
17各本「書字ニ於テ」 18各本「知レル者」 19京本静本内本  
「夫」に「カナ」と附訓。 20各本「馬有リテ——トキハ」 21  
各本「俗多ク——以ナリ」 22岩本「モシクハ」 23洋本「アキ  
ラカ」 24各本「ススメントナリ」 25京本静本「カミ」 26各  
本「小—了を以テ知ル」 27各本「シカシテ」洋本「シカモ」  
28各本「仰イテ生スル所ノ者ナリ」 29岩本静本京本内本「モ  
シクハ時ニ」 30各本「言ハ必シモ小信アラス」 31岩本静本京  
本内本「而—已」 32各本「実足ニ過ルコト莫シ」 33各本「盲  
者ナリ 名ハ冕」 34岩本静本京本内本「階ソ」<sup>シ</sup>「席ソ」<sup>セキ</sup> 35岩  
本静本京本内本「ソレハ」 36岩本静本京本内本「アル」洋本  
「所—在」

### 季氏第十六

1各本「蒙山ヲ祭ルニ主タラシム」 2各本「如キコトヲ」 3  
岩本静本京本内本「寡」<sup>ウ</sup>「少ナキコトヲ」 4洋本「相ヒマミユ  
ル」 5岩本静本京本内本「シセラレ」 6各本「征伐ヲ専ニス」

7各本「トラハル」 8岩本静本京本内本「此ヲ言フ時ハ」 9  
各本「仲孫氏ハ其ノ氏ヲ改メテ」 10各本「容レ媚シコトヲ求  
ムルソ」 11岩本京本静本「オモムキヤワラカナルソ」 12岩本  
京本静本内本「節アラサルソ」 13岩本内本洋本「シテ而モ」  
14各本「オモムキムカフ」 15各本「シタカフトキハ吉ニサカ  
フトキハ凶ナルハ」 16静本京本内本「カナヘタル」 17岩本静  
本京本内本「カフ」 18京本静本内本「ホシイママニセ」 19各  
本「道ヲ」 20各本「所—謂ル」 21岩本静本京本内本「オモヘ  
ラク」(先読)「—トオモヘリ」<sup>二</sup>兩訓。 22岩本静本京本内本  
「聞イツ」 23各本「アキラカ」

### 陽貨第十七

1各本「孔子ヲ見マク欲スルコトハ仕ヘ使メントナリ」 2洋  
本「時ニ其レナシ」 3岩本静本内本洋本「アハズ」 4静本洋  
本「我カトモガラニアラス」とも訓。 5各本「順ノ辞ハヲ以  
テ」 6各本「イツクンソ」 7各本「昔—者」<sup>一</sup>で「ムカシ」  
8岩本静本京本内本「小ヲ治ルニ而モ大道ヲ用ンヤト云ヲ以ス」  
9岩本京本静本「ヨフ」 10岩本「カレ」 11各本「アナトラ  
レス」内本兩訓。 12各本「邑—宰ソ」 13本冊「可染皆」と  
「皆」誤植、「者イ」と校してある。各本「染ム可キ者ナリ」

- 14本冊「諭」字補写して訓む。 15各本「哉」に「ヤ」と附訓。  
 京本静本内本「不食ノ故ナリ」 16岩本静本京本内本「ヲノツカラ」 17岩本静本京本内本「六言ノ六蔽」 18各本「アタリ守ル」 19岩本静本京本内本「コレヲモテ」 20岩本「ヲノツカラ」  
 21岩本京本静本内本「ヌスヒト」 22静本洋本内本「ムカヒ」とも訓。 23岩本静本京本内本「マツ」 24各本「ヲモムキムカフヲ」 25各本「イレコビテ」 26各本「哉」に附訓。洋本「與哉」 27岩本静本京本内本「古ノ」、「者」字不読。 28各本「邪」好ニシテ 29内本「多」言 30各本「実」 31各本「言ノ益タルコト少シ」 32各本「之シテ聞シム」 33各本「己ヲ知ラザルカ為ノ故ニ」 34岩本「礼ヲオサメズンバ」とも訓。  
 35岩本「タノシカラス」 36各本「有レ乎」 37各本「モノダモ」 38岩本京本静本内本「ナランカ為ナリ」 39各本「勇トスル」 40各本「善」行」
- 微子第十八
- 1静本「ニツノ者」 2岩本静本京本内本「乃シ見」 3各本「己」住」 4各本「行ヘル所ヲハ」 5岩本「ケウ」 6岩本「之ト」 7岩本静本京本内本「知レラン」 8岩本静本京本内本「今ニ當テ」 9各本「オモヘリ」京本静本内本は両読。
- 10岩本京本静本「意ヲ」 11岩本「トモカラヲクミスルニ」 12岩本「タレトカクミセン」とも訓。 13岩本「アリキタリ・アルキタリ」京本静本洋本内本「アルキタリ」内本「アルキンタリ」とも訓。 14岩本京本静本「養コトヲ」 15岩本京本静本内本「行ルコトエント云（ナラ）ス」 16岩本静本洋本「師異ナリ」 17各本「少師陽」 18岩本「親ヲ」 19各本「——ヲ怨ムソ」 20岩本「二人ニ備ヲ」
- 子張第十九
- 1各本音読 2岩本「與二人ニ於テ」 3岩本「人ト将ニ」京本静本「クミセン二人将ニ」 4京本静本「己」に「ノミ」と附訓。 5各本「クワシカラ」 6京本岩本静本洋本「アヤマチハ」 7各本「末事ナラクノミ」 8各本「不平」音読。 9岩本京本静本内本「聖人ナラクノミ」 10各本「毀ルコト性ヲ減サス」静本「毀」に「ヤフル」と静本内本「滅」に「ホロボス」と附訓。 11各本「善カラスト雖モ」 12京本静本内本洋本「輕漂ヲナシ」 13各本「自ラ喜フ勿シテ能ク其ノ情ヲ得ルベシ」 14各本「イツクンカ」 15各本「リョウヲ」 16京本静本内本「タルヲ」 17岩本京本静本内本「所」謂」 18各本「ヤハラク」 19各本「政ヲセントキニ」

堯曰第二十

1 京本静本内本「ユヘンタラン」 2 各本「ヒケルコト」 3 各本「ウク」 4 各本「エラフコト」 5 静本「アヤマチ」 6 各本「エラフコト」 7 岩本内本洋本「大イナル」 8 各本「民・食・喪・祭」京本静本内本洋本「祭」に「セイ」と附訓。 9 各本「ノソク」内本両読。 10 岩本京本静本「戒メスシテ」内本「戒メシ」 11 岩本「アラカシメ人ニ……ナルカコトシ」 12 各本「財物ヲ謂フ俱ニ當ニ人ニ與フヘシ而ヲ出内ニ吝<sup>スイケイ</sup>シテ惜<sup>ハハカル</sup>ミ難<sup>コトクキイテ</sup>」 13 岩本京本静本内本「言聴」

附補訂

第一編 第二章 第一節

一、有刊記本

龍門文庫蔵本

合一冊

後補褐色表紙(二六・六×一九・三糎)。首の「論語序」から、本文・版式・尾題・刊記まで、全て東洋文庫蔵本(三一A/a)

二八)と同版同時の印刷に係る。

本文への書入れは、墨筆による返点・送仮名・縦点・声点・附訓が本文のみに施されて注文には施されていない。その時期は江戸初期と推測される。後表紙内側に、「宝曆九己卯閏七月廿九日」と墨書識語がみえる。書入れとは別筆の如く思われる。蔵書印は、「牽舟文庫」(双辺長方)が首に、「高木家蔵」が首末に捺される。森鷗外の旧蔵。「龍門文庫善本書目」(昭和二七年・川瀬一馬編)に解題がある。

函架番号(六一七 490)

同 同 同

二、無刊記本(慶長八年以前刊本)

都立中央図書館蔵本

取合本乾冊

濃茶表紙(二七・一×一八・五糎)。序から卷五までで、卷

六以降の坤冊は、下村生蔵刊本を取合せている。静嘉堂文庫本(8180-2-101-20)と比較すると、同種活字を用いながらも全葉に亘って異版であって、所謂異植字版と定義されるものである(恐らくは下冊も異版であろうと想定して)。書入れは墨筆の返

点・送仮名・縦点・附訓・声点を加え、別手によると思われる朱引等が少々みられる。末に、八角双郭の墨印を捺し、「□／通」。

函架番号(青491)

同 同 同

三、無刊記本(〔下村生蔵〕刊本)

都立中央図書館蔵本

取合本坤冊

茶表紙(二六・七×一九・五糎)。卷六から卷一〇までの零本で、卷五以前は慶長八年以前刊本を取合せている。書入れは、経文のみに返点・送仮名・縦点・附訓を加え、前筆と後筆と二手にわかれるようである。

函架番号(青492)

同 同 第二節

一、有刊記本(甲種本)

天理図書館蔵本

三冊

空押出つなぎ丹表紙(二七・四×一八・五糎)。版式その他を国会図書館蔵本(WA7-220)と同一にする。書入れは、墨筆の返点・送仮名・縦点・附訓を全卷に一筆で加え、又序のみには朱筆による返点・送仮名・縦点・ヲコト点が施されている。更に欄外には時代の降る朱墨同筆(本文書入とは異筆)の校異(侃本・千本・汲本)がある。蔵印に「葆光／書記」。「天理図書館稀書目録・和漢書之部第二」所載。

函架番号(123.3-7-1)

同 同 同

二、無刊記本(乙種本)

龍門文庫蔵本

二冊

褐色空押模様表紙(二六・六×一九・二糎)。川瀬博士は「麻葉模様原表紙」と。その左上に「論語上下」と白書する。「論語序」以下、卷第十末まで斯道文庫蔵本(B1-1-51-2)と同一の同版本である。但し卷第十尾題後に刊記はない。印面は早印に属する。従って、第一章第二節の一、(三十輯一三九頁)所掲の〔目録Ⅱ〕に、「又 二冊龍門」と加えられるもので

ある。

書入れは、朱引、それに経文の卷五迄、卷一三・一四に一手の墨書で、返点・送仮名・縦点・附訓を加えている。やはり江戸初期のものである。川瀬博士は、「寛永を降らぬ頃」と。

蔵印は「和万法寺什物」と各巻首尾に押捺。卷四の第四丁・卷九の第一二丁・卷一〇の第一丁を欠す。「龍門文庫善本書目」所載。

函架番号(五一六 381)

### 天理図書館蔵本

二冊

栗皮色表紙(二七・五×一九・八糎)。版式その他斯道文庫本(BI-FSI2)と同一の同版本である。既に「天理図書館稀書目録・和漢書之部第二」に解説される所である。「今関版四書」と著録される様に、大学中庸論語孟子を一帙として、それに全冊を通じ一筆で、清家点を移録書入れる。大学論語孟子中庸と配冊されて、中庸末に「今関正運」の刊記を有することから、今関版四書と通称されるわけである。同様のものに尊経閣文庫所蔵本が存在する(第一編第二章第二節の二、論集三十輯一八四頁参照)。従ってこの二部の伝本を根拠とすれば、本版

整版乙種は今関正運の刊刻に係るものと推測されるわけであるが、この事に就いては、大学・中庸の慶長刊本の伝本研究を俟つ必要がある。その後考に譲るが、本館蔵本に於いて少しく観察するならば、次の様なことも考えられよう。

孟子の末に、「孟子篇叙」が補写されている。勿論書入者と同筆のものであり、清原宣賢点本からの移録であるが、この補写分三葉は、あらかじめ「孟子篇叙」補写の為に用意されねばならず、更にその為の遊紙三葉は表紙の裏あて紙と同一のものと見られ、少なくとも書入時に加え装訂したものであることは明白なのである。ところで、これらの遊紙やあて紙が、本文印刷に用いられている紙と全く同種の、紙質頗る似通ったものであることを考え合わせると、或は印刷製本時既にこの三葉も準備されていたのではなからうかとの推測も可能ではある。そうしてあらためて四書を通じてみると紙質はどれも一定しているように見える。勿論こうした見方は一方的な譏りを免れないかも知れないが、本版の覆刻者と印刷者に就いての問題を一時措いても、いずれ、この四書への書入者が入念に清家本を検討し、用意万端、一気に本版の四書を注文印刷せしめたのではないか、という想像はあながち根拠のないことでもなからうと思うので

ある。

その清家点の元奥書等は、前掲「稀書目録」を参照。返点・送仮名・縦点・声点・附訓・が墨書で、朱のヲコト点を加えられている。

函架番号 (123-4-1)

都立中央図書館蔵本

大二冊

栗皮表紙(二六・七×一九・〇糎)。斯道文庫蔵本(B1-75 1-2)と同一の同版本である。他の多くの伝本と同程度の後印本とみられる。書入れには、卷二の五丁表までの墨筆による返点・送仮名・縦点・附訓・校合・合点がある。蔵印は、「□陵／蔵書」「□／嶺」(陰刻)。

函架番号 (青471-2)

都立中央図書館蔵本

大二冊

栗皮表紙(二七・六×一九・三糎)。斯道文庫蔵本(B1-75 1-2)と同一の同版本で後印。書入れは、返点・送仮名・縦点・附訓が経文のみに施されている。蔵印に「曾在／柳氏」「□□／精舎」「読杜／草堂」「寺田」(丸)がある。

函架番号 (青481)

訂 誤 (序編〜第三編)

目次「版本論」↓「版本編」

一二五頁上段「ことごとく」↓「ことごとく」

一二七頁〔表I〕京大附図〈卷<sup>2369</sup>〉↓〈卷<sup>2369</sup>〉

一二九頁上段六行「駄足」↓「蛇足」

一六八頁上段一五行・一八行「親見」↓「新見」

二三五頁上段一六行「父左」↓「父在」

二五五頁上段四行「孔子於郷党節」↓「孔子於郷党節」

二七二頁上段一行「佛口」↓「佛唇」

同 上段二行「不入其国」↓「不入其国」